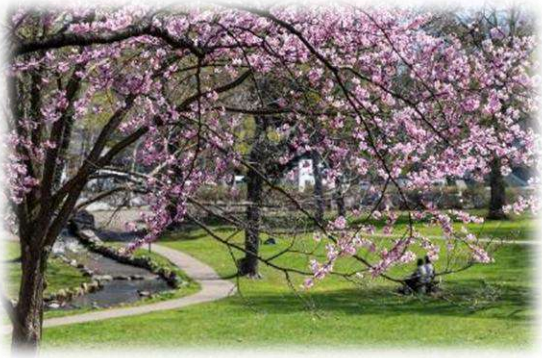
2026 年度 2 学期
Second Semester in 2026

日本語授業概要
JAPANESE LANGUAGE COURSES









北海道大学　教育イノベーション機構　国際教育センター
The Institute for Academic Innovation, International Education Center
Hokkaido University

目　次

2026年度

一般日本語コース授業日程 …… 3

「一般日本語コース」

コース概要…… 4

2025年度以前に初級クラスを受講していた方… 21

初級・初中級開講科目一覧…… 25

中・上級開講科目一覧 …… 26

レベル別時間割…… 27

各科目の説明…… 28

「日本語研修コース」

コース概要…… 195

「多文化交流科目」

コース概要…… 199

各科目の説明…… 217

Contents

2026

General Japanese Course Calendar…… 3

【General Japanese Course】

Course Information …… 4

Information for Students who Took Beginner Japanese Courses through the 2025 Academic Year …… 21

List of Introductory and Pre-Intermediate Level Courses…… 25

List of Intermediate and Advanced Level Courses …… 26

Timetable for each level…… 27

Description of each subject …… 28

【Intensive Japanese Course】

Course Information …… 195

【Co-learning in Multicultural Classrooms】

Course Information …… 199

Description of each subject …… 217

2026年度　一般日本語授業日程

General Japanese Course Calendar 2026

● 第2学期 Second Semester ●

授業期間:10月1日（木）～2月3日（水）

Course Dates:Thu, Oct 1 – Wed, Feb 3

2026年 9月 September 2026

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28*	29*	30			

2026年 10月 October 2026

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

2026年 11月 November 2026

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

2026年 12月 December 2026

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

2027年 1月 January 2027

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15 ※	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

※1月15日　大学入試共通テスト準備のため休講

Holiday for preparing for the standard university entrance exam

2027年 2月 February 2027

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28						

授業週(2学期) Second Semester

休講・休業期間 Holidays

プレースメントテスト受験期間 Placement test periods

曜日毎の授業最終日(16回目) Final class for each day of the week

日本語コース登録設定期間 Authorization Period for Japanese Course Registration

受講科目登録期間 Course Registration Period

別の曜日の授業を行う日 Make-up class day

履修取消期間 Class Withdrawal Period

月曜日の授業を行う日 →　(10月15日) The Monday class will be held on October 15th.
(1月13日) The Monday class will be held on January 13th.

日程 (Schedule)

プレースメントテスト受験期間 Placement test periods	日本語コース登録設定期間 Authorization Period for Japanese Course Registration	受講科目登録期間 Course Registration Period	履修取消期間 Class Withdrawal Period
9/11(金)～9/30(水) Fri, Sep 11 – Wed, Sep 30	9/11(金)～10/5(月) Fri, Sep 11 – Mon, Oct 5	9/18(金)～10/7(水)* Fri, Sep 18 – Wed, Oct 7	10/21(水)～10/22(木) Wed, Oct 21 – Thu, Oct 22

*9/28(月)0:00～9/29(火)17:00までシステム作業のため履修登録不可

2026年度2学期
教育イノベーション機構国際教育センター
「一般日本語コース」概要

教育イノベーション機構国際教育センターでは、外国人留学生・研究員・教職員のための「一般日本語コース」を、以下のとおり行います。

1. 授業のレベルと科目

レベル	科目名		
初級	やりとり	理解	文字を読む・書く
	表現：リサーチ＆プレゼンテーション		表現：ストーリーを読む・書く・語る
	初中級総合		
中級	やりとり（基礎）	表現（基礎）	理解（基礎）
	やりとり（運用）	表現（運用）	理解（運用）
	ビジネス日本語		
上級	やりとり	表現	理解
	日本語演習	ビジネス日本語	

自分のレベルに合わせて科目を申請できます。申請できるクラスのレベルは、プレースメントテストの点数、または、これまでの受講歴によって決まります。

2. 授業期間

第２学期：2026年10月1 日（木）～2027年2月3 日（水）
（土、日、国民の祝日は授業を行いません）

3. 時間割

以下のリンクから時間割と開講科目一覧を確認してください。
https://jpncourse.oia.hokudai.ac.jp/syllabus_web/web/web_menu.php

4.教室

授業は主に学生交流ステーション（北15条西8丁目）で行われます。教室はコースがはじまる前に、日本語コースからメールやウェブサイトでお知らせます。なお、授業は基本的には対面ですが、オンライン（同時配信型・オンデマンド型・対面とのハイブリッド型）で行われる可能性があります。

5.授業時間

	1時限	2時限	3時限	4時限	5時限
時間	08：45-10：15	10：30-12：00	13：00-14：30	14:45-16：15	16：30-18：00

6.授業を受ける資格

北海道大学に所属する「外国人留学生」（留学ビザを持つ「学部学生」「研究生」「大学院生」「特別聴講学生」「特別研究学生」）または、「外国人教職員」「外国人研究員」であること。<u>「聴講学生」「科目等履修生」は一般日本語コースを受けられません</u>。

7.定員

それぞれのクラスの定員を最大35名とします。受講希望者が定員を超えた場合は、クラス移動をお願いする場合があります。

8．日程

<u>2学期から申込方法が2ステップに変わります</u>

申込方法の変更に伴い、日程が1学期までのものと変わっています。

①受講科目を登録するには、事前に日本語コース登録設定が必要です。

②受講科目登録は、北海道大学の学務システムで行います。

プレースメントテスト受験期間	9/11（金）～9/30（水）
授業開始日	10/1（木）
①日本語コース登録設定期間	9/11（金）～10/5（月）
②受講科目登録期間	9/18（金）7：00～10/7（水）23：30 *9/28-9/29 17:00 までは履修登録不可
履修取消期間	10/21（水）～10/22（木）
クラス確定日	10/23（金）

9．授業の登録方法

日本語コースの授業を受けたい人は、新規履修希望者も、以前「一般日本語コース」を受講したことがある人も、全員必ず日本語コース登録設定をしてください。

【一般日本語コース登録方法】

一般日本語コースに登録するために、次の手順A～E を行ってください。

A. プレースメントテストの受験
B. シラバスを確認
C. 日本語コースの登録設定
D. 学務システムで受講科目を登録
E. 第1回目の授業から出席してください。

A. プレースメントテストの受験

【テストを受ける前に】

初めて北海道大学の「一般日本語コース」に登録する方と一般日本語コースを受講したことがある方とで手続きが異なります。プレースメントテストを受ける必要があるか、以下を確認してください。

① 初めて北海道大学の「一般日本語コース」に登録する方

A）日本語を勉強したことがある方→プレースメントテストを受けてください。

B）日本語を初めて学ぶ方→プレースメントテストは受けません。初級 1 レベルのクラスを申請してください。

② 以前、北海道大学の「一般日本語コース」を受講したことがある方

基本的には前回の受講歴を基にレベル設定をします。

→プレースメントテストを受けないで、履修歴で登録します。前回合格したクラスの１つ上のレベルのクラスを選択します。
（例：前回「中級１」に合格した場合は、「中級２」を選択する）
→もしくは、プレースメントテストを受けて、その点数で日本語レベルを設定することも可能です。

【プレースメントテストについて】
・プレースメントテストではTTBJというテストを用います。
・ プレースメントテストを受ける必要がある方は、授業開始前（9/30（水））までに必ず受験してください。
・プレースメントテストは、日本語コースに申し込む前に、インターネットが使える場所で個別に受けてください。
・世界中どこからでも、Web上で24時間受験できます。

【プレースメントテストの受験方法と日本語レベルの確認について】

1. プレースメントテスト（TTBJ）の「SPOT90＋Grammar90＋漢字SPOT50」を受ける。
・TTBJのサイト　https://ttbj.cegloc.tsukuba.ac.jp/pl.html
・TTBJの受験のフロー
https://isc.high.hokudai.ac.jp/general_ja_lang/#placement_test

2. プレースメントテスト（TTBJ）の成績表を受け取って保存する。
※成績表は、日本語コース登録設定の際に必要になります。日本語力の総合スコア、受験日とIDを入力する箇所があります。また、授業開始後、成績を確認される場合がありますので提示できるようにしておいてください。

3. 日本語のクラスは、成績表の「日本語力の総合スコア」に対応する日本語レベルとクラスを確認してください。（表１及び表２を参照）
「初級文字を読む・書く」のクラスは、成績表の「漢字力の総合スコア」に対応するクラスを確認してください。（表１及び表３を参照）。



成績表
Score report

TTBJ
Tsukuba Test Battery of Japanese
筑波日本語テスト集

あなたのTTBJスコアは以下の通りです
Your TTBJ scores are as follows.

受験日 / Exam date	所属機関 / Affiliation	
	北海道大学 / HOKKAIDO UNIVERSITY	
ID	氏名 / Name	メールアドレス / Mail

TTBJで受けたテスト：SPOT90-1、SPOT90-2、SPOT90-3、Grammar90-1、Grammar90-2、Grammar90-3、漢字SPOT50

SPOT90-1	/ 30
SPOT90-2	/ 30
SPOT90-3	/ 30
Grammar90-1	/ 30
Grammar90-2	/ 30
Grammar90-3	/ 30
漢字SPOT50	/ 50

日本語力の総合スコア	漢字力の総合スコア

表 1　TTBJ の成績表例

日本語力の総合スコア	クラス・レベル		
83～100	上級	日本語演習	ビジネス日本語
75～82	中級 3		
69～74	中級 2		
59～68	初中級・中級 1		
48～58	初級 3		
31～47	初級 2		
0～30	初級 1		

表 2　日本語力の総合スコアと日本語のクラスについての対応表

漢字力の総合スコア	クラス
53～100	該当クラスなし
41～52	初級文字を読む・書く 3
31～40	初級文字を読む・書く 2
0～30	初級文字を読む・書く 1

表３　漢字力の総合スコアと「初級文字を読む・書く」のクラスの対応表

注意：このテストはテストを受けた学生の日本語の力を測るものです。自分の実力を超えたクラスに入れたとしても、ついていけない場合もあるので、不正行為はやめてください。不正行為が発覚した場合は申請したすべての科目が取り消されます。

B. シラバスを確認

授業の内容、曜日・時間、授業の進み方は、シラバスで確認できます。
日本語授業概要一覧のリンクからシラバスを確認してください。
（https://jpncourse.oia.hokudai.ac.jp/syllabus_web/web/web_menu.php）

C. 日本語コースの登録設定

日本語コースの登録設定フォームにアクセスして、次の情報を入力して送付する。
名前、学生番号、プレースメントテストの点数、または日本語科目の履修歴等を入力します。
リンク：https://forms.gle/RfURPEQ191xtuCSZ7
※10月入学の新入生は、10/1以降に学生番号を取得したら、日本語コースの登録設定が可能となります。

D. 学務システムで受講科目を登録

C の完了後、翌日（土・日・祝を除く）から学務システムで日本語科目・多文化交流科目の登録ができるようになります。
学務システムでの日本語コースの登録手順は以下のリンクを確認してください。
https://isc.high.hokudai.ac.jp/wp25/wp-content/uploads/2026/08/babec695f2514edabbc679eaf55e9c74.pdf

C で登録したプレースメントテストの点数や履修歴で日本語レベルが設定されています。登録できる科目は、設定されている日本語レベルの科目とその 2 つ下のレベルの科目までです。

日本語力の総合スコア The Total Japanese score	クラス・レベル Class / Level		
0~30	初級 1 (Introductory Japanese 1)		
31~47	初級 2 (Introductory Japanese 2)		
48~58	初級 3 (Introductory Japanese 3)		
59~68	初中級 (Pre-Intermediate Japanese)		
	中級 1 (Intermediate 1)		
69~74	中級 2 (Intermediate 2)		
75~82	中級 3 (Intermediate 3)		
83~100	上級 Advanced	日本語演習 Japanese Seminar	ビジネス日本語 Business Japanese

例）日本語レベルが中級 1 → 中級 1 （初中級）、初級 3、初級 2 の科目を登録できます。

※教職員・研究員の方は、日本語コースの登録設定のフォーム送付後の手続きが学生と異なります。詳しくは下記の「10.教職員と研究員の方」を確認してください。

※学務システムの利用の注意点

・所属先で発行される ELMS-ID が必要です。10月入学の新入生は、10/1以降にELMS-ID が付与されたら学務システムの登録が可能になります。

・学務システムは、9/28（月）0：00～9/29（火）17：00 の間は登録ができません。

・学務システムでの受講科目登録期間は、所属先で設定した期間がある場合は、その期間となります。

E. 第1回目の授業から出席してください。

登録は授業開始後でもできますが、日本語科目では第1回目から授業が始まります。特別な事情（日本入国の遅れなど）がない限り第1回目から出席してください。

10. 教職員と研究員の方

教職員・研究員の方は、学籍がないため、学務システムで受講登録が出来ないので、日本語コースの登録設定後は、学生と異なる方法で受講登録を行います。

日本語コースの登録設定後の流れ

1.日本語コースから日本語科目と多文化交流科目の履修希望クラスを記入するフォームがメールで届きます。

2.クラスを選択して 10/5（月）までにフォームを送付してください。

3.10/7（水）までに、日本語コースからクラス通知がメールで送られます。

4.第1回目の授業から出席してください。
（クラス通知前ですが、申請した授業に出席してください。）

11. 履修クラスの確認方法

学生：学務システムで履修状況を確認してください。

教職員・研究員：10/7（水）に日本語コースから受講するクラスをメールでお知らせします。

12. 履修取消

受講科目登録期間後は、クラスの変更や取消が出来ません。授業を受けられなくなる場合は、10/21（水）～22（木）の期間中に、履修取消届を提出してください。

履修取消届のリンク（https://forms.gle/AnLcmdAmsX9vvZ5G6）

【注意】

(1)一部の学生のほかは、「一般日本語コース」の科目は「単位」になりません。

(2)授業に合格するためには、基本的に出席が 70%以上、成績が 60%以上でなければなりません。

(3)いかなる理由があっても、日本語コース登録設定期間が終わった後の申し込みはできません。

(4) 受講科目登録期間後は、クラスの移動が出来ません。

13. 問い合わせ先

・ 「一般日本語コース」ついての質問は、下記の「よくある質問」のページを見てください。

https://www.hokudai.ac.jp/php/jc/faq/

該当する質問がない場合は、以下にご連絡ください。

一般日本語コース　Email：japanese_courses@oia.hokudai.ac.jp

・ 学務システムの操作方法に関するお問い合わせは以下にご連絡ください。

Email：k-info@academic.hokudai.ac.jp

・ ELMS に関するお問い合わせは、以下の方法でご連絡ください。

→ELMS ポータル＞メニューの「Help」＞お問い合わせフォームからご連絡ください。

The Institute for Academic Innovation, International Education Center
General Japanese Course Information
2026

The Institute for Academic Innovation, International Education Center will offer General Japanese Courses for international students, teaching and research staff, and office workers, as outlined below.

1. Levels and Classes

<table>
<tr><th>Levels</th><th colspan="3">Classes</th></tr>
<tr><td rowspan="2">Introductory</td><td>Interaction</td><td>Comprehension</td><td>Japanese Literacy</td></tr>
<tr><td colspan="2">Expression：
Research & Presentation</td><td>Expression: Self Expression through Stories</td></tr>
<tr><td rowspan="4">Intermediate</td><td colspan="3">Pre-Intermediate General Class</td></tr>
<tr><td>Interaction (Basic)</td><td>Expression (Basic)</td><td>Comprehension (Basic)</td></tr>
<tr><td>Interaction (Practical)</td><td>Expression (Practical)</td><td>Comprehension (Practical)</td></tr>
<tr><td>Business Japanese</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td rowspan="2">Advanced</td><td>Interaction</td><td>Expression</td><td>Comprehension</td></tr>
<tr><td>Japanese Seminar</td><td>Business Japanese</td><td></td></tr>
</table>

Apply for classes according to your level. The level of the classes you can apply for is determined by your score on the placement test or your previous course history.

2. Course Dates

Second semester: Thursday, October 1, 2026- Wednesday, February 3, 2027

（No classes will be held on Saturdays, Sundays, or national holidays.）

3. Timetable

Please go to the link below and check Timetable and Course List.

https://jpncourse.oia.hokudai.ac.jp/syllabus_web/web/web_menu.php

4. Classrooms

Classes will be held mainly in the Student Communication Station building (Kita 15, Nishi 8). Classroom assignments will be announced by the Japanese Course Office before the semester begins. Although classes are primarily conducted face-to-face, some may be offered online (live, on-demand, or hybrid with face-to-face).

5. Class Times

	Period 1	Period 2	Period 3	Period 4	Period 5
Time	08:45-10:15	10:30-12:00	13:00-14:30	14:45-16:15	16:30-18:00

6. Student Eligibility

These courses are open to international students enrolled at Hokkaido University with a student visa (bachelor's degree program students, research students, graduate students, special auditors, and special research students), as well as international teaching and research staff, and office staff employed by Hokkaido University. Auditors and credited auditors cannot register for these courses.

7. Maximum Enrollment

The maximum capacity for each class is 35 students. If the number of applicants exceeds the capacity, you may be asked to switch classes.

8. Schedule

The application process will change to a two-step system starting from the second semester.

Please note that the schedule has also been updated from the previous semester.

① You must obtain the Japanese Course Registration Authorization before class enrollment.

② You will use Hokkaido University's Academic Affairs System for class enrollment.

Events	Date
Placement Test Period	Fri, Sep 11th – Wed, Sep 30th
Class Start Date	Thu, Oct 1st
① Authorization Period for Japanese Course Registration	Fri, Sep 11th – Mon, Oct 5th
② Class Enrollment Period	Fri, Sep 18th 7:00 – Wed, Oct 7th 23:30 *Unavailable to register from Sept 28 to Sep 29 at 17:00
Class Withdrawal Period	Wed, Oct 21st – Thu, Oct 22nd
Class Confirmation Date	Fri, Oct 23rd

9. Procedure for course registration

All applicants should submit a Japanese Course Registration Authorization form. Both new and continuing students who have taken General Japanese Courses before must apply.

【The application process for the General Japanese Courses】

To register for the General Japanese Courses, please complete steps A–E below.

A. Placement test

B. Review the syllabus

C. Complete the Japanese Course Registration Authorization

D. Register your course subjects in the Academic Affairs System

E. Attend the first-class session

A. Placement test

【Before taking the test】

The procedures differ between those registering for Hokkaido University's General Japanese Courses for the first time and those who have previously taken the General Japanese Courses. Please check below to confirm whether you are required to take the placement test.

① New applicants to the General Japanese Courses at Hokkaido University

A) Applicants who have previously studied Japanese

→ Please take the placement test.

B) Applicants who have never studied Japanese before

→ You do not need to take the placement test. Please apply for a class at the Introductory 1 level.

② **Applicants who have previously taken General Japanese Courses at Hokkaido University**

In principle, your level will be determined based on your previous course history.

→ You do **not** need to take the placement test; you may register according to your past course record. Select the class one level higher than the class you passed before.

(Example: If you passed "Intermediate 1" last time, select "Intermediate 2.")

→ Alternatively, you may take the placement test and have your Japanese level determined based on your placement test score.

【About the Placement Test】

- The placement test uses an examination called "TTBJ".
- If you are required to take the placement test, you must complete it by Wednesday, September 30, before classes begin.
- Placement tests must be taken individually at a location where internet access is available.
- You can take the test online 24 hours a day from anywhere in the world.

【How to Take the Placement Test and How to Check Your Japanese level】

1. Take the placement test "TTBJ" which consists of three parts: SPOT 90, Grammar 90, and 漢字 (KANJI) SPOT50.

・Link for TTBJ: (https://ttbj.cegloc.tsukuba.ac.jp/p1.html)

・Procedure for Taking the TTBJ Placement Test
https://isc.high.hokudai.ac.jp/general_ja_lang/#placement_test

2. After taking the test, save the score report you receive from TTBJ.

Notes: You will need the score report when you submit the Japanese Course Registration Authorization. In addition, please be prepared to show your score report, as there may be occasions when you are asked to confirm your score after the course has begun.

3. Please check the Japanese level and class that corresponds to the “Total Japanese Score” shown on your score report (See Tables 1 and 2).

Students taking the Japanese Literacy classes should check the class corresponds to the “Total Kanji Score” (See Tables 1 and 3).



成績表
Score report

TTBJ
Tsukuba Test Battery of Japanese
筑波日本語テスト集

あなたのTTBJスコアは以下の通りです
Your TTBJ scores are as follows.

受験日 / Exam date	所属機関 / Affiliation	
	北海道大学 / HOKKAIDO UNIVERSITY	
ID	氏名 / Name	メールアドレス / Mail

TTBJで受けたテスト：SPOT90-1、SPOT90-2、SPOT90-3、Grammar90-1、Grammar90-2、Grammar90-3、漢字SPOT50

SPOT90-1	/ 30
SPOT90-2	/ 30
SPOT90-3	/ 30
Grammar90-1	/ 30
Grammar90-2	/ 30
Grammar90-3	/ 30
漢字SPOT50	/ 50

日本語力の総合スコア

漢字力の総合スコア

Table 1: Sample of a score report

Total Japanese Score	Class / Level		
83～100	Advanced	Japanese Seminar	Business Japanese
75～82	Intermediate 3		
69～74	Intermediate 2		
59～68	Pre-Intermediate Japanese・Intermediate 1		
48～58	Introductory 3		
31～47	Introductory 2		
0～30	Introductory 1		

Table 2: Table of the Total Japanese Score and Corresponding Class Level

Total Kanji Score	Class / Level
53～100	No applicable class
41～52	Japanese Literacy 3
31～40	Japanese Literacy 2
0～30	Japanese Literacy 1

Table 3: Table of the Total Kanji Score and Corresponding Class Level

Notes: This test is designed to assess students' Japanese language proficiency. Please avoid any inappropriate behavior during the test, as being placed in a class above your actual Japanese level may make it difficult to keep up with the coursework. If cheating on the placement test is discovered, all classes you have applied for will be canceled.

B. Review the syllabus

You can check the class content, class day and time, and the course format in the syllabus. Please access the syllabus through the link to the List of Japanese Language Courses Outlines.

(https://jpncourse.oia.hokudai.ac.jp/syllabus_web/web/web_menu.php)

C. Complete the Japanese Course Registration Authorization

Access the link for Japanese Course Registration Authorization and enter the required information and submit the form. Please enter your name, student ID number, and your placement test score, or your Japanese course enrollment history, as applicable. Link : https://forms.gle/RfURPEQ191xtuCSZ7

Note: New students enrolling in October can register for General Japanese Courses and the Academic Affairs System once they receive their student ID number and ELMS ID from Oct 1st.

D. Register your course subjects in the Academic Affairs System

After completing step C, you will be able to register for General Japanese courses and Co-learning in Multicultural Classrooms in the Academic Affairs System starting the following business day (excluding Saturdays, Sundays, and national holidays).

Please check the following link for the procedure to register for Japanese courses in the Academic Affairs System.

https://isc.high.hokudai.ac.jp/wp25/wp-content/uploads/2026/08/d52b9b8fc6a4413dc52ed2e663f9fe4f.pdf

The Japanese level will be determined based on the placement test score or course study record you registered in step C. You will be able to register for classes at your assigned Japanese level and up to two levels below it.

日本語力の総合スコア The Total Japanese score	クラス・レベル Class / Level		
0~30	初級 1 (Introductory Japanese 1)		
31~47	初級 2 (Introductory Japanese 2)		
48~58	初級 3 (Introductory Japanese 3)		
59~68	初中級 (Pre-Intermediate Japanese)		
	中級 1 (Intermediate 1)		
69~74	中級 2 (Intermediate 2)		
75~82	中級 3 (Intermediate 3)		
83~100	上級 Advanced	日本語演習 Japanese Seminar	ビジネス日本語 Business Japanese

Ex.) If your Japanese level is Intermediate 1, you can register for the following courses: Intermediate 1 (Pre-Intermediate), Introductory 3, and Introductory 2.

*Please note that the procedures after submitting the Japanese Course Registration Authorization Form differ for faculty and researchers. For details, please refer to the next page for "10. Faculty and Researchers."

【Notes on Using the Academic Affairs System】

- You will need the ELMS ID issued by your affiliated department. New students enrolling in October can access the Academic Affairs System once their ELMS ID is issued on or after October 1.
- The Academic Affairs System will be unavailable for course registration from 0:00 on September 28 (Mon) to 17:00 on September 29 (Tue).
- If your affiliated department has designated a specific course registration period in the Academic Affairs System, that period will apply.

E. Attend from the first class

Although course registration is permitted after classes have begun, Japanese courses commence from the first-class session. Unless there are exceptional circumstances (such as a delayed arrival in Japan), students are expected to attend from the first class.

10. Faculty and Researchers

Since faculty and researchers do not have student ID, they cannot register for courses through the Academic Affairs System. Therefore, after completing the Japanese Course Registration Authorization, faculty and researchers register for courses using a procedure different from that for students.

Procedure after completing the Japanese Course Registration Authorization

1. You will receive an email from General Japanese Courses containing a form in which you can register your desired classes for Japanese courses and Co-learning in Multicultural Classrooms.

2. Please select your class and submit the form by Monday, October 5th.

3. Class assignment notifications will be sent by email from the Japanese Course Office by Wednesday, October 7.

4. Please attend classes from the first session. (Although class assignments will be sent later, please attend the classes you applied for from the first session.)

11. How to Check Your Registered Class

Students:

Please check your course registration status in the Academic Affairs System.

Faculty and Researchers:

You will receive an email from the Japanese Course Office on Wednesday, October 7, informing you of the class you will attend.

12. Class Withdrawal

Class changes or withdrawals cannot be made after the class enrollment period has ended. If you are unable to continue attending the class, please submit the Class Withdrawal Form below during the period from Wednesday, October 21 to Thursday, October 22.

Course Withdrawal Form: https://forms.gle/AnLcmdAmsX9vvZ5G6

【Notes】

1. General Japanese Courses do not carry academic credit, except for students in designated programs.
2. In principle, students must attend at least 70% of classes. A passing grade is 60% and above.
3. Under no circumstances will late applications be accepted after the Japanese Course Registration Authorization period has ended.
4. Class changes cannot be made after the class enrollment period has ended.

13. Contact Information

・ For questions regarding the General Japanese Courses, please refer to the "Frequently Asked Questions" page below: https://www.hokudai.ac.jp/php/jc/faq/

If your question is not addressed there, please contact us at:

General Japanese Courses

Email: japanese_courses@oia.hokudai.ac.jp

・ For inquiries regarding how to operate the Academic Affairs System, please contact:

Email: k-info@academic.hokudai.ac.jp

・ For inquiries related to ELMS, please use the following method to make your inquiry.

→ From the ELMS Portal: open the menu, select "Help", and submit your inquiry through the Inquiry Form.

2025年度以前に初級クラスを受講していた方

2026年度1学期から、初級カリキュラムが変わりました。日本語レベル、クラス、教科書などが変更になっています。

2025年度までの初級クラスを受講していた方で、これから初級クラスを受講する学生は、このお知らせを確認してから申し込んでください。

1. 2026年度からの新しい初級クラスでは、自分がどのレベルで勉強するか、下の表を見てください。

<table>
<tr><th colspan="3">～2025年度</th><th>2026年度～</th></tr>
<tr><td>初級1</td><td>実用日本語1</td><td rowspan="3">に合格</td><td>初級2 で勉強します</td></tr>
<tr><td>初級2</td><td>実用日本語2</td><td rowspan="2">初級3 で勉強します</td></tr>
<tr><td>初級3</td><td>実用日本語3</td></tr>
<tr><td colspan="3">初級4 に合格</td><td rowspan="2">中級1 で勉強します</td></tr>
<tr><td colspan="3">初中級に合格</td></tr>
</table>

- 文法クラスのレベルと口頭表現クラスのレベルが違う場合、文法クラスのレベルで登録してください。
  例えば、初級文法2 と口頭表現1 に合格した場合は、新しい初級クラスでは、初級3 のクラスに登録できます。
- 初級3と実用日本語3 に合格して、中級1 で勉強したい場合、プレースメントテストを受けてください。
  中級1 のスコア(59～68点)をとることができれば、中級1 で勉強できます。
- ISP の学生の 2026年度からのクラスは、ISP担当からの案内を確認してください。

- 2025年度以前の初級クラスに不合格だった場合は、以下のクラスを申請してください。
  ・初級1/実用日本語1が不合格→初級1レベル
  ・初級2/実用日本語2が不合格→初級2レベル
  ・初級3と初級4/実用日本語3が不合格→初級3レベル
  ※初中級に不合格でも、初級4に合格していれば、中級1で勉強できます。

2. 新しい初級クラスには、4 つのカテゴリーがあります。教科書も変わります。

科目の名前	内容	教科書
理解	日常生活で使う日本語のしくみを学びます	まるごと りかい
やりとり	日常生活のコミュニケーションを学びます	まるごと かつどう
表現	自分の文化・歴史・社会について説明します 生活・社会をテーマにした協働学習をします	先生がプリントを くばります
文字を読む・書く	ひらがな・カタカナ・漢字を学びます	漢字たまご

3. 2025年度以前に漢字・語彙のクラスで勉強していた方へ

漢字・語彙1 に合格	文字を読む・書く 2 で勉強します
漢字・語彙2 に合格	文字を読む・書く 3 で勉強します

※「文字を読む・書く1」は、ひらがな・カタカナから勉強します。

（参考）

新しい初級クラスのシラバスは、以下のリンクから確認出来ます。

https://jpncourse.oia.hokudai.ac.jp/syllabus_web/web/web_menu.php

Information for Students Who Took Introductory Japanese Courses Through the 2025 Academic Year

Starting from the First Semester of the 2026 Academic Year, the Introductory Japanese curriculum has been revised. Japanese levels, class structure, and textbooks have been updated. Students who previously took Introductory Japanese classes through the 2025 Academic Year and wish to continue taking Introductory Japanese classes should read this notice carefully before applying.

1. Students Who Took Introductory Japanese Classes Before the 2025 Academic Year: Please refer to the table below to determine which level of the new Introductory Japanese courses you should register for.

<table>
<tr><th colspan="3">Up to the 2025 Academic Year</th><th>From the 2026 Academic Year</th></tr>
<tr><td>Introductory Japanese 1</td><td>Survival Japanese 1</td><td>Passed</td><td>Introductory Japanese 2</td></tr>
<tr><td>Introductory Japanese 2</td><td>Survival Japanese 2</td><td rowspan="2">Passed</td><td rowspan="2">Introductory Japanese 3</td></tr>
<tr><td>Introductory Japanese 3</td><td>Survival Japanese 3</td></tr>
<tr><td colspan="3">Passed Introductory Japanese 4</td><td rowspan="2">Intermediate Japanese 1</td></tr>
<tr><td colspan="3">Passed Pre-Intermediate Japanese</td></tr>
</table>

- If your Grammar class level and your Communication class level differed in the previous curriculum, please register for the new Introductory Japanese courses based on your Grammar class level.
- For example, if you passed Introductory Grammar 2 and Introductory Communication 1, you are eligible to register for Introductory Japanese 3 in the new curriculum.
- If you have passed Introductory Japanese 3 and Survival Japanese 3 and wish to take Intermediate Japanese 1, please take the placement test. If you obtain a score within the Intermediate 1 range (59–68 points), you will be eligible to register for Intermediate Japanese 1.
- ISP students: For classes starting in the 2026 academic year, please follow the instructions provided by the ISP Office.

- If you did not pass an Introductory Japanese class in or before the 2025 academic year, please apply for the level indicated below:

  ・Not passed Introductory 1 / Survival Japanese 1 → Apply for Introductory 1

  ・Not passed Introductory 2 / Survival Japanese 2 → Apply for Introductory 2

  ・Not passed Introductory 3 or 4 / Survival Japanese 3 → Apply for Introductory 3

  Note: Even if you did not pass Pre-Intermediate Japanese, you may register for Intermediate Japanese 1 if you have passed Introductory Japanese 4.

2. New Introductory Japanese Curriculum: Four Categories and New Textbooks

Course Categories	Contents	Textbook
Comprehension	Learning the Basic Structure of Japanese Used in Daily Life	“Marugoto” Rikai
Interaction	Learning Communication Skills for Daily Life	“Marugoto” Katsudou
Expression	Explaining Your Own Culture, History, and Society Engaging in Collaborative Learning on Themes Related to Daily Life and Society	No textbook required.
Japanese Literacy	Learning Hiragana, Katakana, and Kanji	“Kanji Tamago”

3. For Students Who Took Kanji and Vocabulary Classes Before the 2025 Academic Year

Kanji and Vocabulary 1	Passed	→ Japanese Literacy 2
Kanji and Vocabulary 2		→ Japanese Literacy 3

Note: Japanese Literacy 1 starts with learning from Hiragana and Katakana.

（For Reference）

You can view the syllabus for the new Introductory Japanese classes at the link below.

https://jpncourse.oia.hokudai.ac.jp/syllabus_web/web/web_menu.php

初級・初中級　開講科目一覧
Introductory / Pre-Intermediate Level Courses

2学期（10月1日～2月3日）			Second Semester (October 1 to February 3)	
初級やりとり1A	月・水	/1講時	村上　萌子	むらかみ　もえこ
Introductory Interaction 1A	Mon. Wed.	Period 1	MURAKAMI, Moeko	
初級やりとり1B	火・木	/4講時	菅原　徹子	すがわら　てつこ
Introductory Interaction 1B	Tue. Thu.	Period 4	SUGAWARA, Tetsuko	
初級やりとり1C	水・金	/5講時	屋方　淳子	やかた　じゅんこ
Introductory Interaction 1C	Wed. Fri.	Period 5	YAKATA, Junko	
初級やりとり2A	月・水	/1講時	市川　明美	いちかわ　あけみ
Introductory Interaction 2A	Mon. Wed.	Period 1	ICHIKAWA, Akemi	
初級やりとり2B	水・金	/5講時	菅原　徹子	すがわら　てつこ
Introductory Interaction 2B	Wed. Fri.	Period 5	SUGAWARA, Tetsuko	
初級やりとり3A	月・水	/1講時	髙田　裕子	たかだ　ひろこ
Introductory Interaction 3A	Mon. Wed.	Period 1	TAKADA, Hiroko	
初級やりとり3B	水・金	/4講時	菅原　徹子	すがわら　てつこ
Introductory Interaction 3B	Wed. Fri.	Period 4	SUGAWARA, Tetsuko	
初級表現：リサーチ&プレゼンテーション1	水	/2講時	杜　長俊	と　ちょうしゅん
Introductory Expression：Research & Presentation 1	Wed.	Period 2	Du Changjiun	
初級表現：リサーチ&プレゼンテーション2	水	/2講時	村上　萌子	むらかみ　もえこ
Introductory Expression：Research & Presentation 2	Wed.	Period 2	MURAKAMI, Moeko	
初級表現：リサーチ&プレゼンテーション3	水	/3講時	平田　未季	ひらた　みき
Introductory Expression：Research & Presentation 3	Wed.	Period 3	HIRATA, Miki	
初級表現：ストーリーを読む・書く・語る1	木	/2講時	佐藤　淳子	さとう　じゅんこ
Introductory Expression: Self Expression through Stories 1	Thu.	Period 2	JUNKO, Sato	
初級表現：ストーリーを読む・書く・語る2	木	/2講時	屋方　淳子	やかた　じゅんこ
Introductory Expression: Self Expression through Stories 2	Thu.	Period 2	YAKATA, Junko	
初級表現：ストーリーを読む・書く・語る3	木	/2講時	近藤　弘	こんどう　ひろむ
Introductory Expression: Self Expression through Stories 3	Thu.	Period 2	KONDO, Hiromu	
初級理解1A	火・木	/1講時	浅井　美佐	あさい　みさ
Introductry Comprehension 1A	Tue. Thu.	Period 1	ASAI, Misa	
初級理解1B	火・木	/3講時	富田　麻知子	とみた　まちこ
Introductry Comprehension 1B	Tue. Thu.	Period 3	TOMITA, Machiko	
初級理解1C	月・水	/1講時	南　明世	みなみ　あきよ
Introductry Comprehension 1C	Mon. Wed.	Period 1	MINAMI Akiyo	
初級理解2A	火・木	/1講時	富田　麻知子	とみた　まちこ
Introductry Comprehension 2A	Tue. Thu.	Period 1	TOMITA, Machiko	
初級理解2B	火・木	/5講時	菅原　徹子	すがわら　てつこ
Introductry Comprehension 2B	Tue. Thu.	Period 5	SUGAWARA, Tetsuko	
初級理解3A	月・水	/3講時	パウレ　亜希	ぱうれ　あき
Introductry Comprehension 3A	Mon. Wed.	Period 3	PAULE, Aki	
初級理解3B	火・木	/1講時	鄭　恵先	ちょん　へそん
Introductry Comprehension 3B	Tue. Thu.	Period 1	JUNG, Hyeseon	
初級文字を読む・書く1A	月	/5講時	浅井　美佐	あさい　みさ
Introductory Japanese Literacy 1A	Mon.	Period 5	ASAI, Misa	
初級文字を読む・書く1B	水	/3講時	宮本　志織	みやもと　しおり
Introductory Japanese Literacy 1B	Wed.	Period 3	MIYAMOTO, Shiori	
初級文字を読む・書く1C	金	/1講時	市川　明美	いちかわ　あけみ
Introductory Japanese Literacy 1C	Fri.	Period 1	ICHIKAWA, Akemi	
初級文字を読む・書く2A	月	/2講時	菅原　徹子	すがわら　てつこ
Introductory Japanese Literacy 2A	Mon.	Period 2	SUGAWARA, Tetsuko	
初級文字を読む・書く2B	金	/1講時	髙田　裕子	たかだ　ひろこ
Introductory Japanese Literacy 2B	Fri.	Period 1	TAKADA, Hiroko	
初級文字を読む・書く3A	月	/2講時	山本　さやか	やまもと　さやか
Introductory Japanese Literacy 3A	Mon.	Period 2	YAMAMOTO, Sayaka	
初級文字を読む・書く3B	水	/2講時	南　明世	みなみ　あきよ
Introductory Japanese Literacy 3B	Wed.	Period 2	MINAMI Akiyo	
初中級総合 ※	月・水	/2講時	髙田　裕子	たかだ　ひろこ
Pre-Intermediate General Class	Mon. Wed.	Period 2	TAKADA, Hiroko	

※日本語レベルは、中級１以上　（Japanese level is Intermediate 1 or higher.）

※　クラス決定後、クラス間の移動は出来ません。
Once a class has been determined, you can not transfer between classes.

中級　開講科目一覧
Intermediate Level Courses

2学期（10月1日～2月3日）				Second Semester (October 1 to February 3)
中級やりとり(基礎)1A	月・水	/1講時	山本　さやか	やまもと　さやか
中級やりとり(基礎)1B	火・木	/4講時	今井　史子	いまい　ふみこ
中級やりとり(基礎)2A	月・水	/1講時	延与　由美子	えんよ　ゆみこ
中級やりとり(基礎)2B	火・木	/4講時	村上　萌子	むらかみ　もえこ
中級やりとり(基礎)3A	月・水	/1講時	今井　史子	いまい　ふみこ
中級やりとり(基礎)3B	火・木	/4講時	千葉　佳奈美	ちば　かなみ
中級やりとり(運用)1	金	/4講時	延与　由美子	えんよ　ゆみこ
中級やりとり(運用)2	金	/4講時	山本　さやか	やまもと　さやか
中級やりとり(運用)3	金	/4講時	屋方　淳子	やかた　じゅんこ
中級表現(基礎)1A	月・水	/2講時	浅井　美佐	あさい　みさ
中級表現(基礎)1B	火・木	/3講時	杜　長俊	と　ちょうしゅん
中級表現(基礎)2A	月・水	/2講時	平田　未季	ひらた　みき
中級表現(基礎)2B	火・木	/3講時	山本　さやか	やまもと　さやか
中級表現(基礎)3A	月・水	/2講時	市川　明美	いちかわ　あけみ
中級表現(基礎)3B	火・木	/3講時	山畑　倫志	やまはた　ともゆき
中級表現(運用)1	金	/3講時	二村　年哉	ふたむら　としや
中級表現(運用)2	水	/4講時	山畑　倫志・近藤　弘・杜　長俊	やまはた　ともゆき・こんどう　ひろむ・と　ちょうしゅん
中級表現(運用)3	金	/3講時	鄭　恵先・平田　未季・藤　淳子	佐　ちょん　へそん・ひらた　みき・さとう　じゅんこ
中級理解(基礎)1A	火・木	/1講時	市川　明美	いちかわ　あけみ
中級理解(基礎)1B	火・木	/2講時	阿部　仁美	あべ　ひとみ
中級理解(基礎)2A	月・水	/3講時	平塚　真理	ひらつか　まり
中級理解(基礎)2B	火・木	/2講時	宮本　志織	みやもと　しおり
中級理解(基礎)3A	月・水	/3講時	佐藤　淳子	さとう　じゅんこ
中級理解(基礎)3B	火・木	/2講時	小森　千佳江	こもり　ちかえ
中級理解(運用)1	金	/5講時	黄　美花	ふぁん めいふぁ
中級理解(運用)2	金	/2講時	宮本　志織	みやもと　しおり
中級理解(運用)3	水	/4講時	髙田　裕子	たかだ　ひろこ
中級ビジネス日本語	水	/5講時	水谷　圭子	みずたに　けいこ

※日本語レベルは、中級2以上　（Japanese level is Intermediate 2 or higher.）

上級　開講科目一覧
Advanced Level Courses

2学期（10月1日～2月3日）				Second Semester (October 1 to February 3)
上級やりとり（ロールプレイ）	火・木	/4講時	阿部　仁美	あべ　ひとみ
上級やりとり（インタビュー・プロジェクト）	月・水	/3講時	延与　由美子	えんよ　ゆみこ
上級表現（書く技法）	火・木	/5講時	山畑　倫志	やまはた　ともゆき
上級表現（プレゼンテーション）	月・水	/2講時	近藤　弘	こんどう　ひろむ
上級理解（講義を聴く・資料を読みとる）	火・木	/1講時	杉山　暦	すぎやま　こよみ
上級理解（クリティカル・リーディング）	火・木	/2講時	千葉　佳奈美	ちば　かなみ
日本語演習（東アジアから見る日本近代史）	金	/4講時	巫　靚	う　りゃん
日本語演習（「ことばを学ぶ」を学ぶ）	水	/5講時	佐藤　淳子	さとう　じゅんこ
日本語演習（移住と日本語）	水	/3講時	近藤　弘	こんどう　ひろむ
日本語演習（日本語を分析する）	月	/5講時	鄭　恵先	ちょん　へそん
上級ビジネス日本語	金	/5講時	水谷　圭子	みずたに　けいこ

※　クラス決定後、クラス間の移動は出来ません。

Once a class has been determined, you can not transfer between classes.

2学期（10月1日～2月3日） Second Semester (October 1 to February 3)

初級・初中級レベル時間割　Introductory / Pre-Intermediate Level Time Table

月 Monday					火 Tuesday					水 Wednesday					木 Thursday					金 Friday				
1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
初級理解1C Introductry Comprehension 1C 南　明世 MINAMI Akiyo	初級文字を読む・書く2A Introductory Japanese Literacy 2A 菅原　徹子 SUGAWARA Tetsuko	初級理解3A Introductry Comprehension 3A パウレ　亜希 PAULE Aki		初級文字を読む・書く1A Introductory Japanese Literacy 1A 浅井　美佐 ASAI Misa	初級理解1A Introductry Comprehension 1A 浅井　美佐 ASAI Misa		初級理解1B Introductry Comprehension 1B 富田　麻知子 TOMITA Machiko	初級やりとり1B Introductory Interaction 1B 菅原　徹子 SUGAWARA Tetsuko	初級理解2B Introductry Comprehension 2B 菅原　徹子 SUGAWARA Tetsuko	初級理解1C Introductry Comprehension 1C 南　明世 MINAMI Akiyo	初級文字を読む・書く3B Introductory Japanese Literacy 3B 南　明世 MINAMI Akiyo	初級理解3A Introductry Comprehension 3A パウレ　亜希 PAULE, Aki	初級やりとり3B Introductory Interaction 3B 菅原　徹子 SUGAWARA Tetsuko	初級やりとり1C Introductory Interaction 1C 屋方　淳子 YAKATA Junko	初級理解1A Introductry Comprehension 1A 浅井　美佐 ASAI Misa	初級表現：ストーリーを読む・書く・語る1 Introductory Expression Self Expression through Stories 1 佐藤　淳子 JUNKO Sato	初級理解1B Introductry Comprehension 1B 富田　麻知子 TOMITA Machiko	初級やりとり1B Introductory Interaction 1B 菅原　徹子 SUGAWARA Tetsuko	初級理解2B Introductry Comprehension 2B 菅原　徹子 SUGAWARA Tetsuko	初級文字を読む・書く1C Introductory Japanese Literacy 1C 市川　明美 ICHIKAWA Akemi			初級やりとり3B Introductory Interaction 3B 菅原　徹子 SUGAWARA Tetsuko	初級やりとり1C Introductory Interaction 1C 屋方　淳子 YAKATA Junko
初級やりとり1A Introductory Interaction 1A 村上　萌子 MURAKAMI Moeko	初級文字を読む・書く3A Introductory Japanese Literacy 3A 山本　さやか YAMAMOTO Sayaka				初級理解2A Introductry Comprehension 2A 富田　麻知子 TOMITA Machiko					初級やりとり1A Introductory Interaction 1A 村上　萌子 MURAKAMI Moeko	初中級総合※ Pre-Intermediate General Class 髙田　裕子 TAKADA Hiroko	初級文字を読む・書く1B Introductory Japanese Literacy 1B 宮本　志織 MIYAMOTO, Shiori		初級やりとり2B Introductory Interaction 2B 菅原　徹子 SUGAWARA Tetsuko	初級理解2A Introductry Comprehension 2A 富田　麻知子 TOMITA Machiko	初級表現：ストーリーを読む・書く・語る2 Introductory Expression Self Expression through Stories 2 屋方　淳子 YAKATA Junko				初級文字を読む・書く2B Introductory Japanese Literacy 2B 髙田　裕子 TAKADA Hiroko				初級やりとり2B Introductory Interaction 2B 菅原　徹子 SUGAWARA Tetsuko
初級やりとり2A Introductory Interaction 2A 市川　明美 ICHIKAWA Akemi	初中級総合※ Pre-Intermediate General Class 髙田　裕子 TAKADA Hiroko				初級理解3B Introductry Comprehension 3B 鄭　恵先 JUNG Hyeseon					初級やりとり2A Introductory Interaction 2A 市川　明美 ICHIKAWA Akemi	初級表現：リサーチ&プレゼンテーション1 Introductory Expression：Research & Presentation 1 杜　長俊 Du Changjiun	初級表現：リサーチ&プレゼンテーション3 Introductory Expression：Research & Presentation 3 平田　未季 HIRATA, Miki			初級理解3B Introductry Comprehension 3B 鄭　恵先 JUNG Hyeseon	初級表現：ストーリーを読む・書く・語る3 Introductory Expression Self Expression through Stories 3 近藤　弘 KONDO Hiromu							
初級やりとり3A Introductory Interaction 3A 髙田　裕子 TAKADA Hiroko										初級やりとり3A Introductory Interaction 3A 髙田　裕子 TAKADA Hiroko	初級表現：リサーチ&プレゼンテーション2 Introductory Expression：Research & Presentation 2 村上　萌子 MURAKAMI Moeko													

※日本語レベルは、中級1以上　（Japanese level is Intermediate 1 or higher.）

中上級レベル時間割　Intermediate- and Advanced-level Time Table

月 Monday					火 Tuesday					水 Wednesday					木 Thursday					金 Friday				
1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
中級やりとり(基礎)1A 山本　さやか	中級表現(基礎)1A 浅井　美佐	中級理解(基礎)2A 平塚　真理			中級理解(基礎)1A 市川　明美	中級理解(基礎)1B 阿部　仁美	中級表現(基礎)1B 杜　長俊	中級やりとり(基礎)1B 今井　史子		中級やりとり(基礎)1A 山本　さやか	中級表現(基礎)1A 浅井　美佐	中級理解(基礎)2A 平塚　真理	中級表現(運用)2 山畑　倫志	中級ビジネス日本語※ 水谷　圭子	中級理解(基礎)1A 市川　明美	中級理解(基礎)1B 阿部　仁美	中級表現(基礎)1B 杜　長俊	中級やりとり(基礎)1B 今井　史子				中級表現(運用)1 二村　年哉	中級やりとり(運用)1 延与　由美子	中級理解(運用)1 黄　美花
中級やりとり(基礎)2A 延与　由美子	中級表現(基礎)2A 平田　未季	中級理解(基礎)3A 佐藤　淳子				中級理解(基礎)2B 宮本　志織	中級表現(基礎)2B 山本　さやか	中級やりとり(基礎)2B 村上　萌子		中級やりとり(基礎)2A 延与　由美子	中級表現(基礎)2A 平田　未季	中級理解(基礎)3A 佐藤　淳子	中級表現(運用)2 杜　長俊			中級理解(運用)2B 宮本　志織	中級表現(基礎)2B 山本　さやか	中級やりとり(基礎)2B 村上　萌子			中級理解(運用)2 宮本　志織	中級表現(運用)3 鄭　恵先	中級やりとり(運用)2 山本　さやか	
中級やりとり(基礎)3A 今井　史子	中級表現(基礎)3A 市川　明美					中級理解(基礎)3B 小森　千佳江	中級表現(基礎)3B 山畑　倫志	中級やりとり(基礎)3B 千葉　佳奈美		中級やりとり(基礎)3A 今井　史子	中級表現(基礎)3A 市川　明美		中級表現(運用)2 近藤　弘			中級理解(基礎)3B 小森　千佳江	中級表現(基礎)3B 山畑　倫志	中級やりとり(基礎)3B 千葉　佳奈美				中級表現(運用)3 平田　未季	中級やりとり(運用)3 屋方　淳子	
													中級理解(運用)3 髙田　裕子									中級表現(運用)3 佐藤　淳子		
	上級表現 プレゼンテーション 近藤　弘	上級やりとり インタビュー・プロジェクト 延与　由美子		日本語演習 日本語を分析する 鄭　恵先	上級理解 講義を聴く・資料を読みとる 杉山　晶	上級理解 クリティカル・リーディング 千葉　佳奈美		上級やりとり ロールプレイ 阿部　仁美	上級表現 書く技法 山畑　倫志		上級表現 プレゼンテーション 近藤　弘	上級やりとり インタビュー・プロジェクト 延与　由美子		日本語演習 「ことばを学ぶ」を学ぶ 佐藤　淳子	上級理解 講義を聴く・資料を読みとる 杉山　晶	上級理解 クリティカル・リーディング 千葉　佳奈美		上級やりとり ロールプレイ 阿部　仁美	上級表現 書く技法 山畑　倫志				日本語演習 東アジアから見る日本近代史 姜　麗	上級 ビジネス日本語 水谷　圭子
												日本語演習 移住と日本語 近藤　弘												

※日本語レベルは、中級2以上　（Japanese level is Intermediate 2 or higher.）

多文化交流科目時間割　Co-learning in Multicultural Clasrooms Time Table

月 Monday					火 Tuesday					水 Wednesday					木 Thursday					金 Friday				
1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
			札幌を フィールドワークする 青木　麻衣子	多文化交流・ 映画を通じて モルナール・ レヴェンテ			北海道で暮らす多様な人々の人生を知り、 演じる 近藤　弘	からだ・こころ・ 文化で学ぶ ヘルスケア入門 羅 云潔	学校生活についての 多文化理解と協働探究 杜　長俊			実践！お寺がつなぐ 異世代の生活：澄川・藻岩でまちづくり 山畑　倫志	日本語の コミュニケーション スタイル 鄭　恵先							「国際交流」を 考える 青木　麻衣子		日本語で育つ 子どもたち 式部　絢子	
								日本の魅力を探る 髙橋　彩																

各クラスの日本語レベルは、「多文化交流科目概要」をご覧ください。　Please see "Information of Co-learning in Multicultural Classrooms" for the Japanese language proficiency levels of each class.

初級 Introductory

初級やりとり
Introductory Japanese Interaction

科目名	初級やりとり1A		時間割コード	027736
曜日・講時	月1・水1	時間	08:45～10:15	
担当者	村上　萌子	日本語レベル	初級1	
授業の目標	相手がゆっくり、はっきりと話して、助け船を出してくれるなら、簡単なやりとりをすることができる。			
到達目標	■ 家族、住んでいるところ、好きな食べ物、趣味、1 週間のスケジュールなどの個人的情報について、簡単な質問ができる。 ■ 家族、住んでいるところ、好きな食べ物、趣味、1 週間のスケジュールなどの個人的情報について、簡単な質問に対して答えることができる。			
授業計画	■ 次の 9 つのトピックについて簡単なやりとりを学び、それを使って会話をする。 ・Topic 1.　にほんご：日常の挨拶と、教室で使う言葉を学びます。 ・Topic 2.　わたし：自分の出身、仕事、言語、家族を紹介します。 ・Topic 3.　たべもの：好きな食べ物について話します。 ・Topic 4.　いえ：どんな家に住んでいるかについて話します。 ・Topic 5.　せいかつ：一日や 1 週間のスケジュールについて話します。 ・Topic 6.　やすみのひ 1：趣味について話します。イベントにさそいます。 ・Topic 7.　まち：まちの中で何があるか、どうやっていくかについて話します。 ・Topic 8.　かいもの：ほしいものがどこで買えるか話します。店で買い物をします。 ・Topic 9.　やすみのひ 2：休みの日に何をしたか、どうだったかについて話します。旅行の話をします。 ※テキストでの学習の他に、ペア・グループワークや教室の外での活動を行う。			
準備学習	■ 授業の予習・復習 ■ 授業後の振り返り、自己評価、ポートフォリオの作成 ■ オンラインコース等を用いた自律的な学習			
成績評価の基準と方法	■ 授業(ペア・グループワーク)への参加　20% ■ 課題(授業の成果物の提出・ふりかえり）20% ■ テスト 1 とふりかえり（トピック 1～5）30% ■ テスト 2 とふりかえり（トピック 6～9）30%			
テキスト・教科書	まるごと 日本のことばと文化 かつどう 入門 A1 ■ 必要に応じて教員がハンドアウトを作成し、配布する。 ■ オンライン学習サポートサイト ・みなと：https://minato-jf.jp/ ・まるごと日本語オンラインコース：https://www.marugoto-online.jp/info/jp/ ・まるごと Plus：https://marugotoweb.jp/ja/ ・まるごとのことば：https://words.marugotoweb.jp/top.php?lang=ja			

初級 Introductory

備考	■ 週に 2 回の授業に参加できる学生のみ参加可能。 ■ この授業では、立場や背景が異なる人とことばを通して相互理解することを大切にしています。

Subject	Introductory Japanese Interaction 1A		**Course Code**	027736
Class Period	Mon. 1 & Wed. 1	**Time**	08:45 - 10:15	
Instructor (s)	MURAKAMI, Moeko	**Japanese Level**	Introductory 1	
Course Objectives	If the person you're talking to speaks slowly and clearly and gives you a helping hand, you can manage simple exchanges.			
Course Goals	■ Can ask simple questions about personal information such as family, where they live, favorite foods, hobbies, and weekly schedules ■ Can answer simple questions about personal information such as family, where they live, favorite foods, hobbies, and weekly schedules			
Course Schedule	■ Students will learn and practice short exchanges on the following nine topics and use them as the basis for conversational activities. Topic 1. Japanese: Learn everyday greetings and expressions used in the classroom. Topic 2. Myself: Introduce one's background, occupation, languages, and family. Topic 3. Food: Talk about favorite foods. Topic 4. Home: Describe the type of home one lives in. Topic 5. Daily Life: Talk about daily and weekly schedules. Topic 6. Holidays and Days Off 1: Talk about hobbies and invite others to events. Topic 7. Towns: Talk about what is available in town and how to get there. Topic 8. Shopping: Talk about where to buy desired items and practice shopping in stores. Topic 9. Holidays and Days Off 2: Talk about what one did on days off, how it was, and discuss travel experiences. ※In addition to textbook-based study, students will participate in pair and group work as well as activities conducted outside the classroom.			
Homework	■ Preparation and review for each class ■ Post-class reflection, self-assessment, and portfolio development ■ Autonomy learning using online courses and other resources			
Grading System	■ Class participation (pair and group work): 20% ■ Assignments (submission of class work and reflections): 20% ■ Test1 and reflections (Topics 1–5): 30% ■ Test2 and reflections (Topics 6–9): 30%			

初級 Introductory

Textbooks	Marugoto: Japanese language and culture Starter A1 Coursebook for communicative language activities/ まるごと 日本のことばと文化 かつどう 入門 A1 ■ Teachers will create and distribute handouts as needed. ■ Online Learning Support Site ・みなと：https://minato-jf.jp/ ・まるごと日本語オンラインコース：https://www.marugoto-online.jp/info/jp/ ・まるごと Plus：https://marugotoweb.jp/ja/ ・まるごとのことば：https://words.marugotoweb.jp/top.php?lang=ja
Additional Information	■ Enrollment is open only to students who can commit to attending two classes per week. ■ This course emphasizes mutual understanding through language and interaction among individuals from diverse backgrounds and perspectives.

初級 Introductory

科目名	初級やりとり1B	時間割コード	027737
曜日・講時	火4・木4	時間	14:45-16:15
担当者	菅原 徹子	日本語レベル	初級1
授業の目標	相手がゆっくり、はっきりと話して、助け船を出してくれるなら、簡単なやりとりをすることができる。		
到達目標	・家族、住んでいるところ、好きな食べ物、趣味、1 週間のスケジュールなどの個人的情報について、簡単な質問ができる ・家族、住んでいるところ、好きな食べ物、趣味、1 週間のスケジュールなどの個人的情報について、簡単な質問に対して答えることができる		
授業計画	■ 次の 9 つのトピックについて簡単なやりとりを学び、それを使って会話をします。 ・Topic 1. にほんご：日常の挨拶と、教室で使う言葉を学びます ・Topic 2. わたし：自分の出身、仕事、言語、家族を紹介します ・Topic 3. たべもの：好きな食べ物について話します。 ・Topic 4. いえ：どんな家に住んでいるかについて話します。 ・Topic 5. せいかつ：一日や 1 週間のスケジュールについて話します ・Topic 6. やすみのひ 1：趣味について話します。イベントにさそいます。 ・Topic 7. まち：まちの中で何があるか、どうやっていくかについて話します。 ・Topic 8. かいもの：ほしいものがどこで買えるか話します。店で買い物をします。 ・Topic 9. やすみのひ 2：休みの日に何をしたか、どうだったかについて話します。旅行の話をします。		
準備学習	■ 授業の予習・復習 ■ 授業外の課題への取り組み ＊協働型になる項目もあります ■ 自律的な学習：オンラインコースによる自習、自己評価、ポートフォリオの作成等		
成績評価の基準と方法	■ 平常点（参加態度、ペア練習、準備学習、宿題）30% ■ テストとふりかえり（トピック 1～3）20% ■ テストとふりかえり（トピック 4－6）20% ■ テストとふりかえり（トピック 7－9）30%		
テキスト・教科書	『まるごと 日本のことばと文化 かつどう 入門 A1』 Marugoto: Japanese Language and Culture – Activity Introduction A1		
備考	■ クラスの人数によって予定が変わることがあります。 ■ 週に 2 回の授業に参加できる学生のみ参加可能。 ■ この授業では、立場や背景が異なる人とことばを通して相互理解することを大切にしています		

初級 Introductory

Subject	Introductory Japanese Interaction 1B		Course Code	027737
Class Period	Tue. 4 & Thu. 4	Time	14:45-16:15	
Instructor (s)	SUGAWARA, Tetsuko	Japanese Level	Introductory 1	
Course Objectives	If the person you're talking to speaks slowly and clearly and gives you a helping hand, you can manage simple exchanges.			
Course Goals	・Can ask simple questions about personal information such as family, where they live, favorite foods, hobbies, and weekly schedules ・Can answer simple questions about personal information such as family, where they live, favorite foods, hobbies, and weekly schedules			
Course Schedule	■ Learn simple interactions about the following 9 topics and use them to have conversations. ・Topic 1. Japanese: Learn everyday greetings and classroom vocabulary ・Topic 2. About Me: Introduce your hometown, job, language, and family ・Topic 3. Food: Talk about your favorite foods. ・Topic 4. Home: Talk about what kind of house you live in. ・Topic 5. Daily Life: Talk about your daily or weekly schedule. ・Topic 6. Days Off 1: Talk about hobbies. Invite someone to an event. ・Topic 7. Town: Talk about what's in town and how to get there. ・Topic 8. Shopping: Talk about where to buy things you want. Shop at stores. ・Topic 9. Days Off 2: Talk about what you did on your day off and how it was. Talk about trips.			
Homework	■ Preparing for and reviewing lessons ■ Completing assignments outside of class *Some assignments may be collaborative ■ Self-directed learning: Independent study through online courses, self-assessment, portfolio creation, etc.			
Grading System	■ Daily Performance: (Participation, Pair Practice, Preparation、Homework) 30% ■ Tests and Reflections (Topics 1-3) 20% ■ Tests and Reflections (Topics 4-6) 20% ■ Tests and Reflections (Topics 7-9) 30%			
Textbooks	『まるごと 日本のことばと文化 かつどう 入門A1』 Marugoto: Japanese Language and Culture - Activity Introduction A1			
Additional Information	■ The schedule may change depending on the number of students in the class. ■ Only students who can attend classes twice a week can participate. ■ This class emphasizes mutual understanding through conversation with people from diverse backgrounds and perspectives.			

初級 Introductory

科目名	初級やりとり1C	時間割コード	027738
曜日・講時	水5・金5	時間	16:30-18:00
担当者	屋方 淳子	日本語レベル	初級1
授業の目標	相手がゆっくり、はっきりと話して、助け船を出してくれるなら、簡単なやりとりをすることができる。		
到達目標	・家族、住んでいるところ、好きな食べ物、趣味、1 週間のスケジュールなどの個人的情報について、簡単な質問ができる ・家族、住んでいるところ、好きな食べ物、趣味、1 週間のスケジュールなどの個人的情報について、簡単な質問に対して答えることができる		
授業計画	■ 次の 9 つのトピックについて簡単なやりとりを学び、それを使って会話をします。 ・Topic 1.　にほんご：日常の挨拶と、教室で使う言葉を学びます ・Topic 2.　わたし：自分の出身、仕事、言語、家族を紹介します ・Topic 3.　たべもの：好きな食べ物について話します。 ・Topic 4.　いえ：どんな家に住んでいるかについて話します。 ・Topic 5.　せいかつ：一日や 1 週間のスケジュールについて話します ・Topic 6.　やすみのひ 1：趣味について話します。イベントにさそいます。 ・Topic 7.　まち：まちの中で何があるか、どうやっていくかについて話します。 ・Topic 8.　かいもの：ほしいものがどこで買えるか話します。店で買い物をします。 ・Topic 9.　やすみのひ 2：休みの日に何をしたか、どうだったかについて話します。旅行の話をします。		
準備学習	■ 授業の予習・復習 ■ 授業外の課題への取り組み　＊協働型になる項目もあります ■ 自律的な学習：オンラインコースによる自習、自己評価、ポートフォリオの作成等		
成績評価の基準と方法	自己評価・ポートフォリオの作成　20% ワーク（個人・グループ）40% テスト（トピック 1～5）20% テスト（トピック 6－9）20%		
テキスト・教科書	まるごと 日本のことばと文化 かつどう 入門 A1　　国際交流基金　　三修社		
備考	■ 週に 2 回の授業に参加できる学生のみ参加可能。 ■ この授業では、立場や背景が異なる人とことばを通して相互理解することを大切にしています		

初級 Introductory

Subject	Introductory Japanese Interaction 1C	**Course Code**	027738
Class Period	Wed. 5 & Fri. 5	**Time**	16:30-18:00
Instructor (s)	YAKATA, Junko	**Japanese Level**	Introductory 1
Course Objectives	If the person you're talking to speaks slowly and clearly and gives you a helping hand, you can manage simple exchanges.		
Course Goals	・Can ask simple questions about personal information such as family, where they live, favorite foods, hobbies, and weekly schedules ・Can answer simple questions about personal information such as family, where they live, favorite foods, hobbies, and weekly schedules		
Course Schedule	■ Learn simple interactions about the following 9 topics and use them to have conversations. ・Topic 1. Japanese: Learn everyday greetings and classroom vocabulary ・Topic 2. About Me: Introduce your hometown, job, language, and family ・Topic 3. Food: Talk about your favorite foods. ・Topic 4. Home: Talk about what kind of house you live in. ・Topic 5. Daily Life: Talk about your daily or weekly schedule. ・Topic 6. Days Off 1: Talk about hobbies. Invite someone to an event. ・Topic 7. Town: Talk about what's in town and how to get there. ・Topic 8. Shopping: Talk about where to buy things you want. Shop at stores. ・Topic 9. Days Off 2: Talk about what you did on your day off and how it was. Talk about trips.		
Homework	■ Preparing for and reviewing lessons ■ Completing assignments outside of class *Some assignments may be collaborative ■ Self-directed learning: Independent study through online courses, self-assessment, portfolio creation, etc.		
Grading System	■ Daily Performance: (Participation, Pair Practice, Preparation、Homework) 30% ■ Tests and Reflections (Topics 1–3) 20% ■ Tests and Reflections (Topics 4–6) 20% ■ Tests and Reflections (Topics 7–9) 30%		
Textbooks	まるごと 日本のことばと文化 かつどう 入門 A1　国際交流基金　　三修社		
Additional Information	■ Only students who can attend twice-weekly classes are eligible to participate. ■ This class emphasizes mutual understanding through conversation with people from diverse backgrounds and perspectives.		

初級 Introductory

科目名	初級やりとり 2A	時間割コード	027739
曜日・講時	月1・水1	時間	08:45～10:15
担当者	市川 明美	日本語レベル	初級2
授業の目標	・身近で日常の事柄について簡単に説明することができる。 ・自分が興味のあるテーマについて会話を続けることができる。		
到達目標	・趣味、おすすめの場所、健康法、自分の持ち物、待ち合わせの時間や場所、自分の国の習慣や文化などについて、簡単な説明ができる。 ・友だちの持ち物をほめたり、許可を求めたり、遅刻の理由を言って謝ったりすることで、人間関係を築くことができる。		
授業計画	■ 日常で使える一言フレーズを学び自然な会話能力を身につける。 ■ 次の 9 つのトピックについて簡単なやりとりを学び、それを使って会話をする。 ・Topic 1.わたしとかぞく：家族や自分がどこに住んでいるか、何をしているか、簡単に話します ・Topic 2. きせつとてんき：季節の変化について簡単に話します ・Topic 3.わたしのまち：自分の街のおすすめの場所について話します ・Topic 4. でかける：待ち合わせの時間と場所について話します ・Topic 5.がいこくごとがいこくぶんか：外国の文化と自分の関わりについて話します ・Topic 6.そとで食べる：ピクニックにもっていくものについて話します。味について簡単にコメントします。 ・Topic 7.しゅっちょう：オフィスのものを使っていいか聞きます。見送りの挨拶をします。 ・Topic 8.けんこう：体にいいことを勧めます。健康のために何をしているか話します。 ・Topic 9.おいわい：ともだちの持ち物をほめます。自分の国のプレゼントの習慣について話します。		
準備学習	■ 授業の予習・復習 ■ 授業外の課題への取り組み ＊協働型になる項目もあります。 ■ 自律的な学習：ポートフォリオの作成等		
成績評価の基準と方法	平常点（参加態度、ペア練習、準備学習）40% テストとふりかえり（トピック 1～5）30% テストとふりかえり（トピック 6－9）30%		
テキスト・教科書	まるごと 日本のことばと文化 かつどう 初級 1 A2 国際交流基金 三修社		
備考	■ 週に 2 回の授業に参加できる学生のみ参加可能。 ■ この授業では、立場や背景が異なる人とことばを通して相互理解することを大切にしています。		

初級 Introductory

Subject	Introductory Japanese Interaction 2A	**Course Code**	027739
Class Period	Mon. 1 & Wed. 1	**Time**	08:45 - 10:15
Instructor (s)	ICHIKAWA, Akemi	**Japanese Level**	Introductory 2
Course Objectives	・Can easily explain familiar, everyday topics within a simple, everyday context. ・Can sustain a conversation on themes such as the culture, history, and customs of countries they are interested in or their country of origin.		
Course Goals	・Can ask simple questions about personal information such as family, where they live, favorite foods, hobbies, and weekly schedules ・Can answer simple questions about personal information such as family, where they live, favorite foods, hobbies, and weekly schedules		
Course Schedule	・Short, practical phrases are introduced to help students develop naturalconversational skills. ・Learning simple interactions and practicing conversation across nine different topics. Topic1.Talk briefly about where you/your family live and what you/they do Topic2. Talk about the change of seasons Topic3. Tell a friend about a place/area of your recommendation, using a map of your town Topic4.Talk with a friend about the time and place you will meet. Topic5. Say what languages you have studied and when. Topic6. Discuss what to take for a picnic Topic7. Talk about someone visiting your office on a business trip and the date of his/her visit Topic8. Ask a friend how he/she is feeling / Answer how you are feeling Topic9. Compliment a friend on his/her things		
Homework	Preparation and Review Assignments and Collaborative Tasks Autonomous Learning and Portfolio Development		
Grading System	・Class Participation and Performance: 40% (Active participation, pair practice, and preparation/home study) ・Test and Reflection (Topics 1–5): 30% ・Test and Reflection (Topics 6–9): 30%		
Textbooks	まるごと 日本のことばと文化　かつどう 初級 1　A2　国際交流基金　　三修社		
Additional Information	・Course Requirements: This course is open only to students who can attend classes twice a week. ・Course Philosophy / Mission: In this course, we value the process of mutual understanding through language, connecting individuals from diverse backgrounds and perspectives.		

初級 Introductory

科目名	初級やりとり 2B	時間割コード	027740
曜日・講時	水5・金5	時間	16:30～18:00
担当者	菅原 徹子	日本語レベル	初級2
授業の目標	・簡単で日常的な範囲なら、身近で日常の事柄について簡単に説明することができる。 ・自分が興味のある国や出身国の文化、歴史、習慣などをテーマについて会話を続けることができる。		
到達目標	・趣味、おすすめの場所、健康法、自分の持ち物、待ち合わせの時間や場所、自分の国の習慣や文化などについて、簡単な説明ができる。 ・友だちの持ち物をほめたり、許可を求めたり、遅刻の理由を言って謝ったりすることで、人間関係を築くことができる。		
授業計画	■ 次の 9 つのトピックについて簡単なやりとりを学び、それを使って会話をします。 ・Topic 1.わたしとかぞく：家族や自分がどこに住んでいるか、何をしているか、簡単に話します ・Topic 2.　きせつとてんき：季節の変化にうちて簡単に話します ・Topic 3.わたしのまち：自分の街のおすすめの場所について話します ・Topic 4.　でかける：待ち合わせの時間と場所について話します ・Topic 5.がいこくごとがいこくぶんか：外国の文化と自分の関わりについて話します ・Topic 6.そとで食べる：ピクニックにもっていくものについて話します。味について簡単にコメントします。 ・Topic 7. しゅっちょう：オフィスのものを使っていいか聞きます。見送りの挨拶をします。 ・Topic 8. けんこう：体にいいことを勧めます。健康のために何をしているか話します。 ・Topic 9. おいわい：ともだちの持ち物をほめます。自分の国のプレゼントの習慣について話します。		
準備学習	■ 授業の予習・復習 ■ 授業外の課題への取り組み　＊協働型になる項目もあります。 ■ 自律的な学習：オンラインコースによる自習、自己評価、ポートフォリオの作成等		
成績評価の基準と方法	■ 平常点（参加態度、ペア練習、準備学習、宿題）30% ■ テストとふりかえり（トピック 1～3）20% ■ テストとふりかえり（トピック 4－6）20% ■ テストとふりかえり（トピック 7－9）30%		
テキスト・教科書	『まるごと 日本のことばと文化 かつどう　初級 1　A2』　‘Marugoto: Japanese Language and Culture - Activity - Beginner Level 1 A2’		
備考	■ 受講の前提条件として、ひらがな・カタカナが６０%程度読めること。自己紹介や住んでいる場所、休みの日の過ごし方などについて話すことができること。 ■ 1 回目の授業でレベルチェックを行うので、必ず出席すること。 ■ 担当教員の判断で異なるレベルのクラスへの移動を促されることがあります。		

初級 Introductory

	■ クラスの人数によって予定が変わることがあります。 ■ 週に 2 回の授業に参加できる学生のみ参加可能。 ■ この授業では、立場や背景が異なる人とことばを通して相互理解することを大切にしています

Subject	Introductory Japanese Interaction 2B		**Course Code**	027740
Class Period	Wed. 5 & Fri. 5	**Time**	16:30～18:00	
Instructor (s)	SUGAWARA, Tetsuko	**Japanese Level**	Introductory 2	
Course Objectives	・Can easily explain familiar, everyday topics within a simple, everyday context. ・Can sustain a conversation on themes such as the culture, history, and customs of countries they are interested in or their country of origin.			
Course Goals	・Can ask simple questions about personal information such as family, where they live, favorite foods, hobbies, and weekly schedules ・Can answer simple questions about personal information such as family, where they live, favorite foods, hobbies, and weekly schedules			
Course Schedule	■ Learn simple interactions about the following 9 topics and use them to have conversations. ・Topic 1. Me and My Family: Talk briefly about family, where you live, and what you do. ・Topic 2. Seasons and Weather: Talk briefly about seasonal changes. ・Topic 3. My Town: Talk about recommended places in your town. ・Topic 4. Going Out: Discuss meeting times and locations. ・Topic 5. Foreign Countries and Cultures: Discuss foreign cultures and your connection to them. ・Topic 6. Eating Outdoors: Discuss what to bring on a picnic. Briefly comment on flavors. ・Topic 7. Business Trips: Asking to use office supplies. Saying goodbye. ・Topic 8. Health: Recommending healthy habits. Talking about what you do for your health. ・Topic 9. Celebrations: Complimenting a friend's belongings. Talking about gift-giving customs in your country.			
Homework	■ Preparing for and reviewing lessons ■ Completing assignments outside of class *Some assignments may be collaborative ■ Self-directed learning: Independent study through online courses, self-assessment, portfolio creation, etc.			

初級 Introductory

Grading System	■ Daily Performance: (Participation, Pair Practice, Preparation, Homework) 30% ■ Tests and Reflections (Topics 1–3) 20% ■ Tests and Reflections (Topics 4–6) 20% ■ Tests and Reflections (Topics 7–9) 30%
Textbooks	『まるごと 日本のことばと文化 かつどう　初級 1　A2』　'Marugoto: Japanese Language and Culture - Activity - Beginner Level 1 A2'
Additional Information	■ As a prerequisite for enrollment, students should be able to read approximately 60% of hiragana and katakana, and be able to talk about topics such as self-introductions, where they live, and how they spend their days off. ■ A level check will be conducted on the first day of class; attendance is mandatory. ■ Students may be advised to move to a class at a different level at the instructor's discretion. ■ The schedule may change depending on the number of students in the class. ■ Only students who can attend classes twice a week can participate. ■ This class emphasizes mutual understanding through conversation with people from diverse backgrounds and perspectives.

初級 Introductory

科目名	初級やりとり 3A	時間割コード	027741
曜日・講時	月1・水1	時間	08:45～10:15
担当者	高田　裕子	日本語レベル	初級3
授業の目標	・自分の背景や身の回りの状況など、直接的な必要性のある領域の事柄について、具体的に説明できる。 ・自身の経験について状況や理由を説明したり、簡単なエピソードを話すことができる。		
到達目標	自分の名前の意味、料理の作り方、よく知らない人についての印象、食べられないもの、有名な人について知ったことなどについて、具体的に説明できる。 ・旅行の経験、エコ活動、子どものころの思い出などについて簡単なエピソードを説明することができる。		
授業計画	■ 次の 9 つのトピックについて簡単なやりとりを学び、それを使って会話をします。 ・Topic 1.新しい友だち：名前の意味を説明します。趣味や経験について少し詳しく話します。人の印象や特徴を話します。 ・Topic 2.　店で食べる：料理の食べ方を説明します。食べられないものと理由について話します。 ・Topic 3.沖縄旅行：旅行の経験について話します。参加したツアーについて感想を話します。 ・Topic 4.　日本まつり：友だちにイベントのボランティアを頼みます。イベントの時間や場所について聞きます・言います。 ・Topic 5. とくべつな日：自分の国や街のイベントについて話します。正月休みをどう過ごしたか友だちに話します。 ・Topic 6.ネットショッピング：ネットショッピングについてどう思うか話します。2 つの商品を比べてどう思うか話します。 ・Topic 7. れきしと文化の町：有名な場所について話します。博物館のルールについて話します ・Topic 8. せいかつとエコ：自分のエコ活動について話します。ものを無駄にしないために何をしているか話します。 ・Topic 9. じんせい：有名な人を好きになったきっかけについて話します。子ども・学生の時の思い出を話します。新しいことを始めたきっかけやその後のへんかについて話します。		
準備学習	■ 授業の予習・復習 ■ 授業外の課題への取り組み　＊協働型になる項目もあります。 ■ 自律的な学習：オンラインコースによる自習、自己評価、ポートフォリオの作成等		
成績評価の基準と方法	平常点（参加態度、ペア練習、準備学習）30% テストとふりかえり（トピック 1～3）20% テストとふりかえり（トピック 4－6）20% テストとふりかえり（トピック 7－9）30%		

初級 Introductory

テキスト・教科書	まるごと 日本のことばと文化 かつどう 初級 2 A2 独立行政法人国際交流基金 三修社　2025
備考	■ 全てのひらがな・カタカナの読み書きができること。 ■ クラスの人数によって予定が変わることがあります。 ■ 週に 2 回の授業に参加できる学生のみ参加可能。 ■ この授業では、立場や背景が異なる人とことばを通して相互理解することを大切にしています。

Subject	Introductory Japanese Interaction 3A		**Course Code**	027741
Class Period	Mon. 1 & Wed. 1	**Time**	08:45 - 10:15	
Instructor (s)	TAKADA, Hiroko	**Japanese Level**	Introductory 3	
Course Objectives	・Can explain in detail matters related to one's background or immediate surroundings, where there is a direct need. ・Can describe the circumstances and reasons behind one's experiences or recount simple events.			
Course Goals	・Can explain in detail the meaning of one's name, how to prepare a dish, impressions of someone not well known, things one cannot eat, and things learned about famous people. ・Can describe simple events such as travel experiences, eco-friendly activities, and childhood memories.			
Course Schedule	■ Learn simple exchanges on the following 9 topics and use them to have conversations. ・Topic 1. New Friends: Explain the meaning of your name. Talk a little more about your hobbies and experiences. Discuss impressions and characteristics of people. ・Topic 2. Eating Out: Explain how to eat dishes. Talk about foods you can't eat and why. ・Topic 3. Okinawa Trip: Talk about travel experiences. Share impressions of tours you participated in. ・Topic 4. Japanese Festival: Ask a friend to volunteer at an event. Ask about/state the event's time and location. ・Topic 5. Special Days: Talk about events in your country or city. Tell your friends how you spent your New Year's holiday. ・Topic 6. Online Shopping: Discuss your thoughts on online shopping. Compare two products and share your opinions. ・Topic 7. Towns of History and Culture: Talk about famous places. Discuss museum rules. ・Topic 8. Life and Eco: Talk about your eco-friendly activities. Discuss what you do to avoid wasting things. ・Topic 9. Life: Talk about what made you like a famous person. Share memories from your childhood or student days. Discuss what prompted you to start something new and how you changed afterward.			

初級 Introductory

Homework	■ Preparing for and reviewing lessons ■ Completing assignments outside of class *Some assignments may be collaborative. ■ Self-directed learning: Independent study through online courses, self-assessment, portfolio creation, etc.
Grading System	Regular Grades (Attendance, Pair Practice, Preparation) 30% Tests and Reflections (Topics 1–3) 20% Tests and Reflections (Topics 4–6) 20% Tests and Reflections (Topics 7–9) 30%
Textbooks	まるごと 日本のことばと文化 かつどう 初級 2 A2 独立行政法人国際交流基金　　三修社　　2025
Additional Information	■ Preparing for and reviewing lessons ■ Completing assignments outside of class *Some assignments may be collaborative. ■ Self-directed learning: Independent study through online courses, self-assessment, portfolio creation, etc.

初級 Introductory

科目名	初級やりとり 3B	時間割コード	027742
曜日・講時	水4・金4	時間	14:45～16:15
担当者	菅原 徹子	日本語レベル	初級3
授業の目標	・自分の背景や身の回りの状況など、直接的な必要性のある領域の事柄について、具体的に説明できる。 ・自身の経験について状況や理由を説明したり、簡単なエピソードを話すことができる。		
到達目標	自分の名前の意味、料理の作り方、よく知らない人についての印象、食べられないもの、有名な人について知ったことなどについて、具体的に説明できる。 ・旅行の経験、エコ活動、子どものころの思い出などについて簡単なエピソードを説明することができる。		
授業計画	■ 次の 9 つのトピックについて簡単なやりとりを学び、それを使って会話をします。 ・Topic 1.新しい友だち：名前の意味を説明します。趣味や経験について少し詳しく話します。人の印象や特徴を話します。 ・Topic 2.　店で食べる：料理の食べ方を説明します。食べられないものと理由について話します。 ・Topic 3.沖縄旅行：旅行の経験について話します。参加したツアーについて感想を話します。 ・Topic 4.　日本まつり：友だちにイベントのボランティアを頼みます。イベントの時間や場所について聞きます・言います。 ・Topic 5. とくべつな日：自分の国や街のイベントについて話します。正月休みをどう過ごしたか友だちに話します。 ・Topic 6.ネットショッピング：ネットショッピングについてどう思うか話します。2 つの商品を比べてどう思うか話します。 ・Topic 7. れきしと文化の町：有名な場所について話します。博物館のルールについて話します ・Topic 8. せいかつとエコ：自分のエコ活動について話します。ものを無駄にしないために何をしているか話します。 ・Topic 9. じんせい：有名な人を好きになったきっかけについて話します。子ども・学生の時の思い出を話します。新しいことを始めたきっかけやその後のへんかについて話します。		
準備学習	■ 授業の予習・復習 ■ 授業外の課題への取り組み　＊協働型になる項目もあります。 ■ 自律的な学習：オンラインコースによる自習、自己評価、ポートフォリオの作成等		
成績評価の基準と方法	平常点（参加態度、ペア練習、準備学習）30% テストとふりかえり（トピック 1～3）20% テストとふりかえり（トピック 4－6）20% テストとふりかえり（トピック 7－9）30%		

初級 Introductory

テキスト・教科書	『まるごと 日本のことばと文化 かつどう 初級 2 A2』
備考	■ 受講の前提条件として、ひらがな・カタカナの読み書きができること。 ■ 1 回目の授業でレベルチェックを行うので、必ず出席すること。 ■ 担当教員の判断で異なるレベルのクラスへの移動を促されることがあります。 ■ クラスの人数によって予定が変わることがあります。 ■ 週に 2 回の授業に参加できる学生のみ参加可能。 ■ この授業では、立場や背景が異なる人とことばを通して相互理解することを大切にしています。

Subject	Introductory Japanese Interaction 3B			Course Code	027742
Class Period	Wed. 4 & Fri. 4	Time	14:45〜16:15		
Instructor (s)	SUGAWARA, Tetsuko	Japanese Level	Introductory 3		
Course Objectives	・Can explain in detail matters related to one's background or immediate surroundings, where there is a direct need. ・Can describe the circumstances and reasons behind one's experiences or recount simple events.				
Course Goals	・Can explain in detail the meaning of one's name, how to prepare a dish, impressions of someone not well known, things one cannot eat, and things learned about famous people. ・Can describe simple events such as travel experiences, eco-friendly activities, and childhood memories.				
Course Schedule	■ Learn simple exchanges on the following 9 topics and use them to have conversations. ・Topic 1. New Friends: Explain the meaning of your name. Talk a little more about your hobbies and experiences. Discuss impressions and characteristics of people. ・Topic 2. Eating Out: Explain how to eat dishes. Talk about foods you can't eat and why. ・Topic 3. Okinawa Trip: Talk about travel experiences. Share impressions of tours you participated in. ・Topic 4. Japanese Festival: Ask a friend to volunteer at an event. Ask about/state the event's time and location. ・Topic 5. Special Days: Talk about events in your country or city. Tell your friends how you spent your New Year's holiday. ・Topic 6. Online Shopping: Discuss your thoughts on online shopping. Compare two products and share your opinions. ・Topic 7. Towns of History and Culture: Talk about famous places. Discuss museum rules. ・Topic 8. Life and Eco: Talk about your eco-friendly activities. Discuss what you do to avoid wasting things. ・Topic 9. Life: Talk about what made you like a famous person. Share memories from your childhood or student days. Discuss what prompted you to start something new and how you				

初級 Introductory

	changed afterward.
Homework	■ Preparing for and reviewing lessons ■ Completing assignments outside of class *Some assignments may be collaborative. ■ Self-directed learning: Independent study through online courses, self-assessment, portfolio creation, etc.
Grading System	■ Daily Performance: (Participation, Pair Practice, Preparation, Homework) 30% ■ Tests and Reflections (Topics 1–3) 20% ■ Tests and Reflections (Topics 4–6) 20% ■ Tests and Reflections (Topics 7–9) 30%
Textbooks	『まるごと 日本のことばと文化 かつどう 初級２A2』
Additional Information	■ As a prerequisite for enrollment, students must be able to read and write hiragana and katakana. ■ A level check will be conducted on the first day of class; attendance is mandatory. ■ Students may be advised to move to a class at a different level at the instructor’s discretion. ■ The schedule may change depending on the number of students in the class. ■ Only students who can attend classes twice a week can participate. ■ This class emphasizes mutual understanding through conversation with people from diverse backgrounds and perspectives.

初級 Introductory

初級表現
Introductory Japanese Expression

科目名	初級表現:リサーチ＆プレゼンテーション 1		時間割コード	027751
曜日・講時	水2	時間	10:30～12:00	
担当者	杜　長俊	日本語レベル	初級1	
授業の目標	日常生活に関わるテーマについてのインタビュー調査を行い、その結果について簡単に説明することができる。			
到達目標	■ 名前、出身、専門、年齢等の自己紹介、1 日のスケジュールや休みの過ごし方、好きな食べ物、趣味、好きなことやしたいこと、今住んでいるところ、家族構成など、日常生活や身近にあるテーマについて、簡単な事実を話すことができる ■ 自分の留学生生活について写真アルバムを作ってわかりやすく説明することができる。 ■「いつ」「どこ」「なに」「だれ」などの質問を使って、北大で暮らしている学生にインタビューし、自分との違いについて簡単なプレゼンテーションをすることができる			
授業計画	＊授業の前半では、生活のテーマについて話す活動＋北大の学生にインタビューをする活動をします。 第 1 回　オリエンテーション 第 2～7 回生活のテーマについて話す 第 8 回　インタビューの準備 第 9 回　インタビューの実施 第 10 回　インタビューで分かったことを発表する ＊授業の後半は、写真アルバムを作って、自分の留学生活を紹介する活動をします。 第 11 回　写真アルバムの構成について考える 第 12 回　写真のキャプションをつくる 第 13 回　写真アルバムを完成する 第 14 回　紹介のリハーサルをする 第 15 回　北大の学生に写真アルバムを見せて留学生活を紹介する			
準備学習	・生活のテーマについて話すための写真やものを用意する ・写真アルバムを作るための写真を用意する ・日本語の使用について記録をする			
成績評価の基準と方法	■ 平常点　40%（参加態度、ペア・グループワーク、準備学習、日本語使用の記録） ■ インタビューと発表：30% ■ 写真アルバム＋紹介：30%			
テキスト・教科書				
備考	ペアワーク・グループワークがメインとなる授業であるため、積極的な参加が求められる。			

初級 Introductory

Subject	Introductory Japanese Expression: Research & Presentation 1			**Course Code**	027751
Class Period	Wed. 2	**Time**	10:30 - 12:00		
Instructor (s)	DU Changjiun	**Japanese Level**	Introductory 1		
Course Objectives	Can conduct interview surveys on themes related to daily life and briefly explain the results.				
Course Goals	■ Can speak about simple facts related to daily life and familiar topics, such as self-introduction (name, hometown, major, age, etc.), daily schedule and how they spend their days off, favorite foods, hobbies, things they like or want to do, where they currently live, and family composition. ■ Can create a photo album about their life as an international student and explain it clearly. ■ Can interview students living at Hokkaido University using questions like “When?”, “Where?”, “What?”, and “Who?”, then give a simple presentation on the differences between them and oneself.				
Course Schedule	＊In the first half of the course, we will engage in activities discussing themes of daily life and interviewing Hokkaido University students. Session 1: Orientation Sessions 2-7: Discussing themes of daily life Session 8: Preparing for interviews Session 9: Conducting interviews Session 10: Presenting findings from interviews ＊In the latter half of the course, we will create photo albums to introduce your study abroad experience. Session 11: Planning the Photo Album Layout Session 12: Creating Photo Captions Session 13: Completing the Photo Album Session 14: Rehearsing the Presentation Session 15: Showing the Photo Album to Hokkaido University Students and Introducing Your Study Abroad Experience				
Homework					
Grading System	■ Regular Grades: 40% (Attendance, Pair/Group Work, Preparation, Japanese Usage Log) ■ Interview and Presentation: 30% ■ Photo Album + Introduction: 30%				
Textbooks					
Additional Information	Since this class primarily involves pair work and group work, active participation is required.				

初級 Introductory

科目名	初級表現:リサーチ＆プレゼンテーション 2	時間割コード	027752
曜日・講時	水2	時間	10:30～12:00
担当者	村上　萌子	日本語レベル	初級2
授業の目標	異文化体験・語学学習等について調査を行い、その結果の説明と感想を示すことができる。また、発表された内容についてクラスメイトとディスカッションをすることができる。		
到達目標	・留学生の日本での生活(異文化体験・語学学習等)について調査し、その結果と考察を発表することができる。 ・他者による説明・発表の要点を理解し、質疑応答をすることができる。		
授業計画	(1) 日本での留学生活や国・地域の文化に関するトピックについて、簡単な調査（写真を撮る・データを調べる・インタビューする）を行い、その結果をクラスメイトに報告する。それぞれの結果について、意見や感想を話し合う。 第 1 回　ガイダンス・アイスブレイク 第 2～9 回　トピックについて調査する。調査結果を報告して話し合う。 ※トピックの例…食生活、季節と天気、言語と方言、町並み、健康とストレス (2)自分自身の日本/北海道/札幌での経験や、(1)で行った調査をもとに、自分が考える「日本/北海道/札幌の生活・文化」についてプレゼンテーションする。 第 10～12 回　プレゼンテーションの準備 第 13 回　プレゼンテーションのリハーサル 第 14 回　プレゼンテーション 第 15 回　全体の振り返り		
準備学習	毎回の授業の前と後で、指示された課題に取り組む必要がある。 (1)事前課題 ・授業で必要な写真などを用意する。 ・知っている人に簡単なインタビューを行う。 (2)事後課題 ・調査の結果を簡単にまとめる。 ・授業での話し合いを振り返る。		
成績評価の基準と方法	・授業（ペア・グループワーク）への参加 20% ・事前課題（調査） 20% ・事後課題（まとめ・振り返り） 20% ・プレゼンテーション 40%		
テキスト・教科書			
備考	授業の中でパソコンやタブレットを用いた調査や発表を行う。パソコンやタブレットを持ってくるのが難しい人は、講師に相談すること。		

初級 Introductory

Subject	Introductory Japanese Expression: Research & Presentation 2		**Course Code**	027752
Class Period	Wed. 2	**Time**	10:30 - 12:00	
Instructor (s)	MURAKAMI, Moeko	**Japanese Level**	Introductory 2	
Course Objectives	Can conduct research on cross-cultural experiences and language learning, explain the findings, and share reflections. Can also engage in discussions with classmates about the presented content.			
Course Goals	- Can research international students' experiences in Japan (including cross-cultural experiences and language learning) and present findings and analysis. - Can understand key points in others' explanations and presentations and participate in question-and-answer sessions.			
Course Schedule	(1) Students will conduct simple research on topics related to life in Japan and the cultures of different countries or regions (e.g., taking photographs, collecting data, or conducting interviews). They will report their findings to classmates and engage in discussions by sharing opinions and impressions about that. Session 1: Course orientation and ice-breaking activities Sessions 2–9: Research on assigned topics; reporting the results and class discussion Examples of topics include: food culture, seasons and weather, language and dialects, townscapes, health and stress. (2) Based on their own experiences in Japan/Hokkaido/Sapporo and the research conducted in (1), students will give a presentation on their perspectives on “life and culture in Japan/Hokkaido/Sapporo.” Sessions 10–12: Preparation for presentations Session 13: Presentation rehearsal Session 14: Presentations Session 15: Overall reflection and course wrap-up			
Homework	Students are required to complete assigned tasks before and after each class session. (1) Pre-class assignments ・Prepare materials needed for class, such as photographs. ・Conduct short interviews with people they know. (2) Post-class assignments ・Briefly summarize the results of their research. ・Reflect on the class discussion.			
Grading System	・Participation in class activities (pair and group work): 20% ・Pre-class assignments (research): 20% ・Post-class assignments (summary and reflection): 20% ・Presentation: 40%			
Textbooks				
Additional Information	Class activities require the use of a computer or tablet for research and presentations. If you cannot bring a device, please contact the instructor.			

初級 Introductory

科目名	初級表現:リサーチ＆プレゼンテーション 3		時間割コード	027753
曜日・講時	水3	時間	13:00～14:30	
担当者	平田 未季	日本語レベル	初級3	
授業の目標	様々な話題について、関連する情報を活用しながら、明確かつ詳細に記述・表現することができる。			
到達目標	(1)表現を使い分ける、表や図などのデータを使うなどして、客観的な説明をすることができる。 (2)先行研究を引用しながら、自分の考えを述べることができる。 (3)聞き手にとって分かりやすいプレゼンテーションをすることができる。			
授業計画	＜文章表現＞ ・論文において適切な語彙、適切な文、適切な構成を学ぶ。 ・表や図を使って意見を述べる方法を学ぶ。 ・日本語での引用のしかたを学ぶ。 ・先行研究を引用しながら、賛成／反対の意見を書く。 ＜口頭表現＞ ・データを使って発表する。 ・根拠のある意見を言う。 ・聞き手を意識した発表をする。			
準備学習	クラスの中で教員が指示する。			
成績評価の基準と方法	テスト試験 20%、発表 30%、課題 50%			
テキスト・教科書				
備考	・1 回目の授業でレベルチェックテストをするので、必ず出席すること。 ・担当教員の判断で異なるレベルのクラスへの移動を促されることがある。			

初級 Introductory

Subject	Introductory Japanese Expression: Research & Presentation 3			**Course Code**	027753
Class Period	Wed. 3	**Time**	13:00～14:30		
Instructor (s)	HIRATA, Miki	**Japanese Level**	Introductory 3		
Course Objectives	This course aims to have students describe and comment on various topics clearly and precisely using related information.				
Course Goals	Students will acquire the ability to: (1) appropriately use expressions with mutually similar meanings, and objectively present the facts of similarities, differences and transitions in situations using expressions for describing the data of tables and figures; (2) express their opinions using quotations; and (3) conduct an audience-friendly presentation.				
Course Schedule	(Written expression) Students will engage in: - learning appropriate vocabulary, sentences and structures; - writing opinions using the data of tables and figures; - learning the quotation method in Japanese; and - writing pro/con opinions on previous studies. (Oral expression) Students will engage in: - making presentations using the data; - expressing their opinions based on the evidence; and - conducting presentationsd designed for audience.				
Homework	Teachers will give instructions to students in classes.				
Grading System	Examinations: 20%; presentations: 30%; assignments: 50%				
Textbooks					
Additional Information	- Attendance at the first class is mandatory because students are supposed to take a test to check their levels. - Students may be suggested to change a class with a different level based on the instructor's judgement.				

初級 Introductory

初級表現
Introductory Japanese Expression

科目名	初級表現:ストーリーを読む・書く・語る 1		時間割コード	027754
曜日・講時	木2	時間	10:30～12:00	
担当者	佐藤 淳子	日本語レベル	初級1	
授業の目標	1.身近なテーマについての簡単な文を理解することができるようになる。 2.身近な物事について、話すための準備をすれば、伝えることができるようになる。			
到達目標	1.身近なテーマについての簡単な文を、聞いたり読んだりして、理解できる。 2.自分の身のまわりの物事について、イラスト・動画・写真・文字などを使って、ある程度の長さで伝えることができる。 3.短いストーリーについての話を聞いて、その内容を理解することができる。 4.文字を見ながら、短い文をすらすらと声に出して読むことができる。			
授業計画	人数によって、内容やスケジュールが変わる可能性があります。 ＜第 1 週＞　ガイダンス ＜第 2～7 週＞ ・ひらがな、カタカナをすらすら読めるようになる 　さまざまなテーマについての簡単な文を、たくさん、聞いたり読んだりする。 ・短い発表をする 　自分の身のまわりの物事について、イラスト・動画・写真・文字などを使って、短く伝える。 ＜第 9～14 週） ・入門レベルの漢字を含む文章をすらすら読めるようになる 　さまざまなテーマについての文章を、たくさん、聞いたり読んだりする。 ・まとまった発表をする 　自分の身のまわりの物事について、イラスト・動画・写真・文字などを使って、ある程度の長さで伝える。 ＜第 8 週と第 15 週） ストーリーを読む・書く・語る２、３のクラスと合同授業を行う。			
準備学習	１分くらいの短い発表をする機会があります。その授業の前には発表の準備をしてきてください。			
成績評価の基準と方法	課題など提出物：40% 発表：40％ 話し合いのときの発話など、「授業への貢献度」：20％			
テキスト・教科書				
備考	授業が始まるまでに、「ひらがな」と「カタカナ」は、ほとんど読めるようにしておいてください。			

初級 Introductory

Subject	Introductory Japanese Expression: Self Expression through Stories 1			**Course Code**	027754
Class Period	Thu. 2	**Time**	10:30 - 12:00		
Instructor (s)	SATO, Junko	**Japanese Level**	Introductory 1		
Course Objectives	1. Students will be able to understand simple texts on familiar topics. 2. Students will be able to communicate about familiar matters when given time to prepare.				
Course Goals	1. Students will be able to understand simple texts on familiar topics through listening and reading. 2. Students will be able to communicate about matters in their immediate surroundings, using illustrations, videos, photographs, and/or written text, in a reasonably sustained manner. 3. Students will be able to listen to short stories and understand their content. 4. Students will be able to read short sentences aloud smoothly while looking at the written text.				
Course Schedule	The course content and schedule may be adjusted depending on class size. ＜Week 1＞ Course guidance and introduction ＜Weeks 2–7＞ ・Develop the ability to read hiragana and katakana fluently. Listen to and read a large amount of simple sentences on various topics. ・Give short presentations. Communicate briefly about matters in daily life using illustrations, videos, photos, and written text. ＜Weeks 9–14＞ ・Develop the ability to read texts fluently that include introductory-level kanji. Listen to and read a large amount of texts on various topics. ・Give longer, more organized presentations. Communicate about matters in daily life in moderately extended form using illustrations, videos, photos, and written text. ＜Weeks 8 and 15＞ Joint class session with Storytelling: Reading, Writing, and Speaking 2 and 3				
Homework	Students will have opportunities to give short presentations (about one minute). Please prepare your presentation before the class session in which you will present.				
Grading System	・Assignments and other submitted work: 40% ・Presentations: 40% ・Contribution to class (e.g., participation in discussions and speaking activities): 20%				
Textbooks					
Additional Information	Before the course begins, students should be able to read almost all hiragana and katakana.				

初級 Introductory

科目名	初級表現:ストーリーを読む・書く・語る 2	時間割コード	027755
曜日・講時	木2	時間	10:30～12:00
担当者	屋方 淳子	日本語レベル	初級2
授業の目標	■ 日常生活・行事などについての展開がある物語を読むことができる。また、説明することができる。		
到達目標	■ 昔話、季節の行事、日常生活などについての展開がある物語を読むことができる。 ■ 日常生活の出来事や自分にとって思い入れのある行事等について、いくつかの視点(いつ、どこ、誰等)から簡単に説明することができる。 ■ 日常生活の出来事や行事などについての簡単な説明を聞いて、内容を理解し、コメントや質問をすることができる。		
授業計画	■ 第1週 ガイダンス ■ 第2週～第7週 ・さまざまなテーマについての物語を読む ・読んだ物語について、感想を共有する ・読んだ物語の内容や感想を他の人に伝える ■ 第9週～第14週 ・日常生活の出来事や行事などについての文章を読む ・日常生活の出来事や行事などについて説明する ・話しの内容を理解し、コメントや質問をする ■ 第8週と第15週 ・「ストーリーを読む・書く・語る」1・3と合同授業		
準備学習	・ワークや発表の準備 ・ふり返りシートの記入・提出		
成績評価の基準と方法	ふり返りシート 20% ワーク（個人・グループ） 40% 発表 40%		
テキスト・教科書			
備考	・このクラスは、プレースメントテストで初級2レベルにプレースされた学生と「ストーリーを読む・書く・語る1」を終えた学生が対象です。 ・「ひらがな」と「カタカナ」が読める学生が対象です。		

初級 Introductory

Subject	Introductory Japanese Expression: Self Expression through Stories 2		**Course Code**	027755
Class Period	Thu. 2	**Time**	10:30 - 12:00	
Instructor (s)	YAKATA, Junko	**Japanese Level**	Introductory 2	
Course Objectives	■ Students can read stories that unfold around daily life and events. They also become able to explain the content of these stories.			
Course Goals	■ Students will be able to read stories that develop around folktales, seasonal events, and daily life. ■ Students will be able to briefly describe events in their daily lives or events that are meaningful to them from several perspectives (such as when, where, who, etc.). ■ Students will be able to understand simple explanations about events in daily life or events, and make comments or ask questions.			
Course Schedule	■ Week 1: Course guidance and introduction ■ Weeks 2–7 ・Read stories on various themes ・Share impressions about the stories read ・Communicate the content and impressions of the stories to others ■ Week 9–Week 14 ・Read stories about daily life and events ・briefly describe events in their daily lives or events that are meaningful to them ・Understand the content of a story and make comments or ask questions ■ Week 8 and Week 15 ・Joint class session with Storytelling：Reading, Writing, and Speaking 1 & 3			
Homework	・ Preparing for assignments and presentations ・ Completing and submitting reflection sheets			
Grading System	Reflection sheets: 20% Activity participation (individual/group)：40% Presentations：40%			
Textbooks				
Additional Information	・This class is for students who were placed at Beginner Level 2 in the placement test and those who have completed “Reading, Writing, and Speaking Stories 1.” ・This class is for students who can read hiragana and katakana.			

初級 Introductory

科目名	初級表現:ストーリーを読む・書く・語る 3	時間割コード	027756
曜日・講時	木2	時間	10:30～12:00
担当者	近藤　弘	日本語レベル	初級3
授業の目標	■ 自分自身が持つ価値観、文化、歴史、社会などについて説明することができる。 ■ 人々の生活についての語り・物語を読み・聞き、その内容を理解することができる。また、自分自身のこれまでと現在について振り返り、具体的に説明することができる。 ■ ナラティヴ(語り・物語)の実践を通して他者理解力及び自己理解力を育む		
到達目標	■ 海外や日本社会で暮らす人々の生活についてのストーリーを読み・聞き、その内容を理解した上で、クラスメイトとディスカッションをすることができる ■ 自分自身のこれまでと現在について振り返り、具体的に説明することができる。 ■ 誰かの人生についての語り・物語を聞き、その内容を理解し、相手のことをより深く理解するための質問をすることができる。		
授業計画	■ ガイダンス ■ Part1：「わたし」のこれまでとこれから ・「人生の木」を描く・語る・聞く（2,3,4 週） ・自分史を書く・語る・聞く（5,6 週） ・ポスターセッション「わたし」（リハーサル 7 週/本番 8 週） ・自己評価と感想の共有（8 週） ■ Part2：日本・海外で暮らす人たちの生活と語り ・日本・海外で暮らす人たちのストーリーを読む(9 週) ・海外生活をテーマにしたインタビュー（9～14 週） ーテーマの設定と質問の準備（9,10,11） ー海外で暮らす人たちの語りを聞く（12 週） ー発表準備（13,14 週） ・プレゼンテーション：インタビューとストーリーの紹介（15 週） ・自己評価と感想の共有 ■ ＋ α ・ストーリーを読む・書く・語る 1,2 との合同クラス(8,15 週)		
準備学習	・文献購読 ・成果物の準備・作成 ・自己評価・振り返りシート・感想の記入と提出		
成績評価の基準と方法	・自己評価及び振り返りシート：20% ・感想の共有：10% ・ワーク（個人及びグループ）：30% ・成果物：40%		
テキスト・教科書			
備考	■ ハンドアウトの共有や成果物の提出・評価は Google classroom 上で行います。 ■ ペア・グループワークをメインとしている授業であるため、積極的な参加が求められま		

初級 Introductory

	す。 ■ このクラスは、主にプレースメントテストで初級３レベルにプレースされた学生と「ストーリーを読む・書く・語る２」を終えた学生を対象としています。 ■ 想定するレベルと異なるレベルの学習者でも履修は可能ですが、授業初日に教員と相談する必要があります。 ■ この授業では、立場や背景が異なる人とことばを通して相互理解することを大切にしています。

Subject	Introductory Japanese Expression: Self Expression through Stories 3			**Course Code**	027756
Class Period	Thu. 2	**Time**	10:30 - 12:00		
Instructor (s)	KONDO, Hiromu	**Japanese Level**	Introductory 3		
Course Objectives	■ Students will be able to explain their own values, culture, history, and society. ■ Students will be able to read and listen to narratives about people's lives and understand their content. They will also be able to reflect on their own past and present and explain them concretely. ■ Through narrative practice, students will cultivate their ability to understand others and themselves.				
Course Goals	■ Students will be able to read and listen to stories about the lives of people living overseas and in Japanese society, understand their content, and discuss them with classmates. ■ Students will be able to reflect on their own past and present and explain them concretely. ■ Students will be able to listen to someone's life story or narrative, understand its content, and ask questions to gain a deeper understanding of the speaker.				
Course Schedule	■ Guidance ■ Part1: My Past and Future ・Drawing, Sharing, and Listening to the “Tree of Life” (Weeks 2, 3, 4) ・Writing, Sharing, and Listening to Personal Histories (Weeks 5, 6) ・Poster Session “About me” (Rehearsal Week 7 / Presentation Week 8) ・Self-Assessment and Sharing Reflections (Week 8) ■ Part 2: Lives and Narratives of People Living in Japan and Abroad ・Reading Stories of People Living in Japan and Abroad (Week 9) ・Interviews on Overseas Life (Weeks 9-14) －Setting Themes and Preparing Questions (Weeks 9, 10, 11) －Listening to Narratives of People Living Abroad (Week 12)				

初級 Introductory

	－Presentation Preparation (Weeks 13, 14) ・Presentation: Introducing interviews and stories (Week 15) ・Self-assessment and sharing reflections ■ ＋α ・Joint class with Introductory Expression Self Expression through Stories 1 & 2 (Weeks 8 & 15)
Homework	・Reading Literature ・Preparing and Creating Products ・Completing and Submitting Self-Assessment, Reflection Sheets, and Feedback
Grading System	・Self-assessment and reflection sheet: 20% ・Sharing reflections: 10% ・Activity participation (individual and group): 30% ・Product: 40%
Textbooks	
Additional Information	■ Handouts will be shared, and assignments submitted and graded via Google Classroom. ■ This class mainly involves pair and group work, so active participation is required. ■ This class is primarily intended for students placed at Introductory Level 3 in the placement test and those who have completed “Reading, Writing, and Speaking Stories 2.” ■ Students at levels different from the intended level can also enroll, but must consult with the instructor on the first day of class. ■ This class values mutual understanding through language with people of different positions and backgrounds.

初級 Introductory

初級理解
Introductory Japanese Comprehension

科目名	初級理解1A		時間割コード	027729
曜日・講時	火1・木1	時間	08:45～10:15	
担当者	浅井　美佐	日本語レベル	初級1	
授業の目標	日常場面でのコミュニケーションに必要な入門(A1)レベルの日本語の仕組みを理解する			
到達目標	･具体的な欲求を満足させるための、よく使われる日常的表現と基本的な言い回しを理解し、用いることもできる。 ･最も基本的な文構造(名詞文、形容詞文、動詞文の現在と過去など)の理解。			
授業計画	■ 以下の場面やトピックでコミュニケーションを取る際（基本的で簡単なやりとりと説明）に、必要な表現や基本的な文構造及び文法の理解と運用 ・Topic 1. にほんご（L1,2）：ひらがなとカタカナ ・Topic 2. わたし（L3,4）：はじめて会った人へのあいさつ、家族 ・Topic 3. たべもの（L5,6）：食習慣と好きな食べもの ・Topic 4.いえ（L7,8）：自分の家、友達の家 ・Topic 5. せいかつ（L9,10）：生活習慣 ・Topic 6. やすみのひ 1（L11,12）：趣味、友人をイベントに誘う ・Topic 7. まち（L13,14）：自分の街の有名な場所と行き方 ・Topic 8. かいもの（L15,16）：プレゼント、買い物 ・Topic 9. やすみのひ 2（L17,18）：休みの日に行った・行きたい場所			
準備学習	■ 授業の予習・復習 ■ 授業外の課題への取り組み　＊協働型になる項目もあります。 ■ 自律的な学習：オンラインコースによる自習、自己評価、ポートフォリオの作成等			
成績評価の基準と方法	■ 平常点　20%（参加態度、ペア・グループワーク、準備学習、自己評価等） ■ 語彙/文法クイズ　20% ■ 中間テスト　30% ■ 期末テスト　30%			
テキスト・教科書	まるごと 日本のことばと文化 入門 A1 りかい			
備考	■ 週に 2 回の授業に参加できる学生のみ参加可能。 ■ この授業では、立場や背景が異なる人とことばを通して相互理解することを大切にしています			

初級 Introductory

Subject	Introductory Japanese Comprehension 1A		**Course Code**	027729
Class Period	Tue. 1 & Thu. 1	**Time**	08:45 - 10:15	
Instructor (s)	ASAI, Misa	**Japanese Level**	Introductory 1	
Course Objectives	Be able to understand the structure of Japanese at the introductory (A1) level necessary for communication in everyday situations.			
Course Goals	■ Understand and be able to use common everyday expressions and basic phrases necessary to satisfy specific needs. ■ Understand the most basic sentence structures (noun/adjective/verb sentences, present and past tense, etc.).			
Course Schedule	■ Students will be able to understand and use necessary expressions, basic sentence structures, and grammar when communicating in the following situations and topics (basic and simple exchanges and explanations): ・Topic 1. Japanese (L1,2): Hiragana and Katakana ・Topic 2. Myself (L3,4): Greetings to people you meet for the first time, family ・Topic 3. Food (L5,6): Habits and favorite foods ・Topic 4. Home (L7,8): My house, friends' houses ・Topic 5. Daily Life (L9,10): Daily routines ・Topic 6. Days Off 1 (L11,12): Hobbies, inviting friends to events ・Topic 7. Town (L13,14): Famous places in your town and how to get there ・Topic 8. Shopping (L15,16): Gifts, shopping ・Topic 9. Days Off 2 (L17,18): Places you went or want to go on days off			
Homework	■ Preparing for and reviewing lessons ■ Completing tasks outside of class *Some tasks may be collaborative. ■ Self-directed learning: Independent study through online courses, self-assessment, portfolio creation, etc.			
Grading System	■ Regular Participation: 20% (Attendance, Pair/Group Work, Preparation, Self-Assessment, etc.) ■ Vocabulary and Expressions Quizzes: 20% ■ Midterm Test: 30% ■ Final Test: 30%			
Textbooks	まるごと 日本のことばと文化 入門 A1 りかい			
Additional Information	■ Only students who can attend twice-weekly classes are able to participate. ■ This class values mutual understanding through conversation with people of different backgrounds and perspectives.			

初級 Introductory

科目名	初級理解1B	時間割コード	027730
曜日・講時	火3・木3	時間	13:00-14:30
担当者	富田 麻知子	日本語レベル	初級1
授業の目標	日常場面でのコミュニケーションに必要な入門(A1)レベルの日本語の仕組みを理解する。		
到達目標	■ 具体的な欲求を満足させるための、よく使われる日常的表現と基本的な言い回しを理解し、用いることもできる。 ■ 最も基本的な文構造(名詞文、形容詞文、動詞文の現在と過去など)の理解。		
授業計画	■ 以下の場面やトピックでコミュニケーションを取る際（基本的で簡単なやりとりと説明)に、必要な表現や基本的な文構造及び文法の理解と運用 ・Topic1. にほんご（L1,2)：ひらがなとカタカナ ・Topic 2. わたし（L3,4)：はじめて会った人へのあいさつ、家族 ・Topic 3. たべもの（L5,6)：食習慣と好きな食べもの ・Topic 4.いえ（L7,8)：自分の家、友達の家 ・Topic 5. せいかつ（L9,10)：生活習慣 ・Topic 6. やすみのひ 1（L11,12)：趣味、友人をイベントに誘う ・Topic 7. まち（L13,14)：自分の街の有名な場所と行き方 ・Topic 8. かいもの（L15,16)：プレゼント、買い物 ・Topic 9. やすみのひ 2（L17,18)：休みの日に行った・行きたい場所		
準備学習	■ 授業の予習・復習 ■ 自律的な学習：オンラインコースによる自習		
成績評価の基準と方法	■ 平常点 40%（参加態度、ペア・グループワーク、準備学習） ■ 中間テスト（トピック 1～5）30% ■ 期末テスト（トピック 6－9）30%		
テキスト・教科書	『まるごと 日本のことばと文化 入門 A1 りかい』 独立行政法人国際交流基金 三修社		
備考	週に 2 回の授業に参加できる学生のみ参加可能。		

初級 Introductory

Subject	Introductory Japanese Comprehension 1B		**Course Code**	027730
Class Period	Tue. 3 & Thu. 3	**Time**	13:00-14:30	
Instructor (s)	TOMITA, Machiko	**Japanese Level**	Introductory 1	
Course Objectives	Be able to understand the structure of Japanese at the introductory (A1) level necessary for communication in everyday situations.			
Course Goals	■ Understand and be able to use common everyday expressions and basic phrases necessary to satisfy specific needs. ■ Understand the most basic sentence structures (noun/adjective/verb sentences, present and past tense, etc.).			
Course Schedule	■ Understanding and using necessary expressions, basic sentence structures, and grammar for communication in the following situations and topics (basic and simple exchanges and explanations) ・Topic 1. Japanese (L1,2): Hiragana and Katakana ・Topic 2. Myself (L3,4): Greetings to people you meet for the first time, family ・Topic 3. Food (L5,6): Eating habits and favorite foods ・Topic 4. Home (L7,8): My house, a friend's house ・Topic 5. Daily Life (L9,10): Daily routines ・Topic 6. Days Off 1 (L11,12): Hobbies, inviting friends to events ・Topic 7. Town (L13,14): Famous places in your town and how to get there ・Topic 8. Shopping (L15,16): Gifts, shopping ・Topic 9. Days Off 2 (L17,18): Places you went or want to go on days off			
Homework	■ Preparation and review for classes ■ Self-directed learning: Independent study through online courses			
Grading System	■ Classroom performance 40% ■ Mid-term Exam (Topic 1 -5)　30% ■ Final Exam (Topic 6 - 9) 30%			
Textbooks	『まるごと 日本のことばと文化 入門 A1 りかい』 独立行政法人国際交流基金 三修社			
Additional Information	Students are expected to attend all classes (2 classes per week).			

初級 Introductory

科目名	初級理解1C	時間割コード	027731
曜日・講時	月 1・水 1	時間	08:45～10:15
担当者	南　明世	日本語レベル	初級1
授業の目標	日常場面でのコミュニケーションに必要な入門(A1)レベルの日本語の仕組みを理解する。		
到達目標	■ 具体的な欲求を満足させるための、よく使われる日常的表現と基本的な言い回しを理解し、用いることもできる。 ■ 最も基本的な文構造(名詞文、形容詞文、動詞文の現在と過去など)の理解。		
授業計画	■ 以下の場面やトピックでコミュニケーションを取る際（基本的で簡単なやりとりと説明）に、必要な表現や基本的な文構造及び文法の理解と運用 ・Topic1. にほんご（L1,2）：ひらがなとカタカナ ・Topic 2. わたし（L3,4）：はじめて会った人へのあいさつ、家族 ・Topic 3. たべもの（L5,6）：食習慣と好きな食べもの ・Topic 4.いえ（L7,8）：自分の家、友達の家 ・Topic 5. せいかつ（L9,10）：生活習慣 ・Topic 6. やすみのひ 1（L11,12）：趣味、友人をイベントに誘う ・Topic 7. まち（L13,14）：自分の街の有名な場所と行き方 ・Topic 8. かいもの（L15,16）：プレゼント、買い物 ・Topic 9. やすみのひ 2（L17,18）：休みの日に行った・行きたい場所		
準備学習	■ 授業の予習・復習 ■ 授業外の課題への取り組み　＊協働型になる項目もあります。 ■ 自律的な学習：オンラインコースによる自習、自己評価、ポートフォリオの作成等		
成績評価の基準と方法	■ 平常点　40%（参加態度、ペア・グループワーク、準備学習、自己評価等） ■ テストとふりかえり（トピック 1～5）30% ■ テストとふりかえり（トピック 6－9）30%		
テキスト・教科書	『まるごと 日本のことばと文化 入門 A1 りかい』		
備考	■ 週に 2 回の授業に参加できる学生のみ参加可能。 ■ この授業では、立場や背景が異なる人とことばを通して相互理解することを大切にしています。		

初級 Introductory

Subject	Introductory Japanese Comprehension 1C		**Course Code**	027731
Class Period	Mon. 1 & Wed. 1	**Time**	08:45〜10:15	
Instructor (s)	MINAMI, Akiyo	**Japanese Level**	Introductory 1	
Course Objectives	Be able to understand the structure of Japanese at the introductory (A1) level necessary for communication in everyday situations.			
Course Goals	■ Understand and be able to use common everyday expressions and basic phrases necessary to satisfy specific needs. ■ Understand the most basic sentence structures (noun/adjective/verb sentences, present and past tense, etc.).			
Course Schedule	■ Students will be able to understand and use necessary expressions, basic sentence structures, and grammar when communicating in the following situations and topics (basic and simple exchanges and explanations): ・Topic 1. Japanese (L1,2): Hiragana and Katakana ・Topic 2. Myself (L3,4): Greetings to people you meet for the first time, family ・Topic 3. Food (L5,6): Habits and favorite foods ・Topic 4. Home (L7,8): My house, friends' houses ・Topic 5. Daily Life (L9,10): Daily routines ・Topic 6. Days Off 1 (L11,12): Hobbies, inviting friends to events ・Topic 7. Town (L13,14): Famous places in your town and how to get there ・Topic 8. Shopping (L15,16): Gifts, shopping ・Topic 9. Days Off 2 (L17,18): Places you went or want to go on days off			
Homework	■ Preparing for and reviewing lessons ■ Completing tasks outside of class *Some tasks may be collaborative. ■ Self-directed learning: Independent study through online courses, self-assessment, portfolio creation, etc.			
Grading System	■ Regular Participation: 40% (Attendance, Pair/Group Work, Preparation, Self-Assessment, etc.) ■ Tests and Reflections (Topics 1–5): 30% ■ Tests and Reflections (Topics 6–9): 30%			
Textbooks	『まるごと 日本のことばと文化 入門 A1 りかい』			
Additional Information	■ Only students who can attend twice-weekly classes are able to participate. ■ This class values mutual understanding through conversation with people of different backgrounds and perspectives.			

初級 Introductory

科目名	初級理解2A	時間割コード	027732
曜日・講時	火1・木1	時間	08:45～10:15
担当者	富田 麻知子	日本語レベル	初級2
授業の目標	日常場面でのコミュニケーションのために必要な初級前半レベル(A2-1)の日本語のしくみを理解する。		
到達目標	■ ごく基本的な個人的情報や家族情報、買い物、近所、仕事など、学習者と直接的に関係があるテーマについて話す際によく使われる文、表現、日本語のしくみを理解し、用いることもできる。 ■ 自分の意見を述べる際に必要な日本語の仕組みを理解する。		
授業計画	■ 以下の場面やトピックでコミュニケーションを取る際（日常的なやりとり・説明・意見を述べる等）に必要な表現や基本的な文構造及び文法を学習する。 ・Topic 1. 私と家族(Lesson 1,2)：わたし、家族、趣味、余暇 ・Topic 2. 季節と天気(Lesson 3,4)：わたしの国の気候・季節、天気 ・Topic 3. 私の町(Lesson 5,6)：わたしの町、道案内 ・Topic 4. 出かける(Lesson 7,8)：待ち合わせ、町の案内、誘い ・Topic 5. 外国語と外国文化(Lesson 9,10)：外国語・文化の経験、助けを求める・求められる ・Topic 6. 外で食べる(Lesson 11,12)：ピクニック、食べ物の感想 ・Topic 7. 出張(Lesson 13,14)：海外経験、アテンド、 ・Topic 8. 健康(Lesson 15,16)：体調、習慣、アンケート ・Topic 9. お祝い(Lesson 17,18)：プレゼント、意見を述べる		
準備学習	■ 授業の予習・復習 ■ 自律的な学習：オンラインコースによる自習		
成績評価の基準と方法	■ 平常点 40%（参加態度、ペア・グループワーク、準備学習） ■ 中間テスト（トピック 1～5）30% ■ 期末テスト（トピック 6－9）30%		
テキスト・教科書	『まるごと 日本のことばと文化 初級 1 A2 りかい』 独立行政法人国際交流基金 三修社		
備考	週に 2 回の授業に参加できる学生のみ参加可能。		

初級 Introductory

Subject	Introductory Japanese Comprehension 2A		**Course Code**	027732
Class Period	Tue. 1 & Thu. 1	**Time**	08:45〜10:15	
Instructor (s)	TOMITA, Machiko	**Japanese Level**	Introductory 2	
Course Objectives	Be able to understand the structure of Japanese at the lower-intermediate level (A2-1) necessary for communication in everyday situations.			
Course Goals	■ Understand and be able to use sentences, expressions, and Japanese language structures commonly used when discussing topics directly related to the learner (such as very basic personal information, family information, shopping, the neighborhood, work, etc.). ■ Understand the Japanese language structures necessary for expressing one's own opinions.			
Course Schedule	■ Understanding and applying necessary expressions, basic sentence structures, and grammar for communication in the following situations and topics (daily interactions, explanations, expressing opinions, etc.) ・Topic 1. Me and My Family (Lessons 1,2): Myself, family, hobbies, leisure time ・Topic 2. Seasons and Weather (Lessons 3,4): Climate/seasons in my country, weather ・Topic 3. My Town (Lessons 5,6): My town, giving directions ・Topic 4. Going Out (Lessons 7,8): Meeting up, guiding around town, invitations ・Topic 5. Foreign Languages and Cultures (Lessons 9,10): Experiences with foreign languages/cultures, asking for/receiving help ・Topic 6. Eating Out (Lessons 11,12): Picnics, impressions of food ・Topic 7. Business Trips (Lessons 13,14): Overseas Experiences, Hosting ・Topic 8. Health (Lessons 15,16): Physical Condition, Habits, Surveys ・Topic 9. Celebrations (Lessons 17,18): Gifts, Expressing Opinions			
Homework	■ Preparation and review for classes ■ Self-directed learning: Independent study through online courses			
Grading System	■ Classroom performance 40% ■ Mid-term Exam (Topic 1 -5) 30% ■ Final Exam (Topic 6 - 9) 30%			
Textbooks	『まるごと 日本のことばと文化 初級 1 A2 りかい』 独立行政法人国際交流基金 三修社			
Additional Information	Students are expected to attend all classes (2 classes per week).			

初級 Introductory

科目名	初級理解2B	時間割コード	027733
曜日・講時	火5・木5	時間	16:30～18:00
担当者	菅原 徹子	日本語レベル	初級2
授業の目標	日常場面でのコミュニケーションのために必要な初級前半レベル(A2-1)の日本語のしくみを理解する。		
到達目標	■ ごく基本的な個人的情報や家族情報、買い物、近所、仕事など、学習者と直接的に関係があるテーマについて話す際によく使われる文、表現、日本語のしくみを理解し、用いることもできる。 ■ 自分の意見を述べる際に必要な日本語の仕組みを理解する。		
授業計画	■ 以下の場面やトピックでコミュニケーションを取る際（日常的なやりとり・説明・意見を述べる等）に必要な表現や基本的な文構造及び文法を学習する。 ・Topic 1.　私と家族(Lesson 1,2)：わたし、家族、趣味、余暇 ・Topic 2. 季節と天気(Lesson 3,4)：わたしの国の気候・季節、天気 ・Topic 3. 私の町(Lesson 5,6)：わたしの町、道案内 ・Topic 4. 出かける(Lesson 7,8)：待ち合わせ、町の案内、誘い ・Topic 5. 外国語と外国文化(Lesson 9,10)：外国語・文化の経験、助けを求める・求められる ・Topic 6. 外で食べる(Lesson 11,12)：ピクニック、食べ物の感想 ・Topic 7. 出張(Lesson 13,14)：海外経験、アテンド、 ・Topic 8. 健康(Lesson 15,16)：体調、習慣、アンケート ・Topic 9. お祝い(Lesson 17,18)：プレゼント、意見を述べる		
準備学習	■ 授業の予習・復習 ■ 授業外の課題への取り組み　＊協働型になる項目もあります。 ■ 自律的な学習：オンラインコースによる自習、自己評価、ポートフォリオの作成等		
成績評価の基準と方法	■ 平常点（参加態度、ペア・グループワーク、準備学習、宿題）20% ■ 作文　20% ■ テストとふりかえり（トピック 1～3）20% ■ テストとふりかえり（トピック 4－6）20% ■ テストとふりかえり（トピック 7－9）20%		
テキスト・教科書	『まるごと 日本のことばと文化 初級 1 A2 りかい』 Marugoto: Japanese language and culture Elementary1 A2 Coursebook for communicative language competences "Rikai"		
備考	■ 受講の前提条件として、ひらがな・カタカナが語単位で 80%読めること、60%書けること、基本的な漢字を勉強したことがあること。具体的な欲求を満足させるための、よく使われる日常的表現と基本的な言い回しを理解していること。非常に簡単な構造の文を構成することができること。 ■ 1 回目の授業でレベルチェックを行うので、必ず出席すること。 ■ 担当教員の判断で異なるレベルのクラスへの移動を促されることがあります。		

初級 Introductory

	■ クラスの人数によって予定が変わることがあります。 ■ 週に 2 回の授業に参加できる学生のみ

Subject	Introductory Japanese Comprehension 2B		**Course Code**	027733
Class Period	Tue. 5 & Thu. 5	**Time**	16:30〜18:00	
Instructor (s)	SUGAWARA, Tetsuko	**Japanese Level**	Introductory 2	
Course Objectives	■ Be able to understand the structure of Japanese at the lower-intermediate level (A2-1) necessary for communication in everyday situations.			
Course Goals	■ Understand and be able to use sentences, expressions, and Japanese language structures commonly used when discussing topics directly related to the learner (such as very basic personal information, family information, shopping, the neighborhood, work, etc.). ■ Understand the Japanese language structures necessary for expressing one's own opinions.			
Course Schedule	■ Students will be able to understand and use the necessary expressions, basic sentence structures, and grammar required for communication in the following situations and topics (e.g., everyday interactions, explanations, expressing opinions): ・Topic 1. Me and My Family (Lessons 1, 2): Myself, family, hobbies, leisure time ・Topic 2. Seasons and Weather (Lessons 3,4): Climate/seasons in my country, weather ・Topic 3. My Town (Lessons 5,6): My town, giving directions ・Topic 4. Going Out (Lessons 7,8): Meeting Up, Town Guidance, Invitations ・Topic 5. Foreign Languages and Cultures (Lessons 9,10): Experiences with Foreign Languages/Cultures, Asking/Receiving Help ・Topic 6. Eating Out (Lessons 11,12): Picnics, Food Impressions ・Topic 7. Business Trips (Lessons 13,14): Overseas Experiences, Hosting ・Topic 8. Health (Lessons 15,16): Physical Condition, Habits, Surveys ・Topic 9. Celebrations (Lessons 17,18): Gifts, Expressing Opinions			
Homework	■ Preparing for and reviewing lessons ■ Completing tasks outside of class *Some tasks may be collaborative. ■ Self-directed learning: Independent study through online courses, self-assessment, portfolio creation, etc.			
Grading System	■ Daily Performance:　(Participation, Pair/Group Work, Preparation, Homework) 20% ■ Writing Assignments: 20% ■ Tests and Reflections (Topics 1–3): 20% ■ Tests and Reflections (Topics 4–6): 20%			

初級 Introductory

	■ Tests and Reflections (Topics 7–9): 20%
Textbooks	『まるごと 日本のことばと文化 初級 1 A2 りかい』 Marugoto: Japanese language and culture Elementary1 A2 Coursebook for communicative language competences "Rikai"
Additional Information	■ As a prerequisite for enrollment, students should be able to read approximately 80% of hiragana and katakana at the word level, write about 60% of them, and have studied basic kanji. They should understand commonly used everyday expressions and basic phrasing that satisfy concrete communicative needs, and be able to construct sentences with very simple structures. ■ A level check will be conducted on the first day of class; attendance is mandatory. ■ Students may be advised to move to a class at a different level at the instructor's discretion. ■ The schedule may change depending on the number of students in the class. ■ Only students who can attend classes twice a week can participate. ■ This class values mutual understanding through conversation with people of different backgrounds and perspectives.

初級 Introductory

科目名	初級理解3A	時間割コード	027734
曜日・講時	月3・水3	時間	13:00～14:30
担当者	パウレ 亜希	日本語レベル	初級3
授業の目標	■ 日常場面でのコミュニケーションのために必要な初級後半レベル(A2-2)の日本語のしくみを理解する。		
到達目標	■ 自分の町の歴史や文化的行事、個人的な思い出などについて説明する際によく使われる文、表現、日本語のしくみが理解できる。 ■ 意見の根拠や伝え聞いたことや自身の変化について述べる際に必要な日本語の仕組みを理解する。		
授業計画	■ 以下の場面やトピックでコミュニケーションを取る際（日常的なやりとり・説明・伝聞・意見とその根拠を述べる等）に必要な表現や基本的な文構造及び文法の理解と運用 ・Topic1. 新しい友だち(Lesson 1,2)：自己紹介、他者の説明・印象 ・Topic 2. 店で食べる(Lesson 3,4)：おすすめ、マナー、国の食べ物 ・Topic 3. 沖縄旅行(Lesson 5,6)：旅のおすすめ・経験、国の観光地 ・Topic 4. 日本祭(Lesson 7,8)：イベントの詳細、イベントへ行く ・Topic 5.特別な日(Lesson 9,10)：わたしの国の特別な日・伝統行事 ・Topic 6. ネットショッピング(Lesson 11,12)： ・Topic 7. 歴史と文化の町(Lesson 13,14)：歴史的な場所・芸術、博物館 ・Topic 8. 生活とエコ(Lesson 15,16)：環境と習慣、リサイクル ・Topic 9. 人生(Lesson 17,18)：有名人・わたしの人生、思い出		
準備学習	■ 授業の予習・復習 ■ 授業外の課題への取り組み　＊協働型になる項目もあります。 ■ 自律的な学習：オンラインコースによる自習、自己評価等		
成績評価の基準と方法	■ 平常点　40％（参加態度、ペア・グループワーク、準備学習、自己評価等） ■ テストとふりかえり（トピック 1～5）30% ■ テストとふりかえり（トピック 6～9）30%		
テキスト・教科書	『まるごと 日本のことばと文化 初級 2 A2 りかい』 独立行政法人国際交流基金 三修社		
備考	■ 週に 2 回の授業に参加できる学生のみ参加可能。 ■ この授業では、立場や背景が異なる人とことばを通して相互理解することを大切にしています。		

初級 Introductory

Subject	Introductory Japanese Comprehension 3A		**Course Code**	027734
Class Period	Mon. 3 & Wed. 3	**Time**	13:00〜14:30	
Instructor (s)	PAULE, Aki	**Japanese Level**	Introductory 3	
Course Objectives	■ Understand the structure of Japanese at the upper beginner level (A2-2) necessary for communication in everyday situations.			
Course Goals	■ Understand sentences, expressions, and Japanese language structures commonly used when explaining your hometown's history, cultural events, or personal memories. ■ Understand the Japanese language structures needed when expressing the basis for opinions, things you've heard, or your own changes.			
Course Schedule	■ Students can understand and use necessary expressions, basic sentence structures, and grammar when communicating in the following situations and topics (e.g., everyday exchanges, explanations, relaying information, stating opinions and their reasons): ・Topic 1. New Friends (Lessons 1,2): Self-introductions, describing others and impressions ・Topic 2. Eating Out (Lessons 3,4): Recommendations, manners, national foods ・Topic 3. Okinawa Trip (Lessons 5,6): Travel recommendations/experiences, national tourist spots ・Topic 4. Japanese Festival (Lessons 7,8): Event details, attending events ・Topic 5. Special Days (Lessons 9,10): Special days/traditional events in my country ・Topic 6. Online Shopping (Lessons 11,12): ・Topic 7. Historical and Cultural Towns (Lesson 13,14): Historical Sites, Art, Museums ・Topic 8. Life and Eco (Lesson 15,16): Environment, Habits, Recycling ・Topic 9. Life (Lesson 17,18): Famous People, My Life, Memories			
Homework	■ Preparing for and reviewing lessons ■ Completing tasks outside of class *Some tasks may be collaborative. ■ Self-directed learning: Independent study through online courses, self-assessment, portfolio creation, etc.			
Grading System	■ Regular Participation: 40% (Attendance, Pair/Group Work, Preparation, Self-Assessment, etc.) ■ Tests and Reflections (Topics 1–5): 30% ■ Tests and Reflections (Topics 6–9): 30%			
Textbooks	『まるごと 日本のことばと文化 初級２A2 りかい』 独立行政法人国際交流基金 三修社			
Additional Information	■ Only students who can attend twice-weekly classes are able to participate. ■ This class values mutual understanding through conversation with people of different backgrounds and perspectives.			

初級 Introductory

科目名	初級理解3B	時間割コード	027735
曜日・講時	火1・木1	時間	08:45～10:15
担当者	鄭　恵先	日本語レベル	初級3
授業の目標	日常場面でのコミュニケーションのために必要な初級後半レベル(A2-2)の日本語のしくみを理解する。		
到達目標	(1) 自分の町の歴史や文化的行事、個人的な思い出などについて説明する際によく使われる文、表現、日本語のしくみが理解できる。 (2) 意見の根拠や伝え聞いたことや自身の変化について述べる際に必要な日本語の仕組みを理解する。		
授業計画	以下の場面やトピックでコミュニケーションを取る際（日常的なやりとり・説明・伝聞・意見とその根拠を述べる等）に必要な表現や基本的な文構造及び文法の理解と運用 (1) Topic 1. 新しい友だち(Lesson 1,2)：自己紹介、他者の説明・印象 (2) Topic 2. 店で食べる(Lesson 3,4)：おすすめ、マナー、国の食べ物 (3) Topic 3. 沖縄旅行(Lesson 5,6)：旅のおすすめ・経験、国の観光地 (4) Topic 4. 日本祭(Lesson 7,8)：イベントの詳細、イベントへ行く (5) Topic 5. 特別な日(Lesson 9,10)：わたしの国の特別な日・伝統行事 (6) Topic 6. ネットショッピング(Lesson 11,12)：電気製品の状態、買い物の方法、商品の機能・説明 (7) Topic 7. 歴史と文化の町(Lesson 13,14)：歴史的な場所・芸術、博物館 (8) Topic 8. 生活とエコ(Lesson 15,16)：環境と習慣、リサイクル (9) Topic 9. 人生(Lesson 17,18)：有名人、わたしの人生、思い出		
準備学習	(1) 授業の予習・復習 (2) 授業外の課題への取り組み　＊協働型になる項目もあります。 (3) 自律的な学習：オンラインコースによる自習、自己評価、ポートフォリオの作成等		
成績評価の基準と方法	(1) 平常点　40%（参加態度、ペア・グループワーク、自己評価等） (2) 課題（予習・復習）　20% (3) 中間テスト　20% (4) 最終テスト　20%		
テキスト・教科書	まるごと 日本のことばと文化 初級 2 A2 りかい 独立行政法人　国際交流基金（ジャパンファウンデーション）　三修社　2014		
備考	(1) 週に 2 回の授業に参加できる学生のみ参加可能。 (2) この授業では、立場や背景が異なる人とことばを通して相互理解することを大切にしています。		

初級 Introductory

Subject	Introductory Japanese Comprehension 3B		Course Code	027735
Class Period	Tue. 1 & Thu. 1	Time	08:45～10:15	
Instructor (s)	JUNG, Hyeseon	Japanese Level	Introductory 3	
Course Objectives	Understand the structure of Japanese at the upper beginner level (A2-2) necessary for communication in everyday situations.			
Course Goals	(1) Understand sentences, expressions, and Japanese language structures commonly used when explaining your hometown's history, cultural events, or personal memories. (2) Understand the Japanese language structures needed when expressing the basis for opinions, things you've heard, or your own changes.			
Course Schedule	Students can understand and use necessary expressions, basic sentence structures, and grammar when communicating in the following situations and topics (e.g., everyday exchanges, explanations, relaying information, stating opinions and their reasons): (1) Topic 1. New Friends (Lessons 1,2): Self-introductions, describing others and impressions (2) Topic 2. Eating Out (Lessons 3,4): Recommendations, manners, national foods (3) Topic 3. Okinawa Trip (Lessons 5,6): Travel recommendations/experiences, national tourist spots (4) Topic 4. Japanese Festival (Lessons 7,8): Event details, attending events (5) Topic 5. Special Days (Lessons 9,10): Special days/traditional events in my country (6) Topic 6. Online Shopping (Lessons 11,12): Condition of electrical appliances, shopping methods, product features and descriptions (7) Topic 7. Historical and Cultural Towns (Lesson 13,14): Historical Sites, Art, Museums (8) Topic 8. Life and Eco (Lesson 15,16): Environment, Habits, Recycling (9) Topic 9. Life (Lesson 17,18): Famous People, My Life, Memories			
Homework	(1) Preparing for and reviewing lessons (2) Completing tasks outside of class *Some tasks may be collaborative. (3) Self-directed learning: Independent study through online courses, self-assessment, portfolio creation, etc.			
Grading System	(1) Regular Participation: 40% (Attendance, Pair/Group Work, Self-Assessment, etc.) (2) Tasks: 20% (Preparation and Reflections) (3) Midterm Exam: 20% (4) Final Exam: 20%			

初級 Introductory

Textbooks	まるごと 日本のことばと文化 初級 2 A2 りかい　　独立行政法人　国際交流基金（ジャパンファウンデーション）　　三修社　2014
Additional Information	(1) Only students who can attend twice-weekly classes are able to participate. (2) This class values mutual understanding through conversation with people of different backgrounds and perspectives.

初級 Introductory

初級文字を読む・書く
Introductory Japanese Literacy

科目名	初級文字を読む･書く1A		時間割コード	027743
曜日･講時	月5	時間	16:30～18:00	
担当者	浅井　美佐	日本語レベル	初級1 （漢字スコア 0-30）	
授業の目標	■ 日常場面で目にしたり、書くことが必要とされる文字(ひらがな･カタカナ･漢字)を理解し、運用することができる。			
到達目標	■ 全てのひらがな･カタカナを読む･書くことができる。 ■ 日常場面で出くわす文字･漢字(約 90 字)を含んだ資料(スーパーの広告、イベントのお知らせ、求人情報、レストランのメニュー、手紙の送り先等)を読む･書くことができるようになる。			
授業計画	■ ひらがな・カタカナ ・全てのひらがな・カタカナを読む・書く ・ひらがな・カタカナで書かれた単語や文（短文レベル）を読む・書く ■ 以下のトピックで示す日常場面で出くわす文字・漢字（入門レベル約 90 字）を含んだ資料を読む・書くことができるようになる。 ・自己紹介（Lesson1：どうぞよろしく） ・スーパーの広告（Lesson2：買い物） ・イベントのお知らせ・スケジュール（Lesson3：いつ、どこで） ・アルバイトの募集・ハガキの送り先（Lesson4：新しい町で） ・ホームページ・フリーペーパー（Lesson5：楽しい週末） ・地域センター・図書館の案内（Lesson6：一緒に） ・レストランのメニュー（Lesson7：何を食べる？） ・家族構成について書く書類（Lesson8：家族のこと）			
準備学習	■ 授業の予習・復習 ■ 授業外の課題への取り組み　＊協働型になる場合もあります。 ■ 自律的な学習：自己評価、ポートフォリオの作成等			
成績評価の基準と方法	■ 平常点　20%（参加態度、ペア・グループワーク、準備学習、課題提出、自己評価等） ■ テスト：40% ■ プロダクト：40%　（例：イベントのお知らせ、ハガキ等）			
テキスト･教科書	『漢字たまご初級』(Kanji Tamago: Beginner)			
備考	■ この授業では、立場や背景が異なる人とことばを通して相互理解することを大切にしています。			

初級 Introductory

Subject	Introductory Japanese Literacy 1A			**Course Code**	027743
Class Period	Mon. 5	**Time**	16:30～18:00		
Instructor (s)	ASAI, Misa	**Japanese Level**	Introductory 1 (Kanji Score 0-30)		
Course Objectives	■ In everyday situations, understand and be able to use characters (hiragana, katakana, kanji) that are seen or need to be written.				
Course Goals	■ Can read and write all hiragana and katakana characters. ■ Can read and write materials containing characters and kanji (approx. 90 characters) encountered in daily situations (e.g., supermarket flyers, event notices, job listings, restaurant menus, mailing addresses).				
Course Schedule	■ Hiragana & Katakana ・Learn to read and write all hiragana and katakana. ・Read and write words and short sentences written in hiragana and katakana. ■ Students will be able to read and write simple, everyday materials containing approximately 90 basic kanji through the following topics. ・Self-introductions (Lesson 1: Nice to meet you) ・Supermarket advertisements (Lesson 2: Shopping) ・Event notices and schedules (Lesson 3: When and where) ・Part-time job ads and postcard addresses (Lesson 4: In a new town) ・Websites and free papers (Lesson 5: A fun weekend) ・Community center and library information(Lesson 6:Together) ・Restaurant menus (Lesson 7: What to eat?) ・Forms about family information (Lesson 8: Family)				
Homework	■ Preparation for and review of each class session ■ Completion of assignments outside of class (some activities may involve collaborative work) ■ Engagement in autonomous learning, including self-assessment and portfolio development				
Grading System	■ Class Participation: 20% (participation and attitude, pair and group work, class preparation, assignment submission, self-assessment, etc.) ■ Tests: 40% ■ Products: 40%(e.g., event notices, postcards)				
Textbooks	『漢字たまご初級』(Kanji Tamago: Beginner)				
Additional Information	■ This course values mutual understanding through language among individuals with diverse backgrounds and perspectives.				

初級 Introductory

科目名	初級文字を読む・書く1B	時間割コード	027744
曜日・講時	水3	時間	13:00～14:30
担当者	宮本 志織	日本語レベル	初級1 （漢字スコア 0-30）
授業の目標	■ 日常場面で目にしたり、書くことが必要とされる文字(ひらがな・カタカナ・漢字)を理解し、運用することができる。		
到達目標	■ 全てのひらがな・カタカナを読む・書くことができる。 ■ 日常場面で出くわす文字・漢字(約 90 字)を含んだ資料(スーパーの広告、イベントのお知らせ、求人情報、レストランのメニュー、手紙の送り先等)を読む・書くことができるようになる。		
授業計画	■ ひらがな・カタカナ ・全てのひらがな・カタカナを読む・書く ・ひらがな・カタカナで書かれた単語や文（短文レベル）を読む・書く ■ 以下のトピックで示す日常場面で出くわす文字・漢字（入門レベル約 90 字）を含んだ資料を読む・書くことができるようになる。 ・自己紹介（Lesson1：どうぞよろしく） ・スーパーの広告（Lesson2：買い物） ・イベントのお知らせ・スケジュール（Lesson3：いつ、どこで） ・アルバイトの募集・ハガキの送り先（Lesson4：新しい町で） ・ホームページ・フリーペーパー（Lesson5：楽しい週末） ・地域センター・図書館の案内（Lesson6：一緒に） ・レストランのメニュー（Lesson7：何を食べる？） ・家族構成について書く書類（Lesson8：家族のこと）		
準備学習	■ 授業の予習・復習 ■ 授業外の課題への取り組み　＊協働型になる場合もあります。 ■ 自律的な学習：自己評価、ポートフォリオの作成等		
成績評価の基準と方法	■ 平常点　20%（参加態度、ペア・グループワーク、準備学習、課題提出、自己評価等） ■ テスト：40% ■ プロダクト：40%　（例：イベントのお知らせ、ハガキ等）		
テキスト・教科書	『漢字たまご初級』(Kanji Tamago: Beginner)		
備考	■ この授業では、立場や背景が異なる人とことばを通して相互理解することを大切にしています。		

初級 Introductory

Subject	Introductory Japanese Literacy 1B			**Course Code**	027744
Class Period	Wed. 3	**Time**	13:00～14:30		
Instructor (s)	MIYAMOTO, Shiori	**Japanese Level**	Introductory 1 (Kanji Score 0-30)		
Course Objectives	In everyday situations, understand and be able to use characters (hiragana, katakana, kanji) that are seen or need to be written.				
Course Goals	■ Can read and write all hiragana and katakana characters. ■ Can read and write materials containing characters and kanji (approx. 90 characters) encountered in daily situations (e.g., supermarket flyers, event notices, job listings, restaurant menus, mailing addresses).				
Course Schedule	Hiragana and Katakana ・Read and write all hiragana and katakana ・Read and write words and short sentences written in hiragana and katakana Reading and Writing in Daily-Life Contexts Students will learn to read and write materials containing introductory-level kanji (approximately 90 characters) commonly encountered in daily situations through the following topics: ・ Lesson 1: Self-introductions (Nice to meet you) ・ Lesson 2: Supermarket advertisements (Shopping) ・ Lesson 3: Event notices and schedules (When and where) ・ Lesson 4: Part-time job advertisements and mailing addresses (In a new town) ・ Lesson 5: Websites and free papers (Enjoyable weekends) ・ Lesson 6: Community center and library information (Together) ・ Lesson 7: Restaurant menus (What will you eat?) ・ Lesson 8: Forms describing family members (About family)				
Homework	Students are expected to engage in the following: ・Preparation and review for each class ・Completion of assignments outside class (some may involve collaborative work) ・Independent learning, including self-assessment and portfolio creation				
Grading System	Final grades will be based on the following components: ・ Class participation: 30% (attitude, participation in pair and group work, preparation, assignments, self-assessment, etc.) ・ Midterm and final exams: 30% (Midterm 15%, Final 15%) ・ Quizzes: 20% ・ Products: 20% (e.g., event notices, postcards)				
Textbooks	『漢字たまご初級』(Kanji Tamago: Beginner)				

初級 Introductory

Additional Information	・This course places importance on mutual understanding through language, and values communication among people with diverse backgrounds and perspectives.

初級 Introductory

科目名	初級文字を読む・書く1C	時間割コード	027745
曜日・講時	金1	時間	08:45-10:15
担当者	市川 明美	日本語レベル	初級1 （漢字スコア 0-30）
授業の目標	■ 日常場面で目にしたり、書くことが必要とされる文字(ひらがな・カタカナ・漢字)を理解し、運用することができる。		
到達目標	■ 全てのひらがな・カタカナを読む・書くことができる。 ■ 日常場面で出くわす文字・漢字(約 90 字)を含んだ資料(スーパーの広告、イベントのお知らせ、求人情報、レストランのメニュー、手紙の送り先等)を読む・書くことができるようになる。		
授業計画	■ ひらがな・カタカナ ・全てのひらがな・カタカナを読む・書く ・ひらがな・カタカナで書かれた単語や文（短文レベル）を読む・書く ■ 以下のトピックで示す日常場面で出くわす文字・漢字（入門レベル約 90 字）を含んだ資料を読む・書くことができるようになる。 ・自己紹介（Lesson1：どうぞよろしく） <私 人 才 学 生 校 日 本 語> ・スーパーの広告（Lesson2：買い物） <一 二 三 四 五 六 七 八 九 十 百 千 万 円> ・イベントのお知らせ・スケジュール（Lesson3：いつ、どこで） <月 火 水 木 金 土 曜 日 何 年 時 間 分> ・アルバイトの募集・ハガキの送り先（Lesson4：新しい町で） <東 京 名 前 国 男 女 区 市> ・ホームページ・フリーペーパー（Lesson5：楽しい週末） <先 週 毎 午 後 見 食 飲 買 物 行 休> ・地域センター・図書館の案内（Lesson6：一緒に） <今 来 帰 会 社 聞 読 書 話> ・レストランのメニュー（Lesson7：何を食べる？） <肉 料 理 野 半 大 小> ・家族構成について書く書類（Lesson8：家族のこと） <家 族 父 母 兄 弟 姉 妹 犬 高 長 短>		
準備学習	■ 授業の予習・復習 ■ 授業外の課題への取り組み ＊協働型になる場合もあります。		
成績評価の基準と方法	■ 平常点 30%（参加態度、ペア・グループワーク、準備学習、課題提出） ■ クイズ・テスト：50% ■ プロダクト：20% （例：イベントのお知らせ、ハガキ等）		
テキスト・教科書	漢字たまご 初級 有山優樹［ほか］ 凡人社 2012		
備考	■ この授業では、立場や背景が異なる人とことばを通して相互理解することを大切にしています。		

初級 Introductory

Subject	Introductory Japanese Literacy 1C			Course Code	027745
Class Period	Fri. 1	Time	08:45-10:15		
Instructor (s)	ICHIKAWA, Akemi	Japanese Level	Introductory 1 (Kanji Score 0-30)		
Course Objectives	■ In everyday situations, understand and be able to use characters (hiragana, katakana, kanji) that are seen or need to be written.				
Course Goals	■ Can read and write all hiragana and katakana characters. ■ Can read and write materials containing characters and kanji (approx. 90 characters) encountered in daily situations (e.g., supermarket flyers, event notices, job listings, restaurant menus, mailing addresses).				
Course Schedule	Hiragana & Katakana ・Can read and write all Hiragana and Katakana characters. ・Can read and write words and short sentences written in Kanji Literacy for Daily Situations ・Can read and write introductory-level Kanji (approx. 90 characters). ・Can understand and produce materials that in clude these Kanji within the context of the everyday situations covered in the topics below. L.1 Self-Introductions (Identity & Language) Context:Meeting new people and school life. Kanji: 私・人・才・学・生・校・日・本・語 L.2 Shopping (Numbers & Currency) Context:Reading supermarket flyers and prices. Kanji: 一・二・三・四・五・六・七・八・九・十・百・千・万・円 L.3 When & Where (Dates & Schedules) Context:Understanding event announcements and personal schedules. Kanji: 月・火・水・木・金・土・曜・日・何・年・時・間・分 L.4 In a New Town (Geography & Addresses) Context:Reading job advertisements and postcard addresses. Kanji: 東・京・名・前・国・男・女・区・市 L.5 Fun Weekends (Websites & Free Magazines) Context:Navigating websites and reading lifestyle information. Kanji: 先・週・毎・午・後・見・食・飲・買・物・行・休 L.6 Together! (Public Announcements) Context:Understanding guides for community centers and libraries. Kanji: 今・来・帰・会・社・聞・読・書・話 L.7 What to Eat? (Food & Dining) Context:Reading restaurant menus and food categories. Kanji: 肉・料・理・野・半・大・小 L.8 About Family (Forms & Descriptions)				

初級 Introductory

	Context:Filling out official forms about family structure. Kanji: 家・族・父・母・兄・弟・姉・妹・犬・高・長・短
Homework	■ Preparation and Review ■ Out-of-class Assignments
Grading System	■ Class Participation: 30% (Attitude, pair/group work, preparation, and assignment submissions) ■ Quizzes and Tests: 50% ■ Products: 20% (E.g., Event flyers, postcards, etc.)
Textbooks	漢字たまご　初級 有山優樹［ほか］　凡人社　2012
Additional Information	■ In this course, we value mutual understanding with people from diverse backgrounds and perspectives through the use of language.

初級 Introductory

科目名	初級文字を読む･書く 2A	時間割コード	027746
曜日･講時	月2	時間	10:30～12:00
担当者	菅原 徹子	日本語レベル	初級2 （漢字スコア 31-40）
授業の目標	■ 日常場面で目にしたり、書くことが必要とされたりする漢字(約 120 字)を理解し、運用することができる。		
到達目標	■ 日常場面で出くわす文字･漢字(約 120 字)を含んだ資料(売り場案内、地図、薬のパッケージ、旅行サイト、TV のニュース、履歴書、携帯電話の料金プラン、銀行の ATM 等)を読む･書くことができるようになる。		
授業計画	■ 以下のトピックで示す日常場面で出くわす文字・漢字（約 120 字）を含んだ資料を読む・書くことができるようになる。 ・ブログに自分の好きなことを書く（初級 Lesson9：好きなこと） ・地図を見て目的地が分かる（初級 Lesson10：待ち合わせ） ・イベントのお知らせを見てそのスケジュールが分かる （初級 Leson 11：何時に何をする？） ・薬のパッケージを見る（初級 Lesson12：病気のとき） ・旅行に関するウェブサイトを見る（初級 Lesson13：旅行にいこう） ・道路の標識が分かる（初級 Lesson14：気を付けて） ・ニュースを見る（初級 Lesson15：どんなニュース ） ・アルバイト募集のポスターを見る（初中級 Lesson1：始めよう！） ・デパートの施設案内を見る（初中級 Lesson2：ショッピング） ・進学ガイドブックを見る（初中級 Lesson3：目標に向かって） ・携帯電話の料金プランを見る（初中級 Lesson4：申し込んでみよう！） ・銀行 ATM の画面を見る（初中級 Lesson5：住んでいる町で）		
準備学習	■ 授業の予習・復習 ■ 授業外の課題への取り組み ＊協働型になる場合もあります。 ■ 自律的な学習：自己評価、ポートフォリオの作成等		
成績評価の基準と方法	■ 平常点 30%（参加態度、ペア・グループワーク、準備学習、課題提出、自己評価等） ■ クイズ：20% ■ テスト：30% ■ プロダクト：20% （例：イベントのお知らせ、ハガキ等）		
テキスト･教科書	『漢字たまご 初級』 (Kanji Tamago: Beginner) 凡人社 『漢字たまご 初中級』(Kanji Tamago: Pre-Intermediate) 凡人社		
備考	■ 全てのひらがな・カタカナ及び９０字程度の基礎漢字の読み書きができること、日常生活や身近にあるテーマについて、簡単な文を読んで理解できることを受講の前提としています。 ■ 1 回目の授業でレベルチェックを行うので、必ず出席すること。 ■ 担当教員の判断で異なるレベルのクラスへの移動を促されることがあります。 ■ クラスの人数によって予定が変わることがあります。		

初級 Introductory

	■ この授業では、立場や背景が異なる人とことばを通して相互理解することを大切にしています。

Subject	Introductory Japanese Literacy 2A			**Course Code**	027746
Class Period	Mon. 2	**Time**	10:30〜12:00		
Instructor (s)	SUGAWARA, Tetsuko	**Japanese Level**	Introductory 2 （Kanji Score 31-40）		
Course Objectives	■ Understand and be able to use kanji characters (approximately 120 characters) that are commonly seen or required to write in everyday situations.				
Course Goals	■ Can read and write materials (such as store guides, maps, medicine packaging, travel websites, TV news, resumes, mobile phone rate plans, and bank ATMs) that contain characters and kanji encountered in everyday situations (approximately 120 characters).				
Course Schedule	■ Read and write materials related to the following topics using commonly encountered characters (about 120 kanji). ＊Beginner Level ・Write a blog post about personal interests and preferences (Lesson 9: Suki na koto) ・Read and interpret maps to identify destinations and meeting places (Lesson 10: Machiawase) ・Read event announcements and understand schedules and time-related information (Lesson 11: Nanji ni nani o suru?) ・Read and understand information on medicine packaging (Lesson 12: Byōki no toki) ・Read and navigate travel-related websites (Lesson 13: Ryokō ni ikō) ・Recognize and understand common road signs and safety notices (Lesson 14: Ki o tsukete) ・Read and comprehend basic news articles and headlines (Lesson 15: Donna nyūsu?) ＊Pre-Intermediate Level ・Read and understand part-time job recruitment posters and notices (Lesson 1: Hajimeyō!) ・Interpret department store floor guides and facility information (Lesson 2: Shopping) ・Read and understand college admissions and advancement guidebooks (Lesson 3: Mokuhyō ni mukatte) ・Read and compare mobile phone pricing plans and service details (Lesson 4: Mōshikonde miyō!) ・Understand on-screen instructions and options on a bank ATM (Lesson 5: Sunde iru machi de)				

初級 Introductory

Homework	■ Preparation and review for class ■ Out-of-class assignments (some may be collaborative) ■ Autonomous learning: self-assessment, portfolio creation, etc.
Grading System	■ Daily Performance: 30% (class participation, pair and group work, preparation for class, assignment submission, self-assessment, etc.) ■ Quizzes: 20% ■ Tests: 30% ■ Deliverables: 20% (e.g., event announcements, postcards, etc.)
Textbooks	『漢字たまご　初級』　(Kanji Tamago: Beginner)　凡人社 『漢字たまご　初中級』（Kanji Tamago: Pre-Intermediate）凡人社
Additional Information	■ As a prerequisite for enrollment, students are expected to be able to read and write all hiragana and katakana, as well as approximately 90 basic kanji. They should also be able to read and understand simple sentences on everyday topics and familiar themes. ■ A level check will be conducted on the first day of class; attendance is mandatory. ■ Students may be advised to move to a class at a different level at the instructor's discretion. ■ The course schedule may change depending on class enrollment. ■ This course values mutual understanding through language among people with diverse backgrounds and perspectives.

初級 Introductory

科目名	初級文字を読む･書く 2B	時間割コード	027747
曜日･講時	金1	時間	08:45～10:15
担当者	高田 裕子	漢字スコア	31-40 （初級2レベル）
授業の目標	■ 日常場面で目にしたり、書くことが必要とされる漢字(約 120 字)を理解し、運用することができる。		
到達目標	■ 日常場面で出くわす文字･漢字(約 120 字)を含んだ資料(売り場案内、地図、薬のパッケージ、旅行サイト、TV のニュース、履歴書、携帯電話の料金プラン、銀行の ATM 等)を読む･書くことができるようになる。		
授業計画	■ 以下のトピックで示す日常場面で出くわす文字・漢字（約 120 字）を含んだ資料を読む・書くことができるようになる。 ・ブログに自分の好きなことを書く（初級 Lesson9：好きなこと） ・地図を見て目的地が分かる（初級 Lesson10：待ち合わせ） ・イベントのお知らせを見てそのスケジュールが分かる（初級 Leson 11：何時に何をする？） ・薬のパッケージを見る（初級 Lesson12：病気のとき） ・旅行に関するウェブサイトを見る（初級 Lesson13：旅行にいこう） ・道路の標識が分かる（初級 Lesson14：気を付けて） ・ニュースを見る（初級 Lesson15：どんなニュース ） ・アルバイト募集のポスターを見る（初中級 Lesson1：始めよう！） ・デパートの施設案内を見る（初中級 Lesson2：ショッピング） ・進学ガイドブックを見る（初中級 Lesson3：目標に向かって） ・携帯電話の料金プランを見る（初中級 Lesson4：申し込んでみよう！） ・銀行 ATM の画面を見る（初中級 Lesson5：住んでいる町で）		
準備学習	■ 授業の予習・復習 ■ 授業外の課題への取り組み ＊協働型になる場合もあります。 ■ 自律的な学習：自己評価、ポートフォリオの作成等		
成績評価の基準と方法	■ 平常点 30%（参加態度、ペア・グループワーク、準備学習、課題提出、自己評価等） ■ クイズ：20% ■ テスト：30% ■ プロダクト：20% （例：イベントのお知らせ、ハガキ等）		
テキスト･教科書	漢字たまご 初級 嶋田和子監修 にほんごの凡人社 2025 漢字たまご 初中級 嶋田和子監修 にほんごの凡人社 2025		
備考	■ 受講の前提条件として、全てのひらがな・カタカナ及び 90 字程度の基礎漢字の読み書きができることを前提としています。 ■ 学習者は日本語の文章に関し、簡単な表現や文を読んでわかること、また自分自身や想像上の人について、どこに住んでいるか、何をする人などかなのについて読んでわかること。 ■ 1 回目の授業でレベルチェックを行うので、必ず出席すること。		

初級 Introductory

	■ 担当教員の判断で異なるレベルのクラスへの移動を促されることがあります。 ■ クラスの人数によって予定が変わることがあります。 ■ この授業では、立場や背景が異なる人とことばを通して相互理解することを大切にしています。

Subject	Introductory Japanese Literacy 2B		**Course Code**	027747
Class Period	Fri. 1	**Time**	08:45〜10:15	
Instructor (s)	TAKAD, Hiroko	**Kanji Score**	31-40 (Introductory 2 level)	
Course Objectives	■ Understand and be able to use kanji characters (approximately 120 characters) that are commonly seen or required to write in everyday situations.			
Course Goals	■ Can read and write materials (such as store guides, maps, medicine packaging, travel websites, TV news, resumes, mobile phone rate plans, and bank ATMs) that contain characters and kanji encountered in everyday situations (approximately 120 characters).			
Course Schedule	■ Read and write materials related to the following topics using commonly encountered characters (about 120 kanji). ＊Beginner Level ・Write a blog post about personal interests and preferences (Lesson 9: Suki na koto) ・Read and interpret maps to identify destinations and meeting places (Lesson 10: Machiawase) ・Read event announcements and understand schedules and time-related information (Lesson 11: Nanji ni nani o suru?) ・Read and understand information on medicine packaging (Lesson 12: Byōki no toki) ・Read and navigate travel-related websites (Lesson 13: Ryokō ni ikō) ・Recognize and understand common road signs and safety notices (Lesson 14: Ki o tsukete) ・Read and comprehend basic news articles and headlines (Lesson 15: Donna nyūsu?) ＊Pre-Intermediate Level ・Read and understand part-time job recruitment posters and notices (Lesson 1: Hajimeyō!) ・Interpret department store floor guides and facility information (Lesson 2: Shopping) ・Read and understand college admissions and advancement guidebooks (Lesson 3: Mokuhyō ni mukatte) ・Read and compare mobile phone pricing plans and service details (Lesson 4: Mōshikonde miyō!)			

初級 Introductory

	・Understand on-screen instructions and options on a bank ATM (Lesson 5: Sunde iru machi de)
Homework	■ Preparation and review for class ■ Out-of-class assignments (some may be collaborative) ■ Autonomous learning: self-assessment, portfolio creation, etc.
Grading System	■ Daily Performance: 30% (class participation, pair and group work, preparation for class, assignment submission, self-assessment, etc.) ■ Quizzes: 20% ■ Tests: 30% ■ Deliverables: 20% (e.g., event announcements, postcards, etc.)
Textbooks	漢字たまご　初級　嶋田和子監修　にほんごの凡人社　2025 漢字たまご　初中級　嶋田和子監修　にほんごの凡人社　2025
Additional Information	■ As a prerequisite for taking this course, students are expected to be able to read and write all hiragana and katakana characters and approximately 90 basic kanji characters. ■ Students should be able to read and understand simple expressions and sentences in Japanese, as well as read and understand information about yourself or an imaginary person, such as where they live and what they do. ■ A level check will be conducted on the first day of class; attendance is mandatory. ■ Students may be advised to move to a class at a different level at the instructor's discretion. ■ The course schedule may change depending on class enrollment. ■ This course values mutual understanding through language among people with diverse backgrounds and perspectives.

初級 Introductory

科目名	初級文字を読む・書く 3A	時間割コード	027748
曜日・講時	月2	時間	10:30～12:00
担当者	山本 さやか	日本語レベル	初級3 （漢字スコア 41-52）
授業の目標	日常場面で目にしたり、書いたりすることが必要とされる漢字(約 120 字)を理解し、 運用することができる。		
到達目標	日常場面で出会う文字・漢字(約 120 字)を含んだ以下の資料を読んだり、書いたりできるようになる。 例)宿泊資料、料理のレシピ、物件情報、領収書、仕事のメール、標識、交通規制、サークルのお知らせ、結婚式、日本の行事、地名 等		
授業計画	以下のトピックで示す日常場面で出会う文字・漢字(約 120 字)を含んだ資料を読んだり、書いたりする。(『漢字たまご 初中級』Lesson6～15) ・宿泊施設に質問のメールを書く(Lesson6：旅行の計画) ・食品のパッケージに書いてある表示がわかる（Lesson7：料理を作ろう） ・不動産の物件情報がわかる（Lesson8：引っ越し） ・日本人の名前を聞いて領収書に名前を書いたり、パソコンで漢字に変換したりする（Lesson9：働いているところで） ・公園やキャンプ場の案内図を見る（Lesson10：遊びに行って） ・ゴミの出し方のお知らせを読む（Lesson11：地域で） ・健康や美容のために使う器具の説明を読む（Lesson12：いろいろな健康法） ・シラバスを見て、履修の条件や内容がわかる（Lesson13：学校で） ・日本の結婚式や行事の説明がわかる（Lesson14：日本を知る） ・ニュースサイトのトピックがわかる（Lesson15：ニュースをチェック）		
準備学習	■授業の予習・復習 ■授業外の課題への取り組み　＊協働型になることもある。 ■自律的な学習：自己評価、ポートフォリオの作成 等		
成績評価の基準と方法	■平常点 20%（参加態度、ペア・グループワーク、準備学習、課題提出、自己評価 等） ■テスト（期末、中間）40% ■クイズ　20% ■プロダクト 20%（例：イベントのお知らせ、　ハガキ 等）		
テキスト・教科書	漢字たまご 初中級（Kanji Tamago Pre-Intermediate）嶋田和子　凡人社 9784867460238		
備考	このクラスでは、立場や背景が異なる人とことばを通じて相互理解することを大切にしています。		

初級 Introductory

Subject	Introductory Japanese Literacy 3A			**Course Code**	027748
Class Period	Mon. 2	**Time**	10:30～12:00		
Instructor (s)	YAMAMOTO, Sayaka	**Japanese Level**	Introductory 3 （Kanji Score 41-52）		
Course Objectives	Understand and be able to use kanji characters (approximately 120 characters) that are commonly seen or required to write in everyday situations.				
Course Goals	Can read and write materials containing characters and kanji encountered in daily situations (approx. 120 characters), such as lodging facilities, recipes, property listings, receipts, work emails, signs/traffic regulations, exercise, club announcements, weddings, Japanese events, and place names.				
Course Schedule	This class covers " Kanji Tamago Pre-Intermediate "Lesson6-15. Students can understand（and write）materials including about 120 basic kanji. Topics are below. ・Write an email enquiry for accommodations.（Lesson6：Plan for travel） ・Can understand the simple descriptions on food packages.（Lesson7:Let's cook!） ・Can understand real estate listing information.(Lesson8: Moving) ・With explanations, can write Japanese names on a receipt and convert item into Kanji characters on a computer when they listen to the names. (Lesson9:At the workplace) ・Can understand an information in map of parks and campsites.(Lesson10:Let's go out) ・Can understand notices regarding how to put out garbage.（Lesson11:in the neighborhood） ・Can read simple explanations of equipment used for health and beauty.(Lesson12: Various health methods) ・Can understand the course requirements and conditions from course syllabuses.(Lesson13: At the school) ・Can understand explanations of Japanese weddings and customary events.(Lesson14: Get to know Japan) ・Can understand topics on news sites.(Lesson15:Check the news)				
Homework	・Preparation and review for the each lesson ・Assignments　*might be collaborative activities ・Self-directed learning：self-evaluation, creating portfolio　etc.				
Grading System	・Normal performance score 20%（attendance, pair/group work, homework, assignments, self-evaluation etc.） ・Tests（mid-term/final）40% ・Quizzes 20% ・Products 20%　（Information of event, postcard etc.）				

初級 Introductory

Textbooks	漢字たまご 初中級（Kanji Tamago Pre-Intermediate）　嶋田和子　凡人社 9784867460238
Additional Information	In this class, we value understanding each other with people from different backgrounds through language.

初級 Introductory

科目名	初級文字を読む・書く 3B			時間割コード	027749
曜日・講時	水2	時間	10:30～12:00		
担当者	南　明世	日本語レベル	初級3 （漢字スコア 41-52）		
授業の目標	日常場面で目にしたり、書くことが必要とされる漢字(約 120 字)を理解し、運用することができる。				
到達目標	日常場面で出くわす文字・漢字(約 120 字)を含んだ資料(宿泊施設、レシピ、物件情報、領収書、仕事のメール、標識・交通規制、エクササイズ、サークルのお知らせ、結婚式、日本の行事・地名等)を読む・書くことができるようになる。				
授業計画	以下のトピックで示す日常場面で出くわす文字・漢字（約 120 字）を含んだ資料を読む・書くことができるようになる。 ・宿泊施設に質問のメールを書く（初中級 Lesson6：旅行の計画） ・食品のパッケージに書いてある表示が分かる（初中級 Lesson7：料理を作ろう） ・不動産の物件情報が分かる（初中級 Lesson8：引っ越し） ・日本人の名前を聞いて領収書に名前を書いたり、パソコンで漢字に変換したりする（初中級 Lesson9：働いているところで） ・公園やキャンプ場の案内図を見る（初中級 Lesson10：遊びに行って） ・ゴミの出し方のお知らせを読む（初中級 Lesson11：地域で） ・健康や美容のために使う器具の説明を読む（初中級 Lesson12：いろいろな健康法） ・シラバスを見て、履修の条件や内容が分かる（初中級 Lesson13：学校で） ・日本の結婚式や行事の説明が分かる（初中級 Lesson14：日本を知る） ・ニュースサイトのトピックが分かる（初中級 Lesson15：ニュースをチェック）				
準備学習	■ 授業の予習・復習 ■ 授業外の課題への取り組み　＊協働型になる場合もあります。 ■ 自律的な学習：自己評価、ポートフォリオの作成等				
成績評価の基準と方法	■ 平常点　40％（参加態度、ペア・グループワーク、準備学習、課題提出、自己評価等） ■ テスト：30% ■ プロダクト：30%				
テキスト・教科書	『漢字たまご　初中級』 Kanji Tamago: Pre-Intermediate Level				
備考					

Subject	Introductory Japanese Literacy 3B			Course Code	027749
Class Period	Wed. 2	Time	10:30～12:00		
Instructor (s)	MINAMI, Akiyo	Japanese Level	Introductory 3 （Kanji Score 41-52）		
Course Objectives	Understand and be able to use kanji characters (approximately 120 characters) that are commonly seen or required to write in everyday situations.				
Course Goals	Can read and write materials containing characters and kanji encountered in daily situations (approx. 120 characters), such as lodging facilities, recipes, property listings,				

初級 Introductory

	receipts, work emails, signs/traffic regulations, exercise, club announcements, weddings, Japanese events, and place names.
Course Schedule	Learners will be able to read and write materials containing approximately 120 characters (including kanji) that they encounter in everyday situations related to the following topics: ・Writing an inquiry email to an accommodation facility (Pre-Intermediate Lesson 6: Planning a Trip) ・Understanding information written on food packaging (Pre-Intermediate Lesson 7: Let's Cook) ・Understanding real estate property listings (Pre-Intermediate Lesson 8: Moving) ・Listening to Japanese names and writing them on receipts or converting them into kanji using a computer (Pre-Intermediate Lesson 9: At the Workplace) ・Reading maps and guides for parks and campsites (Pre-Intermediate Lesson 10: Going Out) ・Reading notices about garbage disposal rules (Pre-Intermediate Lesson 11: In the Community) ・Reading instructions for equipment used for health and beauty purposes (Pre-Intermediate Lesson 12: Various Health Methods) ・Understanding course requirements and content by reading a syllabus (Pre-Intermediate Lesson 13: At School) ・Understanding explanations of Japanese weddings and traditional events (Pre-Intermediate Lesson 14: Learning about Japan) ・Understanding topics on news websites (Pre-Intermediate Lesson 15: Checking the News)
Homework	・Preparation and review for classes ・Engagement with assignments outside of class (some tasks may be collaborative) ・Autonomous learning, such as self-assessment and the creation of portfolios
Grading System	・Class participation: 40% (attitude toward participation, pair and group work, preparation for class, submission of assignments, self-assessment, etc.) ・Tests: 30% ・Products: 30%
Textbooks	『漢字たまご　初中級』 Kanji Tamago: Pre-Intermediate Level
Additional Information	

初級 Introductory

初中級総合
Pre-Intermediate General Class

科目名	初中級総合	時間割コード	027750
曜日・講時	月2・水2	時間	10:30～12:00
担当者	髙田　裕子	日本語レベル	初中級（中級1）
授業の目標	表現、やりとり、理解の活動を通して、中級（B1）レベルの基礎を築く。初級から中級（B1）への橋渡しのレベル ■ 表現：自分の意見、経験、希望等や見聞きしたことについて、具体的にわかりやすく説明することができる ■ 理解：身近なテーマについての文章や自分の専門と関わる平易な文章を読んで理解できる ■ やりとり：自分と直接関係がある事柄や時事問題、仕事、専門と関係があるトピックについて自発的なコミュニケーションができる		
到達目標	■ 表現： ・自分の経験、意見、希望等を語ることができる。 ・自分の経験や意見などについて、段落を意識したつながりのある文を使って書くことができる。 ・聞いたり読んだりした話のあらすじを理解した上で、語ることができる。 ■ 理解： ・聞いたり読んだりした話のあらすじを理解することができる ・生活に必要な簡単情報や、自分の専門分野に関する平易な文を読んで理解できる。 ・友達や家族からの手紙を読み、気持ちに関する基本的な表現が理解できる。 ■ やりとり： ・自分に直接関係があることから始まり		
授業計画	■ 次の 9 つのトピックについて、聞くこと、読むこと、やりとり、表現、書くことを練習する。 ・Topic 1.　スポーツの試合 ・Topic 2.　家を探す ・Topic 3.　ほっとする食べ物 ・Topic 4.　訪問 ・Topic 5.　ことばを学ぶ楽しみ ・Topic 6.　結婚 ・Topic 7.　悩み相談 ・Topic 8.　旅行中のトラブル ・Topic 9.　仕事を探す		
準備学習	■ 授業の予習・復習 ■ 授業外の課題への取り組み　＊協働型になる項目もあります ■ 自律的な学習：オンラインコースによる自習、自己評価、ポートフォリオの作成等		

初級 Introductory

成績評価の基準と方法	平常点（参加態度、ペア練習、準備学習、ポートフォリオ作成）30% プレゼンテーション　20% 作文　15% プロジェクト　20% ポップアップクイズ　15%
テキスト・教科書	まるごと 日本のことばと文化 初中級 A2/B1　978-4-384-057584
備考	■ 全てのひらがな・カタカナの読み書きができ、初級レベルの基本的な漢字がわかること。 ■ クラスの人数によって予定が変わることがあります。 ■ 週に 2 回の授業に参加できる学生のみ参加可能。 ■ この授業では、立場や背景が異なる人とことばを通して相互理解することを大切にしています。

Subject	Pre-Intermediate General Class		Course Code	027750
Class Period	Mon. 2 & Wed. 2	Time	10:30 - 12:00	
Instructor (s)	TAKADA, Hiroko	Japanese Level	Pre-Intermediate Japanese (Intermediate 1)	
Course Objectives	■ Build a foundation for intermediate (B1) proficiency through activities that foster expression, interaction, and comprehension. This level is a bridge from beginner to intermediate (B1). ■ Expression: Ability to clearly and concretely explain one's opi			
Course Goals	■ Expression: ・Able to talk about one's experiences, opinions, hopes, etc. ・Able to write about one's experiences, opinions, etc. using connected sentences, with an awareness of paragraphs. ・Able to talk about stories heard or read after understanding their plot. ■ Comprehension: ・Able to understand the plot of stories heard or read. ・Able to read and understand simple information necessary for daily life and simple sentences related to one's field of expertise. ・Able to read letters from friends and family and understand basic expressions regarding feelings. ■ Interaction: ・Able to listen and interact on topics that directly concern you, including simple current affairs and work-related matters. ・Able to communicate spontaneously and without preparation about basic matters about yourself, your job, area of expertise, etc.			

初級 Introductory

Course Schedule	■ Practice listening, reading, interacting, expressing, and writing about the following nine topics: Topic 1. Sports Games Topic 2. Finding a Home Topic 3. Comfort Foods Topic 4. Visiting Topic 5. The Joy of Learning a Language Topic 6. Marriage Topic 7. Advice Topic 8. Travel Troubles Topic 9. Finding a Job
Homework	■ Preparation and review for class ■ Work on assignments outside of class (some assignments may be collaborative) ■ Self-directed learning: online courses, self-study, self-assessment, portfolio creation, etc.
Grading System	Regular grades (participation, pair practice, preparation, portfolio creation) 30% Presentation 20% Essay 15% Project 20% Pop-up quiz 15%
Textbooks	■ "Marugoto: Japanese Language and Culture, Pre-Intermediate Levels A2/B1" ISBN-10: 438405758X ISBN-13: 978-4384057584 ■ Teachers will create and distribute handouts as needed. ■ Online Learning Support Site ・Minato: https://minato-jf.jp/ ・Marugoto Japanese Online Course: https://www.marugoto-online.jp/info/jp/ ・Marugoto Plus: https://marugotoweb.jp/ja/
Additional Information	■ Ability to read and write all hiragana and katakana characters is a must, and understanding basic beginner-level kanji is expected. ■ The schedule may change depending on the class size. ■ Only students who can attend two classes per week are eligible to participate. ■ This class places importance on mutual understanding through language with people from different positions and backgrounds.

中級 Intermediate

中級やりとり
Intermediate Japanese Interaction

科目名	中級やりとり(基礎)1A		時間割コード	027928
曜日・講時	月1・水1	時間	08:45～10:15	
担当者	山本　さやか	日本語レベル	中級1	
授業の目標	日常的な話題だけでなく、非日常的で抽象的な話題についても、意見を表明したり、情報を交換したり、話し合いをすることができる。			
到達目標	(1)　身近な話題(自分の専攻、母国の文化、社会)について、知っていることや自分の考えを簡単に述べたり、相手に発言を求めたりすることができる。 (2)　相手に自分の意図を正確に伝えることができる(話の目的と背景を伝える、接続詞の使用、話の内容の修正)。 (3)　相手の話に正しく反応することができる(聞き返す、同調)。 (4) 初級で学習した表現を適切に使ってやりとりができる。			
授業計画	(1) 前半は、自分の国や大学生活について、主に初級で学習した表現を適切に使って短く説明する練習を行う。 　また、相手の話を聞いてあいづちをうったり、質問したりして、会話を続ける練習を行う。 【トピック】 ・ 自己紹介 ・ 地理、気候について話す ・ 料理の作り方を教える ・ 観光地を紹介する ・ 出来事について話す ・ 趣味や専攻について話す ・ 人や町の印象について話す　など (2) 後半は、ロールプレイを通して、日常生活のいろいろな場面で適切な表現を使ってコミュニケーションをする練習を行う。 【場面】 ・ 丁寧に話す ・ お願いする ・ 誘う、断る ・ アドバイスする ・ 問い合わせる　など ※扱うトピックや場面は変更する可能性がある。			
準備学習	・ 毎週扱うトピックについて、どんなことを話すか、授業の前に考えておくこと。 ・ 家でパソコン、インターネットを使った予習・復習が必要になる。 ・ 内容によっては、学生同士での教室外活動が必要になる場合がある。			

中級 Intermediate

成績評価の基準と方法	クイズ・宿題・参加度など 50%、中間テスト 25%、期末テスト 25%
テキスト・教科書	
備考	担当教員の判断で異なるレベルのクラスへの移動を促されることがある。

Subject	Intermediate Japanese Interaction (Basic) 1A			Course Code	027928
Class Period	Mon. 1 & Wed. 1	Time	08:45 - 10:15		
Instructor (s)	YAMAMOTO, Sayaka	Japanese Level	Intermediate 1		
Course Objectives	You can express your opinions, exchange information, and engage in discussions on both everyday topics and non-routine, abstract subjects.				
Course Goals	(1) You can briefly state what you know or your thoughts on familiar topics (your major, your home country's culture and society), and ask the other person to speak. (2) You can accurately convey your intentions to the other person (communicate the purpose and background of the conversation, use connecting words, modify the content of your speech). (3) You can respond appropriately to the other person's speech (ask for clarification, show agreement). (4) interact with others appropriately by using grammar and expressions learned at the introductory level.				
Course Schedule	(1) In the first half of this course, students practice giving a brief explanation of their country and campus life using appropriate expressions they have learned at the introductory level. Students also practice continuing communication by nodding or asking questions depending on what others say. [Topics] - Give a self-introduction. - Talk about the geography and climate of your country. - Teach how to cook a dish from your country. - Talk about scenic spots in your country. - Talk about events in your country. - Talk about your hobbies and subjects of study - Talk about your impression of people and landscapes in the city. (2) In the latter half of this course, students practice communicating with others using appropriate expressions on various occasions in daily life through role playing.				

中級 Intermediate

	[Scenes] - Speak politely. - Ask a favor. - Invite someone; decline an offer. - Give advice. - Make an inquiry. Topics and scenes may change.
Homework	Students are required to: - prepare, before class, the content they wish to talk about regarding topics covered in the lessons; - prepare for and review their classwork using computers and the Internet at home; and - engage in out-of-class activities by themselves depending on the topic.
Grading System	Quizzes, homework and attendance and so on: 50%; mid-term exams: 25%; end-of-term exams: 25%
Textbooks	
Additional Information	Handouts will be delivered in class. Students might move to different level according to instructor's judgement.

中級 Intermediate

科目名	中級やりとり(基礎)1B		時間割コード	027929
曜日・講時	火4・木4	時間	14:45～16:15	
担当者	今井　史子	日本語レベル	中級1	
授業の目標	日常的な話題だけでなく、非日常的で抽象的な話題についても、自分の意見を表明したり、情報を交換したり、話し合いをすることができる。			
到達目標	(1) 身近な話題(自分の専攻、母国の文化・社会)について、知っていることや自分の考えを簡単に述べたり、相手に発言を求めたりすることができる。 (2) 相手に自分の意図を正確に伝えることができる(話の目的と背景を伝える、接続詞の使用、話の内容の修正)。 (3) 相手の話に正しく反応することができる(聞き返す、同調)。 (4) 初級で学習した文法や表現を適切に使ってやりとりができる。			
授業計画	(1) 前半は、自分の国や大学生活について、主に初級で学習した表現を適切に使って短く説明する練習を行う。 また、相手の話を聞いてあいづちをうったり、質問したりして、会話を続ける練習を行う。 【トピック】 ・ 自己紹介 ・ 地理、気候について話す ・ 料理の作り方を教える ・ 観光地を紹介する ・ 出来事について話す ・ 趣味や専門について話す ・ 人や町の印象について話す　など (2) 後半は、ロールプレイを通して、日常生活のいろいろな場面で適切な表現を使ってコミュニケーションをする練習を行う。 【場面】 ・ 丁寧に話す ・ お願いする ・ 誘う、断る ・ アドバイスする ・ 問い合わせる　など ※扱うトピックや場面は変更する可能性がある。			
準備学習	・ 毎週扱うトピックについて、どんなことを話すか、授業の前に考えておくこと。 ・ 家でパソコン、インターネットを使った予習・復習が必要になる。 ・ 内容によっては、学生同士での教室外活動が必要になる場合がある。			
成績評価の基準と方法	クイズ・宿題・参加度など 50% 中間テスト 25% 期末テスト 25%			

中級 Intermediate

テキスト・教科書	
備考	担当教員の判断で異なるレベルのクラスへの移動を促されることがある。

Subject	Intermediate Japanese Interaction (Basic) 1B		Course Code	027929
Class Period	Tue. 4 & Thu. 4	Time	14:45 - 16:15	
Instructor (s)	IMAI, Fumiko	Japanese Level	Intermediate 1	
Course Objectives	You can express your opinions, exchange information, and engage in discussions on both everyday topics and non-routine, abstract subjects.			
Course Goals	(1) You can briefly state what you know or your thoughts on familiar topics (your major, your home country's culture and society), and ask the other person to speak. (2) You can accurately convey your intentions to the other person (communicate the purpose and background of the conversation, use connecting words, modify the content of your speech). (3) You can respond appropriately to the other person's speech (ask for clarification, show agreement). (4) You can interact with others appropriately by using grammar and expressions learned at the introductory level.			
Course Schedule	(1) In the first half of this course, students practice giving a brief explanation of their country and campus life using appropriate expressions they have learned at the introductory level. Students also practice continuing communication by nodding or asking questions depending on what others say. [Topics] - Give a self-introduction. - Talk about the geography and climate of your country. - Teach how to cook a dish from your country. - Talk about scenic spots in your country. - Talk about events in your country. - Talk about your hobbies and subjects of study. - Talk about your impressions of people and the city. (2) In the latter half of this course, students practice communicating with others using appropriate expressions on various occasions in daily life through role-playing. [Scenes] - Speak politely. - Ask a favor. - Invite someone; decline an offer.			

中級 Intermediate

	- Give advice. - Make an inquiry. Topics and scenes may change.
Homework	Students are required to: - prepare the content they wish to talk about regarding topics covered in the lessons before class; - prepare for and review their classwork using computers and the Internet at home; and - engage in out-of-class activities depending on the topic.
Grading System	Quizzes, Homework and Attendance, etc.: 50% Mid-term exams: 25% End-of-term exams: 25%
Textbooks	
Additional Information	Students might move to different levels according to the instructor's judgement.

中級 Intermediate

科目名	中級やりとり(基礎)2A	時間割コード	027931
曜日・講時	月1・水1	時間	08:45～10:15
担当者	延与 由美子	日本語レベル	中級2
授業の目標	より幅広い話題について、正確に言葉を使うことができ、その場にふさわしい丁寧さで、お互いにストレスを感じることなく、対話や関係を維持しながら自然にやりとりができる。		
到達目標	(1) 様々なジャンルの話題について、内容の度合いを調整しながらやりとりすることができる(相手の興味を誘う、質問などを交えながら反応)。 (2) 場面の改まり度にあった述べ方ができる(簡単な前置き、定型表現の使用)。 (3) 相手の反応にあわせて述べ方を変えることができる(フィラー、相づちの使用、必要な情報の追加)。		
授業計画	(1) やりとりの場面で注意が必要な以下の項目について学び、実際に異なる話題についての話で使用する。 ・話し言葉と会話のスタイル ・あいづち ・フィラー ・終助詞 ・話の始め方、終わり方 ・エピソードの話し方 ・敬語 (2) ディスカッションを行うために必要な以下の項目について学び、実際にディスカッションを行う。 ・ディスカッションの種類 ・ディスカッションの進め方 ・意見の主張のしかた ・相手の意見の聞き方		
準備学習	(1)ペアやグループでの活動が多いので、積極的・協調的に参加すること。 (2)指示された予習や課題は必ずしてから授業に出席すること。		
成績評価の基準と方法	授業への参加 25%、課題 25%、中間テスト 25%、期末テスト 25%		
テキスト・教科書			
備考			

中級 Intermediate

Subject	Intermediate Japanese Interaction (Basic) 2A		**Course Code**	027931
Class Period	Mon. 1 & Wed. 1	**Time**	08:45 - 10:15	
Instructor (s)	ENYO, Yumiko	**Japanese Level**	Intermediate 2	
Course Objectives	You can use words accurately on a wider range of topics, with the appropriate level of politeness for the situation, enabling natural exchanges that maintain dialogue and relationships without causing stress for either party.			
Course Goals	1. You can engage in conversations on various topics, adjusting the depth of content as needed (e.g., sparking interest, incorporating questions, and responding appropriately). 2. You can adapt your speech to suit the formality of the situation (e.g., using simple introductions or set phrases). 3. You can modify your speech based on the other person's reactions (e.g., using fillers or adding necessary information).			
Course Schedule	1. Students learn the following items to which attention should be paid in real situations, and apply them in talks with different topics. ・Spoken language and conversation styles ・Active listening ・Fillers ・Sentence-final particles ・How to start talking, and how to stop talking ・How to tell stories ・Polite expressions 2. Students learn and use the following items that are needed for discussion, and apply them in actual discussion. ・Types of discussion ・Discussion flow ・How to assert their opinions ・How to seek the opinions of others			
Homework	Students are required to: 1. be active and cooperative because many activities are conducted in pairs or groups; 2. complete allocated preparations and assignments before attending classes.			
Grading System	Class participation: 25%; Assignments: 25%; Mid-term exam: 25%; Final exam: 25%			
Textbooks				
Additional Information				

中級 Intermediate

科目名	中級やりとり(基礎)2B	時間割コード	027932
曜日・講時	火4・木4	時間	14:45～16:15
担当者	村上　萌子	日本語レベル	中級2
授業の目標	より幅広い話題について、正確に言葉を使うことができ、その場にふさわしい丁寧さで、お互いにストレスを感じることなく、対話や関係を維持しながら自然にやりとりができる。		
到達目標	1. 様々なジャンルの話題について、内容の度合いを調整しながらやりとりすることができる(相手の興味を誘う、質問などを交えながら反応)。 2. 場面の改まり度にあった述べ方ができる(簡単な前置き、定型表現の使用)。 3. 相手の反応にあわせて述べ方を変えることができる(フィラー、相づちの使用、必要な情報の追加)。		
授業計画	(1)実際のやりとりの場面で注意が必要な以下の項目について学び、クラスメイトとの会話の中で実践する。 ・話し言葉と会話のスタイル(カジュアル、フォーマル) ・相づち ・フィラー ・終助詞 ・話の始め方、続け方、終わり方 ・効果的なエピソードの話し方 ・敬語 ・前置き、定型表現 ・書き言葉とメール文の書き方 (2)ディスカッションを行うために必要な以下の項目について学び、クラスメイトと様々なテーマについて話し合う。 ・ディスカッションの種類 ・ディスカッションの進め方 ・わかりやすい意見の伝え方 ・相手の意見の聞き方		
準備学習	毎回の授業で、スマートフォンやパソコンを使用した復習・振り返りの課題に取り組む必要がある。指示された予習や課題は必ずしてから授業に出席すること。		
成績評価の基準と方法	授業への参加 25%、課題 25%、中間テスト 25%、期末テスト 25%		
テキスト・教科書			
備考	ペアやグループでの活動が多いので、積極的・協調的に参加すること。ペアワークやグループワークへの参加に不安がある場合は、講師に相談してください。		

中級 Intermediate

Subject	Intermediate Japanese Interaction (Basic) 2B			**Course Code**	027932
Class Period	Tue. 4 & Thu. 4	**Time**	14:45 - 16:15		
Instructor (s)	MURAKAMI, Moeko	**Japanese Level**	Intermediate 2		
Course Objectives	You can use words accurately on a wider range of topics, with the appropriate level of politeness for the situation, enabling natural exchanges that maintain dialogue and relationships without causing stress for either party.				
Course Goals	1. You can engage in conversations on various topics, adjusting the depth of content as needed (e.g., sparking interest, incorporating questions, and responding appropriately). 2. You can adapt your speech to suit the formality of the situation (e.g., using simple introductions or set phrases). 3. You can modify your speech based on the other person's reactions (e.g., using fillers, interjections, or adding necessary information).				
Course Schedule	(1) Students learn and use the following items to which attention should be paid in real situations: - Spoken language and conversation styles (casual and formal) - Active listening - Fillers - Sentence-ending particles - How to initiate, maintain, and conclude conversations - How to tell stories effectively - Polite expressions - Using simple introductions or set phrases - Written language and email texts (2) Students learn and use the following items, which are necessary for discussion: - Types of discussions - Discussion flow - How to assert their opinions clearly and logically - How to seek the opinions of others				
Homework	Students are required to complete review and reflection assignments using smartphones or computers in each class session. They must complete all assigned preparatory work and tasks prior to attending class.				
Grading System	Class participation: 25%; Assignments: 25%; Mid-term exam: 25%; End-of-term exam: 25%				
Textbooks					
Additional Information	As many class activities are conducted in pairs or groups, students are expected to participate actively and cooperatively. Students who have concerns about participating in pair or group work are encouraged to consult the instructor.				

中級 Intermediate

科目名	中級やりとり(基礎)3A		時間割コード	027934
曜日・講時	月1・水1	時間	08:45～10:15	
担当者	今井 史子	日本語レベル	中級3	
授業の目標	(1) 自分が言いたいことを様々な表現を効果的に使って流暢かつ自然に表現することができ、相手に対して柔軟に効果的に対応することができる。 (2) 相手の話やメールにふさわしい丁寧さで効果的に答えることができる。			
到達目標	(1) 複雑で高度な話題について、互いの情報・意見を有効に活用し、やりとりすることができる。 (2) 話しにくい事柄についても、相手の気分を害することなく、適切な表現を使って述べることができる(ぼかしや言いさし表現などの使用)。 (3) (遠回しな表現など)微妙なニュアンスに隠された言外の意味(社会的習慣)を理解し、正しく反応することができる。			
授業計画	＜授業の流れ＞ (1) 準備：各タスク（話す・書く）の内容について、配布資料をもとに考えてくる。 (2) 意識：うまくコミュニケーションができていない会話やメールの文章を見て、その理由について話し合う。 (3) 練習：グループごとに会話やメールの文章を書き直してから、その結果についてクラス全体で話し合う。 (4) 応用：もっとも効果的で気持ちのいい会話やメールの文章はどんなものなのかを整理する。 ＜学習する内容＞ 【情報提示の順序・例示】 相手の知らない新しい情報・知識をわかりやすく伝える。 【理解確認の表現】 伝えた情報・知識に対する相手の理解を確かめながら話を進める。 【クッション言葉】 相手の面子をつぶすことなく、アドバイスをする。互いの意見の違いを自然に表出して、自分の主張を失礼なく伝える。 【同感・同調の表現】 相手の面子をつぶすことなく、相手の間違いを指摘する。 【発話順序・あいまい表現】 相手の面子をつぶすことなく、上手に断る。 【察し・ぼかし・言いさし表現】 正確に伝えたほうがいい情報とあいまいに伝えたほうがいい情報を区別して伝える。 【プロソディ】 声のトーン、リズム、話すスピード、ポーズなどの言語外要素の重要性を知り、効果的に活用する。			

中級 Intermediate

準備学習	この授業では「話し合うこと」と「みずから気づくこと」を大切にして、グループ活動を多く取り入れる。 ・事前に配られる個人タスクを予習してくること。 ・互いの成果物が学習のリソースとなるので、グループ活動に積極的に参加すること。
成績評価の基準と方法	平常点（課題提出など）50% 中間テスト 20% 期末テスト 30%
テキスト・教科書	
備考	

Subject	Intermediate Japanese Interaction (Basic) 3A			Course Code	027934
Class Period	Mon. 1 & Wed. 1	Time	08:45 - 10:15		
Instructor (s)	IMAI, Fumiko	Japanese Level	Intermediate 3		
Course Objectives	(1) You can express what you want to say fluently and naturally using a variety of effective expressions, and respond flexibly and effectively to others. (2) You can respond politely and effectively to others in conversations and in e-mails, using an appropriate level of politeness.				
Course Goals	(1) You can effectively utilize and exchange information and opinions on complex, advanced topics. (2) You can express even difficult subjects without offending the other person, using appropriate phrasing (such as euphemisms or indirect expressions). (3) You can understand the implied meaning hidden in subtle nuances (such as indirect expressions) and social conventions, and respond appropriately.				
Course Schedule	Flow of the lesson (1) Preparation: Students consider the content of each task (speaking and writing) based on the handouts provided. (2) Awareness: Students discuss why the sentences used in dialogues or e-mails are not appropriate. (3) Practice: Students in each group rewrite the sentences used in dialogues or e-mails, and the whole class discusses the results. (4) Application: Students organize the most efficient and appropriate sentences for dialogues and e-mails. Contents to be learned:				

中級 Intermediate

	[Order of information / Exemplification] Convey new information and knowledge to others. [Expressions for confirmation of understanding] Carry on dialogues while making sure that others understand the information and knowledge conveyed. [Words to soften awkward topics] Offer advice without making others lose face. Naturally express differences of opinion with one another and convey one's point politely. [Expressions of agreement] Point out the mistakes of others without making them lose face. [Speech order / Ambiguous expressions] Say "no" diplomatically, without making others lose face. [Conjectural / vague / unfinished expressions] Discriminate between information that should be precisely conveyed and information that should be ambiguously delivered. [Prosody] Realize the importance of extra-linguistic elements, such as tone of voice, rhythm, speaking speed and silence, in order to make effective use of them.
Homework	This class features various group activities that help students spontaneously engage in discussions and gain insights. Students are required to: - prepare for individual tasks assigned in advance; and - proactively participate in group activities because the results they have created can be used as resources for learning.
Grading System	Class Participation (task submissions, etc.): 50% Mid-term exams: 20% End-of-term exams: 30%
Textbooks	
Additional Information	

中級 Intermediate

科目名	中級やりとり(基礎)3B		時間割コード	027935
曜日・講時	火4・木4	時間	14:45～16:15	
担当者	千葉 佳奈美	日本語レベル	中級3	
授業の目標	・自分が言いたいことを様々な表現を効果的に使って流暢かつ自然に表現することができ、相手に対して柔軟に効果的に対応することができる。 ・相手の話やメールにふさわしい丁寧さで効果的に答えることができる。			
到達目標	(1)複雑で高度な話題について、互いの情報・意見を有効に活用し、やりとりすることができる。 (2)話しにくい事柄についても、相手の気分を害することなく、適切な表現を使って述べることができる(ぼかしや言いさし表現などの使用)。 (3)(遠回しな表現など)微妙なニュアンスに隠された言外の意味(社会的習慣)を理解し、正しく反応することができる。			
授業計画	＜授業の流れ＞ (1)意識：与えられた会話やメールの場面について、どのようなコミュニケーションが適切か考える。 (2)練習：グループごとに会話やメールの文章を作成し、他のグループと互いにコメントしあい、気づいたことを共有する。 (3)応用：円滑なコミュニケーションのためにどのようなことが必要かを整理する。 ＜学習する内容＞ 【情報提示の順序・例示】相手の知らない新しい情報・知識をわかりやすく伝える。 【理解確認の表現】やりとりした情報・知識に対する自分・相手の理解を確かめながら話を進める。 【クッション言葉】意見の主張や調整、依頼、言いにくいことを伝える際に相手の気持ちに配慮した表現で伝える。 【察し・ぼかし・言いさし表現】正確に伝えたほうがいい情報とあいまいに伝えたほうがいい情報を区別して伝える。 【プロソディ】声のトーン、リズム、話すスピード、ポーズなどの言語外要素の重要性を知り、効果的に活用する。			
準備学習	授業内で指示する。			
成績評価の基準と方法	・平常点（課題提出等）　40% ・中間テスト　30% ・期末テスト　30%			
テキスト・教科書				
備考	この授業では「話し合うこと」と「みずから気づくこと」を大切にして、グループ活動を多く取り入れる。 互いの成果物が学習のリソースとなるので、グループ活動に積極的に参加すること。			

中級 Intermediate

Subject	Intermediate Japanese Interaction (Basic) 3B			**Course Code**	027935
Class Period	Tue. 4 & Thu. 4	**Time**	14:45 - 16:15		
Instructor (s)	CHIBA, Kanami	**Japanese Level**	Intermediate 3		
Course Objectives	You can express what you want to say fluently and naturally using a variety of effective expressions, and respond flexibly and effectively to others.				
Course Goals	1. You can effectively utilize and exchange information and opinions on complex, advanced topics. 2. You can express even difficult subjects without offending the other person, using appropriate phrasing (such as euphemisms or indirect expressions). 3. You can understand the implied meaning hidden in subtle nuances (such as indirect expressions) and social conventions, and respond appropriately.				
Course Schedule	<Course Flow> (1) Awareness: Students consider what kinds of communication are appropriate in given conversational and email scenarios. (2) Practice: In groups, students create dialogues or email texts, exchange comments with other groups, and share insights gained from the activity. (3) Application: Students organize and reflect on what is necessary for smooth and effective communication. <Course Content> Order of Information and Use of Examples: Clearly conveying new information or knowledge unfamiliar to the listener or reader. Expressions for Checking Understanding: Using expressions to confirm one's own and others' understanding while continuing communication. Cushioning Expressions: Using considerate language when stating opinions, negotiating, making requests, or conveying difficult messages. Implicitness, Vagueness, and Incomplete Expressions: Distinguishing between information that should be conveyed precisely and information that is better communicated indirectly or ambiguously. Prosody: Understanding the importance of paralinguistic features such as tone of voice, rhythm, speaking speed, and pauses, and using them effectively.				
Homework	Details will be provided during class.				

中級 Intermediate

Grading System	- Continuous assessment (e.g., assignment submissions): 40% - Midterm examination: 30% - Final examination: 30%
Textbooks	
Additional Information	This course emphasizes discussion and self-discovery and includes extensive group work. Students are expected to participate actively, as each group's work serves as a learning resource.

中級 Intermediate

科目名	中級やりとり(運用)1			時間割コード	027930
曜日・講時	金4	時間	14:45～16:15		
担当者	延与 由美子	日本語レベル	中級1		
授業の目標	日常的な話題だけでなく、非日常的で抽象的な話題についても、自分の意見を表明したり、情報を交換したり、話し合いをすることができる。				
到達目標	(1) 身近な話題(自分の専攻、母国の文化・社会)について、知っていることや自分の考えを簡単に述べたり、相手に発言を求めたりすることができる。 (2) 相手に自分の意図を正確に伝えることができる(話の目的と背景を伝える、話の内容の修正)。 (3) 相手の話に正しく反応することができる(聞き返す、同調)。				
授業計画	授業の前半と後半に 2 つのアクティビティーを行う。アクティビティーの報告会の後、口頭試験を実施する。 (1) インタビューの実施、報告会での結果発表 意見の述べ方、お願いのしかた、詳しい情報の尋ねかた、聞き返し、あいづちなどを実際に使って、以下の活動をする。 ・テーマやインタビューの質問などについて、話し合う。 ・クラス内外の留学生へのインタビューで情報を集める。 ・集めた情報をまとめ、PPT を作って、発表する。 ・他のグループの発表を聞いて、わからないことや、詳しく知りたいことについて質問する。 (2) 日常生活において日本語で苦労する場面の動画の作成と、報告会での発表（グループワーク） ・自分が日本語で苦労した経験から、よい対処の仕方について話し合い、適切な文体・終助詞・フィラー・あいづちを実際に使って、原稿を作る。 ・作成した原稿を元に、正しいアクセントやイントネーションで話せるように練習し、動画を作る。 ・その動画制作で学んだことについて発表する。 ・他のグループの発表を聞いて、わからないことや、詳しく知りたいことについて質問する。				
準備学習	グループでの作業が多いので、授業の時間以外にも、準備や打ち合わせを積極的に、協調して行うこと。				
成績評価の基準と方法	効果的な日本語使用（活動の発話や質問の量など）10%、前半の課題 45%、後半の課題 45%				
テキスト・教科書					
備考	・人数によって予定が変わることがある。 ・担当教員の判断で異なるレベルのクラスへの移動を促されることがある。				

中級 Intermediate

Subject	Intermediate Japanese Interaction (Practical) 1		Course Code	027930
Class Period	Fri. 4	Time	14:45 - 16:15	
Instructor (s)	ENYO, Yumiko	Japanese Level	Intermediate 1	
Course Objectives	You can express your opinions, exchange information, and engage in discussions on both everyday topics and non-routine, abstract subjects.			
Course Goals	(1) You can briefly state what you know or your thoughts on familiar topics (your major, your home country's culture and society), and ask the other person to speak. (2) You can accurately convey your intentions to the other person (communicate the purpose and background of the conversation, modify the content of your speech). (3) You can respond appropriately to the other person's speech (ask for clarification, show agreement).			
Course Schedule	You will conduct two activities; one in the first half of the course and the other in the second half. They will conclude each activity with an oral report, which will be followed by an oral examination. (1) Conduct interviews and present their results in class: Using words and phrases that are appropriate for expressing opinions, asking for favors, asking for detailed information, begging someone's pardon and giving feedback, you will perform the following activities. - Discuss interview themes and questions. - Collect information by interviewing students in an out of the class. - Compile collected information to draw up PPT and make a presentation. - Listen to the presentations made by other groups, ask questions about unclear things, and ask for detailed information. (2) Make a video about linguistic challenges you experienced in daily situations, and make a presentation as group work. - Discuss situations in which linguistic challenges they faced, as well as strategies they needed then, and draw up a script, using polite/casual expressions, sentence-ending particles, and short responses. - Practice so that the you can talk with the correct accent and intonation patterns for the script, and create a video. - Present what you have learned through video making. - Review the presentations made by other groups, and ask questions about unclear things, and ask for detailed information.			
Homework	Since the students have to be involved in a number of group activities, they are required to proactively cooperate with each other in preparations and discussions even outside of class hours.			
Grading System	Effective communication (in terms of expressing opinions and questions during class activities): 10%, assignments in the former half: 45%;			

中級 Intermediate

	assignments in the latter half: 45%
Textbooks	
Additional Information	- The lesson content is subject to change depending on the number of students. - Students may be suggested to change a class with a different level based on the instructor's judgement.

中級 Intermediate

科目名	中級やりとり(運用)2		時間割コード	027933
曜日・講時	金4	時間	14:45～16:15	
担当者	山本 さやか	日本語レベル	中級2	
授業の目標	より幅広い話題について、正確に言葉を使うことができ、その場にふさわしい丁寧さで、お互いにストレスを感じることなく、対話や関係を維持しながら自然にやりとりができる。			
到達目標	1. 様々なジャンルの話題について、内容の度合いを調整しながらやりとりすることができる(相手の興味を誘う、質問などを交えながら反応)。 2. 場面の改まり度にあった述べ方ができる(簡単な前置き、定型表現の使用)。 3. 相手の反応にあわせて述べ方を変えることができる(フィラー、相づちの使用、必要な情報の追加)。 4. 実生活で応用できる。			
授業計画	1. 通販番組を作成する（グループ） 「日本で見つけた便利な商品」をグループで探し、どのような時に使うのか、どのような機能があるのかを調べる。 その商品について興味のない人にも関心を持ってもらえるような面白く、わかりやすいセールストークを考え、通販番組を作成する。 2.フォーマルな場面での会話を作成する（グループ） アルバイトの面接、結婚式、葬式、日本人のお宅訪問などの場面で簡単な前置き表現、定型表現、敬語等を使用したシナリオを考え、動画を作成する。			
準備学習	クラスの中で、教員が別途指示する。			
成績評価の基準と方法	参加度（自己評価、宿題等）20% 課題（1)(2) 40%×2			
テキスト・教科書				
備考	1回目の授業でレベルチェックテストを行うので、必ず出席すること。 担当教員の判断で異なるレベルのクラスへの移動を促されることがある。			

中級 Intermediate

Subject	Intermediate Japanese Interaction (Practical) 2		**Course Code**	027933
Class Period	Fri. 4	**Time**	14:45 - 16:15	
Instructor (s)	YAMAMOTO, Sayaka	**Japanese Level**	Intermediate 2	
Course Objectives	You can use words accurately on a wider range of topics, with the appropriate level of politeness for the situation, enabling natural exchanges communicate smoothly in pairs or groups that maintain dialogue and relationships without causing stress for either party.			
Course Goals	1. You can engage in conversations on various topics, adjusting the depth of content as needed (e.g., sparking interest, incorporating questions, and responding appropriately). 2. You can adapt your speech to suit the formality of the situation (e.g., using simple introductions or set phrases). 3. You can modify your speech based on the other person's reactions (e.g., using fillers, interjections, or adding necessary information). 4. You can apply it in real life			
Course Schedule	1. Creating Home Shopping TV Programs (Group work) Group members search for “useful products found in Japan”. Find out when they are used and what kind of functions they have. Create an interesting and easy-to-understand sales talk that will interest even those who are not interested in the products and create a mail-order program. 2. Creating Conversations for formal situations (Group work) Group members will develop scenarios and create videos of situations, such as part-time job interviews, weddings, funerals, and visits to Japanese people's homes, using simple prefaces, formulaic expressions, and honorifics etc.			
Homework	Teacher will give instructions to students in class.			
Grading System	Participation (self-evaluation, homework, etc.) 20% Assignment (1)(2) 40%×2			
Textbooks				
Additional Information	- Attendance at the first class is mandatory because students are supposed to take a test to check their levels. - Students may be suggested to change a class with a different level based on the instructor’s judgement.			

中級 Intermediate

科目名	中級やりとり(運用)3		時間割コード	027936
曜日・講時	金4	時間	14:45～16:15	
担当者	屋方 淳子	日本語レベル	中級3	
授業の目標	自分が言いたいことを様々な表現を効果的に使って流暢かつ自然に表現することができ、相手に対して柔軟に効果的に対応することができる。			
到達目標	1:複雑で高度な話題(経済・政治・法律・化学など)について互いの情報・意見を有効に活用しやりとりすることができる・ 2:話しにくい事柄についても、相手の気分を害することなく、適切な表現を使って述べることができる。(ぼかしや言いさし表現などの使用) 3:(遠回しな表現など)微妙なニュアンスに隠された言外の意味(社会的慣習)を理解し、正しく反応することができる。			
授業計画	(1)ディベート ア)グループワークでよりよい話し合いをするため以下の方法を実践練習する。 ・相槌などで相手の意見に共感を示しつつ自分の意見も述べる。 ・前置き表現などを使い分かりやすく話す。 ・ジェスチャーや声のトーンなどの非言語メッセージを含んだ表現で意見の説得力を高める。 イ)ディベートのテーマ（論題）についてグループ内で意見を出し合い立論を組み立てる。 ウ)賛成チームと反対チームでディベートを行う。 エ)ディベート終了後、ディベート内で適切なやりとりができていたか振り返りを行う。 (2)ラジオ番組制作 ア)学習者それぞれの個性や創造イメージを言葉で表現し意見を出し合い面白いラジオ番組の制作を目指す。 ・最近起こった面白いできごと・社会問題などを話す。 ・お勧めの音楽（実際に流す）や商品の紹介をする。 ・番組内で「悩み事相談コーナー」を作り、悩み事の解決策を考える。 （悩み事は実際の生活上で起きている身近な問題を取り上げる） イ)制作したラジオ番組を発表する。 ウ)発表後、適切な表現ややりとりができていたか振り返りを行う。			
準備学習	(1) 学生同士で積極的・協調的に打ち合わせや準備を行うこと。 (2) 自宅でパソコンを使い、作業を行う場合がある。			
成績評価の基準と方法	(1)ディベート 50% グループワークの参加度 20%(各回の自己評価 10%、総合評価 10%)成果物 30%(ディベート実践) (2)ラジオ番組制作 50% グループワークの参加度 20%(各回の自己評価 10%、総合評価 10%)　成果物 30%(ラジオ番組制作発表)			
テキスト・教科書				

中級 Intermediate

備考（びこう）	(1)受講人数によって予定が変わることがある。 (2)担当教員の判断で異なるレベルのクラスへの移動を促されることがある。

Subject	Intermediate Japanese Interaction (Practical) 3		**Course Code**	027936
Class Period	Fri. 4	**Time**	14:45 - 16:15	
Instructor (s)	YAKATA, Junko	**Japanese Level**	Intermediate 3	
Course Objectives	You can express what you want to say fluently and naturally using a variety of effective expressions, and respond flexibly and effectively to others.			
Course Goals	1. You can effectively utilize and exchange information and opinions on complex, advanced topics (such as economics, politics, law, chemistry, etc.). 2. You can express even difficult subjects without offending the other person, using appropriate phrasing (such as euphemisms or indirect expressions). 3. You can understand the implied meaning hidden in subtle nuances (such as indirect expressions) and social conventions, and respond appropriately.			
Course Schedule	(1) Debate a) Practice the following methods for better communication in group work. ・Show your sympathy for the other person's opinion by using aizuchi (aizuchi), etc., while stating your own opinion as well. ・Use prefixes and expressions to make your speech clear and easy to understand. ・Use gestures, tone of voice, and other non-verbal messages to make your opinions more persuasive. b) Exchange opinions within the group about the theme of the debate and construct your arguments. c) Conduct a debate between the pro team and the con team. d) After the debate, review whether appropriate exchanges were made during the debate. (2) Radio program production a)Aim to create an interesting radio program where each student expresses their individuality and creative ideas through words and exchange opinions. ・Talk about interesting events and social issues that have recently occurred. ・Introduce recommended music (to be played during the radio) and products. ・Create a 'consultation corner' within the program and come up with solutions to problems. (The concerns will be based on familiar issues that occur in real life.) b) Announce a radio program that you have produced. c) After the presentation, review whether the students were able to express themselves and exchange ideas appropriately.			

中級 Intermediate

Homework	(1)Actively and cooperatively hold meetings and preparations with fellow students. (2)Sometimes perform tasks at home using a computer.
Grading System	(1) Debate: 50%. 20% for participation in group work (10% for self-evaluation in each session and 10% for overall evaluation) 30% for deliverables (debate) (2) Radio program production: 50%. 20% for participation in group work (10% for self-evaluation in each session and 10% for overall evaluation) 30% for deliverables (presentation of radio program production)
Textbooks	
Additional Information	(1) The schedule is subject to change depending on the number of students. (2) Students may be asked to move to a class of a different level at the discretion of the instructor in charge.

中級 Intermediate

中 級 表 現
Intermediate Japanese Expression

科目名	中級表現(基礎)1A		時間割コード	027937
曜日・講時	月2・水2	時間	10:30～12:00	
担当者	浅井　美佐	日本語レベル	中級1	
授業の目標	より広い範囲の事柄について、ある程度まとまった内容を、正確で適切な語句や文を使って記述・表現することができる。			
到達目標	1.アカデミックな場面で必要な表現を使うことができる(書き言葉と話しことばの違いの理解、指示詞、理由・目的・結果・比較・定義の表現の使用)。 2.適切に文章を組み立て、記述・表現することができる(段落を用いた文章の展開)。 3.意見を述べたり、まとまった内容を 2、3 分程度で発表することができる。			
授業計画	<学習内容> (1)文末の統一 (2)書くときによく使う言葉 (3)理由と目的の表現 (4)接続詞 (5)定義して説明する (6)他者の意見／自分の意見を分けて書く (7)プレゼンテーション (8)比較/対比 <扱うテーマ> (1)私の大学の紹介 (2)専門を選んだ理由と目的 (3)私の国の紹介 (4)私の国のおすすめのおみやげ (5)ステレオタイプ (6)自分の国と日本の比較			
準備学習	クラスの中で教員が指示する。			
成績評価の基準と方法	テスト 50%、課題 50%			
テキスト・教科書				
備考	・1 回目の授業でレベルチェックテストをするので、必ず出席すること。 ・担当教員の判断で異なるレベルのクラスへの移動を促されることがある。 ・一部オンデマンド、オンライン授業を行う場合がある。			

中級 Intermediate

Subject	Intermediate Japanese Expression (Basic) 1A		**Course Code**	027937
Class Period	Mon. 2 & Wed. 2	**Time**	10:30～12:00	
Instructor (s)	ASAI, Misa	**Japanese Level**	Intermediate 1	
Course Objectives	You can describe and express a reasonably coherent account of a wider range of topics using accurate and appropriate vocabulary and sentences.			
Course Goals	1.You can use expressions necessary in academic settings (understanding the difference between written and spoken language, using demonstratives, and expressing reasons, purposes, results, comparisons, and definitions). 2.You can construct sentences appropriately and express ideas clearly (developing ideas using paragraphs). 3.You can state opinions or present coherent content in a 2–3-minute presentation.			
Course Schedule	＜Contents＞ (1) Speech style/Writing style (2) Formal expressions (3) Expressions for reasons and purposes (4) Conjunctions (5) Expressions for defining (6) Expressions for quoting (7) Presentation (8) Comparison/Contrast ＜Topic＞ (1) Introducing my university (2) My specialty and reason for choosing (3) Introducing my country (4) My recommendation for a gift from my country (5) Stereotype (6) Comparison between your country and Japan			
Homework	Teachers will give instructions to students in classes.			
Grading System	Tests: 50%; assignments:50%			
Textbooks				
Additional Information	-Attendance at the first class is mandatory because students are supposed to take a test to check their levels. -Students may be suggested to change a class with a different level based on the instructor's judgement. -Some classes may be offered on-demand or online.			

中級 Intermediate

科目名	中級表現(基礎)1B		時間割コード	027938
曜日・講時	火3・木3	時間	13:00-14:30	
担当者	杜 長俊	日本語レベル	中級1	
授業の目標	より広い範囲の事柄について、ある程度まとまった内容を、正確で適切な語句や文を使って記述・表現することができる			
到達目標	1.アカデミックな場面で必要な表現を使うことができる 2.適切に文章を組み立て、記述・表現することができる 3.意見を述べたり、まとまった内容を2，3分程度発表することができる			
授業計画	1.　理由、目的、定義、順序など、アカデミック場面に必要な表現を練習する。 2.　3 段落で文章を書く。 3.　お互いが書いた文章を見て、コメント・質問をする 4.　スライドを作って自分の意見・経験について説明する 取り扱うテーマ： ・食生活の変化 ・日本に来てびっくりしたこと ・日本にあって自分の国にないもの ・日本語のおもしろいところ、難しいところ ・ルール・マナー ・学校生活			
準備学習	クラスの中で教員が指示する			
成績評価の基準と方法	1.宿題（文章を書く・スライドを作る）40% 2.テストとふりかえり①②　20% 3.プレゼンテーション　20% 4.コメントシート　20%			
テキスト・教科書				
備考	・1 回目の授業でレベルチェックテストをするので、必ず出席すること。 ・担当教員の判断で異なるレベルのクラスへの移動を促されることがある。			

中級 Intermediate

Subject	Intermediate Japanese Expression (Basic) 1B		**Course Code**	027938
Class Period	Tue. 3 & Thu. 3	**Time**	13:00-14:30	
Instructor (s)	DU, Changjiun	**Japanese Level**	Intermediate 1	
Course Objectives	Can describe and express a reasonably coherent body of content on a broader range of subjects using accurate and appropriate vocabulary and sentences.			
Course Goals	1.Using expressions necessary in academic settings 2.Constructing sentences to describe and express yourself 3.Stating opinions and presenting coherent content in a 2-3 minute presentation			
Course Schedule	1. Practice expressions needed in academic settings, such as reasons, purposes, definitions, and order. 2. Write a three-paragraph essay. 3. Review each other's essays and provide comments/questions. 4. Create a slide presentation to explain your opinions and experiences. Topics covered in class: ・Changes in eating habits ・Things that surprised me after coming to Japan ・Things that exist in Japan but not in my home country ・Interesting and difficult aspects of the Japanese language ・Rules and manners ・School life			
Homework	Teacher will give instructions in classes.			
Grading System	1. Homework (writing essays/creating slides) 40% 2. Tests and reflections ①② 20% 3. Presentation 20% 4. Comment sheet 20%			
Textbooks				
Additional Information	- Attendance at the first class is mandatory because students are supposed to take a test to check their levels. - Students may be suggested to change a class with a different level based on the instructor's judgement.			

中級 Intermediate

科目名	中級表現(基礎)2A	時間割コード	027940
曜日・講時	月2・水2	時間	10:30～12:00
担当者	平田 未季	日本語レベル	中級2
授業の目標	様々な話題について、関連する情報を活用しながら、明確かつ詳細に記述・表現することができる。		
到達目標	(1)表現を使い分ける、表や図などのデータを使うなどして、客観的な説明をすることができる。 (2)先行研究を引用しながら、自分の考えを述べることができる。 (3)聞き手にとって分かりやすいプレゼンテーションをすることができる。		
授業計画	＜文章表現＞ ・論文において適切な語彙、適切な文、適切な構成を学ぶ。 ・表や図を使って意見を述べる方法を学ぶ。 ・日本語での引用のしかたを学ぶ。 ・先行研究を引用しながら、賛成／反対の意見を書く。 ＜口頭表現＞ ・データを使って発表する。 ・根拠のある意見を言う。 ・聞き手を意識した発表をする。		
準備学習	クラスの中で教員が指示する。		
成績評価の基準と方法	テスト試験 20%、発表 30%、課題 50%		
テキスト・教科書			
備考	・1 回目の授業でレベルチェックテストをするので、必ず出席すること。 ・担当教員の判断で異なるレベルのクラスへの移動を促されることがある。		

中級 Intermediate

Subject	Intermediate Japanese Expression (Basic) 2A		**Course Code**	027940
Class Period	Mon. 2 & Wed. 2	**Time**	10:30～12:00	
Instructor (s)	HIRATA, Miki	**Japanese Level**	Intermediate 2	
Course Objectives	This course aims to have students describe and comment on various topics clearly and precisely using related information.			
Course Goals	Students will acquire the ability to: (1) appropriately use expressions with mutually similar meanings, and objectively present the facts of similarities, differences and transitions in situations using expressions for describing the data of tables and figures; (2) express their opinions using quotations; and (3) conduct an audience-friendly presentation.			
Course Schedule	(Written expression) Students will engage in: - learning appropriate vocabulary, sentences and structures; - writing opinions using the data of tables and figures; - learning the quotation method in Japanese; and - writing pro/con opinions on previous studies. (Oral expression) Students will engage in: - making presentations using the data; - expressing their opinions based on the evidence; and - conducting presentationsd designed for audience.			
Homework	Teachers will give instructions to students in classes.			
Grading System	Examinations: 20%; presentations: 30%; assignments: 50%			
Textbooks				
Additional Information	- Attendance at the first class is mandatory because students are supposed to take a test to check their levels. - Students may be suggested to change a class with a different level based on the instructor's judgement.			

中級 Intermediate

科目名	中級表現(基礎)2B		時間割コード	027941
曜日・講時	火3・木3	時間	13:00-14:30	
担当者	山本 さやか	日本語レベル	中級2	
授業の目標	様々な話題について、関連する情報を活用しながら、明確かつ詳細に記述・表現することができる。			
到達目標	1. 様々な話題についてより適切な表現を使って述べることができる(類似表現の使い分け、データの使用)。 2. より適切に文章を組み立て、明確に意見を述べることができる(データ・根拠の提示)。 3. わかりやすくスピーチやプレゼンテーションをすることができる(時間・量に応じた調整、内容の要約)。			
授業計画	＜文章表現＞ ・論文において適切な語彙、適切な文、適切な構成を学ぶ。 ・表や図を使って意見を述べる方法を学ぶ。 ・日本語での引用のしかたを学ぶ。 ・先行研究を引用しながら、賛成／反対の意見を書く。 ＜口頭表現＞ ・データを使って発表する。 ・根拠のある意見を言う。 ・聞き手を意識した発表をする。			
準備学習	クラスの中で教員が指示する。			
成績評価の基準と方法	テスト試験 20%、発表 30%、課題 50%			
テキスト・教科書				
備考	・1 回目の授業でレベルチェックテストをするので、必ず出席すること。 ・担当教員の判断で異なるレベルのクラスへの移動を促されることがある。			

中級 Intermediate

Subject	Intermediate Japanese Expression (Basic) 2B			**Course Code**	027941
Class Period	Tue. 3 & Thu. 3	**Time**	13:00-14:30		
Instructor (s)	YAMAMOTO, Sayaka	**Japanese Level**	Intermediate 2		
Course Objectives	You can clearly and thoroughly describe and express various topics while utilizing relevant information.				
Course Goals	1. You can express yourself more appropriately on various topics (distinguishing between similar expressions, using data). 2. You can construct sentences more effectively and state opinions clearly (presenting data and evidence). 3. You can deliver speeches and presentations in an easy-to-understand manner (adjusting for time and volume, summarizing content).				
Course Schedule	(Written expression) Students will engage in: - learning appropriate vocabulary, sentences and structures; - writing opinions using the data of tables and figures; - learning the quotation method in Japanese; and - writing pro/con opinions on previous studies. (Oral expression) Students will engage in: - making presentations using the data; - expressing their opinions based on the evidence; and - conducting presentationsd designed for audience.				
Homework	Teachers will give instructions to students in classes.				
Grading System	Examinations: 20%; presentations: 30%; assignments: 50%				
Textbooks					
Additional Information	- Attendance at the first class is mandatory because students are supposed to take a test to check their levels. - Students may be suggested to change a class with a different level based on the instructor's judgement.				

中級 Intermediate

科目名	中級表現(基礎)3A		時間割コード	027943
曜日・講時	月2・水2	時間	10:30～12:00	
担当者	市川 明美	日本語レベル	中級3	
授業の目標	複雑な話題について、論理的に明瞭かつ詳細に記述・表現することができる。			
到達目標	(1) 複雑な話題について、より高度な表現(名詞化、連用中止法、適切な接続詞、ニュアンスを加えた表現など)を使って述べることができる。 (2) 論理的に意見を述べたり(ディスカッション)、段落を用いて論理的な文章を書くことができる(序論・本論・結論のあるレポート)。 (3) 説得力のある 10 分程度のプレゼンテーションができる(有効な媒体の使用)。			
授業計画	第 1 部：アカデミックな文章表現の基礎 ・レポート／論文で求められる基本的な文体・表現上の注意点を確認する。 ・語彙選択（硬さ・言い換え・専門語の扱い）や、文と文のつながり（接続表現など）を学ぶ。 ・情報を整理して明瞭に書くための表現（簡潔化・推敲・段落構成）について練習する。 第 2 部：レポート作成（構成・論理・引用） ・レポートの目的に応じた構成（序論・本論・結論）を設計し、論理展開の基礎を身につける。 ・根拠の示し方（資料の扱い、要約と意見の区別）を意識しながら、短めのレポートを作成する。 ・引用と参考文献の基本を学び、適切な形式で示せるようにする。 第 3 部：プレゼンテーション（準備・発表・質疑） ・目的と聞き手に合わせた発表構成を考え、資料（スライド等）を作成する。 ・発表表現と進行（導入・説明・まとめ）を練習し、質疑応答にも対応できるようにする。 ・最終発表と相互コメントを通して、改善点を整理する。 ※授業の進度や受講者の状況に応じて、扱う順序・分量・課題内容は調整する。			
準備学習	(1) 予習：配布資料の精読、指定箇所の用例確認、練習問題への取り組み。 (2) 復習：授業で扱った文の書き換え・推敲、レポートの改善、引用表記・参考文献の点検、プレゼン練習。 ※課題量は学習進度により調整し、授業内で指示する。			
成績評価の基準と方法	(1) テスト：60% (2) レポート・プレゼン等の課題：40%			
テキスト・教科書				
備考	・1 回目の授業でレベルチェックテストをするので、必ず出席すること。 ・担当教員の判断で異なるレベルのクラスへの移動を促されることがある。 ・レポート作成では、引用・参考文献の明記を必須とし、剽窃・盗用に該当する提出は認めない。			

中級 Intermediate

Subject	Intermediate Japanese Expression (Basic) 3A			**Course Code**	027943
Class Period	Mon. 2 & Wed. 2	**Time**	10:30～12:00		
Instructor (s)	ICHIKAWA, Akemi	**Japanese Level**	Intermediate 3		
Course Objectives	You can describe and express complex topics logically, clearly, and in detail.				
Course Goals	1. You can express complex topics using more advanced language (such as nominalization, attributive construction, appropriate conjunctions, and nuanced expressions). 2. You can logically present opinions (in discussions) and write coherent paragraphs (in reports with introduction, body, and conclusion). 3. You can deliver a persuasive presentation lasting about 10 minutes (using effective media).				
Course Schedule	Part 1: Foundations of Academic Written Expression - Review basic rules of style and expression required for reports and academic writing. - Learn appropriate vocabulary selection (formality level, paraphrasing, handling technical terms) and ways to connect sentences/ideas effectively (e.g., conjunctions and linking expressions). - Practice organizing information clearly through conciseness, revision/editing, and paragraph structure. Part 2: Report Writing (Structure, Logic, and Citation) - Design a report structure according to purpose (introduction, body, conclusion) and acquire the basics of logical development. - Write a short report while distinguishing evidence from interpretation (handling sources/materials; separating summaries from personal opinions). - Learn the fundamentals of quotation/citation and references, and present them in an appropriate format. Part 3: Presentation (Preparation, Delivery, and Q&A) - Plan a presentation structure suited to the purpose and audience, and create materials (e.g., slides). - Practice presentation language and delivery flow (opening, explanation, summary) and learn to respond to questions effectively. - Identify areas for improvement through a final presentation and peer feedback. Note: The order, pace, and specific assignments may be adjusted depending on class progress and students'needs.				

中級 Intermediate

Homework	1. Before class: Close reading of handouts; checking usage examples in the designated sections; completing practice exercises. 2. After class: Rewriting and polishing sentences covered in class; improving reports; checking citation formats and reference lists; presentation practice. - The amount of assigned work will be adjusted depending on learning progress and will be announced in class.
Grading System	1. Tests: 60% 2. Reports and presentations: 40%
Textbooks	
Additional Information	- Attendance at the first class is mandatory because students are supposed to take a test to check their levels. - You may be asked to move to a class of a different level at the discretion of the instructor. - Proper citation and a reference list are required for report writing. Submissions that constitute plagiarism or academic dishonesty will not be accepted.

中級 Intermediate

科目名	中級表現(基礎)3B		時間割コード	027944
曜日・講時	火3・木3	時間	13:00-14:30	
担当者	山畑 倫志	日本語レベル	中級3	
授業の目標	複雑な話題について、論理的に明瞭かつ詳細に記述・表現することができる。			
到達目標	(1) 複雑な話題について、より高度な表現(名詞化、連用中止法、適切な接続詞、ニュアンスを加えた表現など)を使って述べることができる。 (2) 論理的に意見を述べたり(ディスカッション)、段落を用いて論理的な文章を書くことができる(序論・本論・結論のあるレポート)。 (3) 説得力のある 10 分程度のプレゼンテーションができる(有効な媒体の使用)。			
授業計画	第 1 部：アカデミックな文章表現の基礎 ・レポート／論文で求められる基本的な文体・表現上の注意点を確認する。 ・語彙選択（硬さ・言い換え・専門語の扱い）や、文と文のつながり（接続表現など）を学ぶ。 ・情報を整理して明瞭に書くための表現（簡潔化・推敲・段落構成）について練習する。 第 2 部：レポート作成（構成・論理・引用） ・レポートの目的に応じた構成（序論・本論・結論）を設計し、論理展開の基礎を身につける。 ・根拠の示し方（資料の扱い、要約と意見の区別）を意識しながら、短めのレポートを作成する。 ・引用と参考文献の基本を学び、適切な形式で示せるようにする。 第 3 部：プレゼンテーション（準備・発表・質疑） ・目的と聞き手に合わせた発表構成を考え、資料（スライド等）を作成する。 ・発表表現と進行（導入・説明・まとめ）を練習し、質疑応答にも対応できるようにする。 ・最終発表と相互コメントを通して、改善点を整理する。 ※授業の進度や受講者の状況に応じて、扱う順序・分量・課題内容は調整する。			
準備学習	(1) 予習：配布資料の精読、指定箇所の用例確認、練習問題への取り組み。 (2) 復習：授業で扱った文の書き換え・推敲、レポートの改善、引用表記・参考文献の点検、プレゼン練習。 ※課題量は学習進度により調整し、授業内で指示する。			
成績評価の基準と方法	(1) テスト：60% (2) レポート・プレゼン等の課題：40%			
テキスト・教科書				
備考	・1 回目の授業でレベルチェックテストをするので、必ず出席すること。 ・担当教員の判断で異なるレベルのクラスへの移動を促されることがある。 ・レポート作成では、引用・参考文献の明記を必須とし、剽窃・盗用に該当する提出は認めない。			

中級 Intermediate

Subject	Intermediate Japanese Expression (Basic) 3B			**Course Code**	027944
Class Period	Tue. 3 & Thu. 3	**Time**	13:00-14:30		
Instructor (s)	YAMAHATA, Tomoyuki	**Japanese Level**	Intermediate 3		
Course Objectives	You can describe and express complex topics logically, clearly, and in detail.				
Course Goals	1. You can express complex topics using more advanced language (such as nominalization, attributive construction, appropriate conjunctions, and nuanced expressions). 2. You can logically present opinions (in discussions) and write coherent paragraphs (in reports with introduction, body, and conclusion). 3. You can deliver a persuasive presentation lasting about 10 minutes (using effective media).				
Course Schedule	Part 1: Foundations of Academic Written Expression - Review basic rules of style and expression required for reports and academic writing. - Learn appropriate vocabulary selection (formality level, paraphrasing, handling technical terms) and ways to connect sentences/ideas effectively (e.g., conjunctions and linking expressions). - Practice organizing information clearly through conciseness, revision/editing, and paragraph structure. Part 2: Report Writing (Structure, Logic, and Citation) - Design a report structure according to purpose (introduction, body, conclusion) and acquire the basics of logical development. - Write a short report while distinguishing evidence from interpretation (handling sources/materials; separating summaries from personal opinions). - Learn the fundamentals of quotation/citation and references, and present them in an appropriate format. Part 3: Presentation (Preparation, Delivery, and Q&A) - Plan a presentation structure suited to the purpose and audience, and create materials (e.g., slides). - Practice presentation language and delivery flow (opening, explanation, summary) and learn to respond to questions effectively. - Identify areas for improvement through a final presentation and peer feedback. Note: The order, pace, and specific assignments may be adjusted depending on class progress and students'needs.				
Homework	1. Before class: Close reading of handouts; checking usage examples in the designated sections; completing practice exercises.				

中級 Intermediate

	2. After class: Rewriting and polishing sentences covered in class; improving reports; checking citation formats and reference lists; presentation practice. - The amount of assigned work will be adjusted depending on learning progress and will be announced in class.
Grading System	1. Tests: 60% 2. Reports and presentations: 40%
Textbooks	
Additional Information	- Attendance at the first class is mandatory because students are supposed to take a test to check their levels. - You may be asked to move to a class of a different level at the discretion of the instructor. - Proper citation and a reference list are required for report writing. Submissions that constitute plagiarism or academic dishonesty will not be accepted.

中級 Intermediate

科目名	中級表現(運用)1		時間割コード	027939
曜日・講時	金3	時間	13:00-14:30	
担当者	二村 年哉	日本語レベル	中級1	
授業の目標	より広い範囲の事柄について、ある程度まとまった内容を、正確で適切な文を使って記述・表現することができる。			
到達目標	・アカデミックな場面で必要な表現を使うことができる(書き言葉と話し言葉の違いの理解、指示詞、理由・目的・結果・比較・定義の表現の使用)。 ＜口頭表現＞ ・自分の国に関する紹介を、構成を理解して適切な指示詞や接続詞を使い、段落に分けて話を展開して、2～3 分のスピーチをすることができる。 ・聞き手を意識したスピーチができる。 ・より自然な聞きやすい日本語の発音でスピーチができる。 ＜文章表現＞ ・指示詞や接続詞などを使って文章を組み立てられる。 ・文章の構成を理解して、段落を使って文章を展開する			
授業計画	1.スピーチを行う ・日本語の発音やイントネーション、複合語や動詞のアクセントのルールなどを学習し、より自然な日本語発話を目指す。 ・よいスピーチとは何かを考え、学習した上で、いくつかのテーマについて準備し、2～3 分程度のスピーチを行う。 ・スピーチ原稿やスピーチの練習の際には、学生同士で改善点をアドバイスし合う活動も行う。 2.まとまりのある文章を書く ・書き言葉を使って、まとまりのある文章を書く。 ・自分の国と日本との比較や自国の社会問題などをテーマに、自分の意見も含め、ある程度まとまりのある文章を書く。			
準備学習	授業内で指示する。			
成績評価の基準と方法	課題 60%、クラス内活動 40%			
テキスト・教科書				
備考	担当教員の判断で異なるレベルのクラスへの移動を促されることがある。			

中級 Intermediate

Subject	Intermediate Japanese Expression (Practical) 1		**Course Code**	027939
Class Period	Fri. 3	**Time**	13:00-14:30	
Instructor (s)	FUTAMURA, Toshiya	**Japanese Level**	Intermediate 1	
Course Objectives	You can describe and express a reasonably coherent account of a wider range of topics using accurate and appropriate vocabulary and sentences.			
Course Goals	You can use expressions necessary in academic settings (understanding the difference between written and spoken language, using demonstratives, and expressing reasons, purposes, results, comparisons, and definitions). ＜Oral Expression＞ 1. You can give a 2–3 minute speech introducing your own country by understanding the overall structure, using appropriate demonstratives and conjunctions, and developing your talk in clearly separated paragraphs. 2. You can deliver a speech with awareness of the audience. 3. You can deliver a speech with more natural Japanese pronunciation that is easier for listeners to understand. ＜Written Expression＞ 1. You can construct written texts using demonstratives and conjunctions appropriately. 2. You can understand text structure and develop ideas using paragraphs.			
Course Schedule	1. Delivering Speeches - You will learn Japanese pronunciation and intonation, as well as rules for word accent (e.g., compound and verb accent patterns), aiming for more natural spoken Japanese. - You will consider what makes a good speech and, based on what you learn, prepare and deliver 2–3 minute speeches on several themes. - When writing speech scripts and practicing speeches, you will also engage in peer activities where students give each other advice on areas for improvement. 2. Writing Coherent Texts - You will write coherent texts using appropriate written Japanese style. - Using themes such as comparisons between your home country and Japan, or social issues in your home country, you will write reasonably well-organized texts that include your own opinions.			
Homework	Instructions will be provided in class.			
Grading System	Assignments: 60%; In-class activities: 40%			
Textbooks				
Additional Information	Students may be suggested to change a class with a different level based on the instructor's judgement.			

中級 Intermediate

科目名	中級表現(運用)2	時間割コード	027942
曜日・講時	水4	時間	14:45-16:15
担当者	近藤　弘、山畑　倫志、杜　長俊	日本語レベル	中級2
授業の目標	様々な話題について、関連する情報を活用しながら、明確かつ詳細に記述・表現することができる。		
到達目標	■ Part1： 学生は自分自身のこれまでと現在について、ナラティヴの実践を通して理解を深めた上で、いくつかの視点から具体的に説明することができる。 ■ Part2： 外国人が日本で生活するときに感じる差別やトラブルについて、自分の経験をもとにシナリオを作る。そして、それについてほかの人と話し合うことで、いろいろな考え方から自分の考えを見直すことができる。 ■ Part3： アフレコ台本・レポートの作成を通して、名詞化や適切な接続詞などの高度な表現を用いながら、複雑な話題について論理的に述べるこ		
授業計画	■ Part1：わたしの大切な人・場所・ことば（第 1 回～第 5 回） 近藤担当 １：ガイダンス、人生の木 ２：人生の木を用いた話し合い ３：大切な人・場所・ことばを選ぶ、スライド作成 ４：スライド作成 ５：プレゼンテーションとディスカッション ■ Part2：杜 （第 6 回～第 10 回） ６　シナリオを読んで意見交換をする① ７　シナリオを読んで意見交換をする② ８　グループでシナリオをつくる① ９　グループでシナリオでつくる② １０　シナリオを読んで意見交換する③ ■ Part3：ライティングと創作アフレコ（第 11 回～第 15 回） 山畑担当 １１：プロジェクトの導入、映像の分析 １２：台本・レポートのアウトライン作成 １３：アフレコ録音と情報の整理 １４：発表準備とレポートの相互レビュー １５：成果発表と振り返り		

中級 Intermediate

準備学習	・文献購読 ・成果物の準備・作成 ・自己評価・振り返りシート・感想の記入と提出等
成績評価の基準と方法	・授業参加（課題、振り返りシート、グループワーク等）40% Part1:10%, Part2:10%, Part3:10%, 全体 10%） ・成果物：60%（Part1:20%, Part2:20%, Part3:20%,）
テキスト・教科書	
備考	■ ペア・グループワークが多い授業であるため、積極的な参加が求められます。 ■ このクラスは、主にプレースメントテストで中級 2 レベルにプレースされた学生と中級 1 レベルのいずれかの授業を修了した学生を対象としています。 ■ 想定するレベルと異なるレベルの学習者でも履修は可能ですが、授業初日に教員と相談する必要があります。 ■ この授業では、立場や背景が異なる人とことばを通して相互理解することを大切にしています。

Subject	Intermediate Japanese Expression (Practical) 2	Course Code	027942
Class Period	Wed. 4	Time	14:45-16:15
Instructor (s)	KONDO Hiromu, YAMAHATA Tomoyuki, DU Changjiun	Japanese Level	Intermediate 2
Course Objectives	You can clearly and thoroughly describe and express various topics while utilizing relevant information.		
Course Goals	■ Part1: Students deepen their understanding of their past and present through narrative practice, and can then explain this concretely from various perspectives. ■ Part2: Make a scenario based on your own experiences of discrimination and problems while living in Japan as a foreigner. Then, talk about it with others so you can see your ideas again from different viewpoints. ■ Part3: Through video analysis, dubbing script writing, and report composition, students can discuss complex topics using advanced expressions such as nominalization and appropriate conjunctions. They also develop the ability to express their ideas persuasively through a final presentation.		

中級 Intermediate

Course Schedule	■ Part 1: My Important People, Places, and Words (Sessions 1–5)KONDO 1: Orientation, The Tree of Life 2: Discussion Using the Tree of Life 3: Selecting Important People, Places, and Words, Creating Slides 4: Creating Slides 5: Presentation and Discussion ■ Part 2: DU（Sessions6~10） Read the scenario and share opinions (1) Read the scenario and share opinions (2) Create a scenario in a group (1) Create a scenario in a group (2) Read the scenario and share opinions (3) ■ Part 3: Academic Writing and Creative Dubbing (Sessions 11~15) YAMAHATA 11: Project Introduction, Analyzing Video Clips 12: Creating Dubbing Scripts, Drafting Report Outlines 13: Dubbing Recording, Citation and Reference Practices 14: Presentation Preparation, Peer Review of Report Drafts 15: Final Presentations and Reflection
Homework	・Reading assigned materials ・Preparing and creating deliverables ・Completing and submitting self-assessment sheets, reflection sheets, and feedback
Grading System	・Class Participation (assignments, reflection sheets, group work, etc.): 40% (Part 1: 10%, Part 2: 10%, Part 3: 10%, Overall: 10%) ・Product: 60%　(Part 1: 20%, Part 2: 20%, Part 3: 20%)
Textbooks	
Additional Information	■ This class involves frequent pair and group work, so active participation is required. ■ This class is primarily intended for students placed at Intermediate Level 2 based on the placement test and those who have completed Intermediate Level 1. ■ Students at levels different from the intended level may enroll, but must consult with the instructor on the first day of class. ■ This class values mutual understanding through language with people from different positions and backgrounds.

中級 Intermediate

科目名	中級表現(運用)3	時間割コード	027945
曜日・講時	金3	時間	13:00～14:30
担当者	佐藤 淳子、平田 未季、鄭 恵先	日本語レベル	中級3
授業の目標	複雑な話題について、論理的に明瞭かつ詳細に記述・表現することができる。		
到達目標	(1) 複雑な話題についてより高度な表現(名詞化、連用中止法、適切な接続詞、ニュアンスを加えた表現など)を使って述べることができる。 (2) 論理的に意見を述べたり、段落を用いて論理的な文章を書くことができる。 説得力のあるプレゼンテーションができる。		
授業計画	(1)自分史を書く(1～5 回目:佐藤 淳子) ・現在の自分に影響を与えた過去の経験を短い文で書く ・それらの経験を他者に伝えたり、意見交換をしたりする ・転機となった経験を軸として、客観性がある表現や構成を用いて自分史を執筆していく ・文法的なミスがないか、よりよい表現がないか等を検討する (2)社会的な出来事とその影響について書く(6～10 回目:平田 未季) ・社会的な出来事とその影響について調べる ・社会的な出来事とその影響を時系列で短い文で書く ・他者への説明を通し、分かりやすい表現・構成を考え、複数の段落からなる文章を書く (3)ポスター発表(11～15 回目:鄭 恵先) ・与えられたテーマに基づき、個別調査およびグループでの議論を通して、個人またはグループで取り組む発表トピックを設定する ・設定したトピックに関する現状と課題について、統計資料や公的機関の資料等の客観的な情報を活用しながら整理・分析する ・明らかになった課題に対して、解決に向けた提案を検討し、説得力のある表現と論理的な根拠に基づいて主張を構築する ・上の②と③で得られた成果をポスターとしてまとめるとともに、発表原稿を作成し、クラス内で発表を行う ※ 全体テーマについては授業内で指示する		
準備学習	授業内で指示する		
成績評価の基準と方法	最終成果物・ポスター発表:60% 課題:30% 授業参加度(主に協働作業への貢献度):10%		
テキスト・教科書	授業で使用する教材や資料は教師が配布する。		
備考	・担当教員の判断で異なるレベルのクラスへの移動を促されることがある。 ・初回授業で、詳しい授業スケジュールや進め方の説明を行う。		

中級 Intermediate

Subject	Intermediate Japanese Expression (Practical) 3	**Course Code**	027945
Class Period	Fri. 3	**Time**	13:00～14:30
Instructor (s)	SATO Junko, HIRATA Miki, JUNG Hyeseon	**Japanese Level**	Intermediate 3
Course Objectives	Students will be able to describe and express complex topics logically, clearly, and in detail.		
Course Goals	(1) Students will be able to discuss complex topics using advanced expressions, such as nominalization, the continuative form, appropriate conjunctions, and expressions that add nuance. (2) Students will be able to present their opinions logically and write coherent paragraphs. Students will be able to deliver persuasive presentations.		
Course Schedule	(1) Writing a Personal Life History (Sessions 1–5: SATO, Junko) ・ Write short descriptions of past experiences that have influenced one's present self. ・ Share these experiences with others and engage in discussions and exchanges of ideas. ・ Develop a personal life history centered on significant turning points, using objective language and an appropriate organizational structure. ・ Review and revise drafts by examining grammatical accuracy and considering more effective expressions and wording. (2) Writing about Social Events and Their Impact (Sessions 6–10: Miki Hirata) ・ Research significant social events and their impact on society. ・ Write short chronological descriptions of social events and their consequences. ・ Develop multi-paragraph compositions by explaining these events to others and considering effective organization and clear expression for the intended audience. (3) Poster Presentation (Sessions 11–15: JUNG Hyeseon) ・ Based on a given theme, identify a presentation topic individually or in groups through independent research and group discussions. ・ Examine and analyze the current situation and issues related to the selected topic by utilizing objective sources such as statistical data and materials published by public institutions. ・ Develop proposals to address the identified issues and construct persuasive arguments supported by logical reasoning and evidence. ・ Organize the findings from the research and analysis into a poster, prepare a presentation script, and deliver a poster presentation in class. ※The overall theme will be announced during the course.		
Homework	Homework will be announced in class.		
Grading System	• Final projects and poster presentation: 60% • Assignments: 30% Class participation (primarily contribution to collaborative work): 10%		

中級 Intermediate

Textbooks	All materials and handouts used in this class will be provided by the instructor.
Additional Information	• Students may be advised to transfer to a different-level class at the instructor's discretion. A detailed course schedule and an explanation of course procedures will be provided in the first class session.

中級 Intermediate

中 級 理解
Intermediate Japanese Comprehension

科目名	中級理解(基礎)1A		時間割コード	027946
曜日・講時	火1・木1	時間	08:45～10:15	
担当者	市川　明美	日本語レベル	中級1	
授業の目標	簡潔な事実関係の内容を、十分に理解することができる。			
到達目標	1. ある程度まとまった発話や会話、文章を理解することができる(2、3 段落の独話、会話、説明文、エッセイなど)。 2. 使われている文法や語彙、表現にもとづいてボトムアップで理解することができる(文章構造、時間的表現、指示語、文末表現など)。 3. 初級の既習項目からなる短文や話しことばの特徴がある発話(音声変化・音調)を正確に理解することができる。			
授業計画	使用する素材は N3～N2 レベルである。 (1) テキストを使って初級文法の復習を行う。 (2) ディクテーションなどを通して既習項目や話し言葉の特徴を確実に聞いて理解する。 (3) 2、3 段落の長さの独話による説明文やあるトピックについての会話を聞いたり、2、3 段落の説明文や簡単なエッセイを読んだりして、必要な情報やポイントをとらえる、内容の概要を理解する、重要な部分を箇条書きにして書き出す、再構築して話す。 (4) 使用素材を音読する、要約する。 (5) 使用素材に出てきた新出語彙・表現・文法を確認する。			
準備学習	・毎回宿題を出すので必ず提出すること。 ・毎回クイズを行うので必ず予習してくること。			
成績評価の基準と方法	宿題 20%、クイズ 20%、中間テスト 30%、期末テスト 30%			
テキスト・教科書	新・わくわく文法リスニング 100 [1]小林典子他　凡人社　9784893589194 新・わくわく文法リスニング 100 [2]小林典子他　凡人社　9784893589200			
備考	・辞書を必ず持ってくること。 ・ELMS の ID とパスワードを持ってくること。 ・担当教員の判断で異なるレベルのクラスへの移動を促されることがある。			

中級 Intermediate

Subject	Intermediate Japanese Comprehension (Basic) 1A			**Course Code**	027946
Class Period	Tue. 1 & Thu. 1	**Time**	08:45～10:15		
Instructor (s)	ICHIKAWA, Akemi	**Japanese Level**	Intermediate 1		
Course Objectives	You can fully understand the concise factual content.				
Course Goals	1. You can understand reasonably coherent speech, conversation, and texts (such as monologues, dialogues, explanatory texts, and essays of 2-3 paragraphs). 2. You can understand based on the grammar, vocabulary, and expressions used (such as sentence structure, temporal expressions, demonstratives, and sentence-ending expressions). 3. You can accurately understand short sentences composed of beginner-level material and speech with characteristic features (phonetic changes, intonation).				
Course Schedule	N3-N2 level materials are to be used. Students will engage in: (1) reviewing basic grammar using textbooks; (2) infallibly understanding by ear the items already learned and the traits of spoken words through dictation; (3) grasping necessary information and points, understanding the outlines of their contents, writing out vital points as itemized lists, and paraphrasing sources by listening to explanatory monologues of a few paragraphs, as well as by reading explanatory sentences of a few paragraphs and simple essays. (4) reading materials aloud and summarizing them; and (5) confirming new words, expressions and grammar covered in used materials.				
Homework	Students are required to: - submit assignments in each class without fail; and - prepare for quizzes in each class without fail.				
Grading System	Assignments: 20%; quizzes: 20%; mid-term exam: 30%; end-of-term exam:30%				
Textbooks	新・わくわく文法リスニング 100 [1] 小林典子他　凡人　9784893589194 新・わくわく文法リスニング 100 [2] 小林典子他　凡人社　9784893589200				
Additional Information	- Be sure to bring a dictionary. - Bring your ELMS ID and password. - Students may be suggested to change a class with a different level based on the instructor's judgement.				

中級 Intermediate

科目名	中級理解(基礎)1B		時間割コード	027947
曜日・講時	火2・木2	時間	10:30～12:00	
担当者	阿部 仁美	日本語レベル	中級1	
授業の目標	簡潔な事実関係の内容を、十分に理解することができる。			
到達目標	1.ある程度まとまった発話や会話、文章を理解することができる(2、3 段落の独話、会話、説明文、エッセイなど)。 2.使われている文法や語彙、表現にもとづいてボトムアップで理解することができる(文章構造、時間的表現、指示語、文末表現など)。 3.初級の既習項目からなる短文や話しことばの特徴がある発話(音声変化・音調)を正確に理解することができる。			
授業計画	使用する素材は N3～N2 レベルである。 1.テキストを使って初級文法の復習を行う。 2.ディクテーションなどを通して既習項目や話し言葉の特徴を確実に聞いて理解する。 3.2、3 段落の長さの独話による説明文やあるトピックについての会話を聞いたり、2、3 段落の説明文や簡単なエッセイを読んだりして、必要な情報やポイントをとらえる、内容の概要を理解する、重要な部分を箇条書きにして書き出す、再構築して話す。 4.使用素材を音読する、要約する。 5.使用素材に出てきた新出語彙・表現・文法を確認する。			
準備学習	・毎回宿題を出すので必ず提出すること。 ・毎回クイズを行うので必ず予習してくること。			
成績評価の基準と方法	宿題 20%、クイズ 20%、中間テスト 30%、期末テスト 30%			
テキスト・教科書	『新・わくわく文法リスニング 100 [1]』　小林典子他　凡人社　9784893589194 『新・わくわく文法リスニング 100[2]』　小林典子他　凡人社　9784893589200			
備考	・辞書を必ず持ってくること。 ・ELMS の ID とパスワードを持ってくること。 ・担当教員の判断で異なるレベルのクラスへの移動を促されることがある。			

中級 Intermediate

Subject	Intermediate Japanese Comprehension (Basic) 1B		**Course Code**	027947
Class Period	Tue. 2 & Thu. 2	**Time**	10:30～12:00	
Instructor (s)	ABE, Hitomi	**Japanese Level**	Intermediate 1	
Course Objectives	You can fully understand the concise factual content.			
Course Goals	1.You can understand reasonably coherent speech, conversation, and texts (such as monologues, dialogues, explanatory texts, and essays of 2-3 paragraphs). 2.You can understand based on the grammar, vocabulary, and expressions used (such as sentence structure, temporal expressions, demonstratives, and sentence-ending expressions). 3.You can accurately understand short sentences composed of beginner-level material and speech with characteristic features (phonetic changes, intonation).			
Course Schedule	N3-N2 level materials are to be used. Students will engage in: 1.reviewing basic grammar using textbooks; 2.infallibly understanding by ear the items already learned and the traits of spoken words through dictation; 3.grasping necessary information and points, understanding the outlines of their contents, writing out vital points as itemized lists, and paraphrasing sources by listening to explanatory monologues of a few paragraphs, as well as by reading explanatory sentences of a few paragraphs and simple essays. 4.reading materials aloud and summarizing them; and 5.confirming new words, expressions and grammar covered in used materials.			
Homework	Students are required to: - submit assignments in each class without fail; and - prepare for quizzes in each class without fail.			
Grading System	Assignments: 20%; quizzes: 20%; mid-term exam: 30%; end-of-term exam:30%			
Textbooks	『新・わくわく文法リスニング 100 [1]』　小林典子他　凡人社　9784893589194 『新・わくわく文法リスニング 100[2]』　小林典子他　凡人社　9784893589200			
Additional Information	- Be sure to bring a dictionary. - Bring your ELMS ID and password. - Students may be suggested to change a class with a different level based on the instructor's judgement.			

中級 Intermediate

科目名	中級理解(基礎)2A		時間割コード	027949
曜日・講時	月3・水3	時間	13:00～14:30	
担当者	平塚 真理	日本語レベル	中級2	
授業の目標	適切なリソースを使い、様々な目的や内容の種類に合わせて読み方・聞き方を変えながら、ポイントを理解することができる。			
到達目標	(1) 様々なジャンルのまとまった発話や会話、文章を理解することができる。(3～6段落の独話、物語文など)。 (2) 目的や内容に応じて様々な聞き方や読み方を使うことができる。(図表の情報・人間関係・文脈などを捉えた予測・推測)。 (3) 内容のポイントを確実に理解することができる。(意図・論点・気持ちの理解)			
授業計画	使用する素材は N2 レベルを中心とする。 (1)3～6 段落の長さの説明文・物語・意見文などを読む。 (2)3～6 段落の長さの母語話者による会話や説明などの独話を聞く。 (3)必要な情報や書き手の意図を読み取る。 (4)情報や要点を話し手の意図を聞き取る。 (5)会話から話者同士の関係性を推測する。 (6)SNS やメディアの日本語を通じて、学習した内容の理解を深める。 (7)読んだ内容を再構築して話す。 (8)様々なストラテジーを使った読み方・聞き方を練習する。(展開を予測する・キーワードをつかむなど) (9)音読する。 (10)速読する。 (11)使用素材に出てきた新出語彙・表現・文法を確認する。			
準備学習	・宿題は必ず提出すること。 ・毎週クイズを行うので準備してくること。 ・指示された部分は必ず予習・復習してくること。			
成績評価の基準と方法	宿題 20%、クイズ 20%、中間テスト 30%、期末テスト 30%			
テキスト・教科書	新版 聞いて覚える話し方 日本語生中継 中～上級 ボイクマン総子/宮谷敦美/小室リー郁子 くろしお出版 9784874249130			
備考	担当教員の判断で異なるレベルのクラスへの移動を促されることがある。			

中級 Intermediate

Subject	Intermediate Japanese Comprehension (Basic) 2A			**Course Code**	027949
Class Period	Mon. 3 & Wed. 3	**Time**	13:00～14:30		
Instructor (s)	HIRATSUKA, Mari	**Japanese Level**	Intermediate 2		
Course Objectives	You can understand key points by using appropriate resources and adjusting your reading and listening methods to suit various purposes and content types.				
Course Goals	1. you can understand coherent speech, conversations, and texts across various genres (e.g., monologues or narrative texts consisting of three to six paragraphs). 2. You can employ various listening and reading strategies according to purpose and content (e.g., predicting and inferring based on charts/graphs, relationships, context). 3. You can reliably grasp key points of content (understanding intent, main arguments, and feelings).				
Course Schedule	The materials used in this course will mainly be at the N2 level. Students will engage in: (1) reading descriptions, stories and opinion pieces of three to six paragraphs; (2) listening to dialogues and explanatory monologues of three to six paragraphs by native speakers; (3) seeking out necessary information and the writer's intent; (4) figuring out information, points and the speaker's intent; (5) inferring relationships between speakers from conversations; (6) deepening understanding of learned content through Japanese used in social media and other media; (7) reconstructing what they have read and talking about it; (8) practicing ways of reading and listening to sources by using various strategies, such as predicting storylines or catching key words); (9) reading aloud; (10) reading rapidly; and (11) confirming new words, expressions and grammar covered in the materials used.				
Homework	Students are required to: - submit assignments without fail; - prepare for weekly quizzes; and - prepare for and review the designated part of the textbook without fail.				
Grading System	Assignments: 20%; quizzes: 20%; mid-term exam: 30%; end-of-term exam: 30%				
Textbooks	新版　聞いて覚える話し方　日本語生中継　中～上級 ボイクマン総子/宮谷敦美/小室リー郁子　　くろしお出版　　9784874249130				
Additional Information	Students can be advised to move to other classes of different levels by the instructor.				

中級 Intermediate

科目名	中級理解(基礎)2B		時間割コード	027950
曜日・講時	火2・木2	時間	10:30～12:00	
担当者	宮本 志織	日本語レベル	中級2	
授業の目標	適切なリソースを使い、様々な目的や内容の種類に合わせて読み方・聞き方を変えながら、ポイントを理解することができる。			
到達目標	1. 様々なジャンルのまとまった発話や会話、文章を理解することができる(3～6 段落の独話、物語文など)。 2. 目的や内容に応じて様々な聞き方や読み方を使うことができる(図表の情報・人間関係・文脈などを捉えた予測・推測)。 3. 内容のポイントを確実に理解することができる(意図・論点・気持ちの理解)。			
授業計画	使用する素材は N2 レベルを中心とする。 (1)3～6 段落の長さの説明文・物語・意見文などを読む。 (2)3～6 段落の長さの母語話者による会話や説明などの独話を聞く。 (3)必要な情報や書き手の意図を読み取る。 (4)情報や要点を話し手の意図を聞き取る。 (5)会話から話者同士の関係性を推測する。 (6)SNS やメディアの日本語を通じて学習した内容の理解を深める。 (7)読んだ内容を再構築して話す。 (8)様々なストラテジーを使った読み方・聞き方を練習する。(展開を予測する・キーワードをつかむなど) (9)音読する。 (10)速読する。 (11)使用素材に出てきた新出語彙・表現・文法を確認する。			
準備学習	・宿題は必ず提出すること。 ・クイズを行うので準備してくること。 ・指示された部分は必ず予習・復習してくること。			
成績評価の基準と方法	宿題 20%、クイズ 20%、中間テスト 30%、期末テスト 30%			
テキスト・教科書				
備考	・担当教員の判断で異なるレベルのクラスへの移動を促されることがある。			

Subject	Intermediate Japanese Comprehension (Basic) 2B		Course Code	027950
Class Period	Tue. 2 & Thu. 2	Time	10:30～12:00	
Instructor (s)	MIYAMOTO, Shiori	Japanese Level	Intermediate 2	
Course Objectives	This course aims to enable students to understand content while changing how they read and listen to the source depending on the purpose and subject.			

中級 Intermediate

Course Goals	By the end of this course, students will be able to: 1. Understand coherent spoken and written texts across a range of genres, including monologues of approximately 3–6 paragraphs and narrative passages. 2. Employ a variety of listening and reading strategies according to purpose and content, such as predicting and inferring based on charts, graphs, interpersonal relationships, and context. 3. Reliably grasp key points of content, including speakers' and writers' intentions, main arguments, and emotional nuances.
Course Schedule	The primary materials used in this course are mainly at the JLPT N2 level. Students will engage in the following activities: 1. Read explanatory texts, narratives, and opinion pieces of approximately 3–6 paragraphs in length. 2. Listen to native-speaker conversations and monologues, such as explanations, of approximately 3–6 paragraphs in length. 3. Identify necessary information and the writer's intentions through reading. 4. Identify key information and the speaker's intentions through listening. 5. Infer relationships between speakers based on conversations. 6. Deepen understanding through Japanese used in SNS and media. 7. Reconstruct the content of texts that have been read and retell them orally. 8. Practice various listening and reading strategies, such as predicting content and identifying keywords. 9. Practice reading aloud. 10. Practice speed reading. 11. Review new vocabulary, expressions, and grammar appearing in the course materials.
Homework	Students are required to: ・ submit all homework assignments; ・ prepare for end-of-unit quizzes; and ・ complete the assigned preparation and review
Grading System	Assignments: 20%; quizzes: 20%; mid-term exam: 30%; end-of-term exam: 30%
Textbooks	
Additional Information	Based on the instructor's assessment, students may be advised to transfer to a class at a different level.

中級 Intermediate

科目名	中級理解(基礎)3A		時間割コード	027952
曜日・講時	月3・水3	時間	13:00～14:30	
担当者	佐藤　淳子	日本語レベル	中級3	
授業の目標	トピックに関係なく、長くて複雑な内容を詳細に理解することができる。			
到達目標	1.より広いジャンルの長くて複雑な発話や会話、文章を理解することができる(ニュース、情報が不十分な会話、論説文・情報誌・新聞記事など)。 2.複数のストラテジーを適切に選択したり組み合わせたりして理解することができる(スキミングやスキャニングなど) 3.話し手や書き手の構成・意図に沿って、詳細に内容を理解することができる。			
授業計画	N2～N1 レベル相当の学習者を対象とし、以下の活動を行う。 ・講義・ニュース・複雑な会話などを聞く。 ・新聞・エッセイ・論説文・小説など、様々なジャンルのものを読む。 ・文章の構成を考えて読んだり聞いたりする。 ・話した人・書いた人の意図を考えて、読んだり聞いたりする。 ・グラフや表から必要な情報を読み取る。 ・必要に応じて、スキャニング・スキミング・展開の予測などの適切なストラテジーを使って、読んだり聞いたりする。 ・必要に応じて、速読と精読を使い分ける。 ・読んだり聞いたりしたことについて、要約やパラフレーズ（自分の言葉での言い換え）をする。 ・必要な文法・語彙・表現を理解する。			
準備学習	・予習用の語彙・表現のリストを事前に配布するので、そのリストを活用して予習をしてくること。 ・基本的に毎回、授業の冒頭に、語彙・表現の確認を行う（クイズ等)。			
成績評価の基準と方法	課題・クイズ： 50% 試験： 40% 授業参加度： 10%			
テキスト・教科書				
備考	・担当教員の判断で異なるレベルのクラスへの移動を促されることがある。 ・初回授業で、詳しい授業スケジュールや進め方の説明を行う。			

中級 Intermediate

Subject	Intermediate Japanese Comprehension (Basic) 3A			**Course Code**	027952
Class Period	Mon. 3 & Wed. 3	**Time**	13:00～14:30		
Instructor (s)	SATO, Junko	**Japanese Level**	Intermediate 3		
Course Objectives	You can understand long and complex content in detail regardless of the topic.				
Course Goals	1. You can understand longer, more complex utterances, conversations, and texts across a wider range of genres (news, conversations with insufficient information, opinion pieces, informational magazines, newspaper articles, etc.). 2. You can understand by appropriately selecting or combining multiple strategies (such as skimming or scanning). 3. You can understand content in detail, following the speaker's or writer's intent and the structure of the content.				
Course Schedule	This course is designed for learners at approximately the JLPT N2–N1 level. The following activities will be conducted: ・Listen to lectures, news reports, and complex conversations. ・Read texts from a wide range of genres, including newspapers, essays, argumentative/expository texts, and novels. ・Develop comprehension by paying attention to the structure and organization of texts while reading and listening. ・Read and listen with attention to the writer's/speaker's intentions. ・Extract necessary information from graphs and tables. ・Use appropriate comprehension strategies as needed, such as scanning, skimming, and predicting how a text will develop. ・Distinguish between and apply both fast reading (extensive reading) and careful reading (intensive reading), depending on the purpose. ・Summarize and paraphrase what has been read and listened to. ・Build understanding of necessary grammar, vocabulary, and expressions.				
Homework	・A list of vocabulary and expressions for pre-class preparation will be distributed in advance. Students are expected to use this list to prepare for each class. ・In principle, vocabulary and expressions will be reviewed at the beginning of every class (e.g., through quizzes).				
Grading System	Assignments & Quizzes: 50% Examinations: 40% Class Participation: 10%				
Textbooks					

中級 Intermediate

Additional Information	・Students may be advised to transfer to a different-level class at the instructor's discretion. ・A detailed class schedule and an explanation of class procedures will be provided in the first session.

中級 Intermediate

科目名	中級理解(基礎)3B		時間割コード	027953
曜日・講時	火2・木2	時間	10:30～12:00	
担当者	小森　千佳江	日本語レベル	中級3	
授業の目標	トピックに関係なく、長くて複雑な内容を詳細に理解することができる。			
到達目標	1.より広いジャンルの長くて複雑な発話や会話、文章を理解することができる(ニュース、情報が不十分な会話、論説文・情報誌・新聞記事など)。 2.複数のストラテジーを適切に選択したり組み合わせたりして理解することができる(スキミングやスキャニングなど) 3.話し手や書き手の構成・意図に沿って、詳細に内容を理解することができる。			
授業計画	N2～N1 レベル相当の学習者を対象とし、以下の活動を行う。 ・ 講義・ニュース・複雑な会話などを聞く。 ・ 新聞・エッセイ・論説文・小説など、様々なジャンルのものを読む。 ・ 文章の構成を考えて読んだり聞いたりする。 ・ 話した人・書いた人の意図を考えて、読んだり聞いたりする。 ・ グラフや表から必要な情報を読み取る。 ・ 必要に応じて、スキャニング・スキミング・展開の予測などの適切なストラテジーを使って、読んだり聞いたりする。 ・ 必要に応じて、速読と精読を使い分ける。 ・ 読んだり聞いたりしたことについて、要約やパラフレーズ（自分の言葉での言い換え）をする。 ・ 必要な文法・語彙・表現を理解する。			
準備学習	・ 予習用の語彙・表現のリストを事前に配布するので、そのリストを活用して予習をしてくること。 ・ 基本的に毎回、授業の冒頭に、語彙・表現の確認を行う（クイズ等)。			
成績評価の基準と方法	課題・クイズ：50%　　試験験：40%　　授業参加度：10%			
テキスト・教科書				
備考	・ 担当教員の判断で異なるレベルのクラスへの移動を促されることがある。 ・ 初回授業で、詳しい授業スケジュールや進め方の説明を行う。			

中級 Intermediate

Subject	Intermediate Japanese Comprehension (Basic) 3B			**Course Code**	027953
Class Period	Tue. 2 & Thu. 2	**Time**	10:30～12:00		
Instructor (s)	KOMORI, Chikae	**Japanese Level**	Intermediate 3		
Course Objectives	You can understand long and complex content in detail regardless of the topic.				
Course Goals	1.You can understand longer, more complex utterances, conversations, and texts across a wider range of genres (news, conversations with insufficient information, opinion pieces, informational magazines, newspaper articles, etc.). 2.You can understand by appropriately selecting or combining multiple strategies (such as skimming or scanning). 3.You can understand content in detail, following the speaker's or writer's intent and the structure of the content.				
Course Schedule	This course is designed for learners at approximately the JLPT N2–N1 level. The following activities will be conducted: ・Listen to lectures, news reports, and complex conversations. ・Read texts from a wide range of genres, including newspapers, essays, argumentative/expository texts, and novels. ・Develop comprehension by paying attention to the structure and organization of texts while reading and listening. ・Read and listen with attention to the writer's/speaker's intentions. ・Extract necessary information from graphs and tables. ・Use appropriate comprehension strategies as needed, such as scanning, skimming, and predicting how a text will develop. ・Distinguish between and apply both fast reading (extensive reading) and careful reading (intensive reading), depending on the purpose. ・Summarize and paraphrase what has been read and listened to. ・Build understanding of necessary grammar, vocabulary, and expressions.				
Homework	・A list of vocabulary and expressions for pre-class preparation will be distributed in advance. Students are expected to use this list to prepare for each class. ・In principle, vocabulary and expressions will be reviewed at the beginning of every class (e.g., through quizzes).				
Grading System	Assignments & Quizzes:50%　Examinations:40%　Class Participation:10%				
Textbooks					
Additional Information	・Students may be advised to transfer to a different-level class at the instructor's discretion. ・A detailed class schedule and an explanation of class procedures will be provided in the first session.				

中級 Intermediate

科目名	中級理解(運用)1		時間割コード	027948
曜日・講時	金5	時間	16:30～18:00	
担当者	黄　美花	日本語レベル	中級1	
授業の目標	簡潔な事実関係の内容を理解した上で、必要な情報を選択し、利用することができる。			
到達目標	(1) ある程度まとまった発話や会話を聞き、必要な情報を得、まとめることができる。 (2) ある程度まとまった文章を読んで、必要な情報を得、まとめることができる。			
授業計画	授業は、日常生活や大学生活で接する機会のあるものを教材として多く採用し、以下のような学生主体のミニ・プロジェクトの成果物作成を中心として構成される。 (1) 身近な広告やチラシなどを集め、生活に必要な情報を収集する。 (2) インターネットの情報を元に、旅行計画を立て、まとめる。 (3) インターネットからの新聞の音読や、簡単なニュース報道の読解から、ニュースの主要部分を理解する。			
準備学習	プロジェクトを完成させる過程を学習活動の一環とみなすため、資料集めやグループでの討議など、授業外での活動が課題としてほぼ毎回課される。 また、授業前に配布された授業用プリントの漢字の読みや語彙の意味の確認など、予習も必要である。			
成績評価の基準と方法	プロジェクト活動の成果物 50% プロジェクト以外の課題 40% 予習を含む授業準備や参加度 10%			
テキスト・教科書				
備考	・授業には、辞書を必ず持参すること。 ・授業内容は受講者などで変更する場合がある。 ・担当教員の判断で異なるレベルのクラスへの移動を促されることがある。			

中級 Intermediate

Subject	Intermediate Japanese Comprehension (Practical) 1			**Course Code**	027948
Class Period	Fri. 5	**Time**	16:30～18:00		
Instructor (s)	HUANG, Meihua	**Japanese Level**	Intermediate 1		
Course Objectives	This course aims to have students understand concise facts, and thereby select necessary information and use it.				
Course Goals	Students will acquire the ability to: (1) listen to a significant lengths of speeches and dialogues, obtain necessary information and organize it; and (2) read a significant lengths of sentences, gain necessary information and organize it.				
Course Schedule	Lessons encompass a number of materials students are likely to come across in daily life and campus life, focusing on student-centered mini-projects. Students will engage in: (1) collecting familiar advertisements and fliers to gather information necessary for life; (2) developing and organizing a travel plan based on information on the Internet. (3) reading newspapers on the Internet, interpreting easy news coverage and figuring out the crux of the news.				
Homework	With the process of completing projects regarded as part of learning activities, extracurricular activities including data collection and group discussions will be given to students as assignments every class. In addition, students are required to prepare for lessons, such as confirming kanji readings and word meanings in lesson handouts delivered before class.				
Grading System	Outcomes of project activities: 50%; assignments other than projects: 40%; preparation for lessons and attendance: 10%				
Textbooks					
Additional Information	- Students are required to bring their own dictionary to the class without fail. - Lesson content may vary depending on the students. - Students may be suggested to change a class with a different level based on the instructor's judgement.				

中級 Intermediate

科目名	中級理解(運用)2		時間割コード	027951
曜日・講時	金2	時間	10:30～12:00	
担当者	宮本 志織	日本語レベル	中級2	
授業の目標	適切なリソースを使い、様々な目的や内容の種類に合わせて読み方・聞き方を変えながら、ポイントを理解することができる。			
到達目標	1. より広いジャンルの長くて複雑な発話や会話、文章を理解することができる。(ニュース、情報が不十分な会話、論説文・情報誌・新聞記事など)。 2. 複数のストラテジーを適切に選択したり組み合わせたりして理解することができる(スキミングやスキャニングなど)。 3. 話し手や書き手の構成・意図に沿って、詳細に内容を理解することができる。			
授業計画	授業では、各自が目的に合った情報を集め、グループやクラスで話し合い、内容を共有したり、まとめて発表したりする。学期の最後に、各自が日本語で読んだ本の内容と、その価値を紹介する、ビブリオバトルという活動を行う。そのために、以下の活動を学期を通して行う。 Ⅰ. 情報理解・共有（個人：読解＋聴解） 1. 目的に合った資料（ニュース記事、エッセイ等）を読み、要点を整理して発表する。 2. まとまった会話・独話（解説、体験談、意見提示など）を聴き、要点・話し手の主張・根拠を整理して共有する。 3. 他者の発表を注意深く聞き、共感点・疑問点を言語化し、質問を行う。 4. 制限時間内に内容を再構成し、分かりやすく伝える（要約・要点提示）。 Ⅱ. 意見形成・討論 1. テーマに沿って話し合い、論点を整理し意見をまとめる。 2. 主張を裏付ける資料やデータを収集・再編し、意見とともに発表する。 3. 聴解素材から得た情報（話し手の立場・論点・事例等）を根拠として取り込み、比較・評価を行う。 4. 発表内容をもとに質疑応答を行い、論点を深める。 Ⅲ. 読解・聴解ストラテジーの訓練 授業内でさまざまなジャンルの文章を読み、ニュース番組や動画の視聴を通じて表現・語彙を学びつつ、書き手や話し手の意図を読み取る。 1. 母語話者による会話・独話を聴き、話の構造（結論→理由→具体例等）や話し手の意図を捉える。 2. 理解した内容をもとに解釈を考え、意見交換を通じて理解を深める。			
準備学習	あるトピックに関連した素材を集めてまとめてくる課題を出すことがある。その課題をもとに話し合いをするので必ず提出すること。			
成績評価の基準と方法	課題 30%、発表 30%、ビブリオバトルの発表 30%、参加度 10%			
テキスト・教科書				

中級 Intermediate

備考（びこう）	・活動に積極的に参加すること。 ・担当教員の判断で異なるレベルのクラスへの移動を促されることがある。

Subject	Intermediate Japanese Comprehension (Practical) 2		**Course Code**	027951
Class Period	Fri. 2	**Time**	10:30～12:00	
Instructor (s)	MIYAMOTO, Shiori	**Japanese Level**	Intermediate 2	
Course Objectives	This course aims to enable students to understand content while changing how they read and listen to the source depending on the purpose and subject.			
Course Goals	By the end of this course, students will be able to: 1. Understand longer and more complex spoken and written texts across a wide range of genres, including news reports, conversations with incomplete information, opinion pieces, informational magazines, and newspaper articles. 2. Appropriately select and combine multiple comprehension strategies, such as skimming and scanning, to support understanding. 3. Comprehend content in detail by following the structure and intentions of speakers and writers.			
Course Schedule	TIn this course, students will collect information appropriate to a given purpose, discuss it in groups and as a class, share their understanding, and organize and present content. At the end of the semester, students will participate in an activity known as Bibliobattle, in which each student introduces a book they have read in Japanese and explains its content and value. To achieve these goals, the following activities will be conducted throughout the semester. I. Information Comprehension and Sharing (Individual Work: Reading and Listening) 1. Students will read materials appropriate to a given purpose (e.g., news articles, essays), organize key points, and present their understanding. 2. Students will listen to extended conversations and monologues (such as explanations, personal experiences, and opinion statements), identify key points, the speaker's claims, and supporting reasons, and share their understanding. 3. Students will listen carefully to others' presentations, articulate points of agreement or interest as well as questions, and ask appropriate questions. 4. Students will reorganize content within a set time limit and present it clearly (e.g., through summaries and key-point presentations).			

中級 Intermediate

	II. Opinion Formation and Discussion (Group Work) 1. Students will discuss a given theme, organize key issues, and formulate shared opinions. 2. Students will collect and reorganize materials and data to support their claims, and present them together with their opinions. 3. Information obtained from listening materials (such as the speaker's perspective, key arguments, and examples) will be incorporated as evidence for comparison and evaluation. 4. Based on the presentations, students will engage in question-and-answer sessions to deepen discussion and understanding. III. Training in Reading and Listening Strategies Through reading texts from various genres and viewing news programs and videos in class, students will learn expressions and vocabulary while developing the ability to identify the intentions of writers and speakers. 1. Students will listen to conversations and monologues by native speakers and identify discourse structure (e.g., conclusion → reasons → concrete examples) as well as the speaker's intention. 2. Based on their understanding, students will develop interpretations and deepen comprehension through the exchange of opinions.
Homework	Students may be assigned preparatory tasks that require collecting and organizing materials related to a given topic. These assignments must be submitted, as they will serve as the basis for in-class discussion.
Grading System	Final grades will be based on the following components: ・ Assignments: 30% ・ Presentations: 30% ・ Bibliobattle presentation: 30% ・ Participation: 10%
Textbooks	
Additional Information	・ Students are expected to actively participate in all course activities. ・ Based on the instructor's assessment, students may be advised to transfer to a class at a different level.

中級 Intermediate

科目名	中級理解(運用)3		時間割コード	027954
曜日・講時	水4	時間	14:45-16:15	
担当者	高田 裕子	日本語レベル	中級3	
授業の目標	トピックに関係なく、長くて複雑な内容を詳細に理解することができる。			
到達目標	1. より広いジャンルの長くて複雑な発話や会話、文章を理解することができる(ニュース、情報が不十分な会話、論説文・情報誌・新聞記事など)。 2. 複数のストラテジーを適切に選択したり組み合わせたりして理解することができる(スキミングやスキャニングなど)。 3. 話し手や書き手の構成・意図に沿って、詳細に内容を理解することができる。			
授業計画	以下の読み物を通じて、日本語の語彙や表現を学習し、内容を理解し、運用における応用力をつける。 （1）ショートストーリ―を読んで「文章と読み物」について考える。 （2）エッセイを読んで、作者の意図やメッセージを読み取り、読後の感想についてクラス内でディスカッションをし、他者の意見も聞き取る。 （3）ニュース記事を読み、ニュースに使われる語彙や表現を学習し、ニュースの主題についての理解を深める。また、いろいろな記事を読み情報を収集し、他者に伝える。 （4）マンガを読んで、口語的な表現と文語的な表現の比較をする。マンガ特有のコミュニケーションについて考察する。 （5）やや長めの小説を読み、登場人物、背景、ストーリ展開について深く考察し、意見交換を行う。 （6）グループディスカッションで自分と他者の意見について考え、発表で学習効果を確認する。			
準備学習	毎回、予定されている部分を読んで参加すること。			
成績評価の基準と方法	・リーディングシート 30% ・発表（2回） 40% ・自己分析とグループ評価 15% ・参加態度（事前準備・グループ作業の参加態度等）15%			
テキスト・教科書				
備考	・1回目の授業でレベルチェックテストを行うので、必ず出席すること。 ・授業の前の準備として家で「読んでくる作業」か可能であること。 ・このクラスではグループで話したりペアワークをしたりするので、マナーを守り気持ちよくクラス活動に参加できること。			

中級 Intermediate

Subject	Intermediate Japanese Comprehension (Practical) 3			**Course Code**	027954
Class Period	Wed. 4	**Time**	14:45-16:15		
Instructor (s)	TAKADA, Hiroko	**Japanese Level**	Intermediate 3		
Course Objectives	You can understand long and complex content in detail regardless of the topic.				
Course Goals	1. You can understand longer, more complex utterances, conversations, and texts across a wider range of genres (news, conversations with insufficient information, opinion pieces, informational magazines, newspaper articles, etc.). 2. You can understand by appropriately selecting or combining multiple strategies (such as skimming or scanning). 3. You can understand content in detail, following the speaker's or writer's intent and the structure of the content.				
Course Schedule	Through the following reading materials, you will learn Japanese vocabulary and expressions, understand the content, and gain practical application skills. (1) Read a short story and think about "writing and reading." (2) Read an essay, understand the author's intentions and messages, and discuss your impressions after reading in class, listening to the opinions of others. (3) Read news articles, learn the vocabulary and expressions used in the news, and deepen your understanding of the news subjects. Also, read various articles to gather information and share it with others. (4) Read manga and compare colloquial and written expressions. Consider the unique communication methods used in manga. (5) Read a somewhat long novel, consider in depth the characters, setting, and story development, and exchange opinions. (6) Think about your own and others' opinions in a group discussion, and solidify your learning via a presentation.				
Homework	Students are expected to read and participate in the scheduled portion of each session.				
Grading System	-Reading Sheet: 30% -Presentations (2 times): 40% -Self-Analysis and Evaluation: 15% -Participation (preparation, group work, etc.): 15%				
Textbooks					
Additional Information	・A level check will be conducted in the first class, so you must attend. ・You should be able to do some reading at home to prepare for class. ・In this class you will speak in groups and do pair work, so you are asked to observe good etiquette and be able to participate comfortably in discussions and class activities. ・You need to be able to learn and cooperate with people from a variety of cultural backgrounds.				

中級 Intermediate

科目名	中級ビジネス日本語		時間割コード	027956
曜日・講時	水5	時間	16:30-18:00	
担当者	水谷 圭子	日本語レベル	中級2以上	
授業の目標	日本での就職やインターンシップ、将来日本語を使ってビジネスの現場で働くことを考えている中級レベルの留学生を対象とします。職場や就職活動で頻繁に使われる敬語、メールの書き方、電話応対、グループディスカッションでのやり取り、基本的なビジネスマナーを、実践練習を通して身につけます。講義だけでなく、ペア／グループ活動、ロールプレイ、短い発表を多く取り入れ、「分かる」だけでなく「できる」まで繰り返し練習します。			
到達目標	1. 基本的なビジネスマナー(あいさつ、自己紹介、名刺交換、身だしなみ等)を理解し、場面に応じて実践できる。 2. 敬語・丁寧な言い方を用いて、依頼、確認、断り、お詫び、報告ができる。 3. 就職活動やインターンシップで必要なビジネスメール(依頼、日程調整、返信、添付、リマインド等)を適切な形式で書ける。 4. 電話・グループディスカッション・対面のやり取りで、要点を伝え、聞き返し、確認しながら円滑にコミュニケーションできる。			
授業計画	ガイダンス：授業の進め方・評価、就職活動の全体像、学習目標の設定 1. ビジネスコミュニケーション ビジネスマナー： あいさつ・自己紹介・名刺交換／敬語の基礎 敬語①： 丁寧語・尊敬語・謙譲語（よく使う動詞・定型表現） メール①：件名・本文構成・結び／基本テンプレート メール②：日程調整・返信・添付ファイル・リマインド 2. グループディスカッション グループディスカッションの準備と実践 3. ビジネス場面ロールプレイ 敬語②：依頼・確認・断り・お詫び（クッション言葉） 電話：電話の受け方・伝言・折り返し依頼・質問・確認（聞き返し） 職場会話：報連相（報告・連絡・相談）／進捗報告と依頼			
準備学習	・予習：配布資料の語彙確認、モデル文の音読、次回扱う場面の想定。 ・復習：授業で扱った表現を用いてメールを書き直す／ロールプレイを録音して自己点検。 ・発表・面接練習の前は、原稿の推敲や想定問答の準備に追加の時間が必要になります。			
成績評価の基準と方法	出席率70%以上の者を評価対象とします（70%未満は原則として評価対象外）。 ・発表・実演（ロールプレイ／プレゼン）：40%（内容、分かりやすさ、表現、態度、改善度）			

中級 Intermediate

	・敬語クイズ：20% ・課題：20%（メール課題、振り返り等） ・平常点：20%（授業参加、グループへの貢献、期限遵守）
テキスト・教科書	
備考	・日本語能力が中級 2 以上の学生を対象とします。初級レベルの学習者の受講は認めません。 ・無断欠席、遅刻、早退は厳禁とします（やむを得ない場合は事前・事後に連絡してください）。 ・授業時間以外での準備が必要な場合があります（特にグループディスカッションの前）。 ・この科目の履修者は、プログラムの要件を満たす場合にインターンシップに参加できることがあります（詳細は授業内で案内します）。 ・上級レベルの学生には「中級ビジネス日本語」と「上級ビジネス日本語」の両方の履修を推奨します。

Subject	Business Japanese Intermediate		**Course Code**	027956
Class Period	Wed. 5	**Time**	16:30〜18:00	
Instructor (s)	MIZUTANI, Keiko	**Japanese Level**	Intermediate 2 or above	
Course Objectives	This course is designed for intermediate-level international students who are considering seeking employment or internships in Japan and/or working in Japanese in business settings in the future. Through hands-on practice, students will acquire practical skills in honorific language (keigo), business email writing, telephone communication, interaction in group discussions, and fundamental business manners that are frequently required in the workplace and during job-hunting. Classes include not only short lectures but also a wide range of pair/group activities, role-plays, and short presentations. Students will practice repeatedly so that they can not only “understand” but also “perform” these skills in realistic situations.			
Course Goals	By the end of the course, students will be able to: - Understand basic business manners (greetings, self-introduction, exchanging business cards, appropriate appearance, etc.) and apply them appropriately in different situations. - Use keigo and polite expressions to make requests, confirm information, refuse, apologize, and report. - Write business emails needed for job hunting and internships (requests, scheduling, replies, attachments, reminders, etc.) in an appropriate format.			

中級 Intermediate

	- Communicate smoothly in telephone calls, group discussions, and face-to-face interactions by conveying key points, asking for repetition/clarification, and confirming details.
Course Schedule	Guidance: Course procedures and assessment / Overview of job hunting in Japan / Setting learning goals 1. Business Communication - Business manners: Greetings, self-introduction, exchanging business cards / Basics of keigo - Keigo (1): Teineigo (polite language), sonkeigo (respectful language), kenjōgo (humble language) — commonly used verbs and set phrases - Email (1): Subject lines, email structure, closing remarks / Basic templates - Email (2): Scheduling, replies, attachments, reminders 2. Group Discussions - Preparation and practice for group discussions 3. Role-plays in Business Situations - Keigo (2): Requests, confirmations, refusals, apologies (cushioning phrases) - Telephone communication: Answering calls, taking messages, requesting call-backs, asking questions, and confirming (asking for repetition/clarification) - Workplace conversation: Hō-Ren-Sō (reporting, informing, consulting) / Progress updates and making requests
Homework	- Preparation: Check vocabulary in the handouts, read model sentences aloud, and imagine the situations to be practiced in the next class. - Review: Rewrite emails using the expressions learned in class / Record role-plays and self-check your performance. - Additional time will be needed before presentations and interview practice to revise scripts and prepare anticipated Q&A.
Grading System	Students with an attendance rate of 70% or higher will be evaluated (students below 70% will, in principle, not be evaluated). - Presentations/Performances (role-plays/presentations): 40% (content, clarity, language use, attitude, improvement) - Keigo quizzes: 20% - Assignments: 20% (email assignments, reflections, etc.) - Participation: 20% (class participation, contribution to group work, meeting deadlines)
Textbooks	
Additional	- This course is intended for students with Japanese proficiency at Intermediate 2 or

中級 Intermediate

Information	above. Beginner-level learners are not permitted to enroll. - Unexcused absences, tardiness, and leaving early are strictly prohibited (if unavoidable, please contact the instructor before/after class). - Preparation outside class may be required (especially before group discussions). - Students enrolled in this course may be eligible to participate in internships if they meet program requirements (details will be provided in class). - Advanced-level students are recommended to take both “Intermediate Business Japanese” and “Advanced Business Japanese.”

上級 Advanced

上級やりとり
Advanced Japanese Interaction

科目名	上級やりとり(ロールプレイ)		時間割コード	028108
曜日・講時	火4・木4	時間	14:45～16:15	
担当者	阿部 仁美	日本語レベル	上級	
授業の目標	相容れない話題や場面において、平等に意見を共有しつつ、もっとも効果的な方法で議論し合って相互理解を導くことで、共通の目的の達成に寄与することができる。			
到達目標	1.複合的に絡み合ったり相互の主観がぶつかり合う状況(政治姿勢・差別のような諸社会問題、利害が相反する場面など)を回避することなく、積極的に対応することができる。 2.立場の違いによる主張を交渉、説得、調整しながら、ファシリテーターとしての役割を果たすことができる。 3.他人の意見やコメントに柔軟に反応し(上手に反論・訂正、反応に応じて話し方を変える)、的確な質問・コメントを行うことで、全体の円滑な進行に役立てることができる。			
授業計画	この授業では、アカデミックな場面で必要とされる対話のスキルを、以下の方法で身につけていく。 1.前半は、機能別、場面別にロールプレイを行い、相互にフィールドバックを行う。クラス内で発表をし、意見交換を行い、好ましい対話のスキルを学ぶ。 2.後半は、2-3 人で最終発表に向け、準備を行い、最終発表をクラス内外に向け行う。			
準備学習	毎回クイズを行うので、準備をしてくること。			
成績評価の基準と方法	参加度 40%（気付きシート 20%、クイズ 20%)、試験 60%（中間テスト 20%、期末テスト 20%、最終発表 20%）			
テキスト・教科書				
備考	一回目の授業でレベルチェックテストをするので、必ず出席すること。			

上級 Advanced

Subject	Advanced Interaction (Role-play)		**Course Code**	028108
Class Period	Tue. 4 & Thu. 4	**Time**	14:45～16:15	
Instructor (s)	ABE, Hitomi	**Japanese Level**	Advanced	
Course Objectives	In situations involving incompatible topics or scenarios, you can contribute to achieving a shared goal by equally sharing opinions and engaging in discussions in the most effective manner to foster mutual understanding.			
Course Goals	1. You can actively engage without avoiding situations involving complex intertwining or clashing subjective views (such as political stances, social issues like discrimination, or scenarios with conflicting interests). 2. You can fulfill the role of a facilitator by negotiating, persuading, and mediating differing positions. 3.You can contribute to the smooth progress of the whole by responding flexibly to others' opinions and comments (skillfully countering or correcting, adjusting your approach based on reactions) and offering precise questions and comments.			
Course Schedule	This course aims to help students acquire skills for dialogues necessary in academic situations through the following methods: 1.In the former half of the course, students will engage in role playing on a situational / functional basis and will provide feedback to each other. They will learn skills appropriate for dialogues by exchanging opinions in class. 2.In the latter half of the course, each group of a few students will prepare for and make their actual presentations in and outside class.			
Homework	Students are required to prepare for quizzes in each class.			
Grading System	Attendance: 40% (awareness sheet: 20%; quizzes: 20%); exams: 60% (mid-term exam: 20%; end-of-term exam: 20%; presentations: 20%)			
Textbooks				
Additional Information	Attendance at the first class is mandatory because students are supposed to take a test to check their levels.			

上級 Advanced

科目名	上級やりとり(インタビュー・プロジェクト)	時間割コード	028109
曜日・講時	月3・水3	時間	13:00-14:30
担当者	延与 由美子	日本語レベル	上級
授業の目標	与えられた場面・関係性・状況の中で、もっとも効果的な方法を選択・調整しながら話し合い、相互理解を導くことにより、共通の目的の達成に寄与することができる。		
到達目標	(1) 立場の違いによる主張を交渉、説得、調整しながら、ファシリテーターとしての役割を果たすことができる。 (2) 他人の意見やコメントに柔軟に反応し(上手に訂正、反応に応じて話し方を変える)、的確な質問・コメントを行うことで、全体の円滑な進行に役立てることができる。		
授業計画	(1) 親疎の度合いや年齢の異なる 3 名に対し、インタビューを企画・実施する。その際、インタビュー前の相手への依頼や、インタビュー後のお礼をメールで行う。インタビューの録音、及びメールによるやりとりを授業内で共有し、修正しあうことで、より効果的なストラテジーを学びあう。 (2) インタビューの準備段階として、インタビュー内容に関する授業内の討議、また相手に配慮した表現のロールプレイ練習や、聴解力向上のための練習やクイズを行う。 (3) インタビュー実施後のふりかえり活動として、他の学生のインタビューを聴き、フィードバックを行う。		
準備学習	・授業の性格上、日本語話者との教室外活動が必要となる可能性がある。 ・授業内容は、授業内での互いの発言などをリソースとするため、グループ活動への積極的な参加が求められる。 ・授業では社会問題など抽象度の高い話題について扱うため、中級修了程度の語彙・表現が理解できなければならない。		
成績評価の基準と方法	参加度（討議への貢献度などを含む）10%、インタビュー課題 40%、メール課題 30%、他へのフィードバック及び他の課題 20%		
テキスト・教科書			
備考	・担当教員の判断で異なるレベルのクラスへの移動を促されることがある。		

上級 Advanced

Subject	Advanced Interaction (Interview Projects)			**Course Code**	028109
Class Period	Mon. 3 & Wed. 3	**Time**	13:00 - 14:30		
Instructor (s)	ENYO, Yumiko	**Japanese Level**	Advanced		
Course Objectives	You can contribute to achieving a shared goal by engaging in discussions in the most effective manner in a given situation, relationship, or context, to foster mutual understanding.				
Course Goals	1. You can fulfill the role of a facilitator by negotiating, persuading, and mediating differing positions. 2. You can contribute to the smooth progress of the whole by responding flexibly to others' opinions and comments (skillfully correcting, adjusting your approach based on reactions) and offering precise questions and comments.				
Course Schedule	1. Students will plan and conduct interviews for three participants who differ in ages and levels of familiarity. The students will write Emails to make requests for participants, and to appreciate for their participation. Recordings of the interviews as well as Email exchanges will be shared and corrected in class to learn effective communicative strategies. 2. As preparation, the students will engage in discussion about interview contents. They will also study expressions through role-play activities in order to foster good relationships. There will be exercise and quizzes to enhance their listening skills. 3. Students will listen to other students' interviews to review.				
Homework	(1) Students may need to work on activities with Japanese speakers outside the class. (2) The class will utilize class discussion. Students' active participation is required. (3) The topic of class will include abstract issues such as social problems. Therefore, knowledge of words and expressions of the intermediate level is prerequisite.				
Grading System	Class participation (including contribution for discussion) 10%; Interview assignments 40%; Email assignments 30%; Feedback to other students and other assignments 20%				
Textbooks					
Additional Information	-Students may be suggested to change a class with a different level based on the instructor's judgement.				

上級 Advanced

科目名	上級表現(書く技法)	時間割コード	028110
曜日・講時	火5・木5	時間	16:30～18:00
担当者	山畑 倫志	日本語レベル	上級
授業の目標	TPO を配慮した適切な語句を選択し、説得力のある表現技法を用いて効果的に記述・表現できる。		
到達目標	(1) アカデミックな文脈にふさわしい表現・読み手あるいは聞き手にとってわかりやすい表現について考慮し、表現を使い分けることができる(漢語と和語のバランス)。 (2) 図や表を適切に引用し、質・量ともに適切な関連情報を用い、明確な構成(時系列・包含・対立など)を以て提示し、記述・表現できる。 (3) 扱うトピックについての関連情報を適宜加え、根拠に基づいて論理的かつ詳細に記述・表現できる(レジュメ・スライドの使用、明確な構造を持つ長い発表、説得力のある表現の使用)。 (4) 引用や参考文献一覧など資		
授業計画	【はじめに】レベルチェックテスト 【セクション 1】文章をわける、つなげる、まとめる 接続表現の復習と練習 さまざまなつなぎ方、まとめ方 構成に応じた文章のわけ方 【セクション 2】論文やレポートのルール レポートの種類 引用の方法と参考文献の書き方 要約を活用する ※中間レポート 【セクション 3】根拠にもとづいた主張を書く 調査分析から主張の提示へ アウトラインの作成と文章化 多数の資料やデータをどう利用するか ※最終レポート		
準備学習	・随時課す課題に応じて予習・復習が求められる。 ・中間および最終レポート作成に必要な作業が求められる。		
成績評価の基準と方法	授業への参加と課題 40% テスト 15% 中間レポート 15% 最終レポート 30%		
テキスト・教科書			
備考	・1 回目の授業でレベルチェックテストをするので、必ず出席すること。欠席、遅刻、早退の扱いなどについても説明する。		

上級 Advanced

	・授業には、辞書を必ず持参すること。 ・担当教員の判断で異なるレベルのクラスへの移動を促されることがある。

Subject	Advanced Expression (Writing Skills)			**Course Code**	028110
Class Period	Tue. 5 & Thu. 5	**Time**	16:30～18:00		
Instructor (s)	YAMAHATA, Tomoyuki	**Japanese Level**	Advanced		
Course Objectives	You can effectively select appropriate words considering the time, place, and occasion, and express yourself persuasively using effective writing techniques.				
Course Goals	- You can consider expressions appropriate for the academic situation and those that are easy for readers or listeners to understand, and use expressions appropriately (balancing Sino-Japanese and native Japanese terms). - You can appropriately cite figures and tables, use relevant information that is appropriate in both quality and quantity, and present and describe it with a clear structure (such as chronological order, inclusion, or contrast). - You can add relevant information about the topic as needed and describe and express it logically and in detail based on evidence (using handouts/slides, delivering long presentations with a clear structure, using persuasive expressions). - You can write a text that appropriately uses source materials, such as quotations and a bibliography (list of references).				
Course Schedule	Section 0: Level Check Test Section 1:Separating, Connecting, and Organizing Sentences Review and Practice Conjunctions Various ways of Connecting and Organizing How to Separate Sentences according to Structure Section 2: Rules for reports and papers Types of Reports How to Write Citations and References Use of Summaries Mid-term report Section 3: Evidence-Based Arguments From Research Analysis to Presenting Arguments Creating Outline				

上級 Advanced

	How to use numerous Sources and Data Final report
Homework	Students will be required to: Prepare and review according to the assignments. Prepare and review for the mid-term and final reports.
Grading System	Class participation and assignments: 40% Test: 15% Mid-term report: 15% Final report: 30%
Textbooks	
Additional Information	-A level check test will be given in the first class, so be sure to attend. We will also explain how to deal with absences, tardiness, and leaving early. -Bring your own dictionary without fail. -You may be asked to move to a class of a different level at the discretion of the instructor.

上級 Advanced

上 級 表 現
Advanced Japanese Expression

科目名	上級表現(プレゼンテーション)		時間割コード	028111
曜日・講時	月2・水2	時間	10:30-12:00	
担当者	近藤　弘	日本語レベル	上級	
授業の目標	■ 理解した内容と自分の意見を、わかりやすく簡略にまとめて発表することができる。 ■ TPO を配慮した適切な語句を選択し、説得力のある表現技法を用いて 効果的に記述・表現できる。			
到達目標	■ 主に以下の学術的な場面におけるプレゼンテーションの内容の深まりとスキルの向上を目指す。 1ゼミ:自分の研究について、進捗状況や構想等、明確で詳しく伝えるプレゼンテーションを行うことができる。また、ゼミ生とのディスカッションを通して自身の意見を深めることができる。 2授業:興味・関心がある研究論文及び学術書の内容を端的にレジュメにまとめ、説明することができる。 3学会:研究内容についてデータなどを示しながら、明確で構造を持った 15 分程度のプレゼンテーションができる。また、質問に対して柔軟に対応する			
授業計画	この授業は学内外でのプレゼンテーションを日本語で円滑に行うための授業である。授業は大きく次の５つのパートに分けて進める。 ■テーマの導入 ■プレゼンテーションの基礎 ■準備・練習 ■リハーサル ■プレゼンテーション			
準備学習	1.授業項目に関する調査 2.発表原稿の作成、PPT スライドの作成。 3.録音データ・動画の提出 4.自己評価表の提出			
成績評価の基準と方法	1 参加度 40%（出席、課題提出、自己評価等） 2 プレゼンテーション 60%（初回 20%、2 回目 20%、最終 20%）			
テキスト・教科書				
備考	週に 2 回の授業に参加できる学生のみ参加可能な授業である。 受講生は Google classroom を使って自己評価や課題などを提出する。			

上級 Advanced

Subject	Advanced Expression (Presentation)			**Course Code**	028111
Class Period	Mon. 2 & Wed. 2	**Time**	10:30 - 12:00		
Instructor (s)	KONDO, Hiromu	**Japanese Level**	Advanced		
Course Objectives	■ Be able to clearly and concisely summarize and present both the content understood and one's own opinions. ■ Be able to effectively write and express oneself by selecting appropriate vocabulary considering the time, place, and occasion, and using persuasive expression techniques.				
Course Goals	■ The goal is to deepen the content and improve the skills of presentations, mainly in academic settings. 1 seminar: Be albe to deliver clear and detailed presentations on the progress and concepts of one's research.Additionally, be able to deepen one's own opinions through discussions with seminar members. 2 lessons: Be able to concisely summarize the content of research papers and academic texts of interest into a resume and explain it. 3 Conference: Be able to give a clear and well-structured 15-minute presentation on his/her research, showing data and other information. Also, be able to respond flexibly to questions.				
Course Schedule	This class is designed to facilitate presentations in academic situations in Japanese. This course will be divided into the following five parts. ■Introduction to the Theme ■Presentation Fundamentals ■Preparation and Practice ■Rehearsal ■Presentation				
Homework	1. Survey on class items. 2. Preparation of presentation drafts and PPT slides. 3. Audio recordings and videos submission 4. Submission of self-evaluation sheet.				
Grading System	1.Participation 40% (attendance, submission of assignments, self-evaluation, etc.) 2.Presentation 60% (first 20%, second 20%, final 20%)				
Textbooks					
Additional Information	This class is open only to students who are able to attend two classes per week. Students will submit self-assessments and assignments using Google classroom.				

上級 Advanced

上 級 理解
Advanced Japanese Comprehension

科目名	上級理解(講義を聴く･資料を読みとる)	時間割コード	028112
曜日･講時	火1･木1	時間	08:45～10:15
担当者	杉山　暦	日本語レベル	上級
授業の目標	目的に応じて情報を集め、高度な内容を詳細に理解し、分析、活用することができる。		
到達目標	1. 専門学術的な内容(講義･解説･論文･学術書など)を理解し、自分の言葉･文脈で説明することができる。 2. 適切な方法で必要な情報を検索･収集、取捨選択することができる。 3. 情報を適切に整理、精査することができる(情報やデータの集計、比較、批判的分析)。		
授業計画	この授業は「資料を読み取る」と「講義を聴く」の 2 つの活動から構成される。 火曜日：「資料を読み取る」 前半では，日本の大衆文化の代表例であるコミックや，日常的な事柄を題材としたエッセイなどを取り上げる。筆者や登場人物の発話に明示される感情，暗示される心情や，文脈に内在するニュアンスを読み取る能力の育成を目指す。 後半では、新聞記事や学術的文章など，抽象度の高いテキストを扱う。文章のタイトルや冒頭段落に基づく予測読み，キーワードの抽出、主題文の特定などを通じて概要を把握し，要約文の作成を行う。また，各テーマについて他者と議論することで，自らの意見や考えを整理し，論理的に発信する力を養うとともに，傾聴力および他者理解能力の涵養を図る。 木曜日：「講義を聴く」 前半では、日本社会および時事問題を中心としたニュース動画や SNS 動画を取り上げ，特定情報を選択的に抽出して聴解する能力の育成を行う。 後半では、オンラインで公開されている大学講義を視聴し，既存知識を活用したノートテイキング、講義構成を意識しながら細部を聴き取る練習を行うことで，日本語による講義理解能力の向上を図る。 全体を通じて，各テーマについて他者と議論する活動を取り入れ，自らの意見や考えをかみ砕いて説明・発信する力を養うとともに，傾聴力および他者理解能力の育成を目指す。		
準備学習	・授業前：事前配布された資料に目を通しておくこと。 ・授業後：配布資料中の語彙・表現の意味確認を行いながら，再読を行うこと。		
成績評価の基準と方法	「資料を読み取る」：通常の授業の課題　　50% 「講義を聴く」：通常の授業の課題　50%　合計 100% 通常の授業の課題は、それぞれ 2 回ずつ計 4 回のレポート課題である。		
テキスト･教科書			
備考	資料を配布する。		

上級 Advanced

Subject	Advanced Comprehension (Listening to lectures and reading literature)		**Course Code**	028112
Class Period	Tue. 1 & Thu. 1	**Time**	08:45～10:15	
Instructor (s)	SUGIYAMA, Koyomi	**Japanese Level**	Advanced	
Course Objectives	You can gather information according to your objectives, gain a detailed understanding of advanced content, and analyze and utilize it.			
Course Goals	1. You can understand longer, more complex utterances, conversations, and texts across a wider range of genres (news, conversations with insufficient information, opinion pieces, informational magazines, newspaper articles, etc.). 2. You can understand by appropriately selecting or combining multiple strategies (such as skimming or scanning). 3. You can understand content in detail, following the speaker's or writer's intent and the structure of the content.			
Course Schedule	This course consists of two main components: “Reading Literature” and “Listening to Lectures.” Tuesday: “Reading Literature” In the first half of the class, students will work with comics as representative examples of Japanese popular culture, as well as essays on everyday topics. The aim is to develop the ability to identify explicitly expressed emotions, implied feelings, and nuances embedded in the context of the author’s and characters’ utterances. In the second half, students will engage with texts of a higher level of abstraction, such as newspaper articles and academic readings. Through activities such as predictive reading based on titles and opening paragraphs, keyword extraction, and identification of topic sentences, students will grasp the overall structure of the text and produce written summaries. In addition, by discussing each theme with peers, students will develop the ability to organize and communicate their own ideas logically, while also academic listening skills and an understanding of others’ perspectives. Thursday: “Listening to Lectures” In the first half, students will work with news videos and social media content focusing on Japanese society and current affairs, in order to develop the ability to selectively extract specific information through listening. In the second half, students will view university lectures made available online and practice note-taking based on prior knowledge. By listening for details while paying attention to the overall structure of the lecture, students will enhance their ability to comprehend academic lectures in Japanese. Throughout the course, students will engage in discussions on each theme in order to develop the ability to explain and communicate their ideas clearly and accessibly, while further fostering attentive listening skills and an understanding of others.			

上級 Advanced

Homework	Before class: Review the materials distributed in advance. After class: Reread the materials while confirming the meanings of vocabulary items and expressions.
Grading System	"Reading Literature": 50% of the regular coursework "Listening to Lectures": 50% of the regular coursework Todal: 100% The regular coursework consists of a total of four written report assignments, with two reports for each component.
Textbooks	
Additional Information	Reading materials will be distributed.

上級 Advanced

科目名	上級理解(クリティカル・リーディング)		時間割コード	028113
曜日・講時	火2・木2	時間	10:30～12:00	
担当者	千葉 佳奈美	日本語レベル	上級	
授業の目標	必要な情報を集めて、テキストの内容への理解を深め、批判的に分析し、自分の意見をまとめることができる。			
到達目標	・抽象度の高い内容(解説・論文・学術書など)を理解し、自分の言葉・文脈で説明することができる。 ・理解の過程を他者と共有し、批判的に検討することができる。 ・適切な方法で必要な情報を検索・収集、取捨選択することができる。			
授業計画	〈前半〉 ●テキストの理解と議論 設定した問いを通じて、グループで議論しながらテキストの内容を理解する。 さらに、テキストの要約や疑問点を議論することにより、より理解を深め、批判的に検討する。 自分の意見をまとめ、提出する。 〈後半〉 ●テキストを持ち寄り、議論をファシリテートする（グループワーク） 扱いたいテキストをグループで選定し、問いを設定する。 問いに沿って議論をファシリテートする。 自分の意見をまとめ、提出する。			
準備学習	・授業で扱うテキストを事前に読んでおくこと ・後半のグループワークでのテキスト選定や問いの設定			
成績評価の基準と方法	・参加度　10% ・課題提出（テキストごと）　40% ・ミニレポート（前半1回+後半1回）　50%			
テキスト・教科書				
備考	グループワークが中心になるので、積極的・協力的な態度が望まれる。			

上級 Advanced

Subject	Advanced Comprehension (Critical Reading)		**Course Code**	028113
Class Period	Tue. 2 & Thu. 2	**Time**	10:30～12:00	
Instructor (s)	CHIBA, Kanami	**Japanese Level**	Advanced	
Course Objectives	Students will be able to collect relevant information, deepen their understanding of the text, critically analyze it, and formulate their own opinions.			
Course Goals	- Understand highly abstract academic content (e.g., commentaries, research articles, and scholarly books) and explain it in their own words and appropriate contexts - Share their processes of understanding with others and engage in critical examination - Search for, collect, evaluate, and appropriately select necessary information using suitable methods			
Course Schedule	〈First Half〉 ● Text comprehension and discussion Students work in groups to understand the content of the text through guided questions. Through summarizing the text and discussing points of uncertainty, students deepen their understanding and engage in critical examination. Students organize their own opinions and submit them in written form. 〈Second Half〉 ● Bringing texts and facilitating discussion (group work) Students select texts to be discussed within their groups and formulate guiding questions. Students facilitate discussions based on these questions. Students organize their own opinions and submit them in written form.			
Homework	- Read the texts assigned for the course in advance. - Select texts and formulate guiding questions for the group work in the second half of the course.			
Grading System	- Class participation: 10% - Assignment submissions (for each text): 40% - Mini-reports (one in the first half and one in the second half): 50%			
Textbooks	Handouts will be delivered in class.			
Additional Information	Since the course places emphasis on group work, students are expected to participate actively and cooperatively.			

dz級 Intermediate

科目名	上級ビジネス日本語		時間割コード	028114
曜日・講時	金5	時間	16:30-18:00	
担当者	水谷 圭子	日本語レベル	上級	
授業の目標	日本での就職・インターンシップ、将来日本語を用いてビジネスの現場で活躍することを目指す上級レベルの留学生を対象とする。日本のビジネス社会(企業文化、働き方、採用・選考の仕組み等)への理解を深め、必要な情報収集・分析・発信の力を養成する。 講義に加え、業界分析／企業分析のグループプロジェクト、プレゼンテーション、集団面接の模擬練習を通して、実践的なビジネスコミュニケーション力を高める。			
到達目標	・日本のビジネス社会・日本企業の文化や慣行を、適切な用語を用いて説明できる。 ・日本語の資料(企業 HP、採用情報、ニュース等)から必要情報を収集し、業界／企業の特徴を整理できる。 ・分析結果を論理的にまとめ、上級レベルの日本語でプレゼンテーションを行い、質疑応答に対応できる。 ・集団面接において、役割を意識して発言し、協働的に議論を進められる。 ・自己理解を踏まえ、就職活動に向けた行動計画(次に何をするか)を日本語で言語化できる。			
授業計画	ガイダンス：コース目標／評価／自己目標設定 1. 日本の就職活動と企業文化 ・日本の就職活動の全体像 ・日本のビジネス社会・企業文化：組織、職位、意思決定、コミュニケーションの特徴 ・採用プロセスと選考形式：エントリーシート、適性検査、面接、グループディスカッション（GD)、留学生の注意点 2. 企業情報の調査とプレゼンテーション ・情報収集の方法：業界・企業情報の探し方、ニュースの読み方、情報の信頼性 ・業界分析：データ整理・論点の絞り込み／スライド作成と言語表現 ・プレゼン準備：リハーサル、時間管理、質疑応答トレーニング ・業界分析プレゼンテーション 3. 就職活動の実践的対策 ・エントリーシート（ES）の書き方①：社会人基礎力、長所と短所 ・エントリーシート（ES）の書き方②：志望動機・自己 PR／表現の推敲 ・集団面接対策：評価ポイント／立ち回り／練習／模擬選考 まとめ：ポートフォリオ提出（分析資料・発表資料・振り返り・行動計画）			
準備学習	・予習：配布資料の語彙・用語確認、要点整理（簡単な要約)。 ・復習：授業で得たフィードバックをもとに、発表資料や回答を改善し、振り返りシートを提出。			

上級 Advanced

	・グループ発表準備として、授業外での情報収集・打合せが必要（目安：週 1～2 時間、発表前は増加）。
成績評価の基準と方法	出席率 70%以上の者を評価対象とする（70%未満は原則として評価対象外）。 ・課題：20%（用語・要約、業界／企業調査、振り返り等） ・模擬面接：30%（準備、参加姿勢、表現、改善度） ・プレゼンテーション：30%（内容、構成、言語運用、資料、質疑応答） ・平常点：20%（授業参加、協働への貢献、期限遵守）
テキスト・教科書	担当者が作成したプリントを配布します。
備考	・日本語能力が上級の学生を対象とする。初級・中級レベルの学習者の受講は認めない。 ・ビジネスマナーや会話を受講希望の学生は「中級ビジネス日本語」も受講することを推奨する 。 ・無断欠席、遅刻、早退は厳禁とする。 ・授業時間以外での準備が必要な場合がある。 ・インターンシップ等の案内は授業内で行う（参加要件がある場合は別途説明）。

Subject	Business Japanese Advanced			Course Code	028114
Class Period	Fri. 5	Time	16:30～18:00		
Instructor (s)	MIZUTANI, Keiko	Japanese Level	Advanced		
Course Objectives	This course is designed for advanced-level international students who aim to pursue employment or internships in Japan and to work professionally in Japanese in business settings. Students will deepen their understanding of Japanese business society (corporate culture, working styles, recruitment and selection systems, etc.) and develop the skills necessary to gather, analyze, and communicate information effectively. In addition to lectures, students will enhance practical business communication skills through an industry/company analysis group project, presentations, and mock group interview practice.				
Course Goals	By the end of the course, students will be able to: - Explain Japanese business society and the culture/practices of Japanese companies using appropriate terminology. - Collect necessary information from Japanese-language materials (company websites, recruitment information, news articles, etc.) and organize key characteristics of industries and companies. - Summarize analytical findings logically, deliver presentations in advanced Japanese, and respond effectively during Q&A. - In group interviews, speak with awareness of roles and collaborate to move discussions forward. - Based on self-understanding, articulate a job-hunting action plan (next steps) in Japanese.				
Course Schedule	Guidance: Course objectives / Assessment / Personal goal setting				

上級 Advanced

	1. Job Hunting in Japan and Corporate Culture - Overview of job hunting in Japan - Japanese business society and corporate culture: organizations, positions/titles, decision-making, communication styles - Recruitment process and selection formats: Entry Sheets (ES), aptitude tests, interviews, group discussions (GD), and key points for international students 2. Researching Company Information and Presentations - Methods of information gathering: how to find industry/company information, how to read news, and how to assess reliability - Industry analysis: organizing data, narrowing down issues, slide creation, and language for presentations - Presentation preparation: rehearsal, time management, and Q&A training - Industry analysis presentations 3. Practical Job-Hunting Preparation - Entry Sheet (ES) writing (1): Essential Competencies, Your strengths and weaknesses - Entry Sheet (ES) writing (2): motivation for application and self-promotion; refining expressions - Group interview preparation: evaluation points, strategies/role-taking, practice, and mock selection Wrap-up: Portfolio submission (analysis materials, presentation materials, reflection, action plan)
Homework	- Preparation: Check vocabulary/terms in the handouts and organize key points (brief summary). - Review: Improve presentation materials and responses based on feedback; submit a reflection sheet. - Outside-class work: Information gathering and meetings are required for group presentations (approx. 1–2 hours per week; more time may be needed before presentations).
Grading System	Students with an attendance rate of 70% or higher will be evaluated (students below 70% will, in principle, not be evaluated). - Assignments: 20% (terminology/summary tasks, industry/company research, reflections, etc.) - Mock interviews: 30% (preparation, participation, language use, improvement) - Presentations: 30% (content, structure, language use, materials, Q&A) - Participation: 20% (class participation, contribution to group work, meeting deadlines)
Textbooks	Instructor-prepared handouts will be distributed.
Additional Information	■ - This course is intended for students with advanced Japanese proficiency. Beginner- and intermediate-level learners are not permitted to enroll.

上級 Advanced

	■ - Students who wish to focus on business manners and basic workplace conversation are encouraged to take “Intermediate Business Japanese” as well. ■ - Unexcused absences, tardiness, and leaving early are strictly prohibited. ■ - Preparation outside class may be required. - Information on internships will be provided in class (eligibility requirements will be explained separately if applicable).

上級 Advanced

日本語演習
Japanese Seminar

科目名	日本語演習（移住と日本語）		時間割コード	028120
曜日・講時	水3	時間	13:00-14:30	
担当者	近藤　弘	日本語レベル	上級	
授業の目標	講義、ディスカッション、ナラティヴ（語り・物語）の実践を通して、移住と言語・文化・アイデンティティ形成の関係性について理解を深める。また、同テーマについて自分なりの考えを他者に伝えることができる。また、意見交換を通して考えを深めることができる。			
到達目標	・移住経験者のナラティヴ（語り・物語）を聴き、移住・言語・アイデンティティの関係性について自分なりの考えを深め、他者に伝えることができる。 ・移住・言語・文化の観点から国内外の言語教育事情について知り、同テーマと関係する身近な事例について説明することができる。また、意見交換することができる。 ・移住とアイデンティティをテーマに調査を行い、その結果や感想についてプレゼンテーションを通して他者にわかりやすく伝えることができる。			
授業計画	■ ガイダンス（第 1 週） ■ 海外に移住する日本人と日本語（第 2 週～第 4 週） ■ 調査・発表 1（準備とプレゼンテーション）（第 5 週～第 8 週） ■ 日本への移住と日本語（第 9,10 週） ■ 調査・発表２（準備とプレゼンテーション）（第 11 週～第 15 週）			
準備学習	授業外活動として以下の準備学習が求められます ・文献購読 ・調査 ・プレゼンテーション準備			
成績評価の基準と方法	授業参加：30% 課題：20％ 調査・発表 1：20% 調査・発表 2：30％			
テキスト・教科書				
備考	・調査・発表をグループで行うパートがあります。 ・この授業はディスカッションの機会を多く設けます。価値観が異なる他者と積極的に建設的なディスカッションを行う姿勢が求められます。 ・この授業では、立場や背景が異なる人とことばを通して相互理解することを大切にしています。			

上級 Advanced

Subject	Japanese Seminar (Immigration and Japanese)	**Course Code**	028120
Class Period	Wed. 3	**Time**	13:00-14:30
Instructor (s)	KONDO, Hiromu	**Japanese Level**	Advanced
Course Objectives	Through lectures, discussions, and narrative practice, students will deepen their understanding of the relationship between migration and language, culture, and identity formation. They will also be able to communicate their own perspectives on this theme to others and deepen their thinking through the exchange of ideas.		
Course Goals	・Listen to narratives from individuals with migration experience to deepen your understanding of the relationship between migration, language, and identity. You will also be able to communicate your own thoughts to others and exchange opinions. ・Understand language education situations both domestically and internationally from the perspectives of migration, language, and culture, and be able to explain familiar examples related to these themes. ・Conduct research on the themes of migration and identity, and be able to clearly communicate the results and insights to others through presentations.		
Course Schedule	■ Guidance (1st week) ■ Japanese Immigration and Japanese language (weeks 2 to 4) ■ Research/Presentation 1 (Preparation and Presentation) (Week 5-8) ■ Immigration to Japan and Japanese language (Week 9-10) ■ Research/Presentation 2 (Preparation and Presentation) (Weeks 11 to 15)		
Homework	The following preparatory work is required outside of class: ・Literature reading ・Research ・Presentation preparation		
Grading System	Class participation: 30% Assignments: 20% Research and presentation 1: 20% Research and presentation 2: 30%		
Textbooks			
Additional Information	・This course provides numerous opportunities for discussion. Students are expected to actively engage in constructive discussions with others who hold different values. ・This course emphasizes mutual understanding through dialogue with people of diverse perspectives and backgrounds.		

上級 Advanced

科目名	日本語演習(「ことばを学ぶ」を学ぶ)		時間割コード	028121
曜日・講時	水5	時間	16:30-18:00	
担当者	佐藤　淳子	日本語レベル	上級	
授業の目標	第二言語習得に関する基本的な理論を、自分の学習経験と関連づけながら理解する。また、学んだ理論と経験に基づき、特に自分が習得に苦労したことについて、後輩学習者のために実践的で具体的な提案(タスク、教材など)をする。			
到達目標	・第二言語習得理論の基本理解: 基本概念を理解し、自身の学習経験を SLA の用語を使って客観的に分析・発表できる。 ・理論の実践的応用: 理論的根拠と自分の学習経験に基づき、後輩学習者のためのタスクや教材を提案できる			
授業計画	クラスの人数等の状況によって、予定が変更になる場合もあるが、基本的には以下のように進める。 ＜初回＞　オリエンテーション ＜第１部：第２～６週＞　基本概念や代表的な理論を学ぶ 応用認知言語学や第二言語習得研究に関する基本概念や代表的な理論、モデルを自分の学習経験と関連づけながら学ぶ。 ＜第２部：第７～９週＞「自分の日本語学学習経験」を分析する 第１部で得た知識や経験に基づき、自分の学習経験の成功体験や失敗体験を客観的に分析し、他者と共有する。また、自分が使ったことのない教材も含めてさまざまな教材を分析する。 ＜第３部：第 10～15 週＞「こんなふうに学びたかった！」をカタチにする 学んだ理論と経験に基づき、特に自分が習得に苦労したことについて、後輩学習者のために実践的で具体的な教材を作成していく。成果物の媒体は問わない（紙やオンラインの教材、学習動画、実際の授業をその場で実践する etc.)。グループで協働作業を行う予定だが、クラスの人数や意向によって進め方は調整する。			
準備学習	＜第１部＞ ・事前に提示するキーワードについて自分なりに調べておくこと （授業開始時に、キーワードの説明を日本語でできるように） ＜第２部＞ ・自分の学習経験を分析して発表する機会があるので発表の準備をしておくこと ・ディスカッション用に、教材（自分が使用した市販のもの、もしくはオンライン上のものなど）を用意してくること			

上級 Advanced

	＜第３部＞ ・グループで作成を進める成果物に関して、自分の担当部分の責任を果たすこと
成績評価の基準と方法	・毎週の振り返りシート 40% ・第２部での発表 20% ・第３部での成果物（グループで提出しても貢献度から個人を評価する）40%
テキスト・教科書	
備考	初回授業で、詳しい授業スケジュールや進め方の説明を行う。

Subject	Japanese Seminar (Learning How to Learn a Language)			Course Code	028121
Class Period	Wed. 5	Time	16:30-18:00		
Instructor (s)	SATO, Junko	Japanese Level	Advanced		
Course Objectives	Students will understand fundamental theories of second language acquisition by relating them to their own language learning experiences. Based on the theories learned and their personal experiences, students will develop practical and concrete suggestions (e.g., tasks and learning materials) for junior learners, with a particular focus on areas they personally struggled to acquire.				
Course Goals	・Basic understanding of SLA theories: Students will understand key concepts in second language acquisition (SLA) and be able to objectively analyze and present their own learning experiences using SLA terminology. ・Practical application of theory: Based on theoretical foundations and their own learning experiences, students will be able to propose tasks and learning materials for less experienced learners.				
Course Schedule	Depending on circumstances such as class size, the course schedule may be modified; however, the course will generally proceed as follows. ＜Week 1＞ Orientation ＜Part 1: Weeks 2–6＞ Learning key concepts and major theories Students will study basic concepts as well as representative theories and models in applied cognitive linguistics and second language acquisition (SLA) research, while relating them to their own language learning experiences. ＜Part 2: Weeks 7–9＞ Analyzing “my Japanese language learning experience” Based on the knowledge gained in Part 1 and their own experiences, students will objectively analyze their successful and unsuccessful learning experiences and share their reflections with others. Students will also evaluate a variety of learning materials, including those they have not used before.				

上級 Advanced

	＜Part 3: Weeks 10–15＞ Turning “This is how I wish I had learned!” into practice Drawing on the theories learned and their own experiences, students will develop practical and concrete learning materials for less experienced, lower-proficiency learners, with a particular focus on areas they personally struggled to acquire. The format of the final product is flexible (e.g., paper-based or online materials, learning videos, or live demonstration lessons). Group work is planned; however, the course structure and procedures will be adjusted depending on class size and students’ preferences.
Homework	＜Part 1＞ ・Students are expected to research the assigned keywords in advance. (By the beginning of class, students should be able to explain the keywords in Japanese in their own words.) ＜Part 2＞ ・Students should prepare for presentations, as there will be opportunities to analyze and present their own learning experiences. ・For discussion activities, students must bring learning materials (e.g., commercially published materials they have used, or online resources). ＜Part 3＞ ・Students are expected to take responsibility for and complete their assigned tasks related to the group project/final product.
Grading System	・Weekly reflection sheets: 40% ・Presentation in Part 2: 20% ・Final project/product in Part 3: 40% (Submitted as a group; however, individual grades will be determined based on each student’s contribution.)
Textbooks	
Additional Information	A detailed class schedule and an explanation of class procedures will be provided in the first session.

上級 Advanced

科目名	日本語演習(日本語を分析する)	時間割コード	028119
曜日・講時	月5	時間	16:30-18:00
担当者	鄭　恵先	日本語レベル	上級
授業の目標	身近な日本語の言語現象を取り上げ、考察することにより、日本語の普遍性と特殊性に関する知識を養う。		
到達目標	以下の活動を通して、言語分析の知識とスキルを身につける。 (1)教科書のトピックについて自分の考えを述べたり、関連する事柄について議論したりすることで、理解を深める。 (2)日本語の言語的特徴をほかの言語と比較し、その類似点と相違点を議論する。		
授業計画	(1) ガイダンス (2) しりとり (3) ことばの意味 (4) 若者ことば (5) 和語・漢語・外来語 (6) 会話の失敗 (7) 音声と文字 (8) ことば遊び (9) 話しことばと書きことば (10) あいまい文 (11) マンガのことば (12) 方言 (13) 丁寧体と普通体 (14) 漫才のことば (15) 外国の人の日本語		
準備学習	事前にテキストを読み、質問やコメントを準備する。		
成績評価の基準と方法	事前準備　30% グループワーク参加度　30% 報告＆質疑応答　20% 課題　20%		
テキスト・教科書	〈アクティブラーニング対応〉日本語を分析するレッスン／野田尚史・野田春美：大修館書店，2017		
備考			

上級 Advanced

Subject	Japanese Seminar (Analysis and Discussion of Japanese Language)	**Course Code**	028119
Class Period	Mon. 5	**Time**	16:30-18:00
Instructor (s)	JUNG, Hyeseon	**Japanese Level**	Advanced
Course Objectives	This class aims to cultivate knowledge of the universality and particularity of the Japanese language by taking up and examining familiar Japanese linguistic phenomena.		
Course Goals	Students will acquire knowledge and skills in linguistic analysis through the following activities - to improve their understanding of the topics in the textbook by expressing their own thoughts on them and discussing related issues. - to compare the linguistic characteristics of Japanese with those of other languages and discuss their similarities and differences.		
Course Schedule	(1) Class Guidance (2) Shiritori (3) The meaning of words (4) Teen slang (5) Japanese words, words of Chinese origin, foreign words (6) Conversation errors (7) Speech sounds and Characters (8) Word plays (9) Spoken and written languages (10) Ambiguous sentences (11) Words in Manga (12) Dialects (13) Polite and plain forms (14) Expressions in Manzai (15) Japanese of foreigners		
Homework	Read the textbook and prepare your questions and comments.		
Grading System	Preparation: 30% Contribution to group activities: 30% Summary and Q&A session: 20% Report: 20%		
Textbooks	〈アクティブラーニング対応〉日本語を分析するレッスン／野田尚史・野田春美：大修館書店, 2017		
Additional Information			

上級 Advanced

科目名	日本語演習(東アジアから見る日本近代史)		時間割コード	028122
曜日・講時	金4	時間	14:45～16:15	
担当者	巫 靚	日本語レベル	上級	
授業の目標	いま現在の日本社会を理解するためには、明治維新以降の日本の歩みの理解が大いに役立つ。この授業では、日本の周辺地域に着目し、明治維新以降の日本がいかに周辺地域に影響を与え、近代日本が形作られたのかに関する基礎的な知識の習得を目標とする。			
到達目標	(1)歴史学についても基本的な考え方を理解する。 (2)目的に応じてさまざまな日本語の文献から必要な情報を検索・収集することができる。 (3)文献調査から得られた結果を日本語でまとめ、わかりやすい表現で他者につたえることができる。			
授業計画	【ガイダンス】(第 1 週) ・歴史は誰のためにある？ 【セクション 1：沖縄からみる日本の近代】(第 2－4 週) ・琉球から沖縄まで ・琉球の人々が「日本人」になるとは？ ・戦後の日本復帰 【セクション 2：台湾からみる日本の近代】(第 5-7 週) ・清国から日本領まで ・台湾の人々が「日本人」になるとは？ ・戦後の日華関係・日台関係 【セクション 3：朝鮮半島からみる日本の近代】(第 8-10 週) ・保護国から併合まで　・朝鮮の人々が「日本人」になるとは？ ・戦後の日韓関係 【セクション 4：北方からみる日本の近代】(第 11-14 週) ・「サハリン」と「樺太」は違う島？ ・「北方領土」とは？ ・先住民とは？ ・国境が変わると何が起きるのか？ 【全体のまとめ】(第 15 週) ・再び「歴史は誰のためにある？」			
準備学習	事前に配られる資料を読み、質問やコメントを準備すること。			
成績評価の基準と方法	・授業参加　30% ・課題　30% ・最終レポート　40%			
テキスト・教科書				
備考				

上級 Advanced

Subject	Japanese Seminar (Modern Japanese History Seen From East Asia)	**Course Code**	028122
Class Period	Fri. 4	**Time**	14:45～16:15
Instructor (s)	WU, Liang	**Japanese Level**	Advanced
Course Objectives	You can understand today's Japanese society more, if you study the Japanese history after the Meiji Restoration more. This class focuses on Japan's neighboring regions for acquiring a basic knowledge of how Japan has/has been influenced its neighboring regions since the Meiji Restoration and how modern Japan formed.		
Course Goals	(1) A basic understanding about historiography. (2) To be able to search and collect necessary information from a variety of Japanese literature according to the purpose. (3) To be able to summarize the results obtained from a literature survey in Japanese and communicate them to others in an easy-to-understand manner.		
Course Schedule	[Guidance] (Week 1): For whom is history? [Section 1] Modern Japan from the perspective of Okinawa (Weeks 2-4) ・From Ryukyu to Okinawa ・What made the people in Ryukyu "Japanese"? ・The return of Okinawa to Japanese control after the World War II [Section 2] Modern Japan from the perspective of Taiwan (Weeks 5-7) ・From the Qing Dynasty to Japanese territory ・What made the people in Taiwan "Japanese"? ・Japan-China and Japan-Taiwan relations after the World War II [Section 3] Modern Japan from the perspective of Korean Peninsula (Weeks 8-10) ・From protectorate to annexation ・What made the people in Korea "Japanese"? ・Japan-Korea relations after the World War II [Section 4] Modern Japan from the northern perspective (Week 11-14) ・"Sakhalin" or "Karafuto"? ・What are "Northern Territories"? ・Who are the indigenous peoples? ・What happens after borders changing? [Conclusion] (Week 15): Again, "for whom is history?"		
Homework	Read the assigned texts and prepare your questions and comments.		
Grading System	-Class participation 30% -Assignments 30% -Final paper 40%		
Textbooks			

上級 Advanced

Additional Information	

2026年度
教育イノベーション機構国際教育センター
「日本語研修コース」概要

はじめて日本語を勉強する学生のためのコースです。大学生活に必要な初級レベルの日本語を理解して、使えるようになります。

1. 授業の科目

初級	
初級やりとり	週2コマ
初級理解	週2コマ
初級表現　リサーチ＆プレゼンテーション	週1コマ
初級表現　ストーリーを読む・書く・語る	週1コマ
初級文字を読む・書く	週1コマ

中級	
中級やりとり(基礎)	週2コマ
中級理解(基礎)	週2コマ
中級表現(基礎)	週2コマ
中級やりとり(運用) 中級表現(運用)中級理解(運用)	いずれか 週1コマ

初級・中級　共通		時間割	担当者
応用日本語	週1コマ　15回	月3限	平田　未季
総合日本語	週1コマ　15回	木3限	屋方　淳子

プレースメントテストの結果によって初級コースか中級コースに入ります。
応用日本語と総合日本語はすべての学生が一緒に勉強するクラスです。
初級は初級やりとり(週2コマ)、初級理解(週2コマ)、初級表現　リサーチ＆プレゼンテーション(週1コマ)、初級　ストーリーを読む・書く・語る(週1コマ)、初級文字を読む・書く(週1コマ)、応用日本語、総合日本語の9コマです。

中級は中級やりとり(基礎)(週2コマ)、中級理解(基礎)(週2コマ)、中級表現(基礎)(週2コマ)、中級やりとり・中級理解・中級表現の運用のいずれか1科目(週1コマ)、応用日本語、総合日本語の9コマです。

2. 授業が行われる期間

第1学期:2026年4月8日（水)～2026年8月6日（木)の16週間(応用・総合日本語は15週間)
第2学期:2026年10月1日(木)～2027年2月3日（水)の16週間(応用・総合日本語は15週間)

3. 教室

授業は主に学生交流ステーション(北15条西8丁目)で行われます。
教室はコースがはじまる時に知らせます。

4. 授業時間

	1時限	2時限	3時限	4時限	5時限
時間	08:45-10:15	10:30-12:00	13:00-14:30	14:45-16:15	16:30-18:00

5. それぞれの科目の説明

応用日本語：初級クラスで学んだことを使って、大学の中や外の人たちと交流します。また、日本語でまとまった発表ができることをめざします。

総合日本語：みなさんの学習の進みぐあいや課題に合わせて指導を行います。

その他の科目については一般日本語コースのページ(11-165ページ)を見てください。

6. 授業を受ける資格

次の条件にあっていること。

① 大使館推薦による国費外国人留学生(研究留学生)

② 教員研修留学生

7. 定員

15名程度

8. 修了証書

一般日本語コースの基準にしたがって、すべての科目に合格したら、修了したことを証明する証書が渡されます。

注意すること：

すべての授業に出席できることが、このコースに入るための条件です。1学期の間、日本語の学習に集中してください。授業を行っている期間に、日本語の授業とセミナーなどが重なった場合は日本語の授業を受けてください。

9. 問いあわせ

このコースについてくわしいことを知りたい場合は下の連絡先に知らせてください。

コースコーディネーター　平田未季　japanese_courses@oia.hokudai.ac.jp

Institute for Academic Innovation International Education Center
Intensive Japanese Course
Information for Monbukagakusho Scholarship Students
2026

This course is for students who will study Japanese for the first time. The course objectives are to help them acquire the skills for basic daily communication required in academic life.

1. Classes offered

Introductory	
Subject	Per week
Introductory Interaction	2 classes
Introductory Comprehension	2 classes
Introductory Expression : Research & Presentation	1 class
Introductory Expression: Self Expression through Stories	1 class
Introductory Japanese Literacy	1 class

Intermediate	
Subject	Per week
Interaction (Basic)	2 classes
Comprehension (Basic)	2 classes
Expression (Basic)	2 classes
Interaction (Practical) Expression (Practical) Comprehension (Practical)	One class from the classes on the left

Joint Classes for Introductory / Intermediate			
Subject	Total 15 classes	Timetable	instructor
Applied Japanese	1 class/week	Monday	HIRATA, Miki
Comprehensive Japanese	1 class/week	Thursday	YAKATA Junko

Depending on the placement test results, students will be placed in either the Introductory or Intermediate course. The Applied Japanese and Comprehensive Japanese classes are joint classes for the Introductory and Intermediate courses, each with one class per week.
The Introductory Course consists of 9 classes, and the Intermediate Course consists of 9 classes (Students are required to take one class from the intermediate practical classes).

2. Length of course

16 weeks.
First semester: Wednesday, April 8, 2026 – Thursday, August 6th, 2026
Second semester: Thursday, October 1, 2026 – Wednesday, February 3, 2027
(Applied / Comprehensive Japanese will be held for 15 weeks)

3. Classrooms

Classes will be taught in the Student Communication Station Building (Kita 15, Nishi 8). Classrooms will be announced at the beginning of the semester.

4. Class times

	Period 1	Period 2	Period 3	Period 4	Period 5
Time	08：45-10：15	10：30-12：00	13：00-14：30	14:45-16：15	16：30-18：00

5. Description of subjects

Applied Japanese:

Using the content learned in Grammar and Communication Class, students will practice interacting with people both on- and off-campus. This class also aims to help students acquire Japanese language skills to make coherent presentations in Japanese.

Comprehensive Japanese:

Individual guidance will be given to each student according to their learning progress and issues.

For other subjects, please refer to the description of the General Japanese Course (pages. 11-165).

6. Student eligibility

Students must meet the following requirements:

- Must be an embassy recommended Japanese Government Scholarship Student at the graduate level (*kenkyu-ryugakusei)* or in teacher training programs.

7. Maximum number of students accepted

About 15.

8. Certificate of completion

A certificate of completion will be issued to students who have passed all the subjects following the General Japanese Course's standards.

Notes:

Students are required to attend all classes. The Intensive Japanese course is open only to students who will be able to study Japanese on a full-time basis during the semester. If other classes such as seminars conflict, the Intensive Japanese Course must be prioritized.

9. Inquiries

For more information, please refer to the "Contact Form" on our website.

Course coordinator: HIRATA Miki

japanese_courses@oia.hokudai.ac.jp

2026年度2学期
教育イノベーション機構国際教育センター
「多文化交流科目」概要

教育イノベーション機構国際教育センターでは、「多文化交流科目」を以下の要領で実施します。

1. 目的

このコースは、日本人学生と外国人留学生が、あるテーマについてともに考えてともに話し合うことで、互いにことばへの理解を深め、大学で学ぶためのアカデミックスキルを高めていく「協働学習クラス」です。この授業は、日本語の学習を目的とはせず、日本人学生と外国人留学生による共同作業が中心になります。そのため、受講生にはクラス活動へのより積極的で主体的な参加が求められます。

2. 科目・時間割

第2学期

科目名	担当者	日本語レベル	日本語力の総合スコア	曜日／時間
札幌をフィールドワークする	青木 麻衣子	中級2以上	69点以上	月4限／14:45～16:15
多文化交流－映画を通じて	Levente Molnár	中級2以上	69点以上	月5限／16:30～18:00
北海道で暮らす多様な人々の人生を知り、演じる	近藤 弘	中級3以上	75点以上	火3限／13:00～14:30
からだ・こころ・文化で学ぶヘルスケア入門	羅 云潔	中級3以上	75点以上	火4限／14:45～16:15
日本の魅力を探る	髙橋 彩	中級3以上	75点以上	火4限／14:45～16:15
学校生活についての多文化理解と協働探究	杜 長俊	初級3以上	48点以上	火5限／16:30～18:00
実践！お寺がつなぐ異世代の生活：澄川・藻岩でまちづくり	山畑 倫志	中級2以上	69点以上	水3限／13:00～14:30
日本語のコミュニケーションスタイル	鄭 惠先	中級3以上	75点以上	水4限／14:45～16:15

科目名	担当者	日本語レベル	日本語力の総合スコア	曜日／時間
「国際交流」を考える	青木 麻衣子	上級以上	83点以上	金2限／10:30～12:00
日本語で育つ子どもたち	式部 絢子	中級3以上	75点以上	金4限／14:45～16:15

【多文化交流科目の抽選】

・札幌をフィールドワークする

・多文化交流－映画を通じて

・からだ・こころ・文化で学ぶヘルスケア入門

・日本の魅力を探る

・日本語のコミュニケーションスタイル

・「国際交流」を考える

上記のクラスは、初回授業の後で自動的に抽選となります。

これ以外の科目も定員を超えた場合、抽選になることがあります。

※申請した全員が必ずしも希望クラスを受講できるわけではありませんのでご注意ください。

3. 開講期間

第2学期：2026年10月1日（木）～2027年2月3日（水）

（土、日、国民の祝日を除く）

4. 教室

授業は、学生交流ステーション（北15条西8丁目）で行われます。ただし、一部の授業はキャンパスの別の建物（総合教育棟）で行われます。教室は日本語コースからコース開始前にお知らせします。

5. 受講資格

以下の2点の条件を満たす者。

(1)本学に在籍する「外国人留学生」（留学ビザを持つ「研究生」「大学院生」「特別聴講学生」「特別研究学生」）あるいは、「外国人教員」「外国人研究員」であること。「聴講学生」「科目等履修生」「学部留学生」は多文化交流科目を受講できません。

ただし、「学部留学生」は「一般教育演習（多文化交流科目）」として受講することができます。

(2) 各クラスで提示されている日本語レベルを有していること。

6. 定員

各クラスの定員を最大20名としています。内訳は、原則として留学生10名、日本人学生10名を予定しています。定員を超えた場合、抽選科目は、受講科目登録期間終了後に、抽選を行います。

7. 日程

<u>２学期から申込方法が２ステップに変わります</u>

申込方法の変更に伴い、日程が１学期までのものと変わっています。

①受講科目を登録するために、事前に日本語コース登録設定が必要です。

②受講科目登録は、北海道大学の学務システムで行います。

プレースメントテスト受験期間	9/11（金）～9/30（水）
授業開始日	10/1（木）
①日本語コース登録設定期間	9/11（金）～10/5（月）
②受講科目登録期間	9/18（金）7：00～10/7（水）23：30 *9/28-9/29 17:00 までは履修登録不可
抽選日	10/8（木）（抽選科目のみ）
履修取消期間	10/21（水）～10/22（木）
クラス確定日	10/23（金）

8. 授業の登録方法

多文化交流科目の授業を受けたい人は、<u>新規履修希望者も、以前、多文化交流科目を受講したことがある人も、全員</u>必ず日本語コース登録設定をしてください。

【多文化交流科目の登録方法】

多文化交流科目に登録するために、次の手順A～Fを行ってください。

A. プレースメントテストの受験

B. シラバスを確認

C. 日本語コースの登録設定

D. 学務システムで受講科目を登録

E. 第1回目の授業から出席してください。

F. 抽選科目と抽選について

A.　プレースメントテストの受験

【テストを受ける前に】

初めて「多文化交流科目」に登録する方と多文化交流科目を受講したことがある方とで手続きが異なります。プレースメントテストを受ける必要があるか、以下を確認してください。

① 初めて「多文化交流科目」に登録する方は、全員プレースメントテストを受けてください。

② 以前、北海道大学の「多文化交流科目」もしくは、「日本語科目」を受講したことがある方は、基本的には前回の受講歴を基にレベル設定をします。

→プレースメントテストを受けないで、履修歴で登録します。前回合格したクラスの１つ上のレベルのクラスを選択する。

（例：前回「中級１」に合格した場合は、「中級２」を選択する）

→もしくは、プレースメントテストを受けて、その点数で日本語レベルを設定することも可能です。

【プレースメントテストについて】

・プレースメントテストでは TTBJ というテストを用います。

・プレースメントテストを受ける必要がある方は、授業開始前(9/30(水))までに必ず受験してください。

・プレースメントテストは、日本語コースに申し込む前に、インターネットが使える場所で個別に受けてください。

・世界中どこからでも、Web 上で 24時間受験できます。

【プレースメントテストの受験方法と日本語レベルの確認について】

1. プレースメントテスト（TTBJ）の「SPOT90＋Grammar90＋漢字SPOT50」を受ける。

・TTBJ のサイト　https://ttbj.cegloc.tsukuba.ac.jp/pl.html

・TTBJ の受験のフロー

https://isc.high.hokudai.ac.jp/general_ja_lang/#placement_test

2. プレースメントテスト（TTBJ）の成績表を受け取って保存する。

※成績表は、日本語コース登録設定の際に必要になります。日本語力の総合スコア、受験日と ID を入力する箇所があります。また、授業開始後、成績を確認される場合がありますので提示できるようにしておいてください。

3. 日本語の総合スコア（表 1）を基に、表 2 で自分の日本語レベルを確認。



成績表
Score report

TTBJ
筑波日本語テスト集

あなたの TTBJ スコアは以下の通りです
Your TTBJ scores are as follows.

受験日 / Exam date	所属機関 / Affiliation	
	北海道大学 / HOKKAIDO UNIVERSITY	
ID	氏名 / Name	メールアドレス / Mail

TTBJで受けたテスト：SPOT90-1、SPOT90-2、SPOT90-3、Grammar90-1、Grammar90-2、Grammar90-3、漢字SPOT50

SPOT90-1	/ 30
SPOT90-2	/ 30
SPOT90-3	/ 30
Grammar90-1	/ 30
Grammar90-2	/ 30
Grammar90-3	/ 30
漢字SPOT50	/ 50

日本語力の総合スコア　　漢字力の総合スコア

表 1　TTBJ の成績表例

日本語力の総合スコア	クラス・レベル		
83～100	上級	日本語演習	ビジネス日本語
75～82	中級 3		
69～74	中級 2		
59～68	初中級・中級 1		
48～58	初級 3		
31～47	初級 2		
0～30	初級 1		

表 2　日本語力の総合スコアと日本語のクラス分けについての対応表

注意：このテストはテストを受けた学生の日本語の力を測るものです。自分の実力を超えたクラスに入れたとしても、ついていけない場合もあるので、不正行為はやめてください。不正行為が発覚した場合は申請したすべての科目が取り消されます。

B. シラバスを確認

対象の日本語レベル、授業の内容、曜日・時間、授業の進み方は、シラバスで確認できます。

日本語授業概要一覧のリンクからシラバスを確認してください。

（https://jpncourse.oia.hokudai.ac.jp/syllabus_web/web/web_menu.php）

C. 日本語コース（多文化交流科目）の登録設定

日本語コース（多文化交流科目）の登録設定フォームにアクセスして、次の情報を入力して送付する。名前、学生番号、プレースメントテストの点数、または日本語科目の履修歴等を入力します。

リンク：https://forms.gle/RfURPEQl9lxtuCSZ7

※多文化交流科目のみ受講する場合も、多文化交流科目と日本語科目の両方登録する場合でもこの登録設定が必要です。

※10月入学の新入生は、10/1以降に学生番号を取得したら、日本語コースの登録設定が可能となります。

D. 学務システムで受講科目を登録

Cの完了後、翌日（土・日・祝を除く）から学務システムで多文化交流科目と日本語科目の登録ができるようになります。

Cで登録したプレースメントテストの点数や履修歴で日本語レベルが設定されています。

学務システムでの日本語コースの登録手順は以下のリンクを確認してください。

https://isc.high.hokudai.ac.jp/wp25/wp-content/uploads/2026/08/babec695f2514edabbc679eaf55e9c74.pdf

日本語力の総合スコア The total Japanese score	クラス・レベル Class / Level		
83～100	上級 Advanced	日本語演習 Japanese Seminar	ビジネス日本語 Business Japanese
75～82	中級 3 (Intermediate 3)		
69～74	中級 2 (Intermediate 2)		
59～68	初中級（Pre-Intermediate Japanese）		
	中級 1 (Intermediate 1)		
48～58	初級 3 (Introductory Japanese 3) 文字を読む・書く 3 (Japanese Literacy 3)		
31～47	初級 2 (Introductory Japanese 2) 文字を読む・書く 2 (Japanese Literacy 2)		
0～30	初級 1 (Introductory Japanese 1) 文字を読む・書く 1 (Japanese Literacy 1)		

※２学期の一番下の日本語レベルの多文化交流科目のクラスは、初級３以上です。初級２以下の日本語レベルの多文化交流科目のクラスはありません。

※教職員・研究員の方は、日本語コースの登録設定のフォーム送付後の手続きが学生と異なります。詳しくは「9.教職員と研究員の方」を確認。

【学務システムの利用上の注意点】
・所属先で発行される ELMS-ID が必要です。10月入学の新入生は、10/1以降に ELMS-ID が付与されたら学務システムの登録が可能になります。
・学務システムは、9/28（月）0：00～9/29（火）17：00 の間は登録ができません。
・学務システムからの受講科目登録期間は、所属先で設定した期間がある場合は、その期間とします。

E. 第1回目の授業から出席してください。

登録は授業開始後にもできますが、日本語科目では第1回目から授業が始まります。特別な事情（日本入国の遅れなど）がない限り第1回目から出席してください。

F. 抽選科目と抽選について

多文化交流科目で抽選となっている科目は、10/7 の履修登録締め切りまでに申し込んだ受講希望者を抽選します。また、抽選のクラスでなくても、定員を上回った場合は抽選となります。10/7 の受講登録期間後は、登録が出来ません。

抽選結果は、10/9（金）15時以降にこちらのウェブサイト（https://isc.high.hokudai.ac.jp/）の新着で公表しますので自分で確認してください。

9. 教職員と研究員の方

教職員・研究員の方は、学籍がないため、学務システムで受講登録が出来ないので、C の日本語コースの登録設定後は、学生と異なる方法で受講登録を行います。

日本語コースの登録設定後の流れ

1.日本語コースから多文化交流科目と日本語科目の履修希望クラスを記入するフォームがメールで届きます。
2.クラスを選択して 10/5（月）までにフォームを送付してください。
3.10/7（水）までに、日本語コースからクラス通知がメールで送られます。
4.第1回目の授業から出席してください。
（クラス通知前ですが、申請した授業に出席してください。）

10. 授業を確認する方法

学生：学務システムで履修状況を確認してください。

教職員・研究員：10/7（水）に受講するクラスをメールでお知らせします。

11. 履修取消

受講科目登録期間後は、クラスの変更や取消が出来ません。授業を受けられなくなる場合は、10/21（水）～22（木）の期間中に、履修取消届を提出してください。

履修取消届のリンク（https://forms.gle/AnLcmdAmsX9vvZ5G6）

【注意】

(1) どんな理由があっても、日本語コース登録設定期間が終わった後の申し込みはできません。

(2) 各クラスの合格基準は、原則として出席70%以上、最終成績60%以上が必要です。

(3) 受講科目登録期間後は、クラスの移動が出来ません。「専門の授業と重なった」、あるいは「他の日本語クラスと重なった」等の理由で申請したクラスを変更することはできません。

(4) 抽選の結果、履修できることになった授業には、最後まで出席してください。途中で辞める学生が出ると日本人学生と留学生の人数バランスが変わることにより、授業運営上、他の学生にも影響が出ます。履修登録の際には、最後まで受講できるクラスだけを登録するようにしてください。

12. 問い合わせ先

・ 多文化交流科目についての質問は、下記の「よくある質問」のページを見てください。

https://www.hokudai.ac.jp/php/jc/faq/

該当する質問がない場合は、以下にご連絡ください。

一般日本語コース　Email：japanese_courses@oia.hokudai.ac.jp

・ 学務システムの操作方法に関するお問い合わせは以下にご連絡ください。

Email：k-info@academic.hokudai.ac.jp

・ ELMS に関するお問い合わせは、以下の方法でご連絡ください。

→ELMS ポータル＞メニューの「Help」＞お問い合わせフォームからご連絡ください。

The Institute for Academic Innovation, International Education Center
Co-learning in Multicultural Classrooms
Course Information 2026

The Institute for Academic Innovation will offer Co-learning in Multicultural Classrooms courses in 2026, as outlined below.

1. Course Objectives

This course is “collaborative learning classes” where Japanese and international students are expected to think about and discuss various themes to deepen their understanding of each other's languages and cultures and enhance their academic skills.

The primary aim of this course is not the acquisition or improvement of the Japanese language, but rather the development of generic skills, including communication skills, through the joint study with Japanese students. As such, students are expected to think independently and actively participate in class activities.

2. Classes and Times

Second Semester

Class titles	Instructor	Japanese Level	The total Japanese score	Class Days/ Times
Fieldwork in Sapporo	AOKI, Maiko	Intermediate 2 and above	69 points and above	Monday 14:45-16:15
Cultural Exchange through Film	Levente Molnár	Intermediate 2 and above	69 points and above	Monday 16:30-18:00
Knowing and acting out the lives of diverse people living in Hokkaido	KONDO, Hiromu	Intermediate 3 and above	75 points and above	Tuesday 13:00-14:30
Body, Mind, and Culture: An Introduction to Healthcare Communication	Luo, Yunjie	Intermediate 3 and above	75 points and above	Tuesday 14:45-16:15
Exploring Japan: Active Learning through Culture and Society	TAKAHASHI, Aya	Intermediate 3 and above	75 points and above	Tuesday 14:45-16:15
Multicultural understanding and collaborative exploration of school life	DU, Changjiun	Introductory 3 and above	48 points and above	Tuesday 16:30-18:00
Bridging Generations: Practical Community Building through a Temple in Sumikawa and Moiwa	YAMAHATA, Tomoyuki	Intermediate 2 and above	69 points and above	Wednesday 13:00-14:30
Communication style of Japanese	JUNG, Hyeseon	Intermediate 3 and above	75 points and above	Wednesday 14:45-16:15
Reconsidering the meaning of 'international exchange'	AOKI, Maiko	Advanced and above	83 points and above	Friday 10:30-12:00
Children who grow up in Japanese	SHIKIBU, Ayako	Intermediate 3 and above	75 points and above	Friday 14:45-16:15

【Lottery-Based Classes: Co-learning in Multicultural Classrooms】

The following classes will be automatically assigned by lottery after the first session. Other classes may also be subject to a lottery if the number of applicants exceeds the maximum enrollment.

Note: Not all applicants will be able to enroll in their preferred class.

・Fieldwork in Sapporo
・Cultural Exchange through Film
・Body, Mind, and Culture: An Introduction to Healthcare Communication
・Exploring Japan: Active Learning through Culture and Society
・Communication style of Japanese
・Reconsidering the meaning of 'international exchange'

3. Course Dates

Second Semester: Thursday, October 1, 2026- Wednesday, February 3, 2027

(No classes on Saturdays, Sundays, or national holidays.)

4. Classrooms

Classes will be held mainly in the Student Communication Station building (Kita 15, Nishi 8). However, some classes are held in different buildings on campus such as First Year Education Building. Classroom assignments will be announced by the Japanese Course Office before the semester begins.

5. Student Eligibility

Enrollment eligibility is as follows:

(1) These courses are open to international students enrolled at Hokkaido University with a student visa (bachelor's degree program students, research students, graduate students, special auditors, and special research students), as well as international teaching and research staff, and office staff employed by Hokkaido University. Auditors, credited auditors, and undergraduate international students cannot apply for these courses.

However, undergraduate international students can take these courses as their "Freshman Seminar" course (Co-learning in Multicultural Classrooms).

(2) Students must have the indicated Japanese level required to apply for each class.

6. Maximum enrollment

Each class has a maximum capacity of 20 students. In principle, this consists of 10 international students and 10 Japanese students. If the number of students exceeds the capacity, lottery-based classes will undergo a lottery after the class enrollment period has ended.

7. Schedule

The application process will change to a two-step system starting from the second semester.

Please note that the schedule has also been updated from the previous semester.

① You must obtain the Japanese Course Registration Authorization before class enrollment.

② You will use Hokkaido University's academic affairs system for class enrollment.

Events	Date
Placement Test Period	Fri, Sep 11th – Wed, Sep 30th
Class Start Date	Thu, Oct 1st
① **Authorization Period for Japanese Course Registration**	Fri, Sep 11th – Mon, Oct 5th
② **Class Enrollment Period**	Fri, Sep 18th 7:00 – Wed, Oct 7th 23:30 *Unavailable to register from Sept 28 to Sep 29 at 17:00
Lottery Date	Thu, Oct 8th (For lottery-based courses only)
Class Withdrawal Period	Wed, Oct 21st – Thu, Oct 22nd
Class Confirmation Date	Fri, Oct 23rd

8. Procedure for course registration

All applicants should submit a Japanese Course Registration Authorization form.
Both new and continuing students who have taken Co-learning in Multicultural Classrooms before must apply.

【The application process for Co-learning in Multicultural Classrooms】

To register for Co-learning in Multicultural Classrooms, please complete steps A–F below.

A. Placement test

B. Review the syllabus

C. Complete the Japanese Course Registration Authorization

D. Register your course subjects in the Academic Affairs System

E. Attend the first class session

F. Lottery-Based Courses and the Lottery Process

A. Placement test

【Before taking the test】

The procedures differ between those registering for Co-learning in Multicultural Classrooms for the first time and those who have previously taken these courses. Please check below to confirm whether you are required to take the placement test.

① New applicants who have never taken Co-learning in Multicultural Classrooms courses must take a placement test.

② Applicants who have previously taken Co-learning in Multicultural Classrooms courses or the Japanese courses at Hokkaido University

In principle, your level will be determined based on your previous course history.

→ You do **not** need to **take the placement test**; you may register according to your past course record. Select the class one level higher than the class you passed before.

(Example: If you passed "Intermediate 1" last time, select "Intermediate 2.")

→ Alternatively, you **may take the placement test** and have your Japanese level determined based on your placement test score.

【About the Placement Test】

- The placement test uses an examination called "TTBJ".
- If you are required to take the placement test, you must complete it before the classes start. (Wednesday, September 30).
- Placement tests must be taken individually at a location where internet access is available.
- You can take the test online 24 hours a day from anywhere in the world.

【How to Take the Placement Test and how to check your Japanese level】

1. Take the placement test "TTBJ" which consists of three parts: SPOT 90, Grammar 90, and 漢字 (KANJI) SPOT50.

・TTBJ Link：(https://ttbj.cegloc.tsukuba.ac.jp/p1.html)

・Procedure for Taking the TTBJ Placement Test

https://isc.high.hokudai.ac.jp/general_ja_lang/#placement_test

2. After taking the test, save the score report you receive from TTBJ.

Notes: You will need the score report when you submit the Japanese Course Registration

Authorization. In addition, please be prepared to show your score report, as there may be occasions when you are asked to confirm your score after the course has begun.

3. Please check your Japanese level and class that correspond to the "Total Japanese Score" shown on your score report (See Tables 1 and 2).



成績表
Score report

TTBJ
筑波日本語テスト集

あなたのTTBJスコアは以下の通りです
Your TTBJ scores are as follows.

受験日 / Exam date	所属機関 / Affiliation	
	北海道大学 / HOKKAIDO UNIVERSITY	
ID	氏名 / Name	メールアドレス / Mail

TTBJで受けたテスト：SPOT90-1、SPOT90-2、SPOT90-3、Grammar90-1、Grammar90-2、Grammar90-3、漢字SPOT50

SPOT90-1	/ 30
SPOT90-2	/ 30
SPOT90-3	/ 30
Grammar90-1	/ 30
Grammar90-2	/ 30
Grammar90-3	/ 30
漢字SPOT50	/ 50

日本語力の総合スコア　　漢字力の総合スコア

Table 1: Sample of a score report

Total Japanese Score	Class・Level		
83～100	Advanced	Japanese Seminar	Business Japanese
75～82	Intermediate 3		
69～74	Intermediate 2		
59～68	Pre-Intermediate Japanese・Intermediate 1		
48～58	Introductory 3		
31～47	Introductory 2		
0～30	Introductory 1		

Table 2: Table of the Total Japanese Score and Corresponding Class Level

Notes: This test is designed to assess students' Japanese language proficiency. Please refrain from any dishonest behavior, as being placed in a class above your actual Japanese level may make it difficult to keep up with the coursework. If cheating on the placement test is discovered, all classes you have applied for will be canceled.

B. Review the syllabus

You can check the class content, class day and time, and the course format in the syllabus.

Please access the syllabus through the link to the List of Japanese Language Course Outlines.
(https://jpncourse.oia.hokudai.ac.jp/syllabus_web/web/web_menu.php)

C. Complete the Japanese Course Registration Authorization

Access the link for Japanese Course Registration Authorization and submit the required information. Please enter your name, student ID number, and your placement test score, or your Japanese course enrollment history, as applicable.

Link : https://forms.gle/RfURPEQ191xtuCSZ7

Note 1: This registration authorization is required whether you are enrolling only in the Co-learning in Multicultural Classrooms courses or in both the Co-learning in Multicultural Classrooms courses and the General Japanese Courses.

Note 2: New students enrolling in October can register for the Japanese Course and the Academic Affairs System once they receive their student ID number and ELMS ID from Oct 1st.

D. Register your course subjects in the Academic Affairs System

After completing step C, you will be able to register for Co-learning in Multicultural classrooms and Japanese courses in the Academic Affairs System starting the following business day (excluding Saturdays, Sundays, and national holidays).

The Japanese level will be determined based on the placement test score or course study record you registered in step C.

Note 1: The procedures after submitting the Japanese Course Registration Authorization Form differ for faculty and researchers. For details, please refer to the next page.

日本語力の総合スコア The total Japanese score	クラス・レベル Class / Level		
83～100	上級 Advanced	日本語演習 Japanese Seminar	ビジネス日本語 Business Japanese
75～82	中級 3 (Intermediate 3)		
69～74	中級 2 (Intermediate 2)		
59～68	初中級（Pre-Intermediate Japanese）		
	中級 1 (Intermediate 1)		
48～58	初級 3 (Introductory Japanese 3) 文字を読む・書く 3 (Japanese Literacy 3)		
31～47	初級 2 (Introductory Japanese 2) 文字を読む・書く 2 (Japanese Literacy 2)		
0～30	初級 1 (Introductory Japanese 1) 文字を読む・書く 1 (Japanese Literacy 1)		

Note 2:
In the second semester, the lowest Japanese level offered for the Co-learning in Multicultural Classrooms courses is Introductory 3. Classes for students at Introductory 2 or below are not available.

【Notes on Using the Academic Affairs System】

・You will need the ELMS ID issued by your affiliated department. New students enrolling in October can access the Academic Affairs System once their ELMS ID is issued on or after October 1.

・The Academic Affairs System will be unavailable for course registration from 0:00 on September 28 (Mon) to 17:00 on September 29 (Tue).

・If your affiliated department has designated a specific registration period for courses in the Academic Affairs System, that period will apply.

E. Attend the first-class session

Although course registration is permitted after classes have begun, Japanese courses commence from the first session. Unless there are exceptional circumstances (such as a delayed arrival in Japan), students are expected to attend from the first class.

F. Lottery-Based Courses and the Lottery Process

For courses designated as lottery-based within the Co-learning in Multicultural Classrooms, a lottery will be conducted among all applicants who submit their enrollment request by the October 7 registration deadline. In addition, even for classes that are not originally designated as lottery-based, a lottery will be conducted if the number of applicants exceeds the maximum capacity. After the October 7 enrollment period has ended, no further registration will be accepted.

The results of the lottery will be announced in the “News” section of the following website after 15:00 on Friday, October 9. Link (https://isc.high.hokudai.ac.jp/)
Please check the results on your own.

9. Faculty and Researchers

Since faculty and researchers do not have student ID, they cannot register for courses through the Academic Affairs System. Therefore, after completing the Japanese Course Registration Authorization, faculty and researchers register for courses using a procedure different from that for students.

Procedure after completing the Japanese Course Registration Authorization

1. You will receive an email from Japanese Course containing a form in which you can register your desired classes for Co-learning in Multicultural Classrooms and Japanese courses.
2. Please select your class and submit the form by Monday, October 5th.

3. Class assignment notifications will be sent by email from the Japanese Course Office by Wednesday, October 7.

4. Please attend classes from the first class session. (Although class assignments will be sent later, please attend the classes you applied for from the first session.)

10. How to Check Your Registered Class

Students:

Please check your course registration status in the Academic Affairs System.

Faculty and Researchers:

You will receive an email on Wednesday, October 7, informing you of the class you will attend.

11. Class Withdrawal

Class changes or withdrawals cannot be made after the course class enrollment period has ended. If you are unable to continue attending the class, please submit the Class Withdrawal Form during the period from Wednesday, October 21 to Thursday, October 22.

Class Withdrawal Form: https://forms.gle/AnLcmdAmsX9vvZ5G6

【Notes】

1. Under no circumstances will late applications be accepted after the Japanese Course Registration Authorization period has ended.
2. In principle, students must attend at least 70% of classes. A passing grade is 60% and above.
3. Class changes cannot be made after the class enrollment period has ended. Class changes cannot be made for any reason, including schedule conflicts with your major courses or with other Japanese classes.
4. If you are assigned a class through the lottery, you are expected to attend it until the end of the course. When students withdraw partway through the semester, the balance between Japanese students and international students is disrupted, which affects the operation of the class and may impact other students. Please make sure to register only for classes that you can attend through to the end.

12. Contact Information

・For questions regarding the Co-learning in Multicultural Classrooms, please refer to the "Frequently Asked Questions" page below: https://www.hokudai.ac.jp/php/jc/faq/

If your question is not addressed there, please contact us at:

General Japanese Course

Email: japanese_courses@oia.hokudai.ac.jp

・For inquiries regarding how to operate the Academic Affairs System, please contact:

Email: k-info@academic.hokudai.ac.jp

・For inquiries related to ELMS, please use the following method to make your inquiry.

→ From the ELMS Portal: open the menu, select "Help", and submit your inquiry through the Inquiry Form.

「多文化交流科目」とは

留学生と日本人学生がともに日本語で学ぶ協働学習の授業です

変化の激しい現代社会を生き抜くには、基礎的・専門的な知識を身につけるだけでなく、それらを活用し応用する能力が必要です。また、グローバル化の進む現在、様々な背景や文化を持つ人々と円滑にコミュニケーションをとるスキルが求められています。そのためには、異文化に対する理解や協調性・柔軟性が不可欠です。さらに、積極的に時代を切り拓くリーダーには、主体性や責任感、困難に直面した際の問題解決能力やチームワーク力なども必要です。

多文化交流科目は、日本人学生・留学生の混成クラスにより、意図的に「多様な背景を持った人々が集う環境」を創出し、受講者のみなさんに、現代社会で必要とされるスキルを育成する機会を提供するものです。

みなさんも一緒に授業を受けてみませんか?

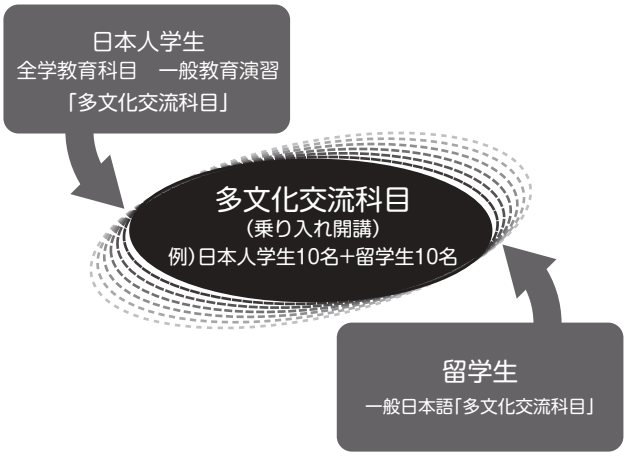
多文化交流科目の特徴

▶多文化交流科目は、日本人学生と留学生がともに日本語で学ぶ問題解決型・プロジェクト型の授業です。

▶少人数の授業で、コミュニケーション力、異文化理解力、グループやチームで活動するスキル等の向上が図れます。

▶日本人学生(主として学部1・2年生)は、全学教育科目一般教育演習「多文化交流科目」を履修します。

▶留学生は、一般日本語「多文化交流科目」を履修します。



多文化交流科目で育成を目指すスキル

③	解決に向け実行する	・チームワーク ・リーダーシップ ・交渉力 ・情報活用力	・グループやチームでの活動で自分の役割を見つけ、積極的に行動できる。 ・互いに配慮しつつ、グループやチームでの活動を前進させることができる。 ・互いの意見を尊重し、協力して課題に取り組むことができる。活動のなかで互いの妥協点を見つけることができる。 ・収集した情報・資料を適切な方法で分析し、場面・目的に応じて活用することができる。
②	ともに考える	・ファシリテーション ・説得力 ・論理的思考力 ・ディスカッション ・コミュニケーション力	・自分の意見をわかりやすく簡潔にまとめ、それをグループやチームで企画・運営につなげることができる。 ・自分の意見を論理的に順序立てて伝え、相手を説得することができる。 ・客観的なデータに基づき、自分の主張を論理的に組み立てることができる。 ・グループで理解を共有し、議論することができる。 ・相手の意見に対し、適切かつ柔軟に対応・質問することができる。
①	課題を認識する	・分析力 ・情報収集力 ・多様性への気づき ・異文化理解 ・課題発見	・講義や他者の話を聞き、その内容を客観的に把握・理解することができる。 ・適切な情報を検索・収集し、それを整理・精査することができる。 ・異なる文化・価値観・態度を尊重することができる。 ・自分の母語や文化について客観的に考えることができる。 ・講義や自ら調べて得た情報を、身近な事柄に引き付けて考えることができる。また、その課題を指摘することができる。

多文化交流科目　Co-learning in Multicultural Classrooms

科目名	札幌をフィールドワークする	時間割コード	028247
曜日・講時	月4	時間	14:45～16:15
担当者	青木　麻衣子	日本語レベル	中級2以上
授業の目標	本講義では、普段生活している大学や札幌を、自らのフィールドワークにより、特定の視点から深く掘り下げ、説明することを目標とする。また、それらの過程をとおして、リサーチ(特に質的研究)に必要とされるスキルや態度、グループワークやプレゼンテーションを行うに際し求められるスキルの習得を目指す。なお、本講義は、担当者による講義のほか、受講者によるプレゼンテーション、グループワーク、ディスカッション等により構成される。		
到達目標	(1)フィールドワークに必要なスキルおよび態度について、理解することができる。 (2)プレゼンテーション・スキル、グループで協働するスキル、異文化理解力を伸ばす。		
授業計画	授業は以下の内容で構成される。 (1) ガイダンス (2) 自己紹介・他己紹介 (3) フィールドワークとは、フィールドワークの手順と方法 (4) フィールドワークの基礎的スキル（観察、研究倫理と役割のとり方、情報収集、インタビューについて） (5) フィールドの選定 (6) フィールドワーク実施と調査結果の整理 (7) 調査結果のまとめ		
準備学習	・フィールドワークは授業時間外に行ってもらいます。また、フィールドワークの結果をポスターにまとめてもらいますが、そのための準備も必要です。 ・必要に応じ、ELMS 等の授業グループサイトでの意見・情報の発信が求められます。 ・この授業は、さまざまな日本語レベルの留学生と一緒に受講します。授業、（授業時間外含む）グループワーク等への積極的な参加を期待します。		
成績評価の基準と方法	評価は、以下の基準に基づき行います。 (1) 通常の授業（そのための準備・復習時間含む）への積極的参加、授業内での提出物の提出、ELMS 等への書き込み（40%）、 (2) フィールドワークの中間報告としてのプレゼンテーション・最終発表（30%） (3) フィールドワークの成果物としてのポスター・最終レポート（30%）		
テキスト・教科書			
備考	・このクラスは、留学生と日本人学生がともに学ぶ「多文化交流科目」です。 ・このクラスの留学生の日本語レベルは、【中級 2 以上】です。		

多文化交流科目 Co-learning in Multicultural Classrooms

Subject	Fieldwork in Sapporo	**Course Code**	028247
Class Period	Mon. 4	**Time**	14:45～16:15
Instructor (s)	AOKI, Maiko	**Japanese Level**	Intermediate 2 and above
Course Objectives	The aim of this course is for students to explain their findings from their filed work in Sapporo and to improve their research skills, collaborative skills and presentation skills. This course contains group works, discussions and group presentations as well as lectures.		
Course Goals	At the end of the course, participants are expected to: (1) understand the skills and attitudes for filed work (2) improve presentation skills, collaborative skills and intercultural understandings.		
Course Schedule	Contents: (1) Introduction (2) Ice-breaking activities (3) Overview of field work (4) Basic skills for field work (5) Selection of the filed (6) Review of the field work (7) Summary of the field work and presentations		
Homework	- The students are required to do actual filed work out side of the class-hours. - In order to manage the students' learnings and group works effectively, the students will be required to express their opinions through LMS. - This class will be taken with international students of various Japanese language levels. Active participation in class and group work including outside of class time is expected.		
Grading System	The final grade will be decided on the following: (1) Class attendance and attitude in class, regular assignments and expressions of opinions through LMS and emails (40%) (2) Mid-term presentation and the final presentation(30%) (3) Final poster and report (30%)		
Textbooks			
Additional Information	・This class is a co-educational course where international students and Japanese students study together in Japanese. ・The Japanese language level of international students in this class is 【Intermediate 2 or above】.		

多文化交流科目 Co-learning in Multicultural Classrooms

科目名	多文化交流-映画を通じて		時間割コード	028248
曜日・講時	月5	時間	16:30-18:00	
担当者	MOLNAR, Levente	日本語レベル	中級2以上	
授業の目標	本授業の目標は、ヴィジュアル・メディア（長編劇映画だけでなく、短編映画、ドキュメンタリー、ミュージックビデオなど）を基にプレゼンテーションを行い、それらに関して議論することで多文化交流を促進することです。成人期への移行期にある若者の日常生活や経験を描写する作品に焦点を当てます。 最初は担当教員が具体的な作品例を用いて、映像と表現・表象の問題について講義します。その後、グループワークを行い、受講者に前述の問題を考慮して代表的だと考える映像作品を選択し、発表の準備をしてもらいます。グループごとに発表を行った			
到達目標	1）多様な文化的・社会的背景を持つ学生仲間とのグループディスカッションを通じて、異文化交流の意義を考察できる。 2）映画の表現・表象に関する理解を深める。 3）プレゼンテーション能力、グループワーク能力、異文化理解力を向上させる。			
授業計画	授業は以下の内容で構成される。 第 1 部 第 1 回：ガイダンス a）　授業の目的と概要 b）　自己紹介・他己紹介 第 2－3 回：講義 ハンガリーの事例「大学は出たけれども…」 レイス・ガーボル監督作品 For Some Inexplicable Reason (VAN valami furcsa és megmagyarázhatatlan, 2014 の分析 第 4－5 回：講義 日本の事例「知っている者は云わない。知らない者は云う。」 吉田大八監督作品『桐島、部活やめるってよ』(2012）の分析 第 2 部 第 6－9 回：グループワークと発表の準備 20 名の受講者（日本語ネイティブ 10 名と外国人留学生 10 名）は、5 つのグループに分かれます。各グループは興味深くかつ発表したい問題を表象すると考える映像作品を選び、発表の準備をします。 第 3 部 第 10－14 回：プレゼンテーションと議論			

多文化交流科目 Co-learning in Multicultural Classrooms

	各グループは 30 分以内の発表を行い、その後受講者より発表で提起された問題点ないしは課題について議論してもらいます。全員が議論に積極的に参加すること。 第 15 回：まとめ ― 「私たちは互いから、そして互いについて何を学んだのか」
準備学習	宿題はありませんが、本授業では日本語を母語する学生とさまざまな日本語能力レベルの留学生が共同で発表し、グループディスカッションを行うため、積極的な参加が期待されます。
成績評価の基準と方法	・授業参加度：30% ディスカッション参加、準備状況 ・プレゼンテーション：(50%) グループグループワークの枠組み内での準備、問題設定とアプローチの独創性および発表の完成度 ・最終レポート（20%） 授業で取り上げられた作品に関する小レポート（1000－2000 字程度）
テキスト・教科書	
備考	留学生の日本語レベル：中級２以上

Subject	Cultural Exchange through Film		Course Code	028248
Class Period	Mon. 5	Time	16:30-18:00	
Instructor (s)	MOLNAR, Levente	Japanese Level	Intermediate 2 and above	
Course Objectives	The course aims to strengthen cultural exchange by facilitating discussions about films and other visual media, such as short films, documentaries and video clips. Presentations based on these media will also be a key part of the course. The focus will be on visual media that depict the everyday lives and challenges of young people on the verge of transitioning to adulthood. During the first part of the course, the instructor will present several specific film examples. Then, group work will begin. During the group discussion, participants will select one or more works of visual media (films, short films, music videos, etc.) that best depict the aforementioned issues in their opinion. They will then give a presentation on the selected works and the issues identified during the group discussion. After each presentation, there will be a debate and an exchange of opinions, with everyone participating.			
Course Goals	1) Through group discussions with fellow students from diverse cultural and social backgrounds, deepen the understanding of the significance of cross-cultural exchange. 2) Expand awareness of cinematic representation. 3) Improve presentation, group work, and cross-cultural understanding skills.			

多文化交流科目 Co-learning in Multicultural Classrooms

Course Schedule	The course consists of three parts as below: Part One: Lesson 1: Guidance and Introduction a. Course objectives and brief outline b. Self-Introduction Lesson 2-3: Lecture Hungarian example: "I graduated from university, but..." Gábor Reisz: For Some Inexplicable Reason (VAN valami furcsa és megmagyarázhatatlan, 2014) Lesson 4-5: Lecture Japanese example: " The ones who say, don't know. The ones who know, don't say." Daihachi Yoshida: The Kirishima Thing (桐島、部活やめるってよ, 2012). Part Two: Lessons 6-9: Group Work The twenty participants (ten native Japanese speakers and ten international students) will be divided into five groups. Each group will select visual works, such as films, documentaries, or music videos, that they find interesting and that represent the issues they would like to present in a lecture. Then, they will prepare their presentations. Part Three: Lessons 10-14: Presentations and Discussion Each group will give a presentation (no more than 30 mins.), followed by a discussion of the issues raised. Every participant should actively engage in the discussion. Lesson 15: Summary — "What have we learned from and about each other?"
Homework	There will be no homework. However, since this course involves group discussions about visual media products between Japanese native speakers and international students with different levels of Japanese language proficiency, active participation is required.
Grading System	1. Active participation in class discussions and readiness (30%) 2. Presentation (50%): Preparation within the framework of group work, originality of the problem identified and approach, and presentation itself. 3. A short essay (1,000–2,000 Japanese characters) on any of the works presented in class. (20%)
Textbooks	

多文化交流科目　Co-learning in Multicultural Classrooms

Additional Information	Japanese Level: Intermediate 2 and above

多文化交流科目　Co-learning in Multicultural Classrooms

科目名	北海道で暮らす多様な人々の人生を知り、演じる	時間割コード	028249
曜日・講時	火3	時間	13:00-14:30
担当者	近藤　弘、平田　未季	日本語レベル	中級3以上
授業の目標	質的研究の手法を用いて、可視化されることが少ない北海道で生活・就労する外国人の現状について知り、その内容について演劇の手法を用いて他者にわかりやすく伝える。		
到達目標	・多様化する北海道の現状について理解する ・ライフストーリーインタビューの手法を知り、実践することができる ・受講者および劇団員との協働作業を通して、調査結果を他者に分かりやすく提示できる		
授業計画	1講義（5回） ・背景:社会の多様化について（2回）（平田） ・ライフストーリーインタビューについて（1回）（近藤） 2　インタビュー調査とデータの分析（5回） ・インタビューの目的とお話を聞く人たちについて（1回）（平田(ひらた)） ・質問リストの作成（2回）（近藤） ・インタビュー調査（1回）（近藤(こんどう)） ・データの分析(文字化とエピソードの抜き出し)（3回）（平田・近藤） ・エピソードの抜き出しとディスカッション（1回）（平田・近藤） 3演劇化（4回） ・オンラインフォローアップインタビュー（1回）（平田・近藤） ・劇団員の方とエピソードを演劇化（2回）（平田・近藤・弦巻） ・発表と振り返り（1回）（平田・近藤・弦巻）		
準備学習	・文献講読 ・インタビュー実施のためのフィールドワーク ・インタビューデータの文字化 ・授業の振り返りシートの記入 ・オンラインフォローアップインタビュー		
成績評価の基準と方法	・振り返りシート：30% ・グループワーク：30% ・インタビュー及びデータの分析：20% ・演劇の発表：10% ・振り返りレポート：10%		
テキスト・教科書			
備考	定員20名 使用言語は日本語です。中級3レベル以上の日本語力が必要です。 インタビュー調査の際にかかる交通費は自己負担です。		

多文化交流科目 Co-learning in Multicultural Classrooms

Subject	Knowing and acting out the lives of diverse people living in Hokkaido	**Course Code**	028249
Class Period	Tue. 3	**Time**	13:00-14:30
Instructor (s)	KONDO Hiromu, HIRATA Miki	**Japanese Level**	Intermediate 3 and above
Course Objectives	To learn about the current situation of foreigners living and working in Hokkaido, which is rarely dealt with, using qualitative research methods, and to communicate this information to others through theatrical practice.		
Course Goals	You will ・gain an understanding of the growing social diversity of Hokkaido. ・know and practice life story interviewing techniques. ・be able to present research results to others in an easy-to-understand manner through collaboration with participants and troupe members.		
Course Schedule	1. Lecture (5 sessions) ・Background: On the Diversification of Society (2 sessions) (Hirata) ・Life Story Interviews (1 session) (Kondo) 2. Interview Surveys and Data Analysis (5 sessions) ・Purpose of Interviews and Participants (1 session) (Hirata) ・Creating Question Lists (2 sessions) (Kondo) ・Conducting Interview Surveys (1 session) (Kondo) ・Data Analysis (Transcription and Extracting Episodes) (3 sessions) (Hirata & Kondo) ・Extracting Episodes and Discussion (1 session) (Hirata・Kondo) 3. Theatricalization (4 sessions) ・Online Follow-up Interview (1 session) (Hirata・Kondo) ・Theatricalization of Episodes with theater troupe members (2 sessions) (Hirata, Kondo, Tsurumaki) ・Presentation and Reflection (1 session) (Hirata, Kondo, Tsurumaki)		
Homework	・Literature review ・Fieldwork for conducting interviews ・Transcribing interview data ・Filling out reflection sheets for classes ・Online follow-up interviews		
Grading System	・Reflection Sheet: 30% ・Group Work: 30% ・Interviews and Data Analysis: 20% ・Theatrical Presentation: 10% ・Reflection Report: 10%		
Textbooks			

多文化交流科目 Co-learning in Multicultural Classrooms

Additional Information	Capacity: 20 people The language of instruction is Japanese. Intermediate Level 3 or higher Japanese proficiency is required. Transportation costs incurred for interview surveys are the participant's responsibility.

多文化交流科目 Co-learning in Multicultural Classrooms

科目名	からだ・こころ・文化で学ぶヘルスケア入門	時間割コード	028250
曜日・講時	火4	時間	14:45-16:15
担当者	羅 云潔	日本語レベル	中級3以上
授業の目標	本授業では、「医療」「出産・家族」「こころの健康」をテーマにして、異なる文化の人とどのようにコミュニケーションをとるかを学びます。病院の受診のしかたや、出産や子育てに関する文化のちがい、メンタルヘルスへの考え方などを取り上げ、日本人学生と留学生が協力して学びます。ロールプレイ、ディスカッション、グループ発表などの活動を通して、やさしい日本語を使った実践的なコミュニケーション力を身につけることを目指します。		
到達目標	① 医療、出産・家族、こころの健康について、文化による考え方のちがいを理解できる。 ② 各国の医療制度や文化について調べ、グループで協力して発表ができる。 ③ 異文化の人が安心して生活しやすい社会や大学にするためのアイデアを考え、提案できる。		
授業計画	授業計画 Course Schedule ３つのテーマを順番に学びながら、講義、課題の導入、調査、資料作成、発表などをグループごとに進めていきます。テーマは ①医療制度と受診、②出産・育児とジェンダー、③こころの健康と文化によるストレス の３つです。 また、授業ではロールプレイも行います。役割は「地域の人（医師など)」「通訳者」「留学生」などを交替で担当し、場面に応じたコミュニケーションを体験します。 具体的な授業内容： 1. オリエンテーション（授業の流れ・目的・グループ分け） 2. 病院やクリニックで使うやさしい日本語を学ぶ 3. 日本の医療受診の流れを知り、他国の制度と比べる 4. Project 1：課題の説明・テーマ決め 5. Project 1：発表準備、資料作成 6. Project 1：グループ発表と質疑応答 7. 異文化社会における妊娠・出産・家族のかたちを学ぶ 8. Project 2：課題の説明・テーマ決め 9. Project 2：発表準備、資料作成 10. Project 2：グループ発表と質疑応答 11. こころの健康と文化によるストレスの違いを学ぶ 12. Project 3：課題の説明・テーマ決め 13. Project 3：発表準備、資料作成 14. Project 3：グループ発表と質疑応答 15. 総括		
準備学習	1.授業の振り返りシートの記入 2.グループ発表での情報収集や発表準備		
成績評価の基準と方法	本授業の成績は、以下の項目を総合的に評価して決定します。		

多文化交流科目 Co-learning in Multicultural Classrooms

	・授業への参加状況（30%）：出席、ロールプレイやグループワークへの積極的な参加など。 ・振り返りシート（15%）：各回の学習内容の理解や気づき、今後の課題などを記述してもらいます。 ・グループ発表（3 回分・45%）：ピア評価と教員評価の両方で評価します。 ・自己評価（10%）
テキスト・教科書	教科書はありません。教員がハンドアウトを配布します。
備考	① 授業で PC を使用する場合がありますので、各自ご持参ください。 ② 欠席する場合は、事前に担当教員へご連絡ください。連絡なく 3 回以上欠席した場合、不合格となることがあります。 ③ 本授業は、留学生と日本人学生が一緒に学ぶクラスです。積極的にコミュニケーションをとってください。 ④ 留学生の日本語レベル：中級 3 以上

Subject	Body, Mind, and Culture: An Introduction to Healthcare Communication			**Course Code**	028250
Class Period	Tue. 4	**Time**	14:45-16:15		
Instructor (s)	LUO, Yunjie	**Japanese Level**	Intermediate 3 and above		
Course Objectives	This course focuses on the themes of healthcare, childbirth and family, and mental health, aiming to help students learn how to communicate effectively with people from different cultural backgrounds. Through topics such as how to access medical services, cultural differences in childbirth and parenting, and perspectives on mental health, Japanese students and international students will work together to deepen their understanding of multicultural healthcare contexts. By engaging in role play, discussions, and group presentations, students will develop practical communication skills using “Easy Japanese”, enabling them to interact more inclusively and effectively in diverse healthcare and social settings.				
Course Goals	By the end of this course, students will be able to: 1. Understand cultural differences in perspectives on healthcare, childbirth and family, and mental health. 2. Research healthcare systems and cultural practices in different countries and collaborate effectively in group presentations. 3. Propose ideas to create a more inclusive society and university environment where people from diverse cultural backgrounds can live with a sense of safety and belonging.				

多文化交流科目 Co-learning in Multicultural Classrooms

Course Schedule	The course is structured around three main themes, progressing through lectures, assignment briefings, research, material preparation, and group presentations: 1.Healthcare systems and access to medical services; 2. Childbirth, childcare, and gender; 3. Mental health and culture-related stress Role play activities are incorporated throughout the course. Students will take turns assuming roles such as community members (e.g., doctors), interpreters, and international students, allowing them to experience context-based communication in multicultural healthcare scenarios. Course Schedule： 1.Orientation (course overview, objectives, group formation) 2.Learning “Easy Japanese” used in hospitals and clinics 3.Understanding the Japanese healthcare system and comparing it with other countries 4.Project 1: Assignment explanation and topic selection 5.Project 1: Preparation and material development 6.Project 1: Group presentations and Q&A 7.Pregnancy, childbirth, and family structures in multicultural societies 8.Project 2: Assignment explanation and topic selection 9.Project 2: Preparation and material development 10.Project 2: Group presentations and Q&A 11.Mental health and cultural differences in stress 12.Project 3: Assignment explanation and topic selection 13.Project 3: Preparation and material development 14.Project 3: Group presentations and Q&A 15.Course wrap-up and reflection
Homework	1.Completion of class reflection sheets 2.Information gathering and presentation preparation for group projects
Grading System	Final grades will be determined based on the following components: 1. Class Participation (30%): Attendance and active participation in role play and group work 2. Reflection Sheets (15%): Written reflections on learning outcomes, insights, and future challenges 3. Group Presentations (45%): Three projects evaluated through both peer assessment and instructor assessment 4. Self-evaluation (10%)
Textbooks	

多文化交流科目 Co-learning in Multicultural Classrooms

Additional Information	① Please bring your own personal computer, as it may be used during class. ② If you are unable to attend a class, please inform the instructor in advance. Students who are absent three or more times without prior notice may receive a failing grade.

多文化交流科目　Co-learning in Multicultural Classrooms

科目名	日本の魅力を探る	時間割コード	028259
曜日・講時	火4	時間	14:45-16:15
担当者	髙橋　彩	日本語レベル	中級3以上
授業の目標	日本の魅力は、文化、観光、教育などにおける様々な国際交流の場面で発信されています。この授業では、受講者自らが、日本の魅力とは何かについて考えをまとめ、それをわかりやすく伝えられるようになることを目指します。受講者自身の考察とともに、授業の中での多様な他者との対話と協働を通して、一人ひとりが「日本」を再発見することがねらいです。この授業は、外国人留学生と国内学生がともに学ぶ多文化交流科目です。		
到達目標	①　目標物を作るために他者と協働することができる。 ②　対話するための効果的な「問い」を立てることができる。 ③　コミュニケーションから「気づき」を得ることを通して、自らの考えを深めることができる。 ④　考えたことを、他者にわかりやすく言葉や図、作品等で表現することができる。		
授業計画	第1回　オリエンテーション：授業の概要、方法、留意点について 第2回　日本の魅力とは？ 第3回　あなたのよく知る地域の魅力を語る 第4回　あなたが考える日本の魅力とは？：表現してみる 第5回　北海道大学の魅力とは？ 第6回　グループで探る日本の魅力：人 第7回　グループワーク 第8回　グループによるミニプレゼン1 第9回　グループで考える日本の魅力：モノ・コト 第10回　グループワーク 第11回　グループによるミニプレゼン２ 第12回　私が考える日本の魅力 第13回　プレゼン案の検討 第14回　個人のミニプレゼン 第15回　振り返り		
準備学習	・　授業で扱う内容に関する情報収集と考えの整理 ・　グループによるミニプレゼン（2回）の準備 ・　個人のミニプレゼン（1回）の準備		
成績評価の基準と方法	①　グループによるミニプレゼンへの貢献（20%） ②　個人のミニプレゼン（30%） ③　振り返りレポート3回（30%） ④　授業への貢献度（授業での発言、グループ作業への貢献、その他指示された事項の遂行）（20%）		
テキスト・教科書			
備考			

多文化交流科目 Co-learning in Multicultural Classrooms

Subject	Exploring Japan: Active Learning through Culture and Society	**Course Code**	028259
Class Period	Tue. 4	**Time**	14:45-16:15
Instructor (s)	TAKAHASHI, Aya	**Japanese Level**	Intermediate 3 and above
Course Objectives	The attractions of Japan are shared in various contexts of international exchange, such as culture, tourism, and education. Participants are expected to reflect on their own perspectives on the appeal of Japan and express them effectively to others. Through individual exploration as well as dialogue and collaboration with others, students will rediscover Japan. Functioning as a multicultural studio, the course emphasizes co-creation and real-world communication skills.		
Course Goals	Students will be able to: ① collaborate with others to achieve shared goals; ② ask effective questions that promote active and meaningful dialogue; ③ enrich their own perspectives through communication with others; and ④ express their own ideas and thoughts effectively through texts, charts, or artworks, and other forms.		
Course Schedule	1. Introduction: course overview, plans, and important points 2. What are the attractions of Japan? 3. Talking about the attractions of areas you are familiar with 4. Your view of Japanese uniqueness: creating an artwork 5. What is the attraction of Hokkaido University? 6. The uniqueness of Japan: focusing on people 7. Group work 8. Group presentations 9. The uniqueness of Japan: focusing on objects 10. Group work 11. Group presentations 12. The uniqueness of Japan: your own view 13. Preparation for presentations 14. Individual presentations 15. Wrap-up		
Homework	・ Searching for and reviewing books, papers, and other materials for coursework ・ Preparation for two group presentations ・ Preparation for an individual presentation		
Grading System	① Active contribution to group presentations（20%） ② An individual presentation（30%） ③ Three review essays（30%） ④ Active class participation（20%）		

多文化交流科目　Co-learning in Multicultural Classrooms

Textbooks	
Additional Information	

多文化交流科目 Co-learning in Multicultural Classrooms

科目名	学校生活についての多文化理解と協働探究	時間割コード	028251
曜日・講時	火5	時間	16:30-18:00
担当者	杜 長俊	日本語レベル	初級3以上
授業の目標	文化や背景が違う人と、学校生活の「楽しいところ」「いやなところ」「おかしいところ」「問題だと思う」ところについて話し合い、多文化の理解を深める。さまざまな国の学校生活について、テーマを決めて調査を行い、解決のヒントを一緒に考える。		
到達目標	A)自分の学校生活について、写真やものを使ってわかりやすく説明できる。 B)相手が紹介する学校生活の話を聞いて、質問をしたりコメントをしたりできる。 C)学校生活のテーマについて、グループメンバーと一緒に、調査を行い、解決のヒントを考える		
授業計画	前半：学校生活の「いいところ」「楽しいところ」について話し合う ①お互いの学校生活を紹介する ②お互いの学校生活について質問をする 後半：学校生活のさまざまなテーマから、1 つ選んで調査を行う。 ①グループメンバーとと一緒に、調査をしたいテーマを決める ②インタビューまたアンケート調査を行う ③調査の結果を発表する		
準備学習	・写真や質問を準備する ・授業で話したことと聞いたことを記録する		
成績評価の基準と方法	・準備シート 30% ・グループ発表　30% ・授業のふりかえり　20% ・自己評価 20%		
テキスト・教科書			
備考	・使用言語：やさしい日本語 ・留学生の対象レベル：初級 3～ ・参加してほしい人：様々な国の人とやさしい日本語を使って交流したい人		

多文化交流科目 Co-learning in Multicultural Classrooms

Subject	Multicultural understanding and collaborative exploration of school life	**Course Code**	028251
Class Period	Tue. 5	**Time**	16:30-18:00
Instructor (s)	DU Changjiun	**Japanese Level**	Introductory 3 and above
Course Objectives	The class has two goals. First, to deepen multicultural understanding by discussing the "fun parts," "unpleasant parts," "strange parts," and "problems" of school life with people from different cultures and backgrounds. Second, to research school life in various countries by choosing a theme and working together to find solutions.		
Course Goals	A) Can clearly explain their own school life using photos and objects. B) Can listen to others' descriptions of their school life and ask questions or offer comments. C) Can conduct research with group members on a school life theme and brainstorm solutions.		
Course Schedule	First Half: Discussing the "Good Points" and "Fun Aspects" of School Life ① Introduce each other's school life ② Ask questions about each other's school life Second Half: Select one theme from various school life topics to research. ① Decide on a research theme together with group members ② Conduct interviews or surveys ③ Present the research results		
Homework	・Prepare photos and questions. ・Record what you talk about and hear in class.		
Grading System	・Preparation Sheet 30% ・Group Presentation 30% ・Class Reflection 20% ・Self-Assessment 20%		
Textbooks			
Additional Information	・Language: Easy Japanese ・〈Target level of international students〉：Japanese Introductory 3 or above ・People who want to talk with people from various countries using easy Japanese are welcome		

多文化交流科目 Co-learning in Multicultural Classrooms

科目名	実践！お寺がつなぐ異世代の生活：澄川・藻岩でまちづくり		時間割コード	028252
曜日・講時	水3	時間	13:00-14:30	
担当者	山畑 倫志、青木 麻衣子	日本語レベル	中級2以上	
授業の目標	札幌市南区の観音院は、澄川・藻岩地区において世代や文化を超えたつながりづくりの拠点として地域活動を実践しています。本授業では、留学生と日本人学生が協働し、観音院および地域の方々（町内会等）との連携を背景に、地域社会におけるコミュニティの形成過程を学びます。 学びは教室内の議論にとどまらず、地域イベントを学生が企画・運営します。企画立案だけでなく、広報、導線設計、安全配慮、当日の運営、アンケート等の記録を含めて「実施可能な形」に落とし込む経験を通じて、地域連携と国際共修の両面から実践的な協働力を身につけることを目指します。			
到達目標	1. 地域社会におけるコミュニティ形成の考え方を理解し、地域内の様々な組織の活動事例と結びつけて説明できる。 2. 多様な背景をもつメンバー（日本人学生・留学生）と協働し、役割分担のもとで企画・広報・運営資料を作成できる。 3. 具体的な参加者を想定した地域イベントを、導線・安全・説明文・必要物などの条件を踏まえて「運営可能な形」に落とし込み、実施できる。 4. 参加者アンケートや当日の記録（参加者推移、混雑状況等）をもとに成果と課題を分析し、改善案としてまとめられる。			
授業計画	第 1 回（10 月第 1 週）：ガイダンス 1. 授業の目的・全体像（12 月後半イベントまでの流れ、授業外／学外活動が必須であることの説明） 2. 成績評価、授業外作業の量の見込み、注意事項（安全・個人情報・写真・著作権） 第 2-4 回（10 月）：イベントの内容を決めよう 1. 受講者確定後の導入／チーム立ち上げ 2. 発想（個人→グループ）と企画の素材づくり 3. 企画の骨格確定＋広報準備（10 月中に「形」にする） 第 5-8 回（11 月）：イベントを具体化しよう／地域の方々の意見を聞こう 1. 体験設計（短時間で回せる形へ） 2. 回遊設計（参加者の導線など）／混雑・待機の設計 3. 観音院広沢住職の講話＋町内会の方々との意見交換 4. フィードバック反映／最終仕様確定 第 9-11 回（12 月）しっかり準備しよう 1. 制作物の完成（印刷可能な最終版へ） 2. 全体リハーサル（シミュレーション）＋最終準備 イベント当日（12 月-1 月：日程は後ほど連絡します） ※第 12-14 回に相当します			

多文化交流科目 Co-learning in Multicultural Classrooms

	第 15 回　経験を次に活かそう 1. イベントの振り返り 2. 最終課題の説明
準備学習	・各回の授業前に事前指示を確認し、短い準備（資料確認、質問案、文案作成等）を行う。 ・授業前半（10 月）は、企画の骨格づくりと広報物作成のため、グループでの作業（文案・デザイン・導線設計等）が増える（週 1～3 時間程度）。 ・中盤（11 月）は、協力者との意見交換に向けた企画提示資料・質問リストの準備、フィードバックの反映作業を行う（週 2～4 時間程度）。 ・後半（12 月）は、制作物の完成、リハーサル、当日運営の準備（役割確認、物品準備、印刷物確認等）を行う（週 2～4 時間程度）。
成績評価の基準と方法	※重要：イベント当日は原則として全員参加（必須） 本授業は「実際の地域イベントの運営参加」を学修の中核とするため、イベント当日の参加（運営・安全配慮・記録を含む）は単位認定の前提とします。 評価内訳（100%） 1. 授業内外の参加・協働（出席、役割遂行、期限遵守、議論への貢献）：25% 2. 制作物・運営資料（企画書、導線設計、掲示/ルールカード、広報文面、担当表、緊急時対応案等）：25% 3. フィールドワーク／地域連携の記録・分析（議事録、観察記録、アンケート設計・回収・整理、気づきの言語化）：20% 4. イベント当日の運営参加（必須：安全配慮、チーム連携、現場対応、記録の質）：20% 5. 最終レポート（成果と課題、データに基づく改善提案）：10% 評価方法 　グループの成果のみでなく、個人の貢献（担当作業の質・提出物・当日の動き・記録）も重視して評価します。 　LMS やチャットツール上の提出物、共有ドキュメントの更新履歴、議事メモ、振り返り記録等を根拠として総合評価します。
テキスト・教科書	教科書は使用せず、適宜資料を配付します。参考資料・文献は授業内で紹介します。
備考	・本授業は日本人学生と留学生の協働学習（国際共修）として実施します。 ・使用言語は日本語です。留学生には中級 2 レベル以上の日本語能力が必要です。 ・自ら主体的に、積極的に活動を企画・運営する意欲のある人の参加を求めます。 ・学外活動（現地確認、広報、搬入等）が複数回行われる可能性があります。授業時間外（平日夕方・土日を含む）に実施される場合があります。 ・イベント当日（12 月-1 月のいずれか：日程は後日連絡）は原則として全員参加必須です。※本授業はイベント実施を前提に進行するため、イベント当日の参加を見込んだうえで履修してください。

多文化交流科目 Co-learning in Multicultural Classrooms

	・授業外のグループ作業（オンライン/対面の打合せ、資料作成等）が多くなります。計画的に時間を確保できる方の履修を期待します。 ・澄川・藻岩地区までの交通費は自己負担です。 ・状況により活動内容や日程が変更される可能性があります。

Subject	Bridging Generations: Practical Community Building through a Temple in Sumikawa and Moiwa		**Course Code**	028252
Class Period	Wed. 3	**Time**	13:00 - 14:30	
Instructor (s)	Tomoyuki YAMAHATA, Maiko Aoki	**Japanese Level**	Intermediate 2 and above	
Course Objectives	Kannon-in Temple in Minami-ku, Sapporo, carries out community-based activities as a hub for building connections that transcend generations and cultures in the Sumikawa and Moiwa areas. In this course, international students and Japanese students will work collaboratively and learn how communities are formed in local society through cooperation with Kannon-in Temple and local community members (e.g., neighborhood associations). Learning in this course goes beyond classroom discussion: students will plan and operate a community event. Through the full process—planning, publicity, designing participant flow, safety considerations, on-site operations, and recording outcomes (including surveys)—students will gain hands-on experience in turning ideas into an “implementable” form. The course aims to cultivate practical collaborative skills through both community partnership and international collaborative learning.			
Course Goals	By the end of the course, students will be able to: 1. Demonstrate an understanding of key concepts of community formation in local society and explain them by linking these concepts to concrete examples of activities conducted by various local organizations. 2. Collaborate effectively with members from diverse backgrounds (Japanese students and international students), and produce planning, publicity, and operational documents through appropriate role-sharing and teamwork. 3. Design and implement a community event for a clearly defined target audience, translating ideas into an operationally feasible plan by considering participant flow (routes), safety measures, written explanations/instructions, and necessary materials/supplies. 4. Analyze outcomes and challenges based on participant surveys and event-day records (e.g., changes in attendance, congestion levels), and summarize actionable improvement proposals.			
Course Schedule	Session 1 (1st week of October): Guidance - Course goals and overall structure (timeline up to the event in late December; explanation that out-of-class/off-campus activities are required)			

多文化交流科目 Co-learning in Multicultural Classrooms

	- Grading, expected workload outside class, and key rules (safety, personal information, photography, copyright) Sessions 2–4 (October): Decide the event content - Orientation after enrollment is finalized / team formation - Ideation (individual → group) and creating "materials" for planning - Finalize the core concept + prepare publicity (make it a concrete, workable plan within October) Sessions 5–8 (November): Make the event concrete / hear local perspectives - Experience design (make it workable in a short time for participants) - Participant circulation design (routes/flow), and planning for congestion and waiting lines - Talk by the head priest of Kannon-in Temple (Rev. Hirosawa) + discussion and feedback exchange with neighborhood association members and others - Incorporate feedback / finalize specifications Sessions 9–11 (December): Prepare thoroughly - Complete deliverables (final versions ready for printing) - Full rehearsal (simulation) + final preparation Event Day (December–January; date to be announced later) - This corresponds to Sessions 12–14. Session 15: Use the experience for next steps - Reflection on the event - Explanation of the final assignment
Homework	- Before each class, confirm pre-class instructions and complete short preparation tasks (review materials, draft questions, prepare short texts, etc.). - Early phase (October): More group work to build the plan and create publicity materials (copywriting, design, flow planning, etc.) — approximately 1–3 hours/week. - Middle phase (November): Prepare presentation materials and question lists for meetings with collaborators; incorporate feedback — approximately 2–4 hours/week. - Late phase (December): Finalize materials, conduct rehearsal(s), and prepare for event-day operations (role checks, supplies, printed materials) — approximately 2–4 hours/week.
Grading System	Important: Participation on the event day is mandatory in principle. Because the core of this course is participation in operating a real community event, attendance and active participation on the event day (including operations, safety management, and record-keeping) are prerequisites for receiving credit.

多文化交流科目 Co-learning in Multicultural Classrooms

	Grading Breakdown (100%) - Participation and collaboration in and outside class (attendance, fulfilling roles, meeting deadlines, contribution to discussions): 25% - Production of materials and operational documents (event proposal, participant flow plan, signage/rule cards, publicity text, staffing chart, emergency response plan, etc.): 25% - Fieldwork / community partnership records and analysis (minutes, observation notes, survey design/collection/organization, articulating insights): 20% - Event-day operation participation (required) (safety considerations, team coordination, on-site responsiveness, quality of records): 20% - Final report (achievements and challenges; data-based improvement proposals): 10% Assessment Method Evaluation will not be based only on group outcomes. Individual contribution (quality of assigned tasks, submissions, event-day performance, and record-keeping) will also be emphasized. Overall assessment will be based on evidence such as submissions via LMS/chat tools, revision history of shared documents, meeting notes, and reflection records.
Textbooks	No textbook required. Materials will be provided during class.
Additional Information	- This course is conducted as collaborative learning between Japanese students and international students. - We will teach and discuss in Japanese. Intermediate level 2 or higher Japanese is required. - Students are expected to be proactive and highly motivated to plan and manage activities and events. - There may be multiple off-campus activities (site checks, publicity-related tasks, transporting materials, etc.). These may be conducted outside class hours, including weekday evenings and weekends. - Event day participation is required (one day between December and January; exact date will be announced later). Please enroll only if you can participate on the event day in advance only. - Substantial out-of-class group work is expected (online/in-person meetings, document creation, etc.). Students should plan to secure time accordingly. - Transportation costs to the Sumikawa/Moiwa area are at students' own expense. - Activities and schedules may change depending on circumstances.

多文化交流科目 Co-learning in Multicultural Classrooms

科目名	日本語のコミュニケーションスタイル			時間割コード	028253
曜日・講時	水4	時間	14:45～16:15		
担当者	鄭 恵先		日本語レベル	中級3以上	
授業の目標	(1)ことばへの社会言語学的な観察をもとに、日本語をはじめとする世界の諸言語をより客観的かつ有機的に捉える知的能力を身につける。 (2)グループワークによる学生同士の協働活動を通して、論理的に思考し、他者と協力して問題を解決する汎用的能力を身につける。				
到達目標	(1)日本語の話し方についてのミクロなアプローチを通して、日本語のコミュニケーションスタイルの特徴に気づく。 (2)日本人学生と外国人留学生がお互いの言語知識を共有しながら、みずからの気づきを促すことができる。				
授業計画	大まかな授業の流れは、以下のとおりである。 （1）事前に教員が提示するキーワードについて、学生は各自調べてオンライン上で情報共有する。 （2）１週目の授業で、テーマについての講義を聞き、グループでこれから調べて発表する内容について話し合う。 （3）２週目の授業で、グループごとに発表準備（パワーポイント作成）を行う。 （4）３週目の授業で、発表と質疑応答を行う。 以下のテーマごとに、上記の活動をくり返します。 （1）敬語・待遇表現 （2）言外の意味・ポライトネスストラテジー （3）非言語コミュニケーション・対人距離 （4）言語構造と言語行動				
準備学習	以下の活動は、授業外で行われます。 ・提示されたキーワードについて調べる。 ・事前調査を行い、個人の発表草案を作成する。 ※他に、授業中に発表準備が完了しなかった場合、教室外活動が必要なことがあります。				
成績評価の基準と方法	個別活動（オンライン投稿、発表草案の提出）50% グループ活動への参加度（自己評価、グループ評価、質疑応答）35% 発表（他者評価）15% ※「発表」に対する評価はグループメンバー間で同じです。 ※ 欠席によるグループ活動への不参加にはペナルティが課されます。				
テキスト・教科書					
備考	※クラスに参加する際には、自分の PC を持参してください。				

多文化交流科目 Co-learning in Multicultural Classrooms

Subject	Communication Style of Japanese Language	**Course Code**	028253
Class Period	Wed. 4	**Time**	14:45～16:15
Instructor (s)	JUNG Hyeseon	**Japanese Level**	Intermediate 3 and above
Course Objectives	(1) To acquire the intellectual ability to objectively and organically understand the essence of various languages in the world, based on the sociolinguistic observation. (2) To acquire the general ability to think logically and solve a problem in collaboration with other students.		
Course Goals	(1) To find features of the Japanese-style communication by exploring the way of speaking Japanese through a microscopic approach. (2) To be more sensitive to the difference among communication styles by sharing mutual language knowledge of Japanese or international students.		
Course Schedule	(1) Lecture and brainstorming (2) Group activities: to share preliminary researches and to decide presentation topics. (3) Group activities: to create presentation materials, using Power Point. (4) Presentation and questions & answers * The above process is repeated four times for each theme.		
Homework	Students are required to do the following activities outside the class. - to look up the specified keywords. - to conduct preliminary research and to write a presentation draft. *In addition, if the preparation for the presentation is not completed during the class, the extracurricular activities may be necessary.		
Grading System	Individual activities (online comments, presentation drafts): 50% Contribution to group activities (self-assessment, evaluation by other group members, activities outside the class): 35% Presentation (evaluation by other students): 15% * All members in a group get the same grade on presentation. * Students who do not participate in group activities will be penalized.		
Textbooks			
Additional Information	※ Please bring your own devices when you attend the class.		

多文化交流科目 Co-learning in Multicultural Classrooms

科目名	「国際交流」を考える		時間割コード	028255
曜日・講時	金2	時間	10:30-12:00	
担当者	青木 麻衣子	日本語レベル	上級以上	
授業の目標	本講義では、「国際化」「グローバル化」とは何か、それらの進展により「国際交流」はどのように変化してきたのか、また「国際交流」の意義・目的は何かを、受講者とともに、複数のレベル・視点から考える。また、「国際交流」を実践する上で必要不可欠な言語や文化の役割に注目し、「国際交流」にとって「共通語」は必要なのか、「異文化」は本当に理解可能なのか等を検討する。なお、本講義は、担当者による講義のほか、受講者同士のグループワーク、ディスカッション、グループによるプレゼンテーション等により構成される。			
到達目標	(1) 多様なレベル・視点から「国際交流」について考えることを通して、自分なりの定義を持つことができる。 (2) グループで協働するスキル、異文化理解力、プレゼンテーション・スキルを伸ばすことができる。			
授業計画	授業は以下の内容で構成されます。 (1) ガイダンス、自己紹介・他己紹介 ＜以下(2)～(5)の各テーマ（案）について、講義、グループワークによる検討、発表をとおして考えます。＞ (2)「国境」を考える（講義・グループでの検討・発表） (3)「文化」は理解できるのか (4)「ことば」の役割を考える (5)「多様性」を考える (6) 総括 ただし、授業で扱うテーマおよび形式は、受講者の状況等を勘案し、変更する可能性があります。 2 学期は、海外の大学との交流授業が複数回行われる可能性もあります。			
準備学習	・定期的に課題を出します。必ず準備の上、授業に参加してください。 ・受講者個人の学習を管理し、かつグループ活動を円滑に行うため、必要に応じ授業グループサイトもしくはメールでの意見・情報の発信が求められます。 ・必要に応じ学外者が授業に参加することがあります。 ・授業、グループワーク等への積極的な参加を期待します。			
成績評価の基準と方法	評価は、以下に基づき行います。 (1) 通常の授業（そのための準備・復習時間含む）への積極的参加、授業内での提出物の提出・内容、授業外での LMS への書き込み（20%） (2) 授業での発表（40%、グループに対する評価および教員による評価） (3) 発表後の各自の小レポート（40%）			
テキスト・教科書				
備考	・授業は基本的に対面で行います。 ・この授業はグループワークを多く含みます。積極的な参加を期待します。 ・このクラスの留学生の日本語レベルは、【上級】です。			

多文化交流科目 Co-learning in Multicultural Classrooms

Subject	Reconsidering the meaning of 'international exchange'	**Course Code**	028255
Class Period	Fri. 2	**Time**	10:30-12:00
Instructor (s)	AOKI, Maiko	**Japanese Level**	Advanced
Course Objectives	This course introduces the meanings of 'internationalization/ globalization' and purposes of 'international exchanges' from various perspectives. Students also learn the roles of languages and cultures for international exchange activities and consider such as whether a common language is inevitable for intercultural communications and whether it is really possible to understand 'other' cultures. This course contains group works, discussions and group presentations as well as lectures.		
Course Goals	At the end of the course, students are expected to: (1) have their own definitions of 'international exchange' through thinking from various levels and perspectives (2) improve collaborative skills, intercultural understandings, and presentation skills.		
Course Schedule	Contents: (1) Introduction We willl explore the following themes (2) to (5) through lectures, group work discussions, and presentations. (2) Thinking about the 'boarders' (3) Can other cultures be understood? (4) The development of AI and language learning (5) Considering the meaning of 'diversity' (6) Wrap up - The themes above may be subject to change, taking into account the circumstances of participants. - There may be several opportunities for collaborative classes with overseas universities.		
Homework	- The students are required to submit assignments on a regular basis. - In order to manage the students' learnings and group works effectively, the students may be required to express their opinions through LMS and emails. - Guest speakers may attend the course if necessary.		
Grading System	The final grade will be decided on the following: (1) Class attendance and attitude in class, regular assignments and expressions of opinions through LMS and emails (20%) (2) Group presentations (40%, which includes marks for the group and personal contributions) (3) Short essays after each presentation (40%)		
Textbooks			
Additional Information	This course is basically conducted face-to-face.		

多文化交流科目　Co-learning in Multicultural Classrooms

科目名	日本語で育つ子どもたち	時間割コード	028256
曜日・講時	金4	時間	14:45-16:15
担当者	式部　絢子	日本語レベル	中級3以上
授業の目標	・日本語を学ぶ子ども（外国籍児童、国際児などの困難点、社会の問題を知る・考える ・子どもたちの日本語の学びを「複言語・複文化」という視点で考える		
到達目標	・日本/北海道における外国籍児童の実態やその背景について理解することができる ・子どもたちにとっての「ことば（日本語/母語など）」の意味や、重要になるポイントについて理解し、自分のことばで表現することができる		
授業計画	第1回　オリエンテーション 第2回　日本語で育つ子どもたちって誰のこと？ 北海道の日本語支援状況 第3回　日本語の学び方（1） 第4回　日本語の学び方（2） 第5回　バイリンガルってかっこいい？ 第6回　複言語・複文化主義 第7回　複言語の中で育つとは？ 第8回～第9回　複言語で「育った」かつての子どもたち 第10回～第11回　日本語学習支援実践 第12回～第13回　報告/ディスカッション（ミニポスター作成） 第14回～第15回　振り返り/相互自己評価		
準備学習	事前に調べて来ることがある（事前課題）		
成績評価の基準と方法	・宿題/事前課題などの提出物 30% ・成果物 30% ・積極的発言、グループ作業の参加態度 20% ・相互自己評価 20%		
テキスト・教科書			
備考	・12回以上出席した者を評価の対象とする ・将来、教員になりたい学生は積極的に履修して欲しい ・外国で暮らした経験がある学生も積極的に履修して欲しい ・このクラスは留学生と日本人学生が一緒に学ぶためのクラスである。積極的にコミュニケーションを取ること（使用言語：日本語） ・授業期間内に、子どもに対する学習支援の実践を予定している。必ず参加すること。 ・〈留学生の対象レベル〉：日本語中級3以上 ・〈注意〉研究生・大学院生の方へ このクラスには条件があります。人数が多い場合は受講できません。必ず初回の授業に出席し、担当教員に条件を確認してください。		

多文化交流科目 Co-learning in Multicultural Classrooms

Subject	Children who grow up in Japanese	**Course Code**	028256
Class Period	Fri. 4	**Time**	14:45-16:15
Instructor (s)	SHIKIBU, Ayako	**Japanese Level**	Intermediate 3 and above
Course Objectives	- Children who learn Japanese language (foreign children, international children, etc.): Knowing and thinking about difficulties and social background. - To think about children's Japanese language learning from the viewpoint of "Plurilingualism/pluriculturalism".		
Course Goals	- Understand the actual situation of foreign children in Japan/Hokkaido and their backgrounds. - Understand the meaning of "language" (Japanese, native language, etc.) for children and the points that are important for them, and be able to express them in their own words.		
Course Schedule	1) Orientation 2) Who are the children who grow up with Japanese language? And the situation of Japanese language support in Hokkaido 3) How to learn Japanese (1) 4) How to learn Japanese (2) 5) Is it cool to be bilingual? 6) Bilingualism and multilingualism 7) What is it like to grow up in a multilingual environment? 8)-9) Children who "grew up" in a multilingual environment 10)-11) Practice: Japanese Language Learning Support 12)-13) 13th Report/discussion (making mini-posters) 14)-15) Reflection/mutual self-evaluation		
Homework	Occasionally, assignments to be researched in advance.		
Grading System	- Homework 30% - Products 30% - Class attendance and attitudes in the class 20% - Mutual self-evaluation 20%		
Textbooks			
Additional Information	- Students who attend at least 12 times will be evaluated. - Students who want to become teachers in the future are encouraged to take the course. - Students who have lived in other countries are also encouraged to take this class. - This class is for international and Japanese students to study together. - The level of language is also diverse. If you cannot communicate smoothly, do not blame it on the level of the language. Continue to communicate with them in a creative way. - During the class period, there will be a learning support activity for children. Be sure to participate.		

多文化交流科目 Co-learning in Multicultural Classrooms

	- Target level of foreign students: Intermediate 3 or above in Japanese - Attention: For research students and graduate students This class has requirements. ・If there are too many students, you will not be able to take this class. ・Please be sure to attend the first class and check the conditions with your instructor.


HOKKAIDO UNIVERSITY
FOUNDED 1876